

令和4年度

## 包括外部監査の結果報告書

「農林水産事業に係る事務の執行について」

令和5年3月

福井市包括外部監査人

齋藤 栄慶

第1章 包括外部監査の概要 .....	1
1. 外部監査の種類 .....	1
2. 選定した特定の事件（テーマ） .....	1
3. 監査対象期間 .....	1
4. 監査対象部署 .....	1
5. 事件（テーマ）を選定した理由 .....	1
6. 外部監査の方法 .....	2
(1) 監査の要点 .....	2
(2) 主な監査手続 .....	3
7. 監査の実施期間 .....	3
8. 監査の結果 .....	3
9. 包括外部監査人の補助者 .....	3
10. 利害関係 .....	4
11. その他 .....	4
(1) 用語について .....	4
(2) 金額について .....	4
第2章 監査対象の概要 .....	5
1. 福井市の農林水産業の概況 .....	5
(1) 福井市における土地の利用状況 .....	5
(2) 農業関係 .....	5
(3) 林業関係 .....	9
(4) 水産業関係 .....	9
2. 農林水産部及び農業委員会の組織 .....	11
3. 農林水産部及び農業委員会の所管業務 .....	12
(1) 農政企画課 .....	12
(2) 林業水産課 .....	13
(3) 農村整備課 .....	13
(4) 園芸センター .....	14
(5) 中央卸売市場 .....	14
(6) 農業委員会 .....	15
4. 第七次福井市総合計画 .....	16
5. 令和3年度農林水産部実施事業と第七次福井市総合計画との関係 .....	21
6. 第2次福井市農業活性化プランと第七次福井市総合計画との関係 .....	30
7. 福井市森林整備・林業成長産業化推進プランと第七次福井市総合計画との関係 .....	32
8. 福井市水産業振興プランと第七次福井市総合計画との関係 .....	34
9. 農林水産部の数値目標に対する全般的な総括 .....	36

第3章 監査の結果	38
1. 監査結果のまとめ	38
2. 農政企画課	39
2-1. 総合農政推進会議運営費	39
2-2. 農林水産業顕彰事業	40
2-3. 法令外負担金	42
2-4. 事務諸経費	44
2-5. 環境保全型農業直接支援対策事業	47
2-6. 野菜生産価格安定事業	49
2-7. そば振興事業	51
2-8. 園芸総合振興事業	55
2-9. 伝統の福井野菜支援事業	60
2-10. 6次産業化普及促進事業	62
2-11. 砂丘地園芸産地育成事業	65
2-12. 農林水産物「ふくいブランド」構築事業	68
2-13. 未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト	73
2-14. ふくいの農林水産物魅力PR動画作成事業	79
2-15. 水田フル活用推進事業	82
2-16. 数量調整円滑化推進事業	85
2-17. 直接支払推進事業	87
2-18. 担い手・農地総合対策事業	89
2-19. 収入保険加入推進事業	91
2-20. 新規就農者支援事業	93
2-21. 稲作総合支援事業	97
2-22. 中山間地域等直接支払事業	99
2-23. 地域農業サポート事業	101
2-24. 里地・里山活性化事業	104
2-25. 中山間地域農業支援事業	106
2-26. 農業振興資金利子補給金	108
2-27. 食育推進事業	110
2-28. いちほまれ等地元産米学校給食推進事業	114
2-29. 家畜防疫対策事業	117
2-30. 畜産振興総合対策事業	118
2-31. 長寿そば道場「ごっつおさん亭」管理運営事業	120
2-32. 農園施設「マイファーム清水」管理運営事業	122
2-33. 農村活性化施設管理運営事業	124

2 - 3 4 . ごっつおさん亭施設維持補修事業	126
2 - 3 5 . ふくいの農林水産物 E C サイト開設事業	128
2 - 3 6 . 園芸・水稲育苗ハウス雪害復旧支援事業	130
3 . 林業水産課	133
3 - 1 . 未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト	133
3 - 2 . 林業労働力安定確保対策事業	136
3 - 3 . 林業水産業 U ・ I ターン促進事業 ( 林業 )	139
3 - 4 . 自伐林家育成事業	144
3 - 5 . 林業経営体ステップアップ事業	148
3 - 6 . 農林水産業緊急雇用支援事業	152
3 - 7 . 林道補修事業	156
3 - 8 . 林道維持管理諸経費	159
3 - 9 . 林道橋梁点検診断事業	162
3 - 1 0 . 林道開設事業	165
3 - 1 1 . 県単林道事業	167
3 - 1 2 . 間伐材資源有効利用促進事業	169
3 - 1 3 . 県単作業道等機能強化整備事業	171
3 - 1 4 . 森林総合整備事業	174
3 - 1 5 . 森林経営管理事業	176
3 - 1 6 . 地域森林環境整備事業	182
3 - 1 7 . 松くい虫被害対策事業	184
3 - 1 8 . 森林組合強化育成貸付金	186
3 - 1 9 . 森林・山村多面的機能発揮対策事業	189
3 - 2 0 . 林業団体活動支援事業	192
3 - 2 1 . ふくいの森林の魅力発信事業	195
3 - 2 2 . 木材産業競争力強化対策事業	197
3 - 2 3 . 農山漁村再生可能エネルギー推進事業	200
3 - 2 4 . 木質バイオマスエネルギー事業	202
3 - 2 5 . 国見岳森林公園維持管理事業	205
3 - 2 6 . 槇山公園維持管理事業	207
3 - 2 7 . リズムの森維持管理事業	211
3 - 2 8 . S S T らんど維持管理事業	214
3 - 2 9 . 木ごろの森維持管理事業	216
3 - 3 0 . 清水きららの森維持管理事業	218
3 - 3 1 . 市行造林事業	221
3 - 3 2 . 小規模荒廃地治山事業	224

3 - 3 3 . 漁業団体等活動支援事業 .....	226
3 - 3 4 . 漁場保全支援事業 .....	228
3 - 3 5 . こしの魚まつり支援事業 .....	230
3 - 3 6 . 栽培漁業推進支援事業 .....	232
3 - 3 7 . 沿岸漁業生産拡大推進事業 .....	234
3 - 3 8 . 漁業共済支援事業 .....	237
3 - 3 9 . 定置漁業振興支援事業 .....	239
3 - 4 0 . 漁業協同組合強化育成貸付金 .....	242
3 - 4 1 . 水産業緊急資金利子補給金 .....	245
3 - 4 2 . ふれあいパークなぎさ公園維持管理事業 .....	246
3 - 4 3 . 水産物販売促進事業 .....	248
3 - 4 4 . 水産物ブランド化推進事業 .....	251
3 - 4 5 . 蒲生海岸維持管理事業 .....	255
3 - 4 6 . 漁港海岸漂着物対策事業 .....	256
3 - 4 7 . 林業水産業U・Iターン促進事業（漁業） .....	258
3 - 4 8 . ふれあいパークなぎさ公園機能保全事業 .....	260
3 - 4 9 . 市単漁港整備事業 .....	264
3 - 5 0 . 漁港施設機能保全復旧事業 .....	266
3 - 5 1 . 藻場造成事業 .....	268
3 - 5 2 . 林道施設災害復旧事業 .....	270
3 - 5 3 . 山地災害復旧事業 .....	273
3 - 5 4 . 漁港施設災害復旧事業 .....	275
4 . 有害鳥獣対策室（林業水産課） .....	278
4 - 1 . 有害獣被害防止対策事業 .....	278
4 - 2 . 有害獣捕獲推進事業 .....	280
4 - 3 . 捕獲有害獣処理対策事業 .....	283
4 - 4 . ジビエ普及推進事業 .....	287
4 - 5 . 鳥獣害対策連携事業 .....	289
4 - 6 . 有害鳥獣駆除対策事業 .....	291
4 - 7 . みんなで取り組む鳥獣に負けない集落づくり事業 .....	294
5 . 農村整備課（一般会計） .....	298
5 - 1 . 法令外負担金 .....	298
5 - 2 . 関連団体負担金 .....	300
5 - 3 . 土地改良区育成支援事業 .....	301
5 - 4 . 地籍調査事業 .....	303
5 - 5 . ふるさと水と土保全対策事業 .....	308

5 - 6 . 多面的機能支払交付金.....	310
5 - 7 . 事務諸経費.....	315
5 - 8 . 県有土地改良施設管理事業.....	317
5 - 9 . 農道補修事業.....	319
5 - 10 . 農道台帳整備事業.....	321
5 - 11 . 市有土地改良施設管理事業.....	322
5 - 12 . 農地海岸保全事業.....	327
5 - 13 . 各種調査設計事業.....	329
5 - 14 . 基幹農業用排水路維持管理事業.....	331
5 - 15 . 広域・農免農道等補修事業.....	334
5 - 16 . 県営土地改良事業補助金.....	336
5 - 17 . 団体営土地改良事業補助金.....	338
5 - 18 . 小規模県単事業補助金.....	340
5 - 19 . 市単独土地改良事業補助金.....	342
5 - 20 . 国営及び県営造成施設管理体制整備促進事業.....	346
5 - 21 . 棚田地域保全基金活動支援事業.....	349
5 - 22 . 県営土地改良事業負担金.....	351
5 - 23 . 地域用水機能増進事業.....	353
5 - 24 . 国営土地改良事業負担金.....	355
5 - 25 . 一乗谷あさくら水の駅管理運営事業.....	357
5 - 26 . 一乗谷あさくら水の駅機能強化事業.....	359
5 - 27 . 排水機場管理運営費.....	361
5 - 28 . 耕地排水対策支援事業.....	363
5 - 29 . 維持管理適正化支援事業.....	365
5 - 30 . 市維持管理適正化事業.....	367
5 - 31 . 市単独耕地排水機場整備事業.....	369
5 - 32 . 北陸新幹線建設整備事業.....	372
5 - 33 . 農業施設災害復旧事業.....	374
6 . 農村整備課（集落排水特別会計）.....	377
6 - 1 . 事務諸経費.....	377
6 - 2 . 農業集落排水施設管理事業.....	384
6 - 3 . 酒生東部地区機能強化事業.....	388
6 - 4 . 下宇坂地区機能強化事業.....	390
6 - 5 . 最適整備事業（補助）.....	393
6 - 6 . 最適整備事業（単独）.....	395
6 - 7 . 集落排水基金積立金.....	396

6 - 8 . 農業集落排水市債償還元金 .....	398
6 - 9 . 林業集落排水市債償還元金 .....	400
6 - 10 . 漁業集落排水市債償還元金 .....	401
6 - 11 . 農業集落排水市債償還利子 .....	403
6 - 12 . 林業集落排水市債償還利子 .....	404
6 - 13 . 漁業集落排水市債償還利子 .....	406
6 - 14 . 予備費 .....	407
6 - 15 . 林業集落排水施設管理事業 .....	409
6 - 16 . 漁業集落排水施設管理事業 .....	411
7 . 園芸センター .....	414
7 - 1 . 園芸総合振興事業 .....	414
7 - 2 . 未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト .....	416
7 - 3 . 園芸作業員報酬 .....	418
7 - 4 . 試験研究諸経費 .....	421
7 - 5 . 園芸センター管理運営諸経費 .....	423
7 - 6 . 園芸振興推進事業 .....	425
7 - 7 . 原種系水仙管理諸経費 .....	428
7 - 8 . 越前水仙振興事業 .....	430
7 - 9 . 園芸普及拡大事業 .....	433
7 - 10 . さんりはまベジフルブラッシュアップ事業 .....	436
8 . 中央卸売市場 .....	440
8 - 1 . 施設維持管理事業 .....	440
8 - 2 . 業務指導事業 .....	445
8 - 3 . 市場管理運営諸経費 .....	448
8 - 4 . ガス事業譲渡後残務対応事業 .....	450
8 - 5 . 市場関係団体等負担金 .....	452
8 - 6 . 市場施設整備事業 .....	456
8 - 7 . 中央卸売市場活性化事業 .....	458
8 - 8 . ふくい鮮いちば事業 .....	460
8 - 9 . 市場経営体質強化育成貸付金 .....	463
8 - 10 . 市債償還元金 .....	467
8 - 11 . 市債償還利子 .....	469
9 . 農業委員会事務局 .....	472
9 - 1 . 農業委員報酬 .....	472
9 - 2 . 農業委員会運営事業 .....	474
9 - 3 . 法令外負担金 .....	476

9 - 4 . 農用地流動化奨励事業.....	478
9 - 5 . 農地保有合理化事業.....	480
9 - 6 . 市民菜園運営事業.....	482
9 - 7 . 広報紙発行事業.....	484
9 - 8 . 農業者年金受託事業.....	486
9 - 9 . 農地台帳整備事業.....	488
9 - 10 . 農地利用状況調査事業.....	490



## 第1章 包括外部監査の概要

### 1. 外部監査の種類

本外部監査は、地方自治法第252条の37第1項に基づく包括外部監査である。

### 2. 選定した特定の事件（テーマ）

農林水産事業に係る事務の執行について

### 3. 監査対象期間

令和3年度（自令和3年4月1日 至令和4年3月31日）  
ただし、必要に応じその他の年度についても監査対象とした。

### 4. 監査対象部署

No	監査対象所属
1	農政企画課
2	林業水産課（有害鳥獣対策室含む）
3	農村整備課（一般会計、特別会計）
4	園芸センター
5	中央卸売市場
6	農業委員会事務局

### 5. 事件（テーマ）を選定した理由

福井市では、最上位計画である「第七次福井市総合計画」を策定し、平成29年度から平成33年度（令和3年度）までの5年間を計画とする取組みを進めてきた。

本計画では、「みんなが輝く 全国に誇れる 福井」を将来都市像として定め、当該実現に向け、「豊かな地域づくり」「輝く未来への挑戦」という2つの重点方針に基づき、「快適に暮らすまち」、「住みよいまち」、「生き活きと働くまち」、「学び成長するまち」の4つの分野毎に、市政全般にわたる政策・施策に取り組んでいる。

当該「生き活きと働くまち」の一部として、「若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる」政策が位置づけられ、具体的には 稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る、 伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する、 農産物のブランド化と需要を拡大する、 農山漁村の生活環境を守るとする4つの施策から構成され、当該施策に基づいて、農林水産部では各事業を遂行している。

また、福井市の環境においては、耕地面積は 7,760ha、林野面積は 31,941ha と総土地面積 53,641ha に占める割合はそれぞれ 14.4%、59.5%となっている。また、農業経営体数は 2,333 経営体と総人口 262,328 人に占める割合は 0.8%となっている。

特に、田耕地面積は 7,370ha と耕地面積 7,760ha に占める割合が、94.9%と水田面積率は非常に高い水準となっており、農業算出額からみても、福井市推計額 84.9 億円のうち、米の産出額は 61.5 億円と農業産出額の 72.4%となっている。このように、福井市は、以前より水田を中心とする農業が盛んな地域となっている。

しかしながら、農業者の高齢化に伴う担い手不足の進行や米価の低迷などにより、福井市の農業は大変厳しい状況におかれている。また、食文化の変化、コロナに端を発する外食産業の落ち込み等により、農業生産者への影響も甚大なものとなっている。

そのような中、福井市は、平成 26 年度に策定した「福井市農業活性化プラン」を改訂し、「第 2 次福井市農業活性化プラン」を策定し、令和 2 年度より長期的な視点にたった持続的な農業の発展を目指していくための施策を実施してきている。

さらに、林業及び水産業においては、平成 28 年度に策定した「福井市林業・水産業プラン」が令和 2 年度に終了したことに加え、林業水産業を取り巻く環境の変化や、漁業従事者の高齢化、後継者不足、魚価の低迷などを受け、現行プランの取組による成果と課題を整理し、国や県の動向を踏まえ、今後 5 年間の林業・水産業の活性化を図るため「福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン」及び「福井市水産業振興プラン」(令和 3 年策定)を策定している。

以上の影響を受け、福井市は令和 3 年度当初予算上も農林水産業費として 3,569 百万円の歳出を実施しており、一般会計の歳出予算額 116,747 百万円に締める割合が 3.05%と、財政上も重要な構成単位となっている。

そのため、農林水産部の歳出が政策目標等に基づいた取組の遂行の結果であることを確認するとともに、農林水産業に係る事務の執行が効果的、効率的、経済的に行われているかについて検証することは意義があるものと判断し、本テーマを選定した。

## 6. 外部監査の方法

### (1) 監査の要点

農林水産事業に係る事務の執行を担当する農林水産部(農政企画課、林業水産課、農村整備課、園芸センター、中央卸売市場)並びに農業委員会事務局の事務の執行について、法令等に準拠した上で効果的、効率的かつ経済的に実施されているかを検討する。なお、具体的な着眼点は以下の通りである。

#### 目標の達成状況

第七次福井市総合計画、第 2 次福井市農業活性化プラン、福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン、及び福井市水産業振興プランで掲げている各数値目標の達成状況は

どうか。

#### 3Eの観点

農林水産事業の事務について、経済性、効率性、有効性の観点から適切に実施されているか。また、各事務事業についての成果指標の設定及び検証が適切に実施されているかどうか。

#### 合規性

農林水産事業の事務について、法令、条令、規則、会計事務の手引き等の内規に沿って、適切に手続きが実施されているか。

#### 公平性

農林水産事業の事務について、公平性が確保されているか。

#### 組織体制

)農林水産部の組織は適切かつ効率的な体制となっているか。

)農林水産部内の各課の連携は適切に実施されているか。

## (2) 主な監査手続

第七次福井市総合計画、第2次福井市農業活性化プラン、福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン、及び福井市水産業振興プランを閲読するとともに、農林水産部及び農業委員会事務局より所属概要書、事務分掌表、調査票、予算要求概要書、歳入整理簿、支出命令一覧等の資料を入手し、主な事業内容等を把握するとともに、各種事業に対する質問事項をまとめ、当該質問事項等を踏まえ、農林水産部に対して、事業内容や数値目標の達成状況などのヒアリングを実施した。

また、歳入整理簿や支出命令一覧より各事業に関連する取引を原則として、1件以上任意で抽出し、執行伺等の内規に基づく、決裁等の運用が実施されているかどうかの検証を実施した。

さらに、必要に応じて、福井市役所以外の外部施設を訪問し、実際の事業の現場や書類の保管状況等を実施見聞した。

## 7. 監査の実施期間

令和4年5月26日から令和5年3月17日まで

## 8. 監査の結果

監査の結果については、「第3章 監査の結果」に記載している通りである。

監査の結果、指摘事項は12件、意見は87件であった。

## 9. 包括外部監査人の補助者

武田 敦（公認会計士）

武田 さおり（公認会計士）

内田 実穂子（公認会計士）

木野 仁彦（公認会計士）

## 10．利害関係

包括外部監査の対象とした事件につき、包括外部監査人と福井市との間には、地方自治法第252条の29に規定されている利害関係はない。

## 11．その他

### （1）用語について

#### 指摘事項

法令や規則に対する逸脱事項（軽微なものを除く）や重大な非効率、不経済な事象に対する外部監査人の意見である。

#### 意見

指摘事項とはならない法令や規則に対する軽微な逸脱事項や軽微な非効率、不経済な事象に対する外部監査人の意見もしくは提案や所感である。

#### 3E

Economy（経済性）、Efficiency（効率性）、Effectiveness（有効性）を示した用語であり、包括外部監査において最も重視している視点である。

### （2）金額について

千円未満については原則切り捨てとしている。しかし、一部福井市が作成した資料をそのまま利用しているため、その他の方法となっている箇所もあるが重要性はないと判断し修正は行っていない。そのため、合計金額が一致しない場合がある。

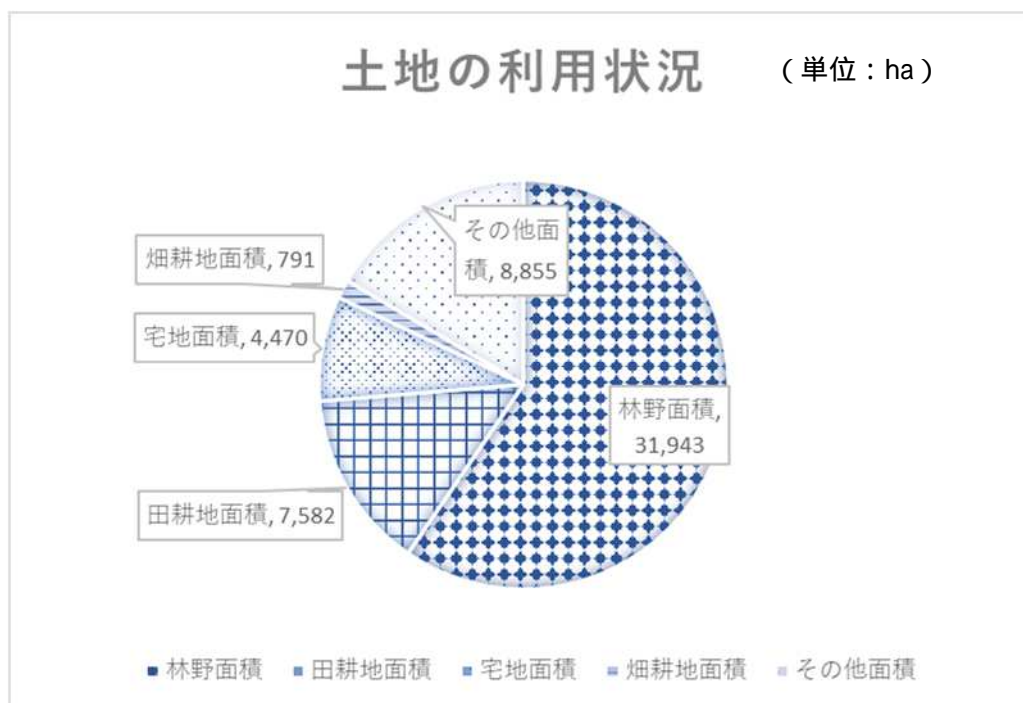
## 第2章 監査対象の概要

### 1. 福井市の農林水産業の概況

福井市における農林水産業の全体的な概況について、公表されている統計数値から把握できる内容は、以下の通りである。

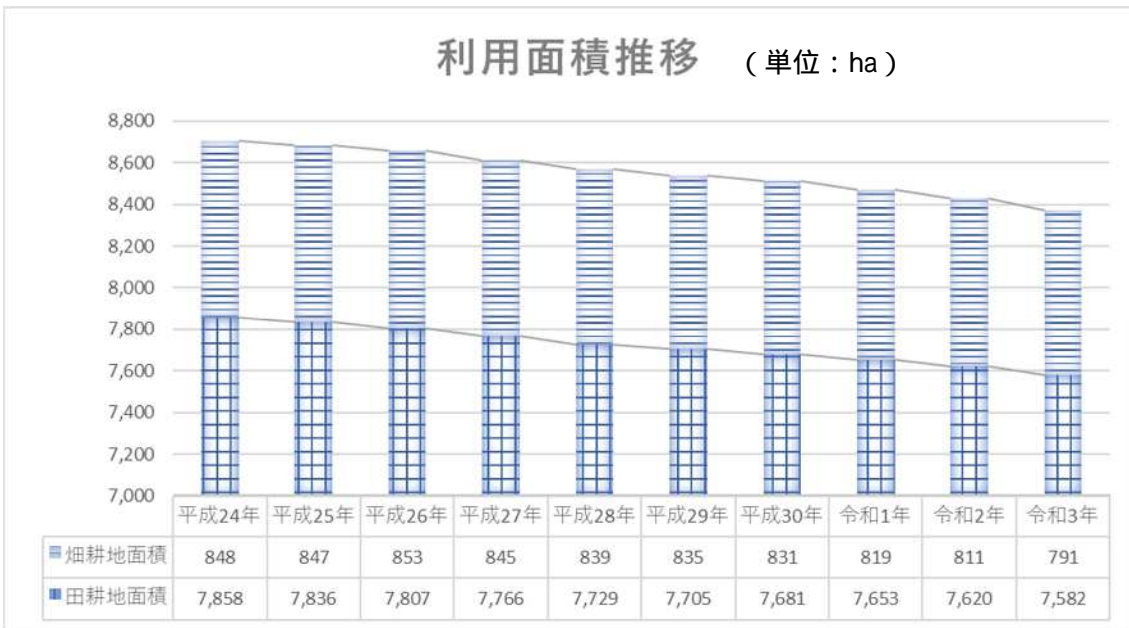
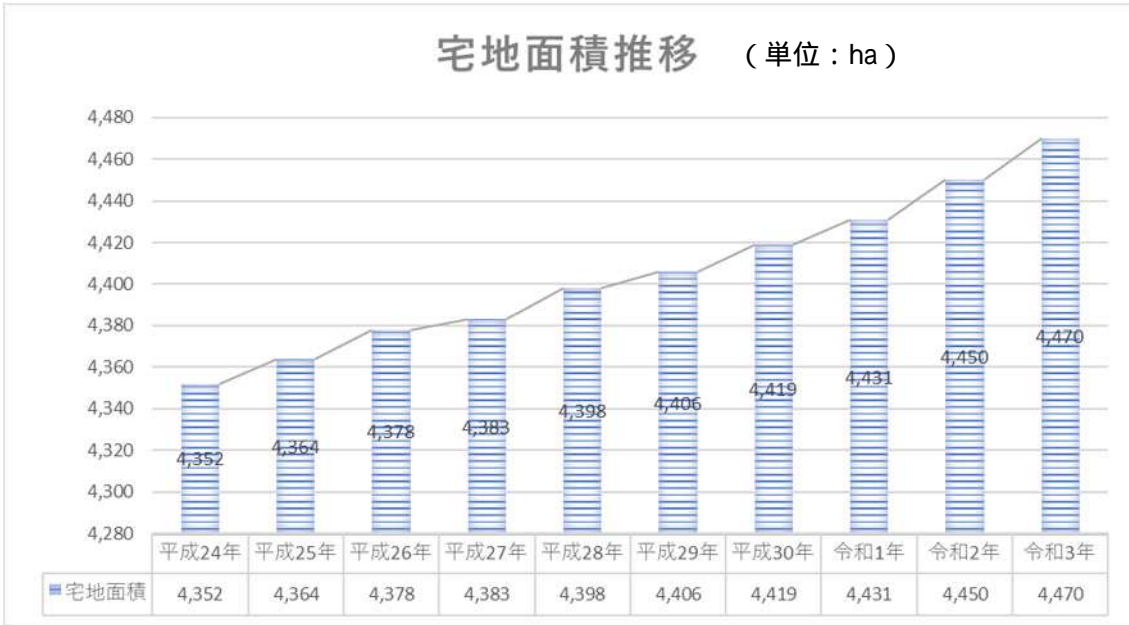
#### (1) 福井市における土地の利用状況

福井市における土地の利用状況は、令和3年度福井市統計書によると、以下の通り、林野面積がもっとも多く、福井市の土地の60%を占めている。また、次に田耕地面積が多く、福井市の土地面積の14%を占める結果となっている。

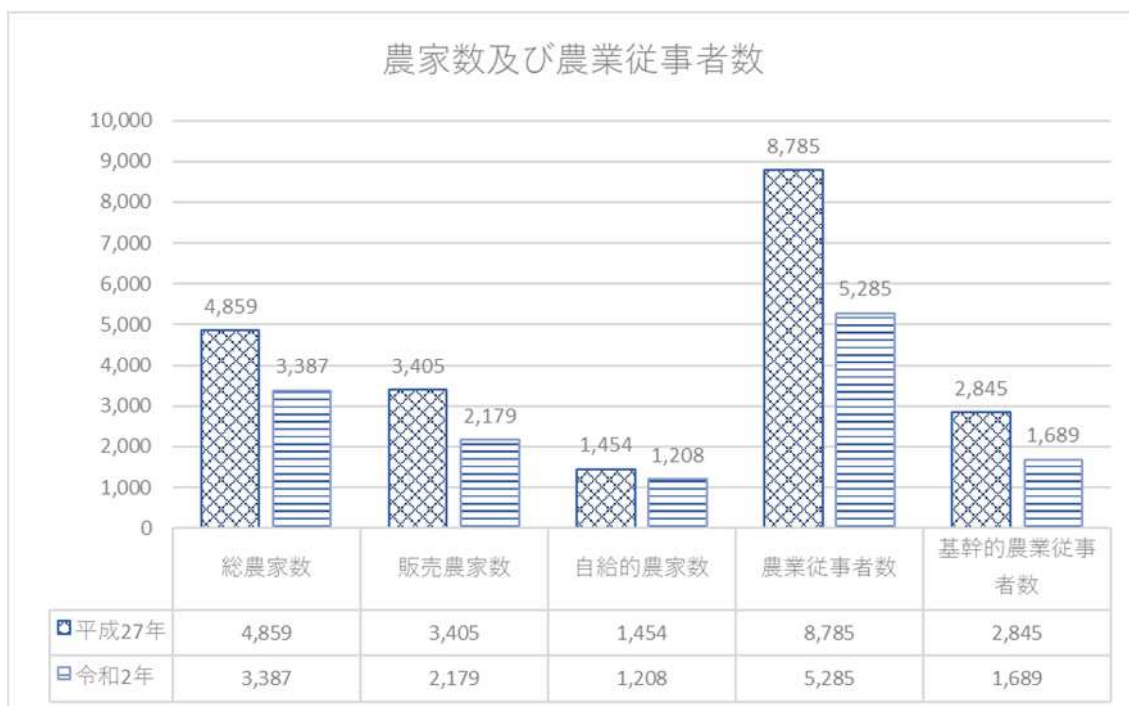


#### (2) 農業関係

福井市におけるここ数年における土地の利用状況については、林野面積はほぼ変動がないものの、宅地面積については以下のグラフの通り増加し続けている。その一方で、田及び畑の耕地面積の過去10年間の推移(福井市統計書より集計)は以下の通り減少傾向となっており、田畑耕地面積が宅地転用もしくは未耕作地の面積に異動している可能性がうかがえる。



また、福井市における農家数及び農業従事者数については、福井市統計書によると、以下の通りとなっており、5年前と比較して、農家数及び農業従事者数は、大幅に減少する結果となっている。



(参考) 各用語の定義

農家・・・経営耕地面積が 10a 以上又は農産物販売金額が 15 万円以上の世帯

販売農家・・・経営耕地面積が 30a 以上又は農産物販売金額が 50 万円以上の農家

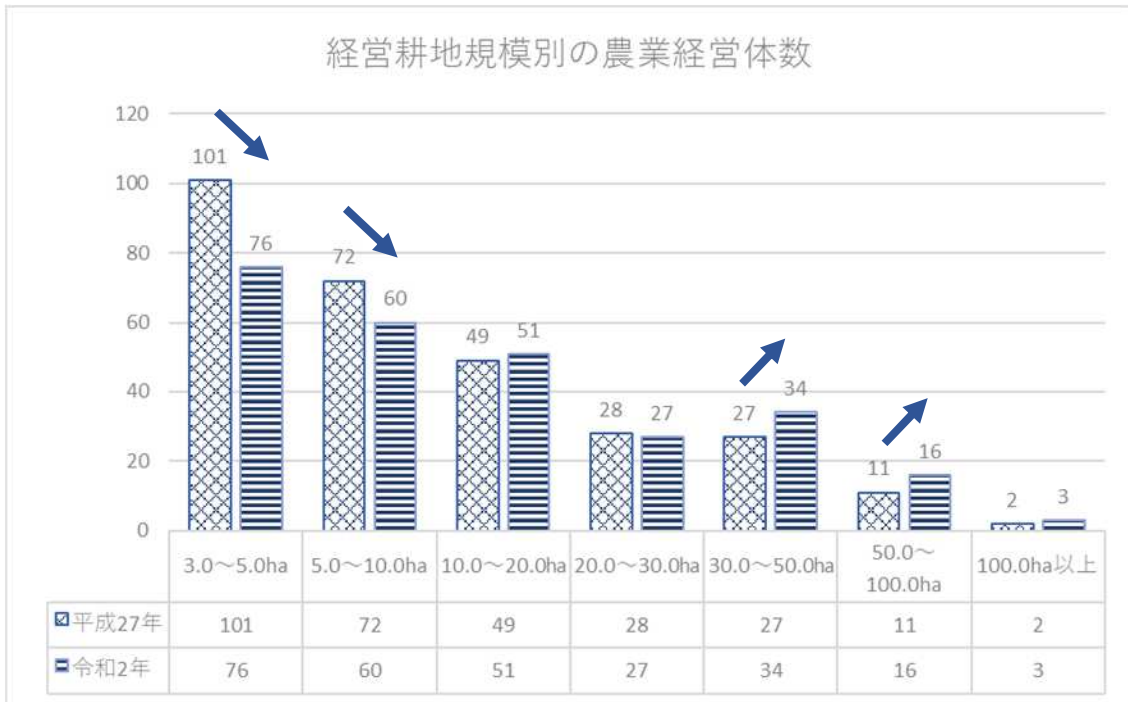
自給的農家・・・経営耕地面積 30a 未満かつ農産物販売金額が 50 万円未満の農家

農業従事者数・・・自営農業に従事した世帯員数

基幹的農業従事者数・・・仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員

なお、経営耕地規模別の農業経営体数について、2020 年農林業センサスで確認すると、経営耕地規模が少ない農業経営体の数が減少し、10ha 以上の経営規模の大きな農業経営体数が増加している傾向にあり、規模の拡大が進んでいることがうかがえる。





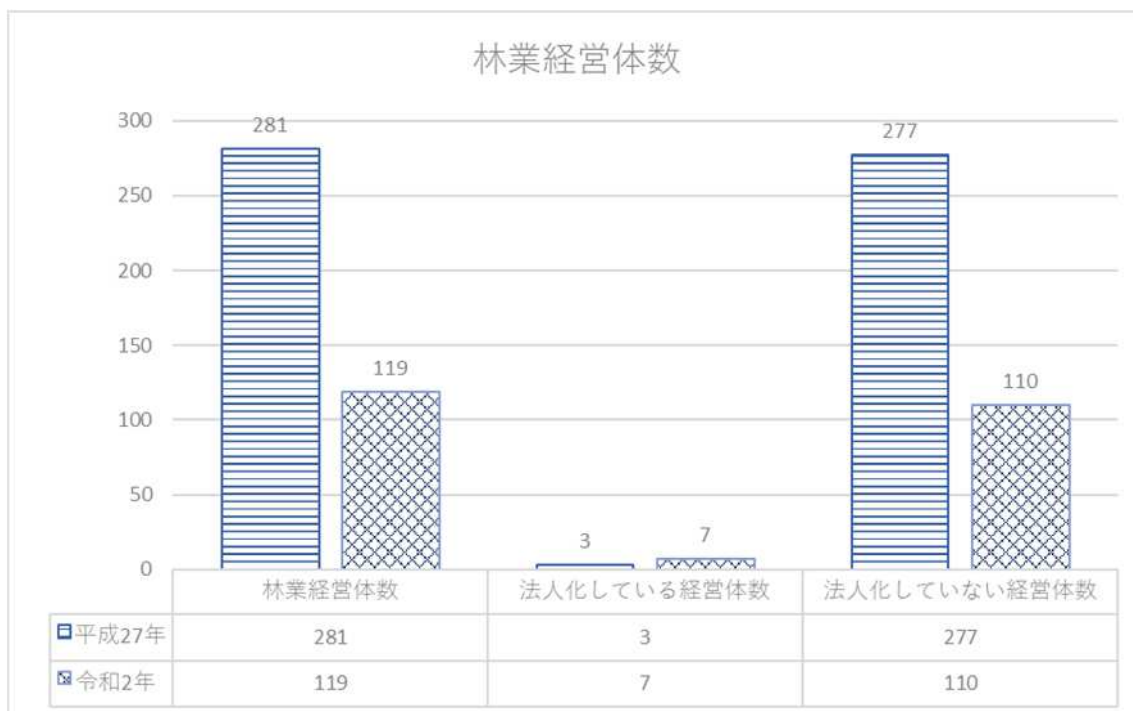
さらに、農業算出額の内訳について、令和2年市町村別農業産出額（推計）によると、以下の通りとなっており、福井市は米が中心となっているが、生産調整等により米の農業産出額も減少傾向となっており、また、野菜についても産出額は横ばいとなっており、福井市全体としての農業算出額は減少傾向となっている。





### (3) 林業関係

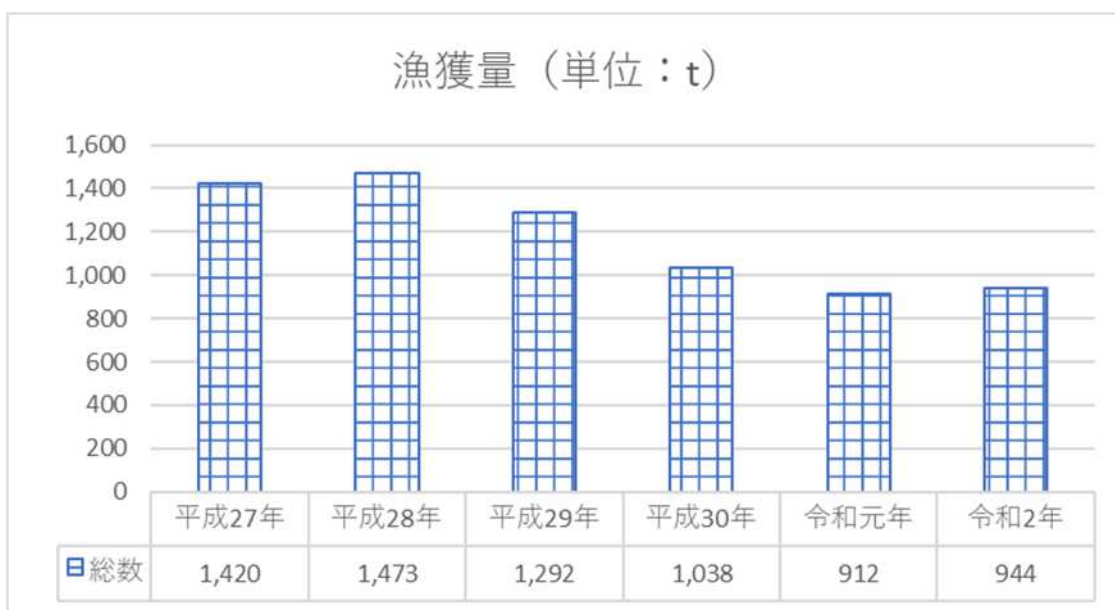
福井市における林業経営体数については、2020年農林業センサスによると、以下の通りとなっており、5年前と比較して、林業経営体数は、大幅に減少する結果となっている。また、当該減少の内訳としては、法人化していない林業経営体数が大幅に減少している。



### (4) 水産業関係

漁港の種類としては、第1種漁港（その利用範囲が地元の漁業を主とするもの）、第2種（漁港その利用範囲が第1種漁港より広く、第3種漁港に属しないもの）、第3種漁港（その利用範囲が全国的なもの）、特定第3種漁港（第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもの）、第4種漁港（離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの）があり、福井市は、第1種漁港施設として5施設（長橋菅生、鮎川、大丹生、大味、居倉）、第2種漁港施設として3施設（鷹巣、白浜、茱崎）の計8漁港施設が設置されている。当該漁港施設における漁獲量についての福井市統計書に基づく推移は以下の通りとなっている。

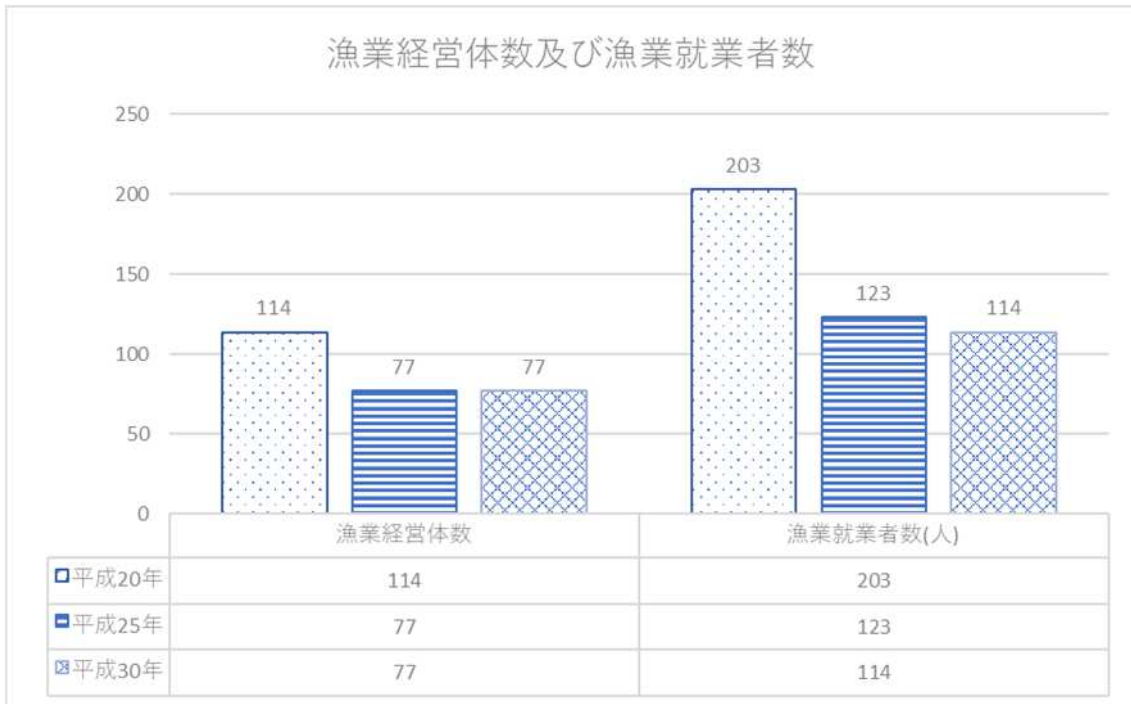
平成28年以降漁獲量は、令和2年度は若干増加しているものの、減少傾向となっている。



注意：平成30年で福井農林水産統計年報における市町村別・魚種別漁獲量の統計が廃止されており、令和元年以降は福井市・越廼漁業協同組合業務報告書の数値を採用している。そのため、平成30年以前の数値とは接続しない。

出典資料：福井農林水産統計年報（平成27～30年）、福井市・越廼漁業協同組合業務報告書（令和元・2年）

また、福井市における漁業経営体数については、2018年漁業センサスによると、以下の通りとなっており、10年目と比較して、林業経営体数は、減少する結果となっており、行業就業者数についても、10年前、5年前と比較しても減少傾向となっている。



## 2. 農林水産部及び農業委員会の組織

福井市における農林水産部及び農業委員会の組織の概要は以下の通りである。

(令和3年4月1日現在)

課	係等	人員
農政企画課	課長、副課長、課長補佐	3名
	農村活性係	4名
	企画振興係	4名
	営農支援係	7名
	米政策係	4名
	計	22名
林業水産課	課長、副課長、課長補佐	3名
	森林活用係	4名
	森林整備係	8名
	水産係	5名
	有害鳥獣対策室室長	1名
	有害鳥獣対策室	7名
	計	28名
農村整備課	課長、課長補佐	2名
	財務企画係	7名
	農地保全係	6名

	集落排水係	6名
	計	20名
園芸センター	所長、課長補佐	2名
	野菜振興係	3名
	花卉・果樹振興係	7名
	計	12名
中央卸売市場	場長、副場長、課長補佐	3名
	業務係	6名
	管理係	5名
	計	14名
合計		96名

：うち1名は財務企画係と兼務

	係等	人員
農業委員会	農業委員	24名
	内、会長	1名
	会長職務代理者	1名
	参与	3名
	農地利用最適化推進委員	23名
	計	47名

局	係等	人員
農業委員会事務局	局長、局次長、課長補佐	3名
	農地利用最適化推進係	8名
	計	11名

### 3. 農林水産部及び農業委員会の所管業務

福井市における農林水産部及び農業委員会における各所管業務は以下の通りである。

#### (1) 農政企画課

令和2年3月に策定した「第2次福井市農業活性化プラン」の基本方針である、「持続的な農業の発展」の達成に向け、「園芸の推進」、「水田の汎用化」、「流通販路の開拓」、「農地・農村環境の維持・活性」、「スマート農業の推進」の取組を進めている。

農業所得の向上、人や生産基盤といった農業・農村環境の維持を図ることによる持続可能な農業の発展を重点取組事項としている。

## (2) 林業水産課

林業水産課では、林業、水産業の振興及び有害鳥獣対策に取り組んでいる。

林業においては、森林の多面的機能が十分に発揮できる豊かな森づくりを目指すため、森林の適正な整備を実施するとともに、林道施設の整備及び維持補修を行っている。さらに、林道橋梁等の施設の長寿命化を図っている。

水産業においては、「つくり育てる」安定した漁業を推進するため、放流や中間育成等を支援し、水産資源の維持増大を図るとともに、漁業の安全性を確保するため、漁港施設の整備及び維持補修を行っている。さらに、漁港施設及び海岸保全施設の長寿命化を図っている。

有害鳥獣対策においては、イノシシやシカ等による被害を防止するため、侵入防止柵の設置支援や、イノシシ捕獲檻の導入や有害獣の埋設処理に対する支援を行いながら、集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組む体制づくりを推進している。

また、令和3年3月に、「福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン」「福井市水産業振興プラン」を策定し、本市の特色を活かした林業水産業の推進を図っている。

さらに、本課では、以下の事業を重点事業として取組を遂行している。

### 林道開設・維持補修事業

林道開設及び、林道施設の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図ることにより、効率的な林業経営の発展や、多面的機能の維持を図る。

### 森林整備総合対策事業

森林の植栽、保育、間伐などの森林整備を適切に行うことは、地球温暖化防止、循環型社会の形成に有効であるため、森林所有者への意向調査や境界確認を行い、意欲と能力のある林業経営体につなぎ森林整備を行うことで、健全な森林の造成を図る。

### 沿岸漁業生産拡大推進事業

「獲る」漁業中心の不安定な漁業形態から「つくり育てる」安定した漁業への転換を図るため、稚魚・稚貝の直接放流や中間育成放流及び漁業者が取り組む養殖への支援をする。

### 有害鳥獣対策事業

農作物や生活環境への被害を防ぐため、侵入防止柵の設置による防除と有害鳥獣の捕獲を行う。

## (3) 農村整備課

今日の農業を取り巻く情勢に対応し、生産性の高い低コスト農業を実現するため、その基礎条件となる生産基盤の整備、活気ある農村地域社会を形成するための生活環境の整備及び地域の実態に即した農地の高度利用促進をするため、総合的な土地改良事業等に対する支援や集落排水事業に取り組んでいる。

また、県営事業で造成された施設で、公共的施設である広域・農免農道8路線並びに耕

地排水機場（排水樋門等含む）24施設、集落排水処理施設28施設及び一乗あさくら水の駅等の維持管理を行っている。

さらに、本課では、重点取組事項として、以下を掲げ、取組を遂行している。

多面的機能支払交付金

農地や農業用水を保全管理する農地維持活動および農地周りの水路・農道等の農業用施設の長寿命化を図る資源向上活動に対し支援を行う。

一乗谷あさくら水の駅事業

一乗谷あさくら水の駅の指定管理料

農業体験や生物の観察など、食育や自然環境を学習する機会を提供する。

集落排水事業

福井市汚水処理基本構想に基づき整備してきた処理施設で、機能が低下した施設の機能調査及び機能強化を行う。

・全28地区が供用

・機能調査：越廼大味地区、機能強化：荒木地区・市波地区・越廼大味地区、老朽化した耕地排水機場の更新について

#### （４）園芸センター

福井市の園芸振興を図ることを目的として、福井市串野町に昭和46年10月に園芸センターが設置され、平成10年には、国の事業採択を受け、施設の充実を図り現在に至っている。

園芸に関する拠点施設として、バイオ技術による新品種開発や新しい栽培技術確立のための試験研究、園芸生産者への技術支援、園芸相談や土壌分析、金福すいか等の本市特産品のブランド力強化に取り組んでいる。

また、市民に園芸農業に対する理解を深めてもらうため、野菜・果樹・切花等の各種講座を開設している。

さらに、金福すいかやディノケールなどを栽培する生産者への指導を強化するとともに、生産現場の課題解決に向けた栽培実証試験の実施により、高品質な農作物の生産体制を確立する。併せて、生産者の所得向上を図るため、県外への出荷を積極的に進めるとともに、栽培技術向上のための園芸農家技術支援講座や現地巡回指導を継続して行い、新規園芸品目の導入促進を図ることで、持続的な農業の発展に努めることを重点取組事項としている。

#### （５）中央卸売市場

福井市中央卸売市場は、福井市はもとより、その周辺地域も含めた広域での生鮮食料品等の円滑な流通を確保するため、昭和49年11月に開設された。福井市は市場開設者として、卸売市場法等関係法令に基づき、市場の適正かつ健全な運営の確保、市民への生鮮食料品等の安定供給が維持されるよう卸売業務の指導監督を行うとともに、市場内施設の維

持及び管理に努めている。

また、本課では以下の2つを重点取組事項としている。

#### 施設の長寿命化

中央卸売市場は、昭和49年に開設して以来、46年（令和3年4月現在）が経過し、施設の老朽化が著しく進んでおり、「福井市公共施設等総合管理計画」に基づき、建替周期を50年から70年まで延ばす、施設の長寿命化に取り組んでいる。平成30年度までに場内全ての建物の耐震工事を終了している。現在は、フロン対策が必要な14台の冷凍機の更新工事、老朽化した消雪設備の改修を令和元年度より計画的に取り組んでいる。今後も、建物の屋根防水及び外壁補修、ライフライン更新工事等を計画的に行っていく予定である。

#### 業務検査

令和2年6月21日施行の改正卸売市場法により、国は卸売業者に対する直接的な立入検査を廃止し、開設者である市が卸売業務に業務検査を行い、国に報告することとなった。そのため、令和2年度において業務検査マニュアルを策定し、令和3年度にはそれに基づき業務検査を行った。今後もマニュアルの見直し、検査体制の充実を行い、計画的に業務検査を実施することで、卸売業者への監理・監督を行うとともに市場の適切かつ健全な運営を確保していく予定である。

### （6）農業委員会

主に農地に関する事務を執行する行政委員会として、農地等の利用の最適化の推進に関する事務をはじめ、農地転用許可や農地利用状況調査による遊休農地対策など、農地等の利用関係の調整に関する事務、農用地利用集積のための利用権設定に関する事務など、農業委員会等に関する法律に定められた業務を行っている。

農業委員会においては、重点事業として、以下の事業を行っている。

#### 農地法による許可・届出等業務

農地の権利移動の許可（農地法第3条）

農地転用許可（農地法第4条・第5条）

市街化区域内は届出

賃貸借契約の解約（農地法第18条）

#### 農地等の利用の最適化の推進

担い手への農地利用の集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の促進

#### 4. 第七次福井市総合計画

福井市が策定している「第七次福井市総合計画」の概要は以下の通りとなる。

【期間】 平成 29 年度～平成 33 年度（令和 3 年度）

【構成】 「将来都市像」、「重点方針」、「政策、施策」

総合計画	
【将来都市像（長期的な取組により実現を目指す、福井市の将来のまちの姿）】 みんなが輝く 全国に誇れる ふくい	
【重点方針（将来都市像の実現を図るための重点的な方針）】 豊かな地域づくり 輝く未来への挑戦	
【政策（基本的な取組の方向性）】	
快適に 暮らすまち	1 まちなかの充実した都市機能により 多様な人が集まるまちをつくる
	2 地域の特色を活かし 魅力的で活力のあるまちをつくる
	3 強靱な社会基盤と 安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる
住みよい まち	4 市民が自らの役割と責任を担い 誰もが尊重され活躍できる住みよいまちをつくる
	5 すべての市民が健康で生きがいをもち 安心して暮らせるまちをつくる
	6 環境にやさしい 持続可能なまちをつくる
	7 災害・事故に強い 安全・安心なまちをつくる
生き活きと 働くまち	8 若者が希望を持てる 農林水産業のまちをつくる
	9 活力と魅力あふれる商工業が 発展しつづけるまちをつくる
	10 観光資源を磨き上げ おもてなしの心があふれる観光のまちをつくる
学び成長する まち	11 郷土の文化や歴史、自然を活かした 個性的で魅力あるまちをつくる
	12 健やかで自立心をもった 感性豊かな子どもを育むまちをつくる
	13 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを



		楽しむまちをつくる
【施策（政策をより具体的に表した取組内容）】		
政策	施策	
2	施策 4：地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる	
8	施策 27：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る	
	施策 28：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する	
	施策 29：農産物のブランド化と需要を拡大する	
	施策 30：農山漁村の生活環境を守る	
施策のうち、監査テーマである農林水産業にかかるもののみ抽出		

実施計画	
総合計画に示された体系に基づき実施する、具体的な事業計画であり、総合計画で定めたそれぞれの施策ごとの「事業の方向性」と「主要な事業」を定めている。	
【総合計画の施策と事業の方向性との関係】	
施策	事業の方向性
施策 4：地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる	里地・里山・里海の活性化
施策 27：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る	稲作農業の基盤強化 農業経営の複合化推進 若者や女性の就農促進
施策 28：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する	森林の保全と有効活用 漁業の推進・水産資源の確保
施策 29：農産物のブランド化と需要を拡大する	農産物のブランド化・6次産業化の推進 地産地消による食育の推進 農林水産物の販路拡大 新鮮な食品の安定供給
施策 30：農山漁村の生活環境を守る	農山漁村の基盤整備・保全 自然とふれあえる環境の提供 有害鳥獣対策の推進
事業の方向性のうち、監査テーマである農林水産業にかかるもののみ抽出	
【各事業の方向性における主要な事業】	

事業の方向性	主要な事業（事業内容）	数値目標								
施策4 里地・里山・里海の活性化	ア．里地・里山活性化事業（里地・里山における地域のコミュニティ維持、交流・定住人口の増加を目指す様々な取組の支援）	里地・里山活性化事業に取り組む集落又は地区の数(累計) <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>19集落・地区</td> </tr> </table>	平成27年度	令和3年度	-	19集落・地区				
平成27年度	令和3年度									
-	19集落・地区									
施策27 稲作農業の基盤強化	イ．担い手・農地総合対策事業（農業の円滑な経営継承や担い手の確保のため、「人・農地プラン」の作成、農地集積、集落営農の組織化・法人化等に対する支援）	集落営農組織等への農地集積率 <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>64.3%</td> <td>80.0%</td> </tr> </table>	平成27年度	令和3年度	64.3%	80.0%				
平成27年度	令和3年度									
64.3%	80.0%									
施策27 農業経営の複合化推進	ウ．園芸総合振興事業(農業者の育成、農業所得の維持・増加に向け、園芸生産に必要な施設・機械の導入に対する支援) エ．推奨品目育成支援事業(推奨品目の特産化を目指し、生産に取り組む農業者の支援) オ．砂丘地園芸産地育成事業（園芸産地再生のため、営農相談窓口を設置するとともに、ハウス等の整備に対する支援） カ．施設園芸普及拡大事業（園芸に取り組む生産農家の増加と農業所得向上のため、金福すいか、きゃろふく（サラダにんじん）などの特産化を進める）	園芸に取り組む経営体（担い手）の数 <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>104件</td> <td>174件</td> </tr> </table> （平成25年度からの累計） 生産推奨品目の作付面積 <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>97ha</td> <td>146ha</td> </tr> </table> （平成26年度からの累計）	平成27年度	令和3年度	104件	174件	平成27年度	令和3年度	97ha	146ha
平成27年度	令和3年度									
104件	174件									
平成27年度	令和3年度									
97ha	146ha									
施策27 若者や女性の就農促進	キ．未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト（農業産地の再生に向け、生産基盤の整備や人材の確保、大都市圏への販路開拓） ク．園芸技術研修施設整備事業（園芸農業の担い手を育成するため、新規就農者や複合経営を目指す農家を対象とした研修施設の整備）	新規就農者数 <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>19人</td> <td>49人</td> </tr> </table> （平成24年度からの累計）	平成27年度	令和3年度	19人	49人				
平成27年度	令和3年度									
19人	49人									

	ケ．新規就農者経営支援事業(地域農業の担い手を確保するため、新規就農者の支援)					
施策 28 森林の保全と有効活用	コ．林道整備事業（造林や保育管理に必要な林道の開設を行う）	森林組合の新規就業者数（林業新規就業者含む）				
	サ．林業水産業 U・I ターン促進事業（林業や水産業の U・I ターンによる定住就業を支援）	<table border="1"> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>23 人</td> <td>33 人</td> </tr> </table> <p>（平成 24 年度からの累計）</p>	平成 27 年度	令和 3 年度	23 人	33 人
	平成 27 年度	令和 3 年度				
23 人	33 人					
シ．間伐材資源有効利用促進事業（間伐材の有効利用を促進するため、間伐材の搬出に係る経費の支援）	<p>間伐面積（除伐面積含む）</p> <table border="1"> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>381ha</td> <td>400ha</td> </tr> </table>	平成 27 年度	令和 3 年度	381ha	400ha	
平成 27 年度	令和 3 年度					
381ha	400ha					
施策 28 漁業の推進・水産資源の確保	ス．つくり育てる漁業推進事業（漁業従事者の安定的な収入を確保するため、稚魚等の放流や養殖事業の研究・実践に対する支援）	<p>漁業新規就業者数</p> <table border="1"> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>5 人</td> <td>10 人</td> </tr> </table> <p>（平成 24 年度からの累計）</p>	平成 27 年度	令和 3 年度	5 人	10 人
	平成 27 年度	令和 3 年度				
	5 人	10 人				
	セ．水産環境整備事業（水産資源を拡大するため、海底耕耘や藻場造成を行う）	<p>小規模漁船漁業生産額</p> <table border="1"> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>92 百万円</td> <td>142 百万円</td> </tr> </table>	平成 27 年度	令和 3 年度	92 百万円	142 百万円
平成 27 年度	令和 3 年度					
92 百万円	142 百万円					
ソ．漁港整備事業（漁船の陸揚げ・係留等の作業や航行の安全を確保するため、漁港を整備する）						
サ．林業水産業 U・I ターン促進事業（上述）						
施策 29 農産物のブランド化・6 次産業化の推進	タ．園芸作物ブランド化事業（金福すいか、きゃろふく（サラダにんじん）など園芸作物のブランド化を進めるとともに、販路の拡大を図る）	<p>新たに 6 次産業に取り組む経営体数</p> <table border="1"> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>34 件</td> <td>54 件</td> </tr> </table> <p>（平成 16 年度からの累計）</p>	平成 27 年度	令和 3 年度	34 件	54 件
	平成 27 年度	令和 3 年度				
	34 件	54 件				
チ．6 次産業化普及促進事業（農林漁業者が生産だけでなく、加工・販売する取組を支援）	<p>地域ブランド品販売額</p> <table border="1"> <tr> <th>平成 27 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> <tr> <td>66 百万円</td> <td>127 百万円</td> </tr> </table>	平成 27 年度	令和 3 年度	66 百万円	127 百万円	
平成 27 年度	令和 3 年度					
66 百万円	127 百万円					
ツ．ごっつおさん亭施設維持補修事業（特産農産物の P R 拠点とするため、ごっつおさん亭の改修を行う）						

	キ．未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト（上述）					
施策 29 地産地消による食育の推進	テ．食育推進事業（地産地消を拡大することにより、食への関心を高め、健全な食習慣の定着を図る）	学校給食における市内産農産物の使用品目数 <table border="1"> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>令和 3 年度</td> </tr> <tr> <td>20 品目</td> <td>25 品目</td> </tr> </table>	平成 27 年度	令和 3 年度	20 品目	25 品目
平成 27 年度	令和 3 年度					
20 品目	25 品目					
施策 29 農林水産物の販路拡大	ト．水産物販売強化支援事業（水産物の販路開拓や消費拡大に関する取組の支援） キ．未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト（上述）	新たに販路開拓に取り組む事業者数（累計） <table border="1"> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>令和 3 年度</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>25 件</td> </tr> </table>	平成 27 年度	令和 3 年度	-	25 件
平成 27 年度	令和 3 年度					
-	25 件					
施策 29 新鮮な食品の安定供給	ナ．施設維持管理事業（市場内の老朽化した施設・設備を計画的に改修する）	市場の生鮮食料品取扱高 <table border="1"> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>令和 3 年度</td> </tr> <tr> <td>215 億円</td> <td>215 億円</td> </tr> </table>	平成 27 年度	令和 3 年度	215 億円	215 億円
平成 27 年度	令和 3 年度					
215 億円	215 億円					
施策 30 農山漁村の基盤整備・保全	ニ．農地多面的機能維持支援事業（国土や水資源の保全機能など農地が持つ多面的な機能を維持するために、地域住民が共同して行う農地の維持活動の支援） 又．市単独土地改良事業補助金（土地改良区、農家組合等が行う小規模な土地改良事業の支援） ネ．国営・県営土地会長事業負担金（国・県が行う各種土地改良事業に対し、その事業費の一部の負担） ノ．集落排水施設整備事業（集落の生活環境の改善を図るため、集落排水施設を整備する）	農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数（農家組合数） <table border="1"> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>令和 3 年度</td> </tr> <tr> <td>250 集落</td> <td>300 集落</td> </tr> </table> （平成 19 年度からの累計）	平成 27 年度	令和 3 年度	250 集落	300 集落
平成 27 年度	令和 3 年度					
250 集落	300 集落					
施策 30 自然とふれあえる環境の提供	ハ．小羽山整備事業（小羽山及び周辺地域の特色を活かし、自然と歴史にふれあえる森林公園の整備）	なし				

施策 30 有害鳥獣対策の推進	ヒ．有害鳥獣対策事業（有害鳥獣による生活被害や農作物への被害を防止するため、侵入防止柵の設置や有害鳥獣駆除の推進）	有害鳥獣による農作物の被害金額	
		平成 27 年度	令和 3 年度
		16,287 千円	10,500 千円

## 5．令和3年度農林水産部実施事業と第七次福井市総合計画との関係

上記4で記載している第七次福井市総合計画と令和3年度に実施している農林水産部の実施事業（本監査報告での対象事業）との関連性については、以下の通りとなっており、第七次福井市総合計画において実施が予定されている「主要な事業」は、令和3年度の農林水産部が実施するいずれかの事業と関連付けて事業展開されている。

なお、ク．園芸技術研修施設整備事業（園芸農業の担い手を育成するため、新規就農者や複合経営を目指す農家を対象とした研修施設の整備）とハ．小羽山整備事業（小羽山及び周辺地域の特色を活かし、自然と歴史にふれあえる森林公園の整備）については、第七次福井市総合計画において平成30年度までの事業として計画・実施されており、令和3年度での事業実施はない。

### （1）農政企画課

（単位：千円）

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額	主要な事業	
1	総合農政推進会議運営費	0	-		
2	農林水産業顕彰事業	0	9		
3	法令外負担金	0	734		
4	事務諸経費	58	722		
5	環境保全型農業直接支援対策事業	4,249	5,624		
6	野菜生産価格安定事業	0	548		
7	そば振興事業	0	2,993	タ	園芸作物ブランド化事業
8	園芸総合振興事業	156,476	214,503	ウ カ	園芸総合振興事業 施設園芸普及拡大事業
9	伝統の福井野菜支援事業	38	138	タ	園芸作物ブランド化事業
10	6次産業化普及促進事業	809	1,231	チ	6次産業化普及促進事業

11	砂丘地園芸産地育成事業	0	2,283	オ	砂丘地園芸産地育成事業
12	農林水産物「ふくいブランド」構築事業	0	12,650	タ	園芸作物ブランド化事業
13	未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト	15,983	17,827	エ キ	推奨品目育成支援事業 未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト
14	ふくいの農林水産物魅力PR動画作成事業	0	9,174	タ	園芸作物ブランド化事業
15	水田フル活用推進事業	700	10,620	イ	担い手・農地総合対策事業
16	数量調整円滑化推進事業	1,700	1,701	イ	担い手・農地総合対策事業
17	直接支払推進事業	11,400	11,400	イ	担い手・農地総合対策事業
18	担い手・農地総合対策事業	23,768	23,784	イ	担い手・農地総合対策事業
19	収入保険加入推進事業	0	5,990		
20	新規就農者支援事業	11,822	13,133	ケ	新規就農者経営支援事業
21	稲作総合支援事業	18,832	21,655	イ	担い手・農地総合対策事業
22	中山間地域等直接支払事業	39,838	53,702	ニ	農地多面的機能維持支援事業
23	地域農業サポート事業	11,540	15,195	イ	担い手・農地総合対策事業
24	里地・里山活性化事業	800	800	ア	里地・里山活性化事業
25	中山間地域農業支援事業	608	726		
26	農業振興資金利子補給金	32	369		
27	食育推進事業	422	1,759	テ	食育推進事業

28	いちほまれ等地元産米 学校給食推進事業	0	726	テ	食育推進事業
29	家畜防疫対策事業	0	200		
30	畜産振興総合対策事業	0	110		
31	長寿そば道場「ごっつ おさん亭」管理運営事 業	312	1,925	ツ	ごっつおさん亭施設 維持補修事業
32	農園施設「マイファーム 清水」管理運営事業	619	1,031		
33	農村活性化施設管理運 営事業	0	59		
34	ごっつおさん亭施設維 持補修事業	0	993	ツ	ごっつおさん亭施設 維持補修事業
35	ふくい農林水産物E Cサイト開設事業	0	17,789	タ	園芸作物ブランド化 事業
36	園芸・水稻育苗ハウス 雪害復旧支援事業	40,911	51,690		

(2) 林業水産課(有害鳥獣対策室含む)

(単位：千円)

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額		主要な事業
1	有害獣被害防止対策事 業	3,245	5,613	ヒ	有害鳥獣対策事業
2	有害獣捕獲推進事業	0	7,113	ヒ	有害鳥獣対策事業
3	捕獲有害獣処理対策事 業	14,551	21,888	ヒ	有害鳥獣対策事業
4	ジビエ普及推進事業	0	0	ヒ	有害鳥獣対策事業
5	鳥獣害対策連携事業	0	52	ヒ	有害鳥獣対策事業
6	未来へつなぐ福井の農 業活性化プロジェクト		3,466	サ ス	林業水産業 U・I タ ーン促進事業 つくり育てる漁業推 進事業
7	林業労働力安定確保対 策事業	800	1,043		
8	林業水産業 U・I ター ン促進事業(林業)	0	1,125	サ	林業水産業 U・I タ ーン促進事業
9	自伐林家育成事業	2,097	2,097		

10	林業経営体ステップアップ事業	15,035	15,035		
11	農林水産業緊急雇用支援事業	0	0		
12	林道補修事業	4,106	5,203	コ	林道整備事業
13	林道維持管理諸経費	780	14,934	コ	林道整備事業
14	林道橋梁点検診断事業	12,350	14,195	コ	林道整備事業
15	林道開設事業	45,383	46,346	コ	林道整備事業
16	県単林道事業	2,235	2,270		
17	間伐材資源有効利用促進事業	3,400	6,900	シ	間伐材資源有効利用促進事業
18	県単作業道等機能強化整備事業	1,404	3,089		
19	森林総合整備事業	11,133	19,300		
20	森林経営管理事業	23,769	23,769		
21	地域森林環境整備事業	6,120	6,120		
22	松くい虫被害対策事業	17,947	24,963		
23	有害鳥獣駆除対策事業	0	7,316	ヒ	有害鳥獣対策事業
24	みんなで取り組む鳥獣に負けない集落づくり事業	0	51	ヒ	有害鳥獣対策事業
25	森林組合強化育成貸付金	220,000	220,000		
26	森林・山村多面的機能発揮対策事業	158	2,191		
27	林業団体活動支援事業	0	444		
28	ふくいの森林の魅力発信事業	1,500	2,000		
29	木材産業競争力強化対策事業	6,253	6,253		
30	農山漁村再生可能エネルギー推進事業	0	107		
31	木質バイオマスエネルギー事業	0	0		
32	国見岳森林公園維持管理事業	12	5,291		



33	槇山公園維持管理事業	0	1,362		
34	リズムの森維持管理事業	660	15,536		
35	SSTらんど維持管理事業	3,091	11,903		
36	木ごころの森維持管理事業	0	673		
37	清水きららの森維持管理事業	364	364		
38	市行造林事業	17,585	18,320		
39	小規模荒廃地治山事業	4,035	4,216		
40	漁業団体等活動支援事業	0	585	ス	つくり育てる漁業推進事業
41	漁場保全支援事業	263	715		
42	こしの魚まつり支援事業	0	0		
43	栽培漁業推進支援事業	0	300	ス	つくり育てる漁業推進事業
44	沿岸漁業生産拡大推進事業	1,200	2,343	ス	つくり育てる漁業推進事業
45	漁業共済支援事業	0	585		
46	定置漁業振興支援事業	4,266	4,936		
47	漁業協同組合強化育成貸付金	100,000	100,000		
48	水産業緊急資金利子補給金	0	9		
49	ふれあいパークなぎさ公園維持管理事業	0	192		
50	水産物販売促進事業	9,900	10,108	ト	水産物販売強化支援事業
51	水産物ブランド化推進事業	0	238	ト	水産物販売強化支援事業
52	蒲生海岸維持管理事業	0	308		
53	漁港海岸漂着物対策事業	877	1,255		

54	林業水産業U・Iター ン促進事業（漁業）	0	1,691	サ	林業水産業 UI ター ン促進事業
55	ふれあいパークなぎさ 公園機能保全事業	5,400	5,691		
56	市単漁港整備事業	722	2,703	ソ	漁港整備事業
57	漁港施設機能保全復旧 事業	20,322	21,500	ソ	漁港整備事業
58	藻場造成事業	756	2,618	セ	水産環境整備事業
59	林道施設災害復旧事業	61,012	81,033		
60	山地災害復旧事業	2,900	4,510		
61	漁港施設災害復旧事業	4,343	4,428		

(3) 農村整備課

一般会計

(単位：千円)

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額		主要な事業
1	法令外負担金	0	1,730		
2	関連団体負担金	0	194		
3	土地改良区育成支援事 業	0	64		
4	地籍調査事業	5,085	6,782		
5	ふるさと水と土保全対 策事業	1	1		
6	多面的機能支払交付金	335,385	445,051	二	農地多面的機能維持 支援事業
7	事務諸経費	36	485		
8	県有土地改良施設管理 事業	1,679	8,525	ネ	国営・県営土地改良 事業負担金
9	農道補修事業	0	7,678	ネ	国営・県営土地改良 事業負担金
10	農道台帳整備事業	0	117	ネ	国営・県営土地改良 事業負担金
11	市有土地改良施設管理 事業	4,793	661	ネ	国営・県営土地改良 事業負担金
12	農地海岸保全事業	2,054	2,342	ネ	国営・県営土地改良 事業負担金

13	各種調査設計事業	0	1,551	又	市単独土地改良事業補助金
14	基幹農業用排水路維持管理事業	9,224	12,330	又	市単独土地改良事業補助金
15	広域・農免農道等補修事業	1,205	6,598	又	市単独土地改良事業補助金
16	県営土地改良事業補助金	0	85,274		
17	団体営土地改良事業補助金	0	4,643		
18	小規模県単事業補助金	3,200	4,239		
19	市単独土地改良事業補助金	0	25,000		
20	国営及び県営造成施設管理体制整備促進事業	10,085	17,303		
21	棚田地域保全基金活動支援事業	990	990		
22	県営土地改良事業負担金	58,900	82,299	ネ	国営・県営土地改良事業負担金
23	地域用水機能増進事業	0	5,911		
24	国営土地改良事業負担金	0	147,953	ネ	国営・県営土地改良事業負担金
25	一乗谷あさくら水の駅管理運営事業	4	12,066		
26	一乗谷あさくら水の駅機能強化事業	177	15,089		
27	排水機場管理運営費	2,066	11,457		
28	耕地排水対策支援事業	0	8,160		
29	維持管理適正化支援事業	0	3,700		
30	市維持管理適正化事業	3,150	5,280		
31	市単独耕地排水機場整備事業	10,000	18,949		
32	北陸新幹線建設整備事業	0	6,930		
33	農業施設災害復旧事業	39,900	139,912		

## 特別会計

(単位：千円)

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額		主要な事業
1	事務諸経費	18,909	32,562	ノ	集落排水施設整備事業
2	農業集落排水施設管理事業	191,113	204,129	ノ	集落排水施設整備事業
3	酒生東部地区機能強化事業	69,800	70,181	ノ	集落排水施設整備事業
4	下宇坂地区機能強化事業	20,300	21,098	ノ	集落排水施設整備事業
5	最適整備事業(補助)	6,207	6,215	ノ	集落排水施設整備事業
6	最適整備事業(単独)	0	12,062	ノ	集落排水施設整備事業
7	集落排水基金積立金	0	0	ノ	集落排水施設整備事業
8	農業集落排水市債償還元金	0	320,212	ノ	集落排水施設整備事業
9	林業集落排水市債償還元金	0	3,196	ノ	集落排水施設整備事業
10	漁業集落排水市債償還元金	0	11,465	ノ	集落排水施設整備事業
11	農業集落排水市債償還利子	0	63,210	ノ	集落排水施設整備事業
12	林業集落排水市債償還利子	0	541	ノ	集落排水施設整備事業
13	漁業集落排水市債償還利子	0	2,141	ノ	集落排水施設整備事業
14	予備費	0	0	ノ	集落排水施設整備事業
15	林業集落排水施設管理事業	2,161	3,166	ノ	集落排水施設整備事業
16	漁業集落排水施設管理事業	15,795	22,186	ノ	集落排水施設整備事業

## (4) 園芸センター

(単位：千円)

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額	主要な事業	
1	園芸総合振興事業	-	13,232	ウ	園芸総合振興事業
2	未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト	-	1,703	キ	未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト
3	園芸作業員報酬	0	16,629		
4	試験研究諸経費	5,633	4,568	工	推奨品目育成支援事業
5	園芸センター管理運営諸経費	60	14,515		
6	園芸振興推進事業	0	4,344	カ	施設園芸普及拡大事業
7	原種系水仙管理諸経費	0	79		
8	越前水仙振興事業	485	1,644	カ タ ヒ	施設園芸普及拡大事業 園芸作物ブランド化事業 有害鳥獣対策事業
9	園芸普及拡大事業	1,131	2,615	カ タ	施設園芸普及拡大事業 園芸作物ブランド化事業
10	さんりはまベジフルブラッシュアップ事業	-	4,729	タ	園芸作物ブランド化事業

## (5) 中央卸売市場

(単位：千円)

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額	主要な事業	
1	施設維持管理事業		206,115	ナ	施設維持管理事業
2	業務指導事業		16,806		
3	市場管理運営諸経費		13,060		
4	ガス事業譲渡後残務対応事業		-		
5	市場関係団体等負担金		23,634		
6	市場施設整備事業		3,597		

7	中央卸売市場活性化事業		-		
8	ふくい鮮いちば事業		594		
9	市場経営体質強化育成貸付金		303,641		
10	市債償還元金		34,870		
11	市債償還利子		3,294		
12	予備費		-		

(6) 農業委員会事務局

(単位：千円)

No.	中事業名	歳入決算額	歳出決算額	主要な事業	
1	農業委員報酬	2,013	17,026		
2	農業委員会運営事業	13	1,970		
3	法令外負担金		2,848		
4	農用地流動化奨励事業		400		
5	農地保有合理化事業	25	26		
6	市民菜園運営事業		39		
7	広報紙発行事業	55	187		
8	農業者年金受託事業		8		
9	農地台帳整備事業	1,041	1,992		
10	農地利用状況調査事業	1,529	1,661		

6. 第2次福井市農業活性化プランと第七次福井市総合計画との関係

福井市の農業分野における最上位計画として、令和2年度から令和6年度までの計画期間において遂行することとされている第2次福井市農業活性化プランにおける目標値は、以下の通りとなっている。なお、農林水産部実施事業の欄については、事業として行っているものの、指標として管理していないという場合は、事業名は記載していない。

施策の方向	基本施策	目標値		第七次福井市総合計画	農林水産部実施事業
園芸の推進	複合経営の推進	園芸に取り組む農業経営体（担い手）の割合		施策 27	園芸総合振興事業
	新規就農者の確保				
	園芸技術の向上	実績	目標値		
	園芸産地の再生	(H30)	(R6)		
	希少品種の維持	41%	50%		

		越前海岸地域における果樹栽培面積 <table border="1"> <tr> <td>実績 (H30)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>11ha</td> <td>17ha</td> </tr> </table>	実績 (H30)	目標値 (R6)	11ha	17ha	なし	未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト、さんりはまベジフルブラッシュアップ事業
実績 (H30)	目標値 (R6)							
11ha	17ha							
水田の汎用化	米の品質・安全性向上	転作田の有効活用率 <table border="1"> <tr> <td>実績 (H30)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>86.2%</td> <td>86.7%</td> </tr> </table>	実績 (H30)	目標値 (R6)	86.2%	86.7%	なし	なし
	実績 (H30)		目標値 (R6)					
	86.2%		86.7%					
	農地集積集約・法人化の推進							
水田フル活用								
畜産との連携								
流通販路の開拓	地産地消の推進	金福・銀福すいかの出荷に占める県外出荷の割合 <table border="1"> <tr> <td>実績 (H30)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	実績 (H30)	目標値 (R6)	20%	30%	なし	園芸振興推進事業、園芸普及拡大事業
	実績 (H30)		目標値 (R6)					
	20%		30%					
	大都市圏販路開拓							
海外販路開拓								
6次産業化の推進	農産物直売所などの販売額 <table border="1"> <tr> <td>実績 (H30)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>18.6億円</td> <td>22億円</td> </tr> </table>	実績 (H30)	目標値 (R6)	18.6億円	22億円	なし	なし	
実績 (H30)	目標値 (R6)							
18.6億円	22億円							
農地・農村環境の維持・活性	農地の保全、農業用施設の長寿命化	集落活性化・集落営農継続に取り組む中山間集落数 <table border="1"> <tr> <td>実績 (H30)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>10集落</td> </tr> </table>	実績 (H30)	目標値 (R6)	-	10集落	なし	なし
	実績 (H30)		目標値 (R6)					
	-		10集落					
	コミュニティビジネスの推進							
小規模園芸農業の推進								
担い手・後継者の確保	多面的機能支払交付金事業における広域活動組織設立数 <table border="1"> <tr> <td>実績 (H30)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> </table>	実績 (H30)	目標値 (R6)	なし	多面的機能支払交付金			
実績 (H30)	目標値 (R6)							

		-	5 団体		
	鳥獣被害防止対策	有害鳥獣の被害額		施策 30	有害獣被害防止対策事業、有害獣捕獲推進事業
		実績 (H30)	目標値 (R6)		
		1,375 百万円	830 万円		
スマート農業の推進	水田農業のスマート農業化	スマート農業導入経営体数		なし	園芸総合振興事業
	園芸農業のスマート農業化	実績 (H30)	目標値 (R6)		
	中山間地域農業のスマート農業化	-	5 経営体		
	スマート農業の啓発				

## 7. 福井市森林整備・林業成長産業化推進プランと第七次福井市総合計画との関係

福井市の森林・林業・木材産業等が目指す姿の実現に向け、令和3年度から令和7年度までの5年間に於いて取り組むべきこととされている福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける目標値は、以下の通りとなっている

基本方針	基本施策	目標値		第七次福井市総合計画	農林水産部実施事業
森林の多面的機能の強化	森林の整備	森林整備の実施面積（年間）		施策 28	森林総合整備事業（ただし、間伐面積以外の目標値はなし）
	森林の保全	実績（R2） 395ha	目標値（R7） 500ha		
	防災・減災のための施設整備等の推進	橋梁・トンネルの長寿命化対策済施設数（累計）		なし	林道橋梁点検診断事業
		実績（R2） 3箇所	目標値（R7） 7箇所		
担い手の確保	林業の担い手の確保・育成	林業の新規就業者数（累計）		施策 28	林業水産業U・Iターン



保・育成	特用林産物の生産者の確保・育成	実績 (R2)	目標値 (R7)		促進事業 (林業)
		37人	25人		
林業の成長産業化の推進	県産材・市産材供給体制の強化	木材生産量 (年間) (A材+B材+C材)		なし	間伐材資源有効利用促進事業 (ただし、間伐材搬出量が目標値となっている。A材B材C材の区分もされていない。)
		実績 (R2)	目標値 (R7)		
		34,901 m <sup>3</sup>	46,500 m <sup>3</sup>		
		製材用途の木材生産量 (A材) (年間)			
実績 (R2)	目標値 (R7)	なし	間伐材資源有効利用促進事業 (ただし、間伐材搬出量が目標値となっている。A材B材C材の区分もされていない。)		
1,202 m <sup>3</sup>	5,600 m <sup>3</sup>				
木材製品出荷量 (B材) (年間)					
実績 (R2)	目標値 (R7)				
	県産材・市産材の需要拡大	13,051 m <sup>3</sup>	23,800 m <sup>3</sup>	なし	間伐材資源有効利用促進事業 (ただし、間伐材搬出量が目標値となっている。A材B材C材の区分もされていない。)
		木質バイオマス燃料用木材供給量 (C材) (年間)			
		実績 (R2)	目標値 (R7)		
		20,648 m <sup>3</sup>	17,100 m <sup>3</sup>		
林内路網整備の推進		林内路網の整備延長 (累計)		なし	林道開設事業、県単作業道等機能強化整備事業
		実績 (R2)	目標値 (R7)		
	スマート林業の推進	339Km	350Km	なし	現状事業なし (なお、森林総合整備事業において森林境界の明確化に対し、

				ICT 技術加算の補助制度はあり)
	森林空間の利活用	イベント参加者数(累計)	なし	現状事業なし
		実績(R2)		
		13,477人	20,000人	
	特用林産物の産地化の推進	特用林産物の生産量(年間)	なし	現状事業なし
		実績(R2)		
		167t	180t	

## 8. 福井市水産業振興プランと第七次福井市総合計画との関係

福井市の水産業が目指す姿の実現に向け、令和3年度から令和7年度までの5年間において取り組むべきこととされている福井市水産業振興プランにおける目標値は、以下の通りとなっている。

基本方針	基本施策	目標値	第七次福井市総合計画	農林水産部実施事業
水産資源の維持と漁業所得向上	放流稚魚数	放流稚魚数(年間)	なし	栽培漁業推進支援事業(ただし、放流数が目標値となっている。)
		実績(R2)		
		3種	4種	
	養殖魚種数	養殖魚種数(年間)	なし	沿岸漁業生産拡大推進事業
		実績(R2)		
		3種	4種	
	スマート漁業を導入した漁業経営体数	漁業経営体数(累計)	なし	未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト
		実績(R2)		
		-	2経営体	

担い手の確保と受入体制の整備	新規就業者数	新規就業者数（累計） 実績（R2） 9人 目標値（R7） 7人 定置網漁業5人、底曳網漁業1人、小規模漁業1人	施策 28	林業水産業U・Iターン促進事業（漁業）
	漁船機器等更新件数	漁船機器等更新件数（累計） 実績（R2） 7件 目標値（R7） 7件	なし	定置漁業振興支援事業
	漁港施設の改修箇所数	改修箇所数（累計） 実績（R2） 2箇所 目標値（R7） 5箇所	なし	漁港施設機能保全復旧事業
地魚と漁村の魅力発信	学校給食や家庭科での地魚活用回数	活用回数（累計） 実績（R2） 0回 目標値（R7） 10回	なし	水産物販売促進事業（ただし、コロナ支援についての単年度事業である。）
	水産加工品の開発品目数	水産加工品開発品目数（累計） 実績（R2） 0品目 目標値（R7） 3品目	なし	現状事業なし
	ECサイトによる水産加工品の販売額	水産高品の販売額（年間） 実績（R2） 0円 目標値（R7） 2,000千円	なし	現状水産では事業なし

	体験活動数	体験活動数（累計）		なし	現状事業なし
		実績（R2）	目標値（R7）		
		6回	20回		

## 9. 農林水産部の数値目標に対する全般的な総括

福井市においては、第七次福井市総合計画を上位として、各個別の農林水産部の実施事業へのブレークダウンし、事業展開が行われている。そのため、実施事業が多岐にわたっている関係から、個別の事業だけでなく、複数の事業を組み合わせ、最終的な目標値の達成を目指している。その結果、最終的な数値目標が各個別の実施事業において、目標値として明確に設定され、運用されているのかどうかに客観的に把握することができない状況にある。

【意見】	数値目標の設定について
<p>第七次福井市総合計画、第2次福井市農業活性化プラン、福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン、福井市水産業振興プランで設定されている目標値について、各農林水産部が実施している事業における目標値として設定されているかどうかについて確認を実施したところ、以下の通りであった。</p> <p>第七次福井市総合計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれかの実施事業において対応がされていた。</li> </ul> <p>第2次福井市農業活性化プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転作田の有効活用率、農産物直売所などの販売額、集落活性化・集落営農継続に取り組む中山間集落数などの目標はそれぞれ、複数の実施事業において実現を目指しているものであり、また、実現のため、部局マネジメント等でより具体的な目標を掲げているが、実施事業では、直接、目標値を設定している事業がなかった。</li> </ul> <p>福井市森林整備・林業成長産業化推進プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備の実施面積が目標値として設定されているが、実施事業では間伐面積以外の目標値の設定はなかった。</li> <li>・A材+B材+C材の木材生産量、製材用途の木材生産量（A材）が目標値として設定されているが、実施事業では、間伐材搬出量が目標値となっており、またA材、B材、C材の区分がされていない。</li> <li>・木材製品出荷量（B材）、木質バイオマス燃料用木材供給量（C材）が目標値として設定されているが、実施事業では、間伐材搬出量が目標値となっており、またA材、B</li> </ul>	

材、C材の区分がされていない。

- ・イベント参加者数、特用林産物の生産量が目標値として設定されているが、該当する事業はなかった。

#### 福井市水産業振興プラン

- ・放流稚魚数が目標値として設定されているが、実施事業では、放流数が目標値として設定されていた。

- ・学校給食や家庭科での稚魚活用回数に関しては、活用回数が目標値として設定されているが、令和3年度の実施事業では、コロナ支援の単年度事業であった。

- ・水産加工品の販売額や、体験活動数が目標値として設定されているが、令和3年度の実施事業では設定はなかった。

各農業、林業、水産業で策定したプランは、第七次福井市総合計画、第8次総合計画をブレイクダウンして策定されたものであり、今後、福井市として事業展開をしていく指針である。当該指針において設計された目標値が達成できたかどうか、福井市の事業実績の評価となることから、本目標値について、農林水産部の各実施事業において、プランの実施期間において、每期フォローしていくことが重要であると考え。

そのため、各実施事業を設計する際には、各プランで設計された目標値を網羅的に含めるとともに、当該目標値の達成に向けた事業活動を行う形で、整理しておくことも重要と考える。

### 第3章 監査の結果

#### 1. 監査結果のまとめ

指摘及び意見の数は以下の通りである。

(単位：件)

No	監査項目	指摘	意見
-	農林水産部	0	1
2	農政企画課	0	23
3	林業水産課	4	38
4	有害鳥獣対策室(林業水産課)	0	4
5	農村整備課(一般会計)	4	5
6	農村整備課(集落排水特別会計)	2	1
7	園芸センター	0	8
8	中央卸売市場	1	5
9	農業委員会事務局	1	2
合計		12	87

なお、農林水産部における意見1件については、第2章監査対象の概要の「9. 農林水産部の数値目標に対する全般的な総括」P36～P37に記載している。

## 2. 農政企画課

### 2 - 1 . 総合農政推進会議運営費

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：総合農政推進費、中事業：総合農政推進会議運営費 (款：農林水産事費、項：農業費、目：農業総務費)
事業目的	農林水産振興に関する重要事項について、関係機関に意見を聴き、施策に反映することで、施策の適正化を図る。
事業内容	農林水産業の振興上、重要な事項について調査・審議する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市総合農政推進会議規則
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	昭和46年度
事業終了年度(予定)	未定

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当事業にて実施される総合農政推進会議は、各種計画等の調査審議を目的としており、年によって、審議する内容・開催回数が変わるため、目標値は設定していない。

##### 目的の達成状況

農林水産業に係る計画策定及び改訂等、農林水産業の振興に係る重要事項に関し、総合農政推進会議にて調査・審議し、意見を施策に反映させることで、施策の適正化を図った。
--

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-

決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	181	181	76
決算額（支出済額）	172	167	0
繰越額	-	-	-
不用額	9	14	76

#### 増減の理由

【令和2年度 令和3年度：予算額及び決算額の減額理由】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から、会議の開催数を減らしたため。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
01 報酬	0	委員報酬
合計	0	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

#### 7. 監査の結果と意見

特筆すべき事項はない。

## 2 - 2 . 農林水産業顕彰事業

### 1 . 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：総合農政推進費、中事業：農林水産業顕彰事業 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業総務費）
事業目的	福井市の農林水産業発展のため優れた取り組みを行っている団体や個人を顕彰・紹介することで、やる気と経営マインドにあふれ



	る農林水産業の推進・拡大を図る。
事業内容	福井市の農林水産業発展のため優れた取り組みを行い、意欲をもって、創意工夫を凝らした活動を行っている団体や個人を顕彰・紹介する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市農林水産奨励賞実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	
第八次福井市総合計画における位置づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	
事業開始年度	平成20年度
事業終了年度（予定）	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、福井市の農林水産業発展のため優れた取り組みを行っている団体や個人を顕彰・紹介することで、やる気と経営マインドにあふれる農林水産業の推進・拡大を図ることを目的としているが、基準を満たす対象者がいない場合は実施しないため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	15	15	15
決算額（支出済額）	7	11	9
繰越額	-	-	-
不用額	8	4	6

#### 増減の理由

該当なし。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	8	報償費
10 需用費	1	印刷製本費
合計	9	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

#### 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 2 - 3 . 法令外負担金

#### 1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：農業関係団体等負担金、中事業：法令外負担金 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業総務費）
事業目的	各種団体の事業の円滑化と組織強化を図る。
事業内容	各種団体への負担金を支出する。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計 画における位置づけ	
第八次福井市総合計 画における位置づけ	
第2次福井市農業活 性化プランにおける	

位置づけ	
事業開始年度	
事業終了年度（予定）	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、高志農業改良振興会及び福井そばルネッサンス推進実行委員会等各種団体への負担金を支出する内容であり、目標値を設定することが適さないため、目標値を設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	734	734	734
決算額（支出済額）	734	734	734
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

### 増減の理由

重要な増減なし。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	734	法令外負担金
合計	734	

## 6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト  
該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト  
歳出総額が少額のため省略。

7. 監査の結果と意見  
特記すべき事項はない。

## 2 - 4 . 事務諸経費

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：事務諸経費、中事業：事務諸経費 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業総務費)
事業目的	効率的な行政運営により市政の推進を図る。
事業内容	公用車整備、事務費等
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計 画における位置づけ	
第八次福井市総合計 画における位置づけ	
第2次福井市農業活 性化プランにおける 位置づけ	
事業開始年度	不明
事業終了年度(予 定)	未定

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

当事業は、公用車整備費など経常的な事務諸経費であるため、目標値は設定していない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	0	53	28

決算額（収入済額）	88	120	58
差額	88	67	30
<歳出>			
予算現額	1,162	1,096	836
決算額（支出済額）	793	731	722
繰越額	-	-	-
不用額	369	365	114

#### 増減の理由

令和元年度に、大町園芸研修施設用地にかかる行政財産目的外使用許可申請があったことにより、歳入が開始。令和3年度は、行政財産目的外使用許可申請にもとづく使用料総額が、令和2年度よりも少額であった。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
14 使用料及び手数料	58	大町園芸研修施設用地使用料
1 使用料		
合計	58	

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	372	消耗品費、燃料費、修繕料
11 役務費	5	手数料
12 委託料	194	委託料
13 使用料及び賃借料	143	賃貸借料
18 負担金、補助及び交付金	8	負担金
合計	722	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
14 使用料及び手数料	大町園芸研修施設用地使用料	58
1 使用料		

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 大町園芸研修施設用地について

大町園芸研修施設用地は、平成 29 年 7 月に、新規就農者のトレーニング施設の建設予定地として 20,290 千円で取得している。

一方、トレーニング施設については、平成 30 年 2 月の大雪の除雪費用の影響で、令和 5 年度財政再建計画終了まで建設計画は凍結となり、施設の建設は行われていない。

この土地については、令和 2 年度より、日本電設工業(株)及び(株)石徳が使用料を福井市に支払い、北陸新幹線の工事に伴う作業用地として使用している形となっている。

【意見】	大町園芸研修施設用地の有効活用について
<p>平成 29 年 7 月、新規就農者のトレーニング施設の建設予定地として取得した福井市大町 17 字の土地について、災害に伴う財政再建のために、取得目的通りの利用が行われておらず、有効に利用されているとはいえない状況である。また、財政再建計画終了まで、本計画は凍結されていることから、詳細な計画書等についても策定されていない。</p> <p>そのため、平成 29 年度に予定していた通り新規就農者のトレーニング施設を建設するのか、しないかの意思決定を行うとともに、建設しないのであればこの土地をどのように利用もしくは処分するのか、市としての方針とその計画を明確にする必要がある。</p>	

(現状)

<北エリア>

地番：福井市大町 17 字土窪 75 番、面積：445.35 m<sup>2</sup>、金額：2,137,680 円



<中央エリア>

地番：福井市大町 17 字土窪 76 番 1・2、77 番、面積：1,023.36 m<sup>2</sup>、金額：4,912,128 円



<南エリア>

地番：福井市大町 17 字土窪 78 番 1・2、79 番、80 番 1・2、面積：2,758.43 m<sup>2</sup>、金額：13,240,464 円



## 2 - 5 . 環境保全型農業直接支援対策事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：資源・環境対策事業、中事業：環境保全型農業直接支援対策事業(款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	農業を継続できる環境を整える
事業内容	農業生産に由来する環境負荷を軽減及び地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い有機農業などの推進
根拠法令等	-
実施要綱等	環境保全型農業直接支払交付金実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-

第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(2)基本施策 米の品質・安全性向上
事業開始年度	平成23年
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
環境保全型農業に取り組む団体数	20	20	13

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
環境保全型農業に取り組む団体数	20	13	11

### 目的の達成状況

交付要件が毎年変わるため、申請団体が減少し、令和2年、3年は目標が達成できなかった。
--

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	7,431	7,386	6,037
決算額(収入済額)	6,434	4,910	4,249
差額	997	2,476	1,788
<歳出>			
予算現額	9,830	9,700	8,000
決算額(支出済額)	8,537	6,504	5,624
繰越額			
不用額	1,293	3,196	2,376

### 増減の理由

重要な増減なし。
----------



4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	4,249	県補助金
合計	4,249	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	95	コピーカウント料
11 役務費	13	郵便料
13 使用料及び賃借料	19	レンタカー使用料
18 負担金、補助及び交付金	5,497	補助金
合計	5,624	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/4	環境保全型農業直接支援対策事業補助費（他臨）	振込管理（前金払・概算払）	令和3年度 環境保全型農業直接支援対策事業補助金	5,495

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 6 . 野菜生産価格安定事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：野菜生産価格安定事業 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費）
事業目的	生産価格の安値補填をすることで、農家の経営の安定を図る。
事業内容	補填金の資金を造成する協会に対し、負担金を支払う。
根拠法令等	

実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	
第八次福井市総合計画における位置づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	
事業開始年度	昭和53年度
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、補填金の資金を造成する協会等に対して、算定された負担金を支払う内容であり、目標値を設定することが適さないため、目標値を設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	1,000	998	954
決算額(支出済額)	208	-	548
繰越額	-	-	-
不用額	792	998	406

### 増減の理由

令和2年度は農産物価格が基準額を下回らず、補填の必要がなかったため負担金の拠出はなかった。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	548	負担金
合計	548	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2-7. そば振興事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：そば振興事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	連携中枢都市圏エリアで共通する在来種そばの認知度向上・消費拡大を図る
事業内容	在来種そばに関するプロモーション及び店舗周遊企画の実施 対象：主に首都圏など県外の20代後半から40代前半の女性層 [プロモーション] 著名人を活用したパンフレット、リーフレット、ポスター、PR動画等PR資材の作成・発信 [店舗周遊企画] インスタグラムキャンペーン、スマホdeスタンプラリー（福井県連携）
根拠法令等	
実施要綱等	ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする

づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：地産地消の推進、大都市圏販路開拓、 海外販路開拓
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度(予定)	令和5年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の「おいしい福井県産そば使用店」(県制度)をベースに展開している。店舗数増加などの目標値は県で設定されており、当事業として目標値は設定していない。

### 目的の達成状況

在来種そばの魅力を圏域内外で広く知ってもらうため、発信力のある「福井市食のPR大使」EXILE橘ケンチ氏を活用しながら、ポスターやパンフレット、リーフレット、PR動画を作成し、これまで県アンテナショップ、金沢駅、羽田空港、小松空港、圏域内主要文化観光施設、商業・宿泊施設など計88箇所に設置したほか、各市町の広報紙やメディア・WEBメディア・SNSなどで計635回(令和元年～3年累計)情報発信を行い、在来種そばの魅力を効果的に周知した。

あわせて圏域内そば店舗の利用促進として、インスタグラムキャンペーンを開催し延べ266件の応募があったほか、県と連携し、スランブラリーを開催し延べ3,357人の参加を得るなど、圏域内の周遊を促しながら在来種そばの消費拡大を促した。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	3,000	2,650	3,000
決算額(支出済額)	2,944	2,636	2,993
繰越額	-	-	-
不用額	56	14	7

増減の理由

重要な増減なし。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	2,143	在来種そばPR動画、リーフレット作成
18 負担金、補助金及び 交付金	850	ふくいそば Online 事業負担金（福井県連携）
合計	2,993	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	そば振興事業 事務諸経費 (臨)	(株)LDH J A P A N 代表取締役 森 雅貴	在来種そばプロモーション業務委託料	1,952

7．監査の結果と意見

（1）在来種そばプロモーション

当事業は、ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンにおける連携協約に基づき推進する具体的取組みである。

「福井市食のPR大使」等発信力ある著名人を活用しながら、県内及び県外の消費者に対しふくい嶺北連携中枢都市圏域内共通の特産品である「そば」の魅力を効果的に発信し、圏域内のそば店舗及び観光スポット等への周遊を促すことで、在来種そばの認知度向上や消費拡大を図ることを目的とし、令和3年度においては、(株)LDHに在来種そばプロモーション業務委託料として1,952千円の支出が行われている。

具体的な業務委託の内容は以下のとおりである。

業務委託内容	PR内容の詳細	PR実績
--------	---------	------

	そばPRリーフレットの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行：年2回</li> <li>・仕様：A4見開き4ページ</li> <li>・発行部数：計10,000部（5,000部×2回）</li> <li>・配布場所：各市町リーフレット掲載 そば店舗・えちぜん鉄道福井駅・金沢駅・福井市東京事務所・福井県東京及び大阪事務所・南青山291・食の國福井館・坂井市アンテナショップ・観光案内所など各市町観光文化関連施設</li> </ul>	設置箇所数：88箇所
	そばPR動画の作成・発信	<p>タイトル：橘ケンチのSAKEJAPAN</p> <p>内容：橘ケンチが福井でそば打ちに挑戦し、越前おろしそばと福井の地酒を紹介する動画</p> <p>テーマ：越前そば道場（福井市）花垣（大野市）</p> <p>配信：LDH JAPAN公式YouTubeチャンネル</p>	動画再生回数：6,763回
	SNSやWEB等各種メディアを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>）プレスリリース</li> <li>）LDH JAPAN公式HP</li> <li>）橘ケンチ Instagram・Twitter</li> <li>）高橋愛 Instagram・ストーリーズ</li> <li>）その他メディア</li> </ul>	発信回数：241回

【意見】	ふくい嶺北連携中枢都市圏での在来種そばプロモーションについて
<p>令和元年度において、ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンを策定し、福井市を圏域の中心市として地域の一体的かつ持続的な発展を図るため、福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市の7市と、永平寺町、池田町、南越前町、越前町の4町で構成する連携中枢都市圏の形成に取り組む中で、当在来種そばPR事業が実施されている。</p> <p>福井市の役割として、連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行うこと、事業実施に必要な費用を負担することとなっている。</p> <p>本事業において、福井市は、連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営をより積極的に実施していくことが求められているが、現状は、各地域のそば店舗に関して、そばPRリーフレットへの掲載及び動画撮影の協力のみにとどまっている。</p> <p>在来種そばを使ったおろしそばは、他で食べることができない福井の食の代表であ</p>	

り、認知度向上・消費拡大を図るために継続的にアピールしていくことは有用であると考え。PRに関して、発信力ある著名人を用いた動画を、より効果的に活用していくことが必要である。昨今のSNSの普及により、どのように媒体を利用するかで大きく効果が分かれるところである。連携市町で知恵を出し合い、より効果的なPR活動を実施していく必要があると考える。

また、一方で、そばの可能性を広めるチャレンジ、例えば在来種そばに関連して、おろしそば以外の、そば粉を使ったスイーツやガレットなど、新しい商品開拓があってもいいのではないかと。連携中枢都市圏エリアで共通する在来種そばの認知度向上・消費拡大を図るために、連携市町と協働し、「20代後半から40代前半の女性層」に対して注目度を高められるような取組を積極的に実施していくことを期待する。

## 2 - 8 . 園芸総合振興事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：園芸総合振興事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	本市の農業は、稲作を中心として発展してきたが、稲作より収益性の高い園芸を推進することで本市農業の振興を図る。
事業内容	園芸産地育成や水田園芸の拡大のため、園芸に新たに取り組む農家や規模拡大を図る園芸農家に対して、必要な農業機械・園芸施設等の整備・導入を支援する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市園芸総合振興事業
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望をもてる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(1)基本施策：複合経営の推進 園芸産地の再生 施策の方向(4)基本施策：小規模園芸農業の推進 施策の方向(5)基本施策：園芸農業のスマート農業化
事業開始年度	平成24年～
事業終了年度(予定)	令和5年度

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
--	-------	-------	-------

園芸に取り組む担い手数（実績）	154	164	174
スマート農業導入経営体数（実績）	-	1	1

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
園芸に取り組む担い手数（実績）	154	160	161
スマート農業導入経営体数（実績）	-	1	1

#### 目的の達成状況

<p>第2次福井市農業活性化プラン</p> <p>園芸に取り組む農業経営体の割合 41%（H30） 50%（R6の目標値）、R3の実績：46.9%</p> <p>スマート農業導入経営体数 5経営体（R6の目標値）</p>
--

#### 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	20,198	39,762	159,171
決算額（収入済額）	11,302	33,003	156,476
差額	8,896	6,759	2,695
<歳出>			
予算現額	22,480	43,474	240,663
決算額（支出済額）	12,403	35,702	214,503
繰越額			
不用額	10,077	7,772	26,160

#### 増減の理由

<p>令和元年度には、平成30年度に発生した雪害の園芸ハウス復旧や国庫事業を活用した大型の園芸ハウス（大畑町）の整備への補助など、県単事業を4件実施した。</p> <p>令和2年度は、県単事業を7件、国庫事業を1件実施し、園芸用のハウスの整備や機械の整備への補助を行った。</p> <p>令和3年度においては、国庫事業を活用した大型の園芸ハウス（佐野町）の整備への補</p>
---



助を実施した。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金 / 02 県補助金	135,000	スマート施設園芸拡大推進事業補助金
同上	21,476	園芸産地育成支援事業補助金
合計	156,476	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助金及び交付金	214,503	農機具や農業用ハウスの導入に係る経費補助
合計	214,503	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
16 県支出金 / 02 県補助金	スマート施設園芸拡大推進事業（園芸施設整備事業）補助金	135,000
16 県支出金 / 02 県補助金	園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）補助金	9,993
16 県支出金 / 02 県補助金	園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）補助金	5,617
16 県支出金 / 02 県補助金	園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）補助金	5,866

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/22	負担金、補助金及び交付金	福井県農業協同組合 代表理事組合長 富田 勇一	令和3年度福井市園芸総合振興事業（スマート施設園芸拡大推進事業）補助金	157,500
2022/3/22	負担金、補助金及び交付金	Ace corporation 株式会社 代表取締役 浅川 剛	令和3年度福井市園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）補助金	11,492

2022/3/15	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）事業補助金	6,746
2022/2/25	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）事業補助金	5,903
2022/1/25	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	3,000
2022/3/23	負担金、補助金及び交付金	Ace corporation 株式会社 代表取締役 浅川 剛	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	2,407
2022/2/15	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	2,350
2022/2/7	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	1,000
2021/12/15	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	687
2021/9/15	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市園芸総合振興事業（園芸産地育成支援事業）事業補助金	556
2022/1/17	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度園芸総合振興事業（ステップアップ事業）補助金	512
2021/10/15	負担金、補助金及び交付金	農事組合法人まくり生産組合 代表理事 小澤 信弘	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	457
2021/10/15	負担金、補助金及び交付金	農事組合法人ファーム元気 代表理事	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	457

		事組合長 竹内 天一		
2021/10/15	負担金、補助金及び交付金	農事組合法人 三西ファーム 代表理事 青山多実雄	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	457
2022/1/17	負担金、補助金及び交付金	個人名の為省略	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	400
2022/1/17	負担金、補助金及び交付金	株式会社堀内農産代表取締役 堀内浩徳	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	400
2022/1/17	負担金、補助金及び交付金	農事組合法人ファーマ 代表理事 長谷川 正和	令和3年度福井市スマート農業導入実証事業補助金	400

## 7. 監査の結果と意見

### (1) スマート農業導入実証事業

スマート農業導入実証事業においては以下のような事業内容となっている。

事業主体：認定農業者、認定新規就農者、営農集団

補助対象となる機械

ドローン、自動操舵システム、園芸施設の総合環境制御装置等の ICT 農業機械

1 事業主体あたりの補助金上限額

）ドローン・自動操舵システム：1,000 千円

）園芸施設の総合環境制御装置等：3,000 千円

補助率 1 / 2

要件

-ア) 事業主体が営農集団である場合、事業実施年度内に法人化計画を作成し、3年以内に法人化すること

-イ) 事業主体が3年以内に次の経営面積を確保することが確実であること。

中山間地域 15h a 以上

平地：30h a

【意見】	スマート農業導入実証事業の事後的な検証について
<p>交付要綱第7条において、補助金の交付にあたり、当事業の目的である機械導入による効率化と規模拡大についての実施計画書を、補助金交付申請書に添付することとなっている。これについて、計画どおりの規模拡大が行われているか否かの事後確認は、行</p>	

っていないとのことである。

スマート農業導入実証事業補助金により取得したドローン・自動操舵システム等の機械を導入したことによる、規模拡大に関して、計画書通り行われているか否かの事後的な確認を行うべきと考える。

また、もう一つの目的である効率化に関しては、数値計画は求められておらず、また、実際導入したことによる効果についての検証は行われていない。スマート農業機械を導入したことにより、導入する前と比較し、どのような工程でどれくらいどのような効果があったのか、例えば、工程ごとの標準作業時間等の削減に関して、客観的に検証することが、有用ではないかと考える。それらを客観的に検証することで、スマート農業機械の有効性を測定でき、かつ効率的なスマート農業機械の使用に役立つのではないかと考える。

## (2) 補助金要綱の作成

本事業のひとつの事業である「未来の農業を支える新規就農者応援事業」において、福井市は新規就農者生産拡大支援事業を実施している。本事業では、ビニールハウスの更新費について一棟当たり 2,500 千円を上限として、補助制度を策定・予算化している。しかしながら、当該補助金の要綱が作成されていない状況であった。

【意見】	補助金の要綱の作成について
補助金については補助事業等を実施する前提として必要なものであり、予算化されている場合には、事業展開する可能性もあることから、実際に、本補助金を実行することが決まるのを待つのではなく、事前に実施要綱を作成しておくことが必要と考える。	

## 2 - 9 . 伝統の福井野菜支援事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：伝統の福井野菜支援事業(款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	伝統野菜及び地域特産物の保存・維持を図る
事業内容	特殊な農法等により種の保存の継続が困難な伝統野菜や地域特産物を生産する団体に対し、種子確保、栽培技術の向上、地域住民による生産活動への支援を行う
根拠法令等	-
実施要綱等	(県)次世代へつなぐ伝統やさい支援事業補助金 (市)伝統野菜継承支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画	-

画における位置づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(1)基本施策：希少品種の維持
事業開始年度	平成24年度
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は本市の伝統野菜及び地域特産物の保存・再生を目的としているが、事業が複数にわたり一義的に目標値を設定することが困難であるという理由で、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	400
決算額(収入済額)	-	-	38
差額	-	-	362
<歳出>			
予算現額	100	100	500
決算額(支出済額)	100	100	138
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	362

### 増減の理由

令和3年度より、県単独補助事業(次世代へつなく伝統やさい支援事業)が開始されたため、予算増加。

令和3年度に補助要望があったものの、菜おけグループは最終的に申請がなく未執行。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	38	次世代へつなく伝統やさい支援事業補助金
合計	38	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	100	美山赤かぶら種子確保業務委託
18 負担金・補助及び交付金	38	次世代へつなぐ伝統やさい支援事業補助金
合計	138	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入総額が少額のため省略。

（2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 10 . 6次産業化普及促進事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：6次産業化普及促進事業（款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費）
事業目的	農林漁業者の経営多角化（6次産業化）による農業所得の向上
事業内容	6次産業化に取り組む経営体への支援及び内容の案内、関係機関を通じた事業の周知（県単・市単）
根拠法令等	地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（六次産業化・地産地消法）
実施要綱等	県：6次産業化推進事業（ハード支援）実施要領 市：6次産業化普及促進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向（3）基本施策：6次産業化の推進

事業開始年度	平成 25 年度
事業終了年度（予定）	未定

## 2．事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
新たに 6 次産業に取り組む経営体数 [ 累計 ]	50	52	54

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
新たに 6 次産業に取り組む経営体数 [ 累計 ]	50	52	54

### 目的の達成状況

支援内容の案内や周知により目標を達成。今後も支援制度の周知により取組事業者の拡大に取り組む。

## 3．歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	-	2,800	1,900
決算額（収入済額）	-	1,900	809
差額	-	900	1,091
< 歳出 >			
予算現額	900	3,250	2,635
決算額（支出済額）	294	2,200	1,231
繰越額	0	0	0
不用額	606	1,050	1,404

### 増減の理由

令和元年度は、市単独補助の申請が 2 件。令和 2 年度は、県単独補助の申請が 1 件、市単独補助の申請が 1 件。令和 3 年度は、県単独補助の申請が 1 件、市単独補助の申請が 1 件であった。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
6 次産業化推進事業補助金	809	三里浜オリーブ生産組合分（県単）
合計	809	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	1,231	三里浜オリーブ生産組合（県単：加工施設改修）、葛のほっぺ（市単：ラベル発行機、シール機、業務用冷凍庫）
合計	1,231	

## 6. サンプルテスト

## （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

## （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/15	6 次産業化普及促進事業補助費（他臨）	三里浜オリーブ生産組合 組合長 村嶋 哲郎	6 次産業化普及促進事業補助金	931
2021/9/6	6 次産業化普及促進事業補助費（他臨）	個人名のため省略	令和3年度6次産業化普及促進事業	300

## 7. 監査の結果と意見

## （1）補助事業における消費税の取り扱いについて

福井市が作成している6次産業化普及促進事業補助金交付要綱を確認したところ、交付申請書の提出時における当該補助金に係る仕入れにかかる消費税等相当額に関する取扱いが明記されていなかった。

<b>【意見】</b>	補助要綱における消費税仕入控除税額の処理の記載について
現状、6次産業化普及促進事業においては、交付申請段階で、消費税は補助対象経費から除外する運用をとっているため、実運用上において、補助事業者に対して補助する金額の計算においては、問題は生じていないと考える。	



しかし、補助事業において支払う消費税を補助対象として計上する場合には、補助金に係る仕入控除税額が発生する可能性があるため、消費税の確定申告において仕入控除税額が明らかとなった場合、当該補助金に係る仕入控除税額を報告し、補助金を返還してもらうことが必要となる。

実際の運用のための、当該補助対象経費に係る消費税等の取り扱いについての基本方針は補助金の交付要綱において明記しておくことは、補助金を支出する側にとっても、また、補助対象事業者にとっても処理方法を明確化し、お互いの認識の齟齬をなくすうえで、重要と考える。

そのため、6次産業化普及促進事業補助金交付要綱に、原則として、交付申請書の補助金申請額の算定段階において、消費税は補助対象経費から除外して補助金額を算定し、交付申請書を提出する旨を記載する必要がある。例外的に、申請時に仕入控除税額が明らかになっていない場合は、消費税を含む額で交付申請することが可能であるが、これについても、交付要綱に記載することが必要である。

## 2-11. 砂丘地園芸産地育成事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：砂丘地園芸産地育成事業(款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	県内でも有数の園芸産地である三里浜砂丘地の園芸振興。
事業内容	坂井市やJA等と三里浜砂丘地センターを設置し、関係団体と協働して産地確立と活性化を目指す。また、オリーブ等の三里浜の特産品の生産振興を図る。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望をもてる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(1)基本施策：新規就農者の確保
事業開始年度	平成27年度
事業終了年度(予定)	未定

### 2. 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
三里浜砂丘地の未耕作地面積	60.0ha	60.0ha	60.0ha

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
三里浜砂丘地の未耕作地面積	58.2ha	60.1ha	61.5ha

#### 目的の達成状況

令和2年度・3年度については、未達成となっている。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	1,844	8,241	2,531
決算額(支出済額)	1,831	7,550	2,283
繰越額	-	-	-
不用額	13	691	248

#### 増減の理由

令和2年度には「三里浜ドリームプロジェクト」と銘打ち、全国的に事例のない砂丘地でのオリーブ栽培をPRするために、摘み取り体験などの市民協働の取組やオリーブ栽培のための資材の購入、三里浜オリーブの新規商品開発等に取り組んだ。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
7 報償費	44	オリーブの加工に対する指導料

12 委託料	100	三里浜地区で開催する収穫祭でのPR委託
18 負担金、補助及び交付金	2,139	三里浜砂丘地営農推進協議会負担金
合計	2,283	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 三里浜砂丘地における事業推進について

福井市は令和3年度に、三里浜砂丘地農業支援センター運営負担金として、人件費30%（坂井市70%）及び、三里浜砂丘地営農推進協議会の事務費6%（坂井市14%他JA）事業推進費20%（坂井市20%他JA）の計2,139千円の負担金を支出している。

これは、坂井市やJA花咲ふくい・JA福井市と共に、三里浜砂丘地センターを設置し、関係団体と協働して産地確立と活性化を目指し、また、オリーブ等の三里浜の特産品の生産振興を図る目的で拠出している負担金である。

福井県園芸カレッジにおいては、三里浜砂丘地での新規就農者に里親支援を行い、三里浜砂丘地での新規就農者の育成を推進しているが、福井市における三里浜新規就農実績は、過去5年間で4名、令和2年度3年度の2年間では0名とのことである。

また、「未来へつなぐ福井の農業活性化事業」の意見に記載したとおり、オリーブ生産事業の実施主体である三里浜オリーブ生産組合が策定した「事業計画書（三里浜オリーブ庭園の創設）」の、令和3年度の販売目標に対して、販売実績は目標を大きく下回り、また、事業計画書における令和3年度から5年度の3年間の損益計画において初年度を除き営業利益赤字を見込んでいる。

【意見】	三里浜砂丘地における事業推進について
<p>福井市として三里浜砂丘地農業支援センター運営負担金として毎年支出があるにもかかわらず、令和2年度及び3年度の三里浜砂丘地の新規就農者は0名であった点について、費用対効果が見合っているのかどうかについて、十分に検討することが必要と考える。</p> <p>福井市における新規就農者は増加しているものの、三里浜での就農者は減少傾向であり、また、高齢化も進んでいる。そのような中、新規産業であるオリーブ事業を立ち上げ、軌道に乗せようと尽力されているが、将来的に継続していきだけの人的な資源の確</p>	

保が可能なのかどうかという視点でも、引き続き、三里浜砂丘地農業支援センターとの連携と密に図り、福井市にとっても実りある効果を出せるように働きかけを行っていくことが必要である。

## 2 - 1 2 . 農林水産物「ふくいブランド」構築事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：農林水産物「ふくいブランド」構築事業(款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	連携中枢都市圏のスケールメリットを活かした情報発信力の強化による圏域内農林水産物・加工品の認知度向上及び販路拡大
事業内容	圏域内農林水産物・加工品の認知度向上及び販路拡大に関するプロモーション [越前ふくいマルシェ(地産地消・販路拡大)]圏域内の旬の農林水産物をPR・販売するマルシェの開催 [量販店等での圏域野菜PRイベント(地産地消・販路拡大)]福福館や生協など量販店等での圏域野菜PRイベントの開催 [首都圏市場ふくいブランド発信(食の魅力発信・認知度向上)]発信力ある事業者と連携したメディアミックスによる情報発信・イベントの実施 [首都圏飲食店フェア(販路拡大)]首都圏飲食店での圏域内食材を使用した限定メニューの提供イベントの開催とそれに伴う営業活動の実施 [バイヤー・メディア支援(販路拡大)]圏域内食材に興味・関心のあるバイヤー等へのサンプル提供・営業活動の実施 [海外市場ふくいブランド発信(食の魅力発信・販路拡大)]
根拠法令等	
実施要綱等	ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：地産地消の推進、大都市圏販路開拓、 海外販路開拓
事業開始年度	平成28年度～未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト 令和元年度～農林水産物「ふくいブランド」構築事業

事業終了年度（予定）	令和5年（継続予定）
------------	------------

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新たに販路開拓に取り組む事業者数[累計]	15	20	25

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新たに販路開拓に取り組む事業者数[累計]	15	20	30

### 目的の達成状況

圏域内の農林水産物をはじめとする特産品の販売拡大・地産地消推進の取組として、「越前ふくいマルシェ」や「量販店等での圏域野菜PRイベント」、「首都圏・海外市場ふくいブランド発信」、「首都圏飲食店フェア」、「バイヤー・メディア支援」に取り組んだ。「越前ふくいマルシェ」は、これまでハピリンやアップルロードなどで計5回開催し、圏域内の生産者等延べ117団体参加と述べ17,600名の来場者があり大変盛況であった。「量販店等での圏域野菜PRイベント」では、これまで福井市観光物産館やハーツなどで計34回開催し、圏域内の45品目の特産品をPR販売した。

また、「首都圏ふくいブランド発信」では、発信力のある「福井市食のPR大使」EXILE 橘ケンチ氏を活用したイベントを展開し、これまでメディア・WEBメディア・SNSなどで計692回効果的に情報発信を行い、福井の食の魅力の周知を図ることができた。「首都圏飲食店フェア」では、これまで計3回開催し、首都圏の飲食店延べ281店で特産品がメニュー化されるなど販売拡大に繋がった。「バイヤー・メディア支援」では、これまでバイヤーや飲食店、メディアなど73事業者の招聘やサンプル提供を行い商談の機会を提供した。また「海外市場ふくいブランド発信」では、沖縄県と連携し、これまで計10回延べ70事業者に海外商談の機会を提供した。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-

差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	18,000	7,466	13,615
決算額（支出済額）	15,868	6,525	12,650
繰越額	-	-	-
不用額	2,132	941	965

#### 増減の理由

令和 2 年度：新型コロナウイルス感染症の影響により、越前福井マルシェ予算凍結のため

#### 4．歳入の内訳（令和 3 年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和 3 年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
08 旅費	162	首都圏飲食店フェア・首都圏市場ふくいブランド発信営業活動、事業者打合せなど
10 需要費	141	首都圏飲食店フェア営業用ノベルティ（ちびほまれ）、首都圏飲食店フェアインスタグラム景品（嶺北特産品）など
11 役務費	21	上記ノベルティ・景品発送
12 委託料	12,326	越前ふくいマルシェ運営委託、越前福井の食プロモーション（首都圏市場ふくいブランド発信）運営委託、市産直 EC サイト PR 業務など
合計	12,650	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額

2022/1/17	委託料 その他の委託料	福井エフエム放送 (株) 代表取締役 社長 堀 謙	越前ふくいマルシェ 2021 企画運営業務委託料	4,840
2022/4/15	委託料 その他の委託料	(株) LDH J A P A N 代表取締役 森 雅貴	越前福井の食プロモーション業務委託料	4,235

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 目標値の設定

2. 事業目的の達成状況に記載のとおり、当事業の目標値を「新たに販路開拓に取り組む事業者数[累計]」としている。

当事業は、ふくい嶺北連携中枢都市圏のスケールメリットを活かした情報発信力の強化による圏域内農林水産物・加工品の認知度向上及び販路拡大を目的として、以下の事業を行っている。

- ・「越前ふくいマルシェ」
- ・「量販店等での圏域野菜PRイベント」
- ・「首都圏・海外市場ふくいブランド発信」
- ・「首都圏飲食店フェア」
- ・「パイヤー・メディア支援」

<b>【意見】</b>	<b>事業内容それぞれに応じた目標の設定と共有について</b>
<p>事業内容それぞれに応じた目標を設定することが必要と考える。</p> <p>より有効な事業実施を行う上では、事業目的を果たすための手段である事業内容ごとに、適切な目標を検討・設定したうえで、委託先と目標を共有し、目標の達成に責任をもって業務を遂行する必要がある。それぞれの事業ごとの実施にあたり、数値目標を設定し、委託先または、出店者とその目標を共有することで、目標達成に向けて活動していく段階で生じた問題点や、イベント等終了後のフィードバック・次に向けての課題等、事業実施がより有用なものとなると考える。</p> <p>目標値として、例えば、「越前ふくいマルシェ」については、目標イベント来場者数・目標出店数・目標売上金額をはじめ、一店舗当たり目標販売額、一人当たり目標購入額等が考えられる。</p>	

### (2) イベント広報活動

首都圏飲食店において、11月限定で開催しているGO宴フェアに関しては、平成28年より市が開始した事業であるが、その後は県が主体となって事業を実施、広報活動およびキャンペーンを行っている。令和3年度参加店舗数は76店舗を超えるイベントとなっているが、飲食店への来店促進企画としてのキャンペーン結果をみると、応募者総数61名であっ

た。応募者の利用した店舗を見ると、一店舗が 30%を超えており、広報活動に関して有効性、効率性、経済性が確保されているとは言い難い。

また、越前ふくいマルシェ 2021 企画運営業務委託料の内訳をみると、計 5 回のマルシェ開催共通費として、宣伝広告一式 1,000 千円が計上されている。内容は「20 秒 CM100 本、番組内告知 10 回、WEB、LINE」となっている。一方、開催後の来場者アンケートの結果では、来場動機として、ポスター・チラシを見て来場したという理由が最も多かった。

【意見】	イベントの広報活動について
<p>キャンペーン実施結果及びアンケート結果をふまえた上で、より有効かつ効率的・経済的な広報活動を再考し実施していく必要があると考える。</p> <p>GO 宴フェアに関しては、首都圏飲食店の参加店舗数が 100 店を超えるイベントとなっている状況であり、より有効で効率的な広報活動を考える上では、参加店舗に関して、例えば、新規参加店舗と継続参加店舗、もしくは予算 10,000 円以上の店舗とそれ以外の店舗等、なんらかの基準で参加店舗を分類しグルーピングを行った上で、それぞれのグループに応じて、より有効かつ効果的なイベント・キャンペーン内容にすることも、有効かつ効率的な広報活動の観点から有用ではないかと考える。</p> <p>越前ふくいマルシェについては、例えばふくい嶺北連携中枢都市圏の各市に、ポスターの掲載を依頼する等、ふくい嶺北連携中枢都市圏のスケールメリットを活かした、より有効かつ効率的・経済的な周知方法について再考していくことが必要と考える。</p>	

### (3) 三里浜オリーブのプロモーション業務委託について

令和 3 年度に三里浜オリーブに関連したプロモーションを 462 千円かけて行っているが、オリーブが当初予定約 700kg に対して 165kg しか収穫できず、予定していたオリーブのボトル商品が 30 個 (150ml/本) しか製造できない結果となった (オイル生産量でいくと、予定では 45 の生産予定が 8 の生産と 5 分の 1 近い水準となってしまった)。なお、当該ボトル商品の EC サイトでの販売の募集期間 (令和 4 年 3 月 1 日~6 日) における新規ユーザー数は 1,852 人、ページビュー 7,352 回、応募人数 493 件という周知状況であった。

【意見】	プロモーションのタイミングについて
<p>消費者が買いたくても買うことができない状況でプロモーションを行っても、消費者が、商品を購入できる状況でなければ、そのプロモーション活動の一部の目的しか達成することはできないと考える。プロモーションにより、商品を知ってもらい、さらに、使ってもらうことで、次につながるところを目指していかなければ、一時的な PR 支出となりかねない。</p> <p>まずはオリーブの安定的な生産体制と商品の製造・販売の安定化を図っていく必要がある。そのうえで、三里浜オリーブの生産・収穫状況に応じて、関連するプロモーション</p>	



ンを検討・実施すべきと考える。

## 2 - 13 . 未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	農林水産物、加工品等の販路拡大や生産量増加並びに地域商社設立
事業内容	特産品開発、特産品生産拡大、生産推奨品目の種苗支援、新規就農者支援、特産品販路開拓、地域商社設立準備
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市まち・ひと・しごと創生推進計画(ふくいブランドと越前海岸の魅力により稼ぐ農業・漁業実現プロジェクト)
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望の持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(1)基本施策：園芸産地の再生、新規就農者の確保 施策の方向(3)基本施策：大都市圏販路開拓
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規就農者数	-	-	49人
地域ブランド品販売額	-	-	127百万円

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規就農者数	-	-	72人
地域ブランド品販売額	-	-	135百万円

## 目的の達成状況

プレーヤーの発掘のために新規就農者向け体験イベントを開催し、育成のために農林水産物の栽培技術向上や経営感覚醸成を目的に研修を実施した。さらに、福井市ブランド化戦略掲載の農林水産物について、ブランド化に向けた品質向上やPRを図り、農林水産物、加工品等の販路拡大や生産量増加に繋げた。また本市農林水産物等について売れる・儲かる仕組みをつくるため、地域商社等連絡協議会を設置し、設立に向けた検討を行った。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	9,155	13,398	16,472
決算額(収入済額)	8,084	4,559	15,983
差額	1,071	8,839	489
<歳出>			
予算現額	14,213	22,213	20,922
決算額(支出済額)	11,912	5,486	17,827
繰越額			
不用額	2,301	16,727	3,095

## 増減の理由

### 【令和元年度 令和2年度の減額理由】

令和元年度に行った地域商社設立検討に係るコア人材招聘委託等を行わなかったため。

### 【令和2年度 令和3年度の増額理由】

ECサイト管理運営業務委託が新たに加わったため。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
15 国庫支出金	13,983	地方創生推進交付金
02 国庫補助金		
18 寄附金	2,000	企業版ふるさと納税
01 寄附金		
合計	15,983	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
---	-----	------

07 報償費	45	イベントへの参加謝礼
08 旅費	39	イベント参加のための職員出張旅費
10 需用費 修繕料	198	地域商社準備室修繕
12 委託料	9,855	E Cサイト管理運営
13 使用料及び賃借料	127	イベント出展料
18 負担金、補助及び交付金	7,563	オリーブ加工機械導入補助
合計	17,827	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
国庫補助金	農業費補助金 地方創生推進交付金	13,983

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	委託料 その他の委託料	(株)福井新聞社 代表取締役社長 吉田 真士	令和3年度福井市農林水産物等販売E Cサイト「ふくいさん」運営業務委託料	8,800
2021/12/6	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	三里浜オリーブ生産組合 組合長 村嶋 哲郎	令和3年度福井市海岸地域園芸振興事業(生産基盤整備事業)	4,104

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 事業の中長期ビジョンに沿った目標設定

「2. 事業目的の達成状況」に記載のとおり、当事業の目標について、「新規就農者数」「地域ブランド品販売額」の2項目を設定している。

【意見】	事業の中長期ビジョンに沿った目標値の見直しと数値目標の細分化について
この目標値については、「未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト」の各々の事業を包括した数値目標である。「未来へつなぐ福井の農業活性化」を目的として各課で推進されている事業を包括した数値目標とは別に、当プロジェクトを構成する個々の事業内容ごとに、個別具体的な数値目標を設定することも必要である。	

その上で、個々の事業内容ごとの目標値について、年度ごとに実績値を測定集計し、目標及び実績を分析勘案した上で、事業の見直し、新たな目標を更新していくことが、より効果的な事業の実施につながると考える。

(2) 三里浜オリーブ事業の中長期計画の見直し

三里浜オリーブについて、以下のとおり、「事業計画書(三里浜オリーブ庭園の創設)」にて設定した令和3年度の販売目標に対して、販売実績は目標を大きく下回り、達成率は著しく低い状況である。当初予定していたオリーブの生産量が確保できず、予定通りの商品が製造できなかったことが要因とのことである。

<令和3年度目標と実績>

「事業計画書(三里浜オリーブ庭園の創設)」

「事業内容」「6.栽培・加工・販売計画」金額目標と、販売実績及び達成率

令和3年度	販売目標 (千円)	販売実績 (千円)	達成率
オリーブオイル	1,350	10	0.7%
オリーブ塩漬け	1,500	21	1.4%
オリーブ茶	-	486	-
合計	2,850	517	18.1%

<3か年計画>

「事業計画書(三里浜オリーブ庭園の創設)」「数値計画」「2.損益計画」より抜粋

(単位:千円)

項目	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)
売上高	2,850	4,300	7,160
売上原価	1,960	4,200	7,000
売上総利益	890	100	160
販売費及び 一般管理費	4,570	2,520	2,920
営業利益	3,680	2,420	2,760
営業外損益	4,150	150	50
経常利益	470	2,270	2,710

【意見】 三里浜オリーブ事業計画の見直し及び事業の推進について

三里浜オリーブ事業に関しては、短期的な視点では評価できないものの、令和3年度の実績は目標値を大きく下回り、また、令和4年度以降も事業計画においては赤字事業となっている。未来に向けた農業活性化として、オリーブ事業を育てていくためには、

将来的に黒字事業にしていくことが必要であると考える。

そのためには、何をどのように取り組む必要があるのか、再設定した目標の達成に向け、三里浜オリーブ生産組合をはじめ、市や県、他の産地の情報、有識者の意見などの協力を得て、オリーブの安定的な生産と製造、販路の確保・拡大を行い、オリーブ商品で利益の獲得が実現可能な事業にするため、5年や10年といった中長期的な事業計画を再考し、福井市の一農業ビジネスとして成功していくための目標を再確認することが必要である。そのうえで、計画に基づいた継続的な取り組みを行うべきである。

また、毎年、計画と実績の比較と原因分析及び翌期以降の計画の見直しの必要性を検討するとともに、状況に応じて、適時適切な意思決定を行うことができるように、福井市として事業を継続するか否かの意思決定の判断基準を設定することも必要ではないかと考える。

### (3) ECサイト「ふくいさん」周知の目標設定と取り組み

ECサイト「ふくいさん」開設後の、令和3年10月から令和4年3月までのエリア別会員・購入者・発送先については以下のとおりである。

	エリア別発送先		エリア別会員		エリア別購入者	
	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)
福井県	242	51.0	228	62.0	305	64.1
福井県外	232	49.0	140	38.0	171	35.9
合計	474	100.0	368	100.0	476	100.0

これを見ると、発送先別では、発送先の約半分が福井県内であり、会員・購入者別では、会員・購入者全体の約6割が福井県内である。

<b>【意見】</b>	ECサイト「ふくいさん」の県外向けの販売増加に向けた周知の目標設定と取り組みについて
ECサイトは、地域を限定することなく福井県内を超えて広範囲に農産物を販売することを実現可能にするための販売形態である。数値目標の一つとして、県外の会員数や県外の購入者数など、福井県外に向けた販売額向上に関する項目を設定し、委託先と共有するとともに目標実現に向けて周知活動を実施することが必要である。 具体的には、SNSを用いて継続的に情報発信する、全国を対象にした媒体にECサイトの広告を掲載する等、多方面から多様なツールを用いた広告で周知を図り、県外への販売を伸ばしていくよう継続的な取り組みが必要と考える。	

(4) ECサイト「ふくいさん」の中長期的な計画策定

本ECサイト「ふくいさん」の収支の状況については、以下の通りである。

<令和3年10月から令和4年3月までの収支に関する情報>

収支の状況

(単位：千円)

2022年 10～3月	収入	費用			利益
		商品代金	配送費	各種手数料	
合計	2,783	1,742	346	416	280

販売の状況

(単位：円)

年月	売上額	一店舗当たり売上額*1	一商品当たり売上額*2
2021年10月	357,559	8,939	4,158
2021年11月	262,295	6,557	3,050
2021年12月	816,385	20,410	9,493
2022年1月	324,240	8,106	3,770
2022年2月	622,403	15,560	7,237
2022年3月	400,234	10,006	4,654
合計	2,783,116	69,578	32,362

\*1 令和3年度3月31日時点の出展者数(団体：累計)40を元に算定(小数点以下四捨五入)

\*2 令和3年度3月31日時点の登録商品数(品：累計)86を元に算定(小数点以下四捨五入)

ECサイトに係る委託料

項目	金額(千円)
ECサイト「ふくいさん」サイト構築業務委託料	17,788
ECサイト「ふくいさん」委託料(2021/9/29～2022/3/31)	8,800
合計	26,588

<b>【意見】</b>	ECサイト「ふくいさん」継続運用にむけた中長期的計画の策定について
<p>本ECサイトを活用した事業の目標としては、当事業の事業目的及び「未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト」の事業目的に掲げている、生産者の「情報発信や新規顧客獲得、販路開拓」また、「販路拡大と生産量増加」であろう。この事業目的を達成するためには、生産者が、将来にわたって継続的かつ安定的にECサイトを利用できるよう当ECサイト事業を、継続的に運用可能な状況にする必要がある。</p>	

そのうえで、どのような状況が、当ECサイト事業が継続的に運用可能となるだろうかと考えたときに、一つの考えとしては、現状のECサイト「ふくいさん」の運用による収入によって、当サイトの運用に係る費用をまかなえる状態、すなわちECサイトの収支が黒字化できれば、継続的なサイトの運営が可能となるであろう。

また、別の考えとしては、現状ECサイトで取り扱っている農産物について、ふくい嶺北連携中枢都市圏での農産物を加え、各連携市町との協働により、継続的なサイトの運営の可能性も見いださうと考える。

現状では、ECサイトの委託先への委託料も加味すると大幅な赤字事業となっており、ECサイトの投資額の回収も十分にできない状況である。ECサイトの投資額の回収に加え、継続的な運用を可能とし、福井市の農家の販路開拓等を継続的に支援していくためには、黒字化に向けた活動目標を設定し、また、中長期的な数値計画を策定し、委託先及び各生産者等のECサイトに関わる関係者間で共有し、目標達成に向けて各々が一体となって事業を推進していくことが必要である。

さらに、毎年、計画と実績の比較と原因分析及び翌期以降の計画の見直しの必要性を検討するとともに、状況に応じて、適時適切な意思決定を行うことができるよう、福井市として事業を継続するか否かの意思決定の判断基準を設定することも必要ではないかと考える。

#### (5) ECサイト「ふくいさん」運用の位置づけ

本ECサイト「ふくいさん」の運営が令和3年9月29日より開始されているが、開設当初は、地域商社の物販部門の先行事業としてスタートしていたとのことである。現時点において、開設当初の位置づけのような運用をしていくのかどうかの方向性が確定していない。

【意見】	ECサイト「ふくいさん」運用の位置づけの明確化について
<p>地域商社のECサイトとして運用するのか、そうでないのであれば、どのような運用を行っていくのか明確になっていない状況である。ECサイト開設運用開始後に、将来に向けたECサイト運用の方向性が明確に決まっていない状況は、事業推進にかかる前提が整っていない状況といえる。</p> <p>関係団体と協議・合意の上、福井市としてECサイトをどう運用していくか、ECサイトの位置づけと今後の方向性を明確にする必要がある。</p>	

## 2-14. ふくいの農林水産物魅力PR動画作成事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：ふくいの農林水産物魅力PR動画作成事業(款：農林水産業費、項：農業費、目：
------------------	--

	農業振興費)
事業目的	福井の農林水産物の魅力をオンライン上で市内外に発信することにより、消費拡大を図る
事業内容	生産現場を訪問するなど地元生産者との交流を通して食材等の魅力を発信する動画の作成。あわせて市内小中学生の学校給食時間で活用する動画の作成
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：地産地消の推進、大都市圏販路開拓、 海外販路開拓
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により消費が停滞した本市の農林水産物に関し、その魅力を改めて発信し消費を促進するため、本市の農林水産物の魅力を発信する動画を作成することを事業内容とする単年度の補正予算事業であるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	-	-	9,210
決算額(支出済額)	-	-	9,174
繰越額	-	-	-



不用額	-	-	36
-----	---	---	----

増減の理由

当年度のみのものである。
--------------

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	9,174	PR動画作成（市産直ECサイト用・学校給食用：オープニング、金福すいか、定置網、二番せり、越前がに、三里浜オリーブオイル、越のルビー）など
合計	9,174	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	委託料 その他委託料	（株）LDH JAPAN 代表取締役 森 雅貴	ふくいの食の魅力PR動画作成業務委託料	9,174

7. 監査の結果と意見

（1）ふくいの食の魅力PR動画の有効利用

本事業は、上述の通り、新型コロナウイルス感染症の影響により消費が停滞した本市の農林水産物に関し、その魅力を改めて発信し消費を促進するための、本市の農林水産物の魅力を発信する動画を作成することである。

そのうえで、本事業で作成されたPR動画の掲載場所は、以下となっているとのことである。

- ・ECサイト「ふくいさん」の特集ページ
- ・学校給食時間に視聴（市内小学校51校、中学校24校）
- ・Instagram「ふくとそば」トップページにリンク（フォロワー約1,800人）
- ・委託先の公式YouTubeサイト

【意見】	P R 動画の効果的な利用方法について
<p>ECサイト「ふくいさん」の特集ページ等で動画が掲載されているということであるが、対象の動画を効率的に見つけ出すことができず、また、インスタのフォロワーも約1,800人と少なく、P R 動画の再生回数も少なく、本動画が効果的に利用されているとはいえない状況と考えられる。</p> <p>より効果的な利用方法として、HP上の掲載場所を工夫する、首都圏で開催しているP R イベント時にモニターで映像を流す等、アピールするために、最も効果的な場所にP R 動画を配置することや、多様なP R 動画の利用方法について引き続き検討する必要がある。</p> <p>また、2024年春の北陸新幹線福井開業に向けたプロモーションとして、福井市の他の課においても、動画を作成されており、北陸新幹線開業に向けた福井市の公式YouTubeサイトが作られている。福井市の魅力を発信するための観光P Rには、食の魅力は包括されると考えられる。課を超えて、福井市の魅力を伝えるために作成した動画を一元化すること等を含め、P R 動画を、ふくいの食をより広く一般に周知していくため有効利用することについて再考する必要がある。</p>	

## 2 - 15 . 水田フル活用推進事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：米政策改革対策事業、中事業：水田フル活用推進事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	不作付地の解消を推進及び水田の有効活用
事業内容	<p>生産調整推進事業：米の生産数量の目安に基づいて、農家組合及び農業協同組合が行う農業者間及び集落間における数量調整等の活動に対する事業</p> <p>地力向上作物推進事業：地力向上を図るため、緑肥作物の作付に対する事業</p> <p>園芸作物生産拡大推進事業：水田を活用した園芸作物の作付に対する事業</p> <p>不作付地解消推進事業：不作付地を解消し、経営耕地面積を拡大するため、農業者が取り組む不作付地への単作そば(夏そばも含む。)生産推奨品目、新規需要米等の作付に対する事業</p> <p>水田利活用地域活性化事業：景観作物の栽培や農業体験等、地域活性化に資する取組を実施した圃場及び作付に要する経費を支援する事業</p>
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市水田フル活用推進事業補助金交付要綱

第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(2)基本施策：水田フル活用
事業開始年度	平成16年度 福井市水田農業構造改革対策事業 平成27年度 水田フル活用推進事業
事業終了年度(予定)	令和5年度

## 2. 事業目的の達成状況

目標値となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	600	700	700
差額	-600	-700	-700
<歳出>			
予算現額	11,900	12,287	11,550
決算額(支出済額)	10,337	11,402	10,620
繰越額	-	-	-
不用額	1,563	885	930

### 増減の理由

重要な増減なし。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
22市債/01市債	700	農業振興整備事業債
合計	700	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	10,620	補助金
合計	10,620	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井県農業協同組合 福井基幹支店 支店 長 小川 久美雄	令和3年度福井 市水田フル活用 推進事業	3,404
2021/12/15	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	農事組合法人コスモ スファーム 代表理 事 中川 義忠	令和3年度福井 市水田フル活用 推進事業	3,132
2021/12/15	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井県農業(協同) 福井基幹支店 支店 長 小川 久美雄	令和3年度福井 市水田フル活用 推進事業	2,956
2021/12/15	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	御所垣内ファーム 代表 五十嵐 勝彦	令和3年度福井 市水田フル活用 推進事業	671
2021/12/15	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井県農業協同組合 丹生ふれあいセンタ ー 営農部 代表 廣部 義博	令和3年度福井 市水田フル活用 推進事業	269
2022/3/25	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井県農業協同組合 丹生ふれあいセンタ ー 営農部 代表 廣部 義博	令和3年度福井 市水田フル活用 推進事業	185

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 目標値の設定

当事業に関して、2. 事業目的の達成状況に記載の通り、事業の成果を測定する指標は設定されていない。事業内容としては、不作付地の解消を推進及び水田の有効活用を目的として、以下の事業を実施している。

- ・生産調整推進事業
- ・地力向上作物推進事業
- ・園芸作物生産拡大推進事業
- ・不作付地解消推進事業
- ・水田利活用地域活性化事業

【意見】	事業内容ごとの目標値の設定について
<p>第七次福井市総合計画、第2次福井市農業活性化プラン等における指標を管理している事業に該当しないため、目標値は設定されていないものの、不作付地を解消し、水田を有効に活用していくという事業に照らして、個々の事業内容ごとに、個別具体的に目安となる目標値を設定することも、事業全体の成果を向上させるために有用と考える。</p>	

## 2 - 16 . 数量調整円滑化推進事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：米政策改革対策事業、中事業：数量調整円滑化推進事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	米政策改革大綱に基づく、米穀の生産数量目標の配分及び米の需給調整対策の円滑な実施
事業内容	水田の現地確認及び米の生産数量目標の確定に要する事務等経費
根拠法令等	主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成16年度
事業終了年度(予定)	未定

### 2 . 事業目的の達成状況

当事業は、米政策改革大綱に基づく米穀の需給調整の実施状況を確認することが目的であるため、目標値となる指標は定めていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,755	1,767	1,711
決算額(収入済額)	1,748	1,718	1,700
差額	7	49	11
<歳出>			
予算現額	1,755	1,767	1,711
決算額(支出済額)	1,749	1,719	1,701
繰越額	-	-	-
不用額	6	48	10

#### 増減の理由

該当なし。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	1,700	県事業補助金
合計	1,700	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	1,071	コピーカウント料、レンタカーガソリン代
12 委託料	305	データ出力業務委託
13 使用料及び賃借料	325	レンタカー借上げ料
合計	1,701	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

#### (2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

### 7. 監査の結果と意見

#### (1) 農業委員会との連携

農業委員会においては、農地法の規定に基づき、農地の継続的な利用促進を図ることを目的として、毎年 1 回、管内の全農地の利用状況について調査が実施されている（農地利用状況調査事業）。

一方、当事業においては、米政策改革大綱に基づく、米穀の需給調整が確実に実施されていることを確認することを目的として、福井市全域を対象に水田の現地確認を行っている。

【意見】	現地調査の効率的な実施について
<p>農業委員会における農地の利用調査と、農政企画課における水田の現地確認は、それぞれ、根拠法令、目的、実施時期等は相違するものの、福井市全域の農地を対象とした利用調査を行っていることには変わらない。</p> <p>農業委員会事務局と農政企画課が連携して利用調査を行う、または農地台帳および水田システムの情報を共有する等により、現在行っている調査について、より効率的に実施することができないか検討していくことが必要と考える。</p>	

## 2 - 17 . 直接支払推進事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：米政策改革対策事業、中事業：直接支払推進事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	農業所得の確保、食料自給率の向上
事業内容	経営所得安定対策の実施に必要な推進活動や要件確認に必要な経費を助成する。
根拠法令等	-
実施要綱等	経営所得安定対策直接支払推進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(1)基本施策： 複合経営の推進 施策の方向(2)基本施策： 畜産との連携
事業開始年度	平成 23 年 戸別所得補償制度推進事業 平成 26 年 直接支払推進事業
事業終了年度(予定)	未定

### 2 . 事業目的の達成状況

当事業は、経営所得安定対策直接支払推進事業補助金の交付主体となる福井市地域農業再生協議会への経費補助であり、目標値となる指標は定めていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	13,340	13,500	12,480
決算額(収入済額)	11,768	11,060	11,400
差額	1,572	2,440	1,080
<歳出>			
予算現額	13,340	13,500	12,480
決算額(支出済額)	11,768	11,060	11,400
繰越額			
不用額	1,572	2,440	1,080

増減の理由

該当なし。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	11,400	県事業補助金
合計		

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	11,400	補助金
合計	11,400	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

#### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
-----	----	-----	----	-------



2021/5/17	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井市地域農業再生 協議会 会長 清水 拓	令和3年度直接 支払推進事業補 助金	8,000
2021/11/15	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井市地域農業再生 協議会 会長 清水 拓	令和3年度直接 支払推進事業補 助金	3,000
2022/3/7	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	福井市地域農業再生 協議会 会長 清水 拓	令和3年度直接 支払推進事業補 助金	400

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 2 - 18 . 担い手・農地総合対策事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：米政策改革対策事業、中事業：担い手・農地総合対策事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	今後の農業の担い手を確保するとともに、担い手への農地の集積・集約化を促進する。
事業内容	各集落の話合いにより「人・農地プラン」の作成・見直しを進め、今後の集落を担う経営体を確保する。 また、農地中間管理事業の推進により農地貸付を積極的に促し、担い手(認定農業者、集落営農組織、認定新規就農者)への集積・集約化を進めていく。
根拠法令等	-
実施要綱等	(国)農地集積・集約化対策事業実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望をもてる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(2)基本施策：農地集積集約・法人化の推進
事業開始年度	平成26年度
事業終了年度(予)	令和5年度

定)	
----	--

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

#### 担い手への農地集積率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
担い手への農地集積率	80.0%	80.0%	80.0%

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
担い手への農地集積率	73.9%	76.3%	76.4%

### 目的の達成状況

農地集積率については、農地中間管理機構などへの貸付けの動きが一段落したことから集積が伸び悩んでいる状況である。今後は耕作条件の不利な中山間地などでの集積が課題となっている。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	48,744	45,850	49,661
決算額(収入済額)	15,841	23,690	23,768
差額	32,903	22,160	25,893
<歳出>			
予算現額	48,744	45,850	49,661
決算額(支出済額)	15,842	23,690	23,784
繰越額			
不用額	32,902	22,160	25,877

### 増減の理由

令和元年度の決算額においては、前後の年度に比べ集積する農家数が少なく、集積協力の交付が少なかったため。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
6 農林水産業費/1 農業費	23,403	国費
6 農林水産業費/1 農業費	365	返還金

合計	23,768	
----	--------	--

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
7 報償費	16	会議出席委員への報償費
18 負担金、補助及び交付金	23,404	経営転換協力金、地域集積協力金
22 償還金、利子及び割引料	365	補助金の返還金
合計	23,784	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	負担金、補助及び 交付金 其他 の補助金	清水山上農家組合 組合長 三上 雅克	令和3年度地 域集積協力金	11,618
2022/3/15	負担金、補助及び 交付金 其他 の補助金	擬制相手方債主（振 込管理）	令和3年度地 域集積協力金	9,678
2022/3/25	負担金、補助及び 交付金 其他 の補助金	三十八社町農家組合 組合長 松川 巖	令和3年度地 域集積協力金	2,107
2022/3/29	負担金、補助及び 交付金 其他 の補助金	擬制相手方債主（振 込管理） 73180再 支出分	令和3年度地 域集積協力金	97

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 19. 収入保険加入推進事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大 事業：米政策改革対策事業、中 事業：収入保険加入推進事業 ( 款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
------------------	---

事業目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少するおそれのある農業者の経営安定を図る
事業内容	収入保険加入者が負担する保険料の一部を補助する。
根拠法令等	-
実施要綱等	農業者収入保険加入推進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により経営不安になった農家に対する臨時的措置であるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額			
< 歳出 >			
予算現額	-	-	6,775
決算額（支出済額）	-	-	5,990
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	785

### 増減の理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少するおそれのある農業者の経営安定を図る必要があるため、令和3年度より開始。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	5,990	収入保険加入補助金
合計	5,990	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/15	負担金、補助 及び交付金 その他の補助 金	福井県農業共 済組合 組合 長理事 岡田 高大	令和3年度 農業 者収入保険加入推 進事業補助金	5,990

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 20. 新規就農者支援事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：担い手育成推進事業、中事業：新規就農者支援事業 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費）
事業目的	県外からの新規就農者の呼び込みや、就農直前の経営を支援する 資金の交付を行うことで、本市の新たな農業の担い手の確保を図 る。
事業内容	県外からの新規就農者の受け入れや、農業経営を行う上で必要と なる資金に対して奨励金を給付する。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計 画における位置づけ	政策：若者が希望をもてる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(1)基本施策：新規就農者の確保 施策の方向(4)基本施策：小規模園芸の推進、担い手・後継者の確保
事業開始年度	平成6年度
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農業への新規就業者数(単位：経営体)	10	10	10

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農業への新規就業者数(単位：経営体)	6	7	9

### 目的の達成状況

目標値にはわずかに届かなかった。今後は、産地への就農強化に向けて、受け入れ態勢の整備を行う予定。
--

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	25,725	19,182	13,132
決算額(収入済額)	22,799	17,832	11,822
差額	2,926	1,350	1,310
<歳出>			
予算現額	29,900	21,811	20,785
決算額(支出済額)	26,174	19,862	13,133
繰越額			
不用額	3,726	1,949	7,652

### 増減の理由

数年にわたり交付していた補助金が、令和2年度に完了したため。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
6 農林水産業費/1 農業費	11,260	国費
6 農林水産業費/1 農業費	562	県費
合計	11,822	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
7 報償費	30	新規就農希望者見学ツアーの講師への謝礼
18 負担金、補助及び交付金	13,103	新規就農者への給付金
合計	13,133	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/8/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	1,125
2022/3/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	1,125
2022/3/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	1,000
2021/8/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	750
2021/8/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	750
2021/9/27	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	750
2021/12/27	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	750

2022/3/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	750
2021/9/27	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	729
2022/3/7	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	729
2021/8/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	723
2021/12/27	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	723
2021/8/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	677
2021/12/27	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度農業次 世代人材投資資金	677
2022/1/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度福井市 新規就農者経営支 援事業（就農奨励 金）	562
2022/4/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名の為 省略	令和3年度福井市 新規就農者経営支 援事業（就農奨励 金）	562

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 目標値の設定について

「2. 事業目的の達成状況」に記載のとおり、「農業への新規就業者数」としている。

当事業の目的は、「県外からの新規就農者の呼び込みや、就農直前の経営を支援する資金の交付を行うことで、本市の新たな農業の担い手の確保を図る」とあるように、新規就農者の支援を通じて、継続的に農業の担い手となってもらうことである。

<b>【意見】</b>	目標値の設定「定着率」について
目標値について、現状の「農業への新規就業者数」に加え、「農業への新規就業者の定着率」についても目標値として設定し、目標値に向けた取り組みを実施することが、事業目的を達成するためには必要と考える。	

### (2) 福井市新規就農者経営支援事業補助金交付要綱の更新



福井市新規就農者経営支援事業補助金交付要綱に、現在は実施していない事業や、他の事業で実施している事業の記載が掲載されたままであり、見直しが実施されていなかった。

【意見】	要綱の適時更新について
補助金交付要綱については、事業内容に変更があった場合には適時更新を行い、事業実態に即したものに整備することが必要である。	

## 2 - 2 1 . 稲作総合支援事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：担い手育成推進事業、中事業：稲作総合支援事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	産地や農業従事者の育成
事業内容	施設や農業機械等の整備を支援する
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市稲作総合支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(5)基本施策：水田農業のスマート農業化
事業開始年度	平成29年度 担い手(稲作)条件整備事業 令和2年度 福井市稲作総合支援事業
事業終了年度(予定)	令和6年

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
担い手への集積率	80.0%	80.0%	80.0%

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
担い手への集積率	73.9%	76.3%	76.4%

#### 目的の達成状況

農地集積率については、農地中間管理機構などへの貸付けの動きが一段落したことから集積が伸び悩んでいる状況。今後は耕作条件の不利な中山間地などでの集積が課題となっている。引き続き支援を継続し集約を進める。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	5,353	42,364	34,564
決算額(収入済額)	3,733	36,966	18,832
差額	1,620	5,398	15,732
<歳出>			
予算現額	6,156	47,669	29,386
決算額(支出済額)	4,293	42,778	21,655
繰越額			0
不用額	1,863	4,891	7,731

#### 増減の理由

年度ごとに担い手の支援要望を受け審査し決定される。年度ごとに対象者数及び対象事業費に増減が生じるため。

##### 【対象者数】

R1：1件、R2：7件、R3：5件

##### 【事業費】

R1：17,344(千円)、R2：113,850(千円)、R3：84,537(千円)

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	18,832	県事業補助金
合計	18,832	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	21,655	補助金
合計	21,665	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/15	18負担金、補助及び交付金	農事組合法人 すげ笠の里 代表理事 前田 和幸	令和3年度福井市稲作総合支援事業補助金	10,273
2021/12/27	18負担金、補助及び交付金	個人のため省略	令和3年度福井市稲作総合支援事業補助金	3,939
2022/3/7	18負担金、補助及び交付金	個人のため省略	令和3年度福井市稲作総合支援事業補助金	3,821
2022/3/25	18負担金、補助及び交付金	個人のため省略	令和3年度福井市稲作総合支援事業補助金	3,622

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 2-22. 中山間地域等直接支払事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：地域振興対策事業、中事業：中山間地域等直接支払事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域において、農業生産の維持及び多面的機能の確保を図る。
事業内容	傾斜農地等、生産条件の不利な中山間農地耕作者に対し、平地との生産経費の格差を補填することにより耕作放棄の防止を図り、多面的機能の維持・増進を図る。
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
実施要綱等	福井市中山間地域等直接支払交付金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	-

第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：農地の保全、農業用施設の長寿命化
事業開始年度	平成12年度
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、中山間地域等における農業生産活動の維持を目的としており、集落協定数の維持を目標としているが、制度上、集落協定における5年間の農業生産活動の継続を前提として交付金を交付しているため、当事業として目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	43,048	52,729	41,017
決算額(収入済額)	42,168	39,657	39,838
差額	880	13,072	1,179
<歳出>			
予算現額	57,800	70,700	55,258
決算額(支出済額)	56,896	53,488	53,702
繰越額	-	-	-
不用額	904	17,212	1,556

### 増減の理由

重要な増減なし。
----------

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	39,838	交付金(国・県負担分)
合計	39,838	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	360	事務費(消耗品費)

11 役務費	30	事務費（郵便料）
12 委託料	229	測量業務委託
13 使用料及び賃借料	61	レンタカー代
18 負担金、補助及び交付金	53,022	交付金
合計	53,702	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/6	負担金、補助 及び交付金 その他の補助 金	振込管理（前 金払・概算 払）	令和3年度中山間 地域等直接支払交 付金	53,021

うち、本堂集落 1,665 千円についてサンプルテストを実施した。

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 2-23. 地域農業サポート事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：地域振興対策事業、中事業：地域農業サポート事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	後継者不足や高齢化に伴う耕作放棄を防止し、水田環境の保全や農業生産の維持を図る。
事業内容	福井市地域農業サポートセンターが窓口となり、20a未満の小区画農地で作業受託したアグリサポーターに対して支援する。
根拠法令等	-
実施要綱等	中山間総合対策支援事業実施要領(県) 福井市地域農業サポート事業補助金交付要綱(市)
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望の持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する

第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(2)基本施策：農地集積集約・法人化の推進
事業開始年度	平成20年度
事業終了年度(予定)	令和8年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
アグリサポーター数	126人	126人	130人
補助対象総面積	25,200a	23,760a	23,895a

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
アグリサポーター数	126人	128人	130人
補助対象総面積	18,717a	22,523a	22,774a

### 目的の達成状況

農地の集積が困難な中山間地域、都市近郊地域の小区画農地を対象に、地域農業サポートセンターが農作業を支援することで、耕作放棄を防止し、水田環境の保全や農業生産の維持を図った。
--

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	14,052	10,967	11,576
決算額(収入済額)	3,589	10,946	11,540
差額	10,463	21	36
<歳出>			
予算現額	17,700	16,900	17,600
決算額(支出済額)	7,299	14,593	15,195
繰越額	-	-	-
不用額	10,401	2,307	2,405

### 増減の理由

令和元年度は年度途中に知事選が行われた為、年度当初から県知事が決まるまでの間の事業が、県に認定されず、当初見込んでいた県からの歳入額が大幅に減額した。歳出も同様に減額となった。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金	11,540	地域農業サポート事業補助金
02 県補助金		
合計	11,540	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	15,195	サポートセンター運営補助、農作業受託補助
合計	15,195	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/2/15	地域農業サポート事業補助費（他臨）	福井市地域農業サポートセンター 代表 藤田 嘉裕	令和3年度福井市地域農業サポート事業補助金	11,275
2021/5/6	地域農業サポート事業補助費（他臨）	福井市地域農業サポートセンター 代表 藤田 嘉裕	令和3年度福井市地域農業サポート事業補助金	1,960
2021/9/15	地域農業サポート事業補助費（他臨）	福井市地域農業サポートセンター 代表 藤田 嘉裕	令和3年度福井市地域農業サポート事業補助金	1,960

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 2 - 2 4 . 里地・里山活性化事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：地域振興対策事業、中事業：里地・里山活性化事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	里地・里山地域の農林水産業の振興を図るための取り組みを支援すること
事業内容	里地・里山の活性化を図るため、地域一体での取り組みを支援する。
根拠法令等	-
実施要綱等	里地・里山活性化事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：地域の特色を活かし魅力で活力のあるまちをつくる 施策：地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：09 未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：36 農地・農村の環境を守り活性化を図る
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(4)基本施策： コミュニティビジネスの推進
事業開始年度	平成28年度
事業終了年度(予定)	未定

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規に事業に取り組む集落又は地区の数 (累計)	13	16	19

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規に事業に取り組む集落又は地区の数 (累計)	14	18	18



## 目的の達成状況

令和3年度においては、目標19に対して実績18であり、未達成となった。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	6,350	2,900	400
決算額(収入済額)	1,016	1,582	800
差額	5,334	1,318	-400
<歳出>			
予算現額	2,060	5,800	800
決算額(支出済額)	1,879	3,564	800
繰越額	-	-	-
不用額	181	2,236	0

### 増減の理由

本事業は各地区の事業要望に応じて実施されるため、年によって要望地区の数に変動がある。令和元年度は、比較的小型の事業が多かったが、令和2年度は農家レストラン整備や農家民宿の改修のハード整備案件が2件あり、事業費が前年比増加。令和3年度は再度支援の1件のみであったため減少幅が大きい。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金/02 県補助金	400	令和3年度民宿リニューアル支援事業補助金
22 市債 1 市債	400	農業振興整備事業債
合計	800	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	800	令和3年度里地・里山活性化事業(農家民宿リニューアル支援事業)補助金
合計	800	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/6	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人名のため 省略	令和3年度里地・里山活性化事業 (農家民宿リニューアル支援事業) 補助金	800

7. 監査の結果と意見

(1) 事業の周知について

本事業のうち、耕作放棄地利活用事業は、耕作放棄地、すなわち以前耕作をしたことがあるが、過去一年以上作物を栽培せず、かつ、ここ数年の間に再び耕作する意思のない農地について、作物の栽培や放牧など、農地を有効に利用する活動について補助を行う市単独事業である。当該事業について、平成30年度は2件、令和元年度においては3件の利用実績があったが、令和2年度及び令和3年度は実績がない。

<b>【意見】</b>	耕作放棄地利活用事業の周知について
過去2年間利用実績がない耕作放棄地利活用事業については、周知不足が原因とも考えられるため、JA等を通じた周知の徹底を図ることが必要と考える。	
また、周知を図った上で、要望がないようであれば、事業自体の有用性の観点から、その必要性を検討すべきと考える。	

2-25. 中山間地域農業支援事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：地域振興対策事業、中事業：中山間地域農業支援事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	中山間地域における話し合いや合意形成を促進するとともに、組織化を進め、営農に必要な機械及び施設等の整備に対して支援することで、中山間地域の営農継続を図る
事業内容	生産条件が不利な中山間地域では営農継続が厳しい状況に直面している。このようなことから、アグリファシリテーターの助言や指導を受けながら、中山間地域における話し合いや合意形成を促進し、地域の営農継続について検討する。また組織化・法人化を推進するとともに、中山間地域における営農継続や省力化に必要な

	機械・施設等の導入支援を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市中山間地域農業支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(5)基本施策：中山間地域農業のスマート農業化
事業開始年度	平成31年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は中山間地域の営農の維持を目標としており、集落や地区の担い手の実情によって事業要望される。具体的な目標値を設定するのは困難であると考えられるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	2,058	15,232	1,965
決算額(収入済額)	1,999	8,665	608
差額	59	6,567	1,357
<歳出>			
予算現額	2,468	17,521	2,264
決算額(支出済額)	2,379	9,993	726
繰越額	-	-	-
不用額	89	7,528	1,538

### 増減の理由

本事業は中山間地域の集落の話し合いを経て、次年度に補助事業として実施されるものであり、年度によって要望額に変動があるため。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 / 02 県補助金	608	令和3年度中山間集落農業支援事業（推進事業）費補助金 令和3年度中山間営農継続支援事業費補助金
合計	608	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	130	福井市アグリファシリテーター報償費
18 負担金、補助及び 交付金	596	令和3年度福井市中山間地域農業支援事業（省力化機械等整備事業）補助金
合計	726	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	負担金、補助及び 交付金  その他の補助金	個人名のため省略	令和3年度福井市中山間地域農業支援事業（省力化機械等整備事業）補助金	381
2021/12/27	負担金、補助及び 交付金  その他の補助金	個人名のため省略	令和3年度福井市中山間地域農業支援事業（省力化機械等整備事業）補助金	215

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 26 . 農業振興資金利子補給金

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大 事業：農村金融対策事業、中 事業：農業振興資金利子補給金 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費）
事業目的	認定農業者等の農業経営発展に必要な資金融資を円滑にし、農業

	生産の振興と経営の安定化を図る。
事業内容	認定農業者等の農業経営発展に必要な資金融資にかかる利子を助成する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市農業振興資金利子補給金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	
第八次福井市総合計画における位置づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	
事業開始年度	平成10年度
事業終了年度（予定）	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、認定農業者等が受けた資金融資について利子補給を行う事業であり、目標値を設定することが適さないため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	84	64	46
決算額（収入済額）	69	46	32
差額	15	18	14
<歳出>			
予算現額	547	474	369
決算額（支出済額）	345	429	369
繰越額	-	-	-
不用額	202	45	0

### 増減の理由

令和2年度及び令和3年度について、福井県農業経営基盤強化資金利子助成補助金交付の対象となる利子補給対象者の利子補給総額が、前年度より少額だった。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助金	32	農業緊急資金無利子貸付事業費補助金
合計	32	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	369	利子補給金
合計	369	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入総額が少額のため省略。

（2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 27. 食育推進事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：食育推進事業、中事業：食育推進事業 （款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業振興費）
事業目的	第3次福井市食育推進計画（H30～R3）に基づき、食に関する関係機関等の連携・協働による取組を進め、市民自らが実践する食育環境を創出する
事業内容	第3次福井市食育推進計画に基づく食育の取組 [食育関係会議] 福井市食育推進会議の開催、ふくい食育市民ネットワーク会議の開催など [食育啓発重点事業] ふくい食育市民ネットワーク活動事業の実施 [地産地消推進事業] 市内小中学校を対象とした「福井の食材授業」や「農林水産業体験授業」に関する補助
根拠法令等	食育基本法

実施要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市食育推進会議設置要領</li> <li>・ふくい食育市民ネットワーク規約</li> <li>・福井の「食」の未来を支える食育推進事業実施要領</li> </ul>
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：地産地消の推進
事業開始年度	平成18年度(地域食育モデル育成事業) 平成20年度(食育推進事業)
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学校給食における市内産農林水産物の使用品目数	25	25	25

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学校給食における市内産農林水産物の使用品目数	25	20	25

### 目的の達成状況

保健給食課と連携を取りながら、福井市学校給食において、地場産農林水産物を積極的に使用している。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,950	1,350	425

決算額（収入済額）	1,582	538	422
差額	368	812	3
<歳出>			
予算現額	2,505	1,195	2,057
決算額（支出済額）	1,951	625	1,759
繰越額	-	-	-
不用額	554	570	298

#### 増減の理由

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、小中学校において外部講師を招いた授業が中止となったため。また、令和3年度は、福井の「食」の未来を支える食育推進事業について、令和2年度までは県全額補助、令和3年度からは県1/2補助と変更になった一方で、中止となっていた授業が感染対策を講じつつ再開されたため。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
01 農業費補助金 地域 農業推進費補助金（補助分）	422	・福井の食材授業分：224千円 ・農業体験等授業分：198千円
合計	422	

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	185	・福井市食育推進会議委員報償費@5千円 ×3回分（11名、9名、8名）など
10 需要費	6	・会議資料用上質紙、ラベル
11 役務費	200	・市民アンケート送付（2000名分） ・市民アンケート回収（544名分） ・食育推進会議等委員資料送付など
12 委託料	1,368	・食育イベント等実施業務 50千円 ・地産地消推進業務 861千円 ・市民アンケート調査集計業務 458千円
合計	1,759	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト



歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/8/16	委託料 その他の委託料	ふくいを食べよう！ 地産地消連絡会 会 長 藤田嘉裕	令和3年度ふくいを 食べよう！地産地消 推進事業の委託料	865

7. 監査の結果と意見

(1) 目標設定と取組内容の検討

平成20年度より福井市食育推進計画がはじまり、平成29年～令和3年度が第3次福井市食育推進計画として事業が推進され、当該事業実施の結果を受け、令和4年～8年度における第4次福井市食育推進計画が令和4年3月に策定公表されている。

第3次福井市食育推進計画においては、以下の三項目に分類し、各項目の中に、各種目標を掲げて推進活動を行っている。

- ・若い世代から望ましい食習慣を形成する
- ・生産体験等を通じて食の大切さを学び・伝える
- ・地元食材の普及活動による地産地消を推進

上記のうち、「若い世代から望ましい食習慣を形成する」に関して、各種目標の達成率が以下の通り低い状況となっている。

取組の方向性	指標	目標値 (令和3年度)	実績	達成状況
若い世代から望ましい食習慣を形成する	朝食を欠食する子どもの割合			
	・小学校5・6年生	(小)0%	(小)5.1%	×
	・中学生	(中)0%	(中)8.7%	
	朝食を欠食する若い世代の割合	5%以下	14.7%	×
	朝食を家族と一緒に食べる「共食」の割合	80%以上	59.7%	×
	夕食を家族と一緒に食べる「共食」の割合	90%以上	85.6%	×
	学校給食における市内産農産物の使用品目数	25品目以上	20品目	×

	栄養バランスを考えた食事をとっている市民の割合	90%以上	84.1%	×
生産体験を通して食の大切さを学び・伝える	農林漁業体験に参加したことがある市民の割合	50%以上	56.0%	○
	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理等を継承している市民の割合	60%以上	51.9%	×
	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合	80%以上	87.0%	○
地元食材の普及活動による地産地消を推進する	直売所及びインショップの販売額	21億円以上	21.3億円	○
	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合	80%以上	61.0%	×
	「おいしいふくい条例」に掲げる市民の役割を実践している市民の割合	80%以上	80.3%	○

【意見】	福井市食育推進計画の目標設定と取組内容の検討について
<p>食育の原点は家庭にあると考えられるが、時代と共にライフスタイルや家族形態の多様化はますます進む傾向であり、個々の家庭に対する啓発には限界がある。</p> <p>子どものうちに健全な食習慣を身に付けることはとても重要であり、保育園・学校等における連携として、食育に関する普及啓蒙活動は欠かせない。しかしながら、目標や活動が一方的なものとなっていないかどうか、子どもや若い世代にとっては取組みやすいものとなっているかどうか再考する必要があるのではないかと。</p> <p>生活に欠かすことのできない大切なものである食を通じて、学びの可能性は広がっている。子どもや若い世代に対して、一方的な普及啓蒙ではなく、食事の楽しみや美味しさ、面白さや発見等これまでとは違う観点から、大人も一緒に取組むことができるような、広く柔軟な視点をもった目標の設定と、その目標達成に向けた取組みを期待したい。</p>	

## 2 - 28 . いちほまれ等地元産米学校給食推進事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：食育推進事業、中事業：いちほまれ等地元産米学校給食推進事業(款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
------------------	---

事業目的	児童生徒においしい福井米を味わってもらうとともに、米飯のイメージ向上や米の消費拡大を図る
事業内容	県、市、JA福井県が連携のもと、通常の給食米であるハナエチゼンとの価格差を補填し、いちほまれ等福井米を学校給食に供給する
根拠法令等	食育基本法
実施要綱等	いちほまれ給食推進事業実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：地産地消の推進
事業開始年度	平成13年～ こしひかり・あきさかり学校給食推進事業 令和2年～ いちほまれ等地元産米学校給食推進事業
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学校給食におけるいちほまれ等地元産米の使用率	100%	100%	100%

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学校給食におけるいちほまれ等地元産米の使用率	100%	100%	100%

### 目的の達成状況

目標を達成した。
----------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			

予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	2,000	1,847	1,596
決算額（支出済額）	1,606	1,693	726
繰越額	-	-	-
不用額	394	154	870

#### 増減の理由

令和3年度  
「いちほまれ」の米価下落の影響により、「いちほまれ」と一般的な学校給食費内で提供される「ハナエチゼン」との米価差額が小さかったため

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金	726	・ 事業負担金（公立幼稚園 11～3月分） ・ 事業負担金（小中学校 11～3月分）
合計	726	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	福井県知事 杉本達治	令和3年度いちほまれ給食 推進事業負担金（小中学校 11～3月需要分）	722

#### 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 2 - 29 . 家畜防疫対策事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：畜産振興対策事業、中事業：家畜防疫対策事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：畜産費)
事業目的	家畜の伝染性疾病の発生予防と蔓延を防止することにより、畜産の振興を図る。
事業内容	家畜の予防接種や検査に対し、補助金を支給する。
根拠法令等	家畜伝染病予防法
実施要綱等	福井市家畜防疫対策事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	昭和63年
事業終了年度(予定)	未定

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

当事業は家畜の伝染性疾病の発生予防と蔓延を防止する目的で実施している経常的な事業であるため、目標値は設定していない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	200	200	200
決算額(支出済額)	185	200	200
繰越額	-	-	-
不用額	15	-	-

増減の理由

重要な増減なし。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	200	福井市畜産振興協会補助金
合計	200	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 30 . 畜産振興総合対策事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：畜産振興対策事業、中事業：畜産振興総合対策事業 （款：農林水産事業費、項：農業費、目：畜産費）
事業目的	畜産の総合的な対策を行うとともに、家畜衛生管理の徹底を図る。
事業内容	畜産農家の経営及び低コスト生産対策、畜産農家集団の活動に対する指導等を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市畜産振興総合対策事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-

第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成18年から畜産活性化事業 平成23年度から畜産経営安定化支援事業 平成29年度から畜産振興総合対策事業
事業終了年度（予定）	令和4年度をもって仕立て替えの予定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
福地鶏導入羽数（羽）	190	190	300

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
福地鶏導入羽数（羽）	140	208	418

### 目的の達成状況

目標を達成した。
----------

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	12,173	10,510	-
決算額（収入済額）	10,193	2,873	-
差額			
< 歳出 >			
予算現額	15,835	12,241	190
決算額（支出済額）	13,303	3,363	110
繰越額			
不用額	2,532	8,878	80

### 増減の理由

令和元年度から令和2年度については補助の要望が少なくなったことによる。  
令和3年度は畜産経営基盤強化支援事業の補助の要望がゼロとなった。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	15	防護服
18 負担金、補助及び交付金	95	福地鶏導入支援補助金
合計	110	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

#### 7. 監査の結果と意見

##### （1）畜産防疫備品等の管理

福井市では、家畜衛生管理のため、防護服やマスク、ブラシ等の畜産防疫備品及び消毒液等の消耗品を購入している。畜産防疫備品台帳を確認したところ、使用期限が経過している消毒薬が保管されている。また、各備品に関して、網羅的に取得年月の記録がなされていない。

<b>【意見】</b>	<b>畜産防疫備品の適切な管理について</b>
<p>使用期限が経過している備品については、適時に処分することが必要である。</p> <p>また、防護服の使用期限は未使用の場合、保存の目安は購入後3年となっているが、取得年月が不明である防護服に関しては、使用期限が経過しているか否か判断できない。</p> <p>購入の都度、購入備品ごとに数量・取得年月・使用期限・保管場所を畜産防疫備品台帳に記録し、適時適切に管理することが必要である。</p>	

## 2 - 3 1 . 長寿そば道場「ごっつおさん亭」管理運営事業

### 1 . 事業の概況



事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業施設管理運営事業、中事業：長寿そば道場「ごっつ おさん亭」管理運営事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業施設管理費)
事業目的	美山地区特産品のそばを活用する施設の運営維持をすることで、 そばの振興及び地域活性化を図る。
事業内容	旧みやま長寿そば道場の管理運営を行う。
根拠法令等	福井市普通財産(土地・建物)貸付要領
実施要綱等	-
第七次福井市総合計 画における位置づけ	-
第八次福井市総合計 画における位置づけ	-
第2次福井市農業活 性化プランにおける 位置づけ	-
事業開始年度	令和3年度(令和2年度で条例廃止)
事業終了年度(予 定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、旧みやま長寿そば道場の維持管理に係る経常的な事業であるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	404	74	128
決算額(収入済額)	405	144	312
差額	-1	70	203
<歳出>			
予算現額	1,400	2,418	1,977
決算額(支出済額)	1,400	2,417	1,925
繰越額	-	-	-
不用額	0	1	52

増減の理由

令和2年度 コロナの影響を受けた指定管理者に対し支援金を支給したことによる増加。
---

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
17 財産貸付収入 01 土地貸付収入	60	ごっつおさん亭土地転貸借料
17 財産貸付収入 02 建物貸付収入	217	ごっつおさん亭建物賃貸借料
21 諸収入/07 雑入	35	旧みやま長寿そば道場電気料
合計	312	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	337	電気料
12 委託料	579	合併処理浄化槽維持管理業務委託 等
13 使用料及び賃借料	1,009	借地料
合計	1,925	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2-32. 農園施設「マイファーム清水」管理運営事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業施設管理運営事業、中事業：農園施設「マイファーム清水」管理運営事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業施設管理費) ~R元：施設活用推進課所管 R2~：農政企画課所管、
------------------	---

事業目的	農園施設マイファーム清水の円滑な事業運営を図り、利用者の農業への理解を深め、農業振興と地域活性につなげる。
事業内容	マイファーム清水の管理運営
根拠法令等	福井市農園施設マイファーム清水の設置及び管理に関する条例
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	
第八次福井市総合計画における位置づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	
事業開始年度	平成12年度
事業終了年度（予定）	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業はマイファーム清水の維持管理に係る経常的な事業であるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額		675	675
決算額（収入済額）		610	619
差額		65	56
< 歳出 >			
予算現額		506	1,032
決算額（支出済額）		506	1,031
繰越額		-	-
不用額		0	1

### 増減の理由

令和元年度は施設活用推進課で指定管理業務を所管していたため。  
令和3年度は、給水配管改造修繕料を要したため増加。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
14 使用料及び手数料	619	マイファーム清水使用料
1 使用料		
合計	619	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	581	水道料、修繕料
12 委託料	450	施設管理委託料
合計	1,031	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

（1）市HPでの情報提供について

農業委員会が農園利用契約の仲介や事務手続きを行っている福井市市民菜園は、市HP「農業」のページに掲載され、新規入園者募集は終了した旨の記載がされている。一方、農園施設マイファーム清水は、「農林漁業体験」のページに掲載されており、別々のページに掲載されている状況である。

<b>【意見】</b>	HP上の市民菜園及びマイファーム清水の情報提供について
市民菜園と農園施設マイファーム清水は、管理棟や水道などの設備、規模・利用料等に違いはあるものの、どちらも同様に、市民が手作り野菜を栽培することができる農園であることには変わりない。	
HP上の掲載方法について、それぞれのページに情報を記載する、相互にリンクを貼る等、農作物の栽培を希望する市民にとって分かりやすい情報提供の仕方が必要と考える。	

2 - 3 3 . 農村活性化施設管理運営事業

1. 事業の概況

事業名	大事業：農業施設管理運営事業、中事業：農村活性化施設管理運
-----	-------------------------------

(歳出予算款項目)	営事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業施設管理費)
事業目的	農村活性化施設を農産物直売所出荷のための集出荷場、農作業研修場、子どもたちの農業体験の場として活用することで、清水地区の活性化を図る。
事業内容	農村活性化施設の管理運営を行う。
根拠法令等	福井市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成17年度(清水町との合併による)
事業終了年度(予定)	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、福井市地域活性化施設の維持管理に係る経常的な事業であるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	57	59	60
決算額(支出済額)	56	58	59
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

増減の理由

重要な増減なし。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	59	電気料、水道料
合計	59	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2 - 3 4．ごっつおさん亭施設維持補修事業

1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：農業施設管理運営事業、中事業：ごっつおさん亭施設維持補修事業 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業施設管理費）
事業目的	美山地区特産品のそばを活用する施設の運営維持をすることで、そばの振興及び地域活性化を図る。
事業内容	旧みやま長寿そば道場の維持補修を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活	-

性化プランにおける位置づけ	
事業開始年度	施設の維持補修が生じた年度のみ生じる事業
事業終了年度（予定）	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

当事業は、施設の維持補修が生じた年度のみ生じる事業であるため、目標値となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	-	-	996
決算額（支出済額）	-	-	993
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	3

### 増減の理由

令和3年度 令和2年度で条例を廃止し普通財産となったことで、看板や標識を撤去等する必要があったため。
---

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
14 工事請負費	993	看板の撤去工事、標識の修繕工事
合計	993	

## 6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/8/25	ごっつおさん亭施設 維持補修事業 普通 建設事業(単)直接	(有)山本土木 代表取締役 山本 光広	ごっつおさん 亭看板文字撤 去工事	709
2021/11/15	ごっつおさん亭施設 維持補修事業 普通 建設事業(単)直接	(有)山本土木 代表取締役 山本 光広	ごっつおさん 亭案内標識修 繕工事	282

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

2-35. ふくいの農林水産物ECサイト開設事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：ふくいの農林水産物ECサイト開設事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や飲食店の自粛等に伴い、売上高の大幅な減少などの影響が生じている生産者等に対し、情報発信や新規顧客獲得、販路開拓を支援する
事業内容	旬の美味しい食べ物など農林水産物を産地直送する取り寄せ・贈り物サイト。作り手の想いや商品の魅力をプロの文章と写真、動画で消費者に訴えかける内容で県内外へ情報発信。設立予定の地域商社先行事業(販路開拓・マーケティング)
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	施策の方向(3)基本施策：地産地消の推進、大都市圏販路開拓



事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	未定

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
E C サイト掲載商品数	-	-	80

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
E C サイト掲載商品数	-	-	86

### 目的の達成状況

コロナ禍での情報発信、新たな販路開拓支援として、また、令和5年度設立予定の地域商社の先行事業として、市産直E C サイト運営を実施。農林水産部に関連する生産者・事業者を中心に40事業者・86商品の登録を行い、情報発信・販路開拓を行っている。サイトの認知度、魅力度に関する課題があるが、新たな販路となり得るE C サイトに二の足を踏んでいた生産者らの参画や、E C サイト売買から得られた消費者の声を参考にした新たな商品の開発や提供スタイルの考案など、E C サイトの運営は生産者・事業者にとって情報発信・販路開拓のみならず、学習機会としても役立っている。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	-	-	19,000
決算額（支出済額）	-	-	17,789
繰越額	-	19,000	-
不用額	-	-	1,211

### 増減の理由

新型コロナウイルスの影響で停滞した経済活動・流通販路の新たな打開策として、地方創生臨時交付金を活用し令和2年度から開始した事業であるため

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	17,789	E C サイト構築業務委託料
合計	17,789	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	委託料 その他の委託料	(株)福井新聞社 代表取締役社長 吉田 真士	福井市農林水産物等販売E C サイト構築業務委託料	17,788

7. 監査の結果と意見

E C サイトに係る監査の結果と意見については、「大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：未来へつなく福井の農業活性化プロジェクト」の記載を参照のこと。

2 - 36 . 園芸・水稻育苗ハウス雪害復旧支援事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：園芸・水稻育苗ハウス雪害復旧支援事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	令和3年1月の大雪により大きな被害が発生した市内農業用ハウスを早期に復旧し、園芸を推進する環境の再構築を図る。
事業内容	風雪に強い耐候性ハウスへの整備や被災施設の撤去に係る経費の補助
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市園芸・水稻育苗ハウス雪害復旧支援事業補助金交付要領

第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、令和3年1月の大雪被害にあったハウスを建て直す事業であるため、目標値を設定することが適さないため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	110,143
決算額（収入済額）	-	-	40,911
差額	-	-	69,232
< 歳出 >			
予算現額	-	-	138,140
決算額（支出済額）	-	-	51,690
繰越額	-	138,140	-
不用額	-	-	86,450

### 増減の理由

当年度だけの事業であるため。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
15 国庫支出金	20,474	雪害復旧支援事業補助金
2 国庫補助金		
16 県支出金	20,437	雪害復旧支援事業補助金

2 県補助金		
合計	40,911	

5 . 歳出の内訳 (令和 3 年度) (単位: 千円)

節	決算額	主な内容
12 委託料	51,690	雪害復旧支援事業補助金
合計	51,690	

6 . サンプルテスト

( 1 ) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

( 2 ) 歳出のサンプルテスト

(単位: 千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/22	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人のため 省略	令和 2 年度福井市園芸・水稲育苗ハウス雪害復旧支援事業 (産地支援) 補助金	9,474

7 . 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 3. 林業水産課

#### 3-1. 未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト

##### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	漁業所得向上のため、養殖を支援するとともにスマート水産業の導入を推進する。
事業内容	パフンウニやアカモクの養殖を支援する。 定置網漁業においてスマート水産業を導入を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市養殖推進事業補助金交付要綱 福井市スマート水産業導入支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

##### 2. 事業目的の達成状況

###### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
スマート水産業の導入経営体数(累計)			1経営体

###### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
スマート水産業の導入経営体数(累計)			1経営体

## 目的の達成状況

令和元年度から開始した事業であるが、令和元年度、令和2年度はスタートアップ時期として、福井県立大学が自動観測ブイの試験機器を福井県内の複数の海域に設置し、調査研究を行い、その有効性を確認したうえで、令和3年度での導入（目標達成）を目指してた。令和3年度においては、福井市の主要漁業である定置網漁業を営む1経営体が沖合の漁場の流速や波高を計測する機能を備えた観測ブイを設置し、漁業者のスマートフォンに海況情報を発信するシステムを導入し、目標を達成している。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	2,230	2,537	3,600
決算額（支出済額）	2,142	2,038	3,466
繰越額	-	-	-
不用額	88	499	134

## 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	3,466	補助金
合計	3,466	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/2/7	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	福井市漁業協同組合 代表理事 組合長 平野 仁彦	令和3年度 スマート水産業導入支援事業補助金(福井市漁協)	2,866

## 7. 監査の結果と意見

## (1) スマート水産業の導入経営体からの報告体制について

スマート水産業の導入経営体数は令和3年度に1経営体において導入が完了したことによって事業の目標は達成されたが、その後のスマート水産業を導入した成果については、現状、電話での聞き取りを行っているのみであり、詳細な報告は受けていなかった。

<b>【意見】</b>	定期的、定型的な報告体制の確立について
<p>スマート水産業を導入することで、当事業の目標は達成したかもしれないが、そもそもスマート水産業を導入する目的は、定置網漁業において漁場に到達したものの、潮流が速い場合等に網上げ作業が行えずに帰港する「出戻り」を防ぐことである。沖合の漁場に流速や波高等を計測する機能を備えた観測ブイを設置し、漁業者のスマートフォンに海況情報を発信するシステムを導入することで「出戻り」の問題を解決することが、当事業の本来の目的である。</p> <p>現状、スマート水産業を導入した経営体への事後の報告は電話での聞き取りのみとなっており、これではスマート水産業導入の成果を客観的に把握することができない。スマート水産業を導入することによって、「出戻り」の回数の減少や、ひいては「出戻り」に係る人件費、及び燃料費などのコストを削減できるよう期待すべき所である。そのため、スマート水産業を導入した経営体に対しては、電話での聞き取りに留まらず、定期的及び定型的な報告を求めることが必要と認められる。この報告の結果によっては、今後スマート水産業のさらなる導入を検討する一つの指標になると考えられる。</p>	

## (2) ECサイト「ふくいさん」の利用について

当事業はバフンウニやアカモクの養殖を支援することも事業内容としており、福井市としては認知度の向上、ひいては生産量、消費量の拡大を図っている。この点、福井市は新たな販売チャネルとして令和3年9月にECサイト「ふくいさん」を立ち上げ、福井市産の特産物について、インターネットを通して販売する方針も採用した。当ECサイトを閲覧したところ、水産物は越前がにをはじめとして、ふくいサーモン、ふくい甘えびなどが販売されていたが、商品が限定的であった。

<b>【意見】</b>	ECサイト「ふくいさん」の有効活用について
<p>全国に向けた新たな販売チャネルとしてECサイトを利用することは、全国の利用者</p>	

に福井市産の特産物を認知してもらう非常に有用な手段であると認められる。越前がにははじめ、福井市産の水産物も販売されていたが、商品が限定的であった。当事業においては、バフンウニやアカモクの養殖を支援し、認知度の向上、生産量及び消費量の拡大を図っている。バフンウニは塩蔵加工を行った「越前雲丹」が日本三大珍味の一つとして知られておりブランド力もある一方、アカモクについては全国的にあまり認知されていないことが現状である。アカモクを加工した商品である「こしのぎばちゃん」を越前漁業協同組合のホームページや福井駅前の店舗などで購入できるが、この販売方法のみでは認知度向上の施策としては弱いと言える。この点、令和3年9月に開設された福井市産の特産物ECサイト「ふくいさん」があり、商品化したアカモクについても少しでも取り扱うことが可能であれば、認知度の向上、及び消費者の拡大に繋がるのではないかと考えられる。

令和3年度において開設された福井市産の特産物ECサイト「ふくいさん」を可能な限り活用すべきということが監査人の意見である。

### 3 - 2 . 林業労働力安定確保対策事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：人材確保・育成総合対策事業、中事業：林業労働力安定確保対策事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	林業就労者の確保・定着を図るとともに、勤労意欲のある者に対する就労支援をする。
事業内容	林業労務者1人当たり年間180日上限として、退職共済掛金の3分の1以内を補助を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市林業労働力安定確保対策事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2)担い手の確保・育成
事業開始年度	昭和63年度
事業終了年度(予定)	令和6年度



## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林業就業人口(人)	154	148	208

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林業就業人口(人)	154	148	208

### 目的の達成状況

目標値はその年度における組合員の人数である。当事業によって組合員の流出を防ぎ、雇用の維持が図れたと判断している。なお、令和3年度において林業就業人口が増加した理由は、丹生郡森林組合が他の森林組合と合併し、人員が増加したためである。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	900
決算額(収入済額)	-	-	800
差額	-	-	100
<歳出>			
予算現額	1,292	1,197	1,090
決算額(支出済額)	1,230	1,039	1,043
繰越額	-	-	-
不用額	62	158	47

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
22 市債	800	林業振興整備事業債
01 市債		
合計	800	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	1,043	補助金
合計	1,043	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	美山町森林組合 代表理事組合長 渡辺 一夫	令和3年度 林業労働力安定確保対策事業補助金(美山町森林組合)	873

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 市区町村を跨ぐ森林組合への補助割合について

当事業の補助の負担先は、福井森林組合、及び美山町森林組合である。その内、福井森林組合においては活動領域が福井市に留まらず、隣接する永平寺町まで跨っている。そのため、福井森林組合に対する補助については、福井市、及び永平寺町において、前年度の各市町の森林整備実績を基に按分しており、令和3年度の福井市の負担割合は83%であった。当割合は毎年見直され算出されているが、永平寺町と特に覚書の締結等を行っていないとのことである。

【意見】	永平寺町との覚書の締結について
	福井市と永平寺町を活動領域とする福井森林組合の補助については、活動範囲の中での各市町の森林整備量の実績をもとに、各市町の負担割合が算出、決定されている。現状、福井市においては負担割合を算出後、永平寺町と共有するのみであり、覚書の締結等を行っていない。お互いの財源に係るものであり、事後的に検証することや、負担割合を正式に共有するためにも、永平寺町と見直しを行う都度、覚書を締結することが望まれる。

### (2) 共済加入割合について

当事業における林業退職金共済制度とは、林業の現場で働く人たちのために、「中小企業退職金共済法」によって国が作った中小企業退職金共済制度(中退共制度)の1つである。退職共済の未加入率は令和3年度においては約17%である。

【意見】	共済加入率の向上及び対象範囲の拡大、並びに目標となる指標の追加について
<p>当事業は、林業労働者に対して退職共済制度に加入することにより、林業就労者の確保、定着を図るとともに、勤労意欲のある者に対する就労支援をすることを目的としている。令和3年度においての退職共済の未加入率は約17%であり、全ての林業労働者が加入していない他、年間180日以上労働している者を対象としているため、自伐林家のような者に対しては同制度の加入促進が実施できていない状況である。</p> <p>継続的及び安定的に林業労働者を維持、確保するため、同制度の未加入者に対しては積極的に加入するように働きかけることや、同制度の対象範囲を自伐林家に対しても適用できるように検討し、別途、自伐林家育成事業の意見にも記載した自伐林家を把握することに加え、同制度の活用を促進すべきと考える。また、このような退職共済制度の加入率についても事業の効果を測る指標として定め、実績との比較を行うことが望ましい。</p>	

### 3 - 3 . 林業水産業U・Iターン促進事業（林業）

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：人材確保・育成総合対策事業、中事業：林業水産業U・Iターン促進事業（林業） (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市での就業に興味を持ったU・Iターン者を確保し育成する。</li> <li>・U・Iターン者の円滑な就業及び定住を促進する。</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントへの出展経費</li> <li>・就業相談会等で本市での就業に興味を持った方に対し、宿泊費や交通費を支援</li> <li>・U・Iターン者に対し、円滑な就業及び定着の促進を図るため奨励金を給付</li> </ul>
根拠法令等	<p>森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律施行規則、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律要綱、地方自治法施行令の一部改正、地方財政施行令の一部改正、災害対策基本法施行令の一部改正、総務省組織令の一部改正、福井市森林環境譲与税基金条例</p>
実施要綱等	<p>経営管理権集積計画作成に係る意向調査全体計画、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針、福井市森林環境譲与税活用ガイドライン 福井市農林水産業U・Iターン促進事業（U・Iターン見学補助</p>

	金（林業・漁業）補助金交付要綱 福井市農林水産業U・Iターン促進事業（U・Iターン者就業奨励金（林業・漁業））補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2)担い手の確保・育成
事業開始年度	平成28年度
事業終了年度（予定）	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
森林組合の新規就業者数（人）	2	2	2

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
森林組合の新規就業者数（人）	4	1	3

### 目的の達成状況

直近3カ年においては、令和2年度のみ目標値を下回っているが、累計数で見ると目標値を達成している。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	75	900	900
決算額（収入済額）	0	300	725
差額	75	600	175

<歳出>			
予算現額	2,317	2,442	1,367
決算額（支出済額）	1,915	2,075	1,125
繰越額	-	-	-
不用額	402	367	242

#### 増減の理由

当事業においては、新規就業者に対して奨励金を最大 2 年間給付するが、令和 3 年度の奨励金給付対象者が減少したため、歳出金額が減少している。

#### 4．歳入の内訳（令和 3 年度）（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
02 地方譲与税	725	
04 森林環境譲与税		
合計	725	

#### 5．歳出の内訳（令和 3 年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	1,125	補助金
合計	1,125	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/2/7	負担金、補助及び 交付金 その他 の補助金	個人のため省 略	U・Iターン者就業奨 励金（林業）7～12 月分	150

#### 7．監査の結果と意見

##### （1）ふくい林業カレッジを活かした新規就業者支援について

福井市における林業の新規就業者数は累計数で見ると目標値を上回っており、一定の事業の成果は認めることができる。福井市外、ひいては福井県外から新規就業する者もいる

が、その背景には、福井市の人の良さ、奨励金の充実、並びに林業を学ぶことができる「ふくい森林カレッジ」の存在が挙げられる。

【意見】	ふくい林業カレッジとのさらなる連携について
<p>「ふくい林業カレッジ」は福井県内の林業事業体（森林組合や林業関係の会社など）への就業を目指す者が、林業に関する知識や技術を長期的、または短期的に学ぶ研修機関である。受講費用や必要な資格取得も無料であり、林業を初めて学ぶ者にとっては重宝する機関であると認められる。全国的にもこのような研修機関は24機関と珍しく、林業のU・Iターンを希望する者に対し、非常に効果的な強みとして提供することができると考えられる。</p> <p>新規就業イベントにおいては、「ふくい林業カレッジ」とのさらなる連携を行い、アピールを行うことで、林業における新規就業者数が引続き増加することを期待したい。</p>	

（2）森林環境譲与税の有効活用について（当指摘事項は、以降に記載する森林環境譲与税の対象となる事業において同様である。）

森林環境税及び森林環境譲与税の概要は以下の通りである。

森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、我が国の国土や国民の生命を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からない森林の増加、担い手の不足等が大きな課題となっている。このような現状の下、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税が創設され、平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立した。成立に伴い、令和6年度から課税される「森林環境税」、及び令和元年度から譲与される「森林環境譲与税」が創設された。

森林環境税は、令和6年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収することとされている。また、森林環境譲与税は、喫緊の課題である森林整備に対応するため、「森林経営管理制度」の導入時期も踏まえ、交付税及び譲与税配付金特別会計における借入金を原資に、令和元年度から譲与が開始され、市町村や都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与されている。

なお、災害防止・国土保全機能強化等の観点から、森林整備を一層促進するために、令和2年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」の一部が改正され、令和2年度から令和6年度までの各年度における森林環境譲与税について、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を活用し、交付税及び譲与税配付金特別会計における譲与税財源の借入れを行わないこととした上で、森林環境譲与税の譲与額を前倒して増額することとなっている。

森林環境譲与税は、市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされている。また、都道府県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てることとされている。本税により、山村地域のこれまで手入れが十分に行われてこなかった森林の整備が進展するとともに、都市部の市区等が山村地域で生産された木材を利用することや、山村地域との交流を通じた森林整備に取り組むことで、都市住民の森林・林業に対する理解の醸成や、山村の振興等につながることを期待される。

なお、適正な使途に用いられることが担保されるように森林環境譲与税の使途については、市町村等は、インターネットの利用等により使途を公表しなければならないこととされている。

福井市においても、令和元年度から森林環境譲与税が譲与されており、令和元年度から令和3年度にかけての譲与金額及び事業への充当額は以下の通りである。

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	累計
譲与金額	38,592	82,007	81,903	202,502
事業への充当額	8,115	30,366	51,795	90,276
事業への充当率 ( ÷ )	21.0%	37.0%	63.2%	44.5%
差額(基金積立額)	30,477	51,641	30,108	112,226

譲与金額は、令和元年度においては38,592千円、令和2年度においては82,007千円、令和3年度においては81,903千円である。その内、該当する事業に充当した金額は、令和元年度においては8,115千円、令和2年度においては30,366千円、令和3年度においては51,795千円であり、充当できなかった残額は基金として積み立てられている。基金積立額は、令和元年度においては30,477千円、令和2年度においては51,641千円、令和3年度においては30,108千円となっている。

【指摘】	森林環境譲与税の有効活用について
	上記の通り、福井市においても森林環境譲与税が令和元年度において譲与されることとなったが、譲与開始の令和元年度から令和3年度にかけて、譲与額の全額を関連する事業で充当できず、残額を基金として積み立てている。令和元年度から令和3年度までの累計金額は、譲与額202,502千円に対し、事業充当金額は90,276千円、残額の112,226千円が基金として積み立てられ、譲与された森林環境譲与税の約55%が活用できていない。 福井市においては、森林環境譲与税の対象となる事業をホームページで広報したり、

自治会長への案内を通して周知を行ったりしたが、森林所有者の特定の難航や、所有者の同意が得られないなどの弊害が多くあり、事業の応募状況は少なく、執行できない事業があった。今後においては、森林整備、人材育成、木材利用のみならず、附帯的な事業も含め、新たな事業につき森林環境譲与税の適用を図っており、現に半分以上積み立てられている基金についても同様の方針を掲げている。

また、令和 6 年度以降は、森林環境税として個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として 1 人年額 1,000 円を市町村が賦課徴収することとされている。福井市民から徴収する森林環境税の使い道についても、基金への積み立てに終わることなく関連する事業を幅広く募集し、福井市民に対し合理的な説明ができるよう、今後さらなる抜本的な取組み、準備を行っていくことが必要である。

### 3 - 4 . 自伐林家育成事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：人材確保・育成総合対策事業、中事業：自伐林家育成事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	自伐林家が経営意欲を喚起し、健全な森林づくりに貢献する。
事業内容	・自伐林家が山の市場に間伐材を搬出する経費に対し支援する (1 m <sup>3</sup> 当り 882 円を限度) ・自伐林家の技術向上を図るため、研修運営等に必要な経費を支援する
根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律施行規則、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律要綱、地方自治法施行令の一部改正、地方財政施行令の一部改正、災害対策基本法施行令の一部改正、総務省組織令の一部改正、福井市森林環境譲与税基金条例
実施要綱等	経営管理権集積計画作成に係る意向調査全体計画、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針、福井市森林環境譲与税活用ガイドライン 福井市自伐林家育成研修補助事業補助金交付要綱 福井市自伐林家搬出促進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林	基本施策：(基本方針 2) 担い手の確保・育成



業成長産業化推進プランにおける位置づけ	
事業開始年度	平成 29 年度
事業終了年度（予定）	令和 4 年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
森林組合の新規就業者数（人）	2	2	2

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
森林組合の新規就業者数（人）	5	3	3

### 目的の達成状況

各年度において目標値を達成している。林業水産業U・Iターン促進事業（林業）の実績値と異なる理由は、当事業の実績値は福井市内においての新規就業者も含まれており、林業水産業U・Iターン促進事業（林業）においては、福井市外からの新規就業者である点、実績値が異なっているものである。なお、福井市は当事業の目標値を森林組合の新規就業者数として定めており、当事業の効果を直接測定できるような指標を定めることが必要である。（下記7. 監査の結果と意見（1）事業効果を測定する指標について参照。）

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	-	1,050	2,098
決算額（収入済額）	-	1,049	2,097
差額	-	1	1
< 歳出 >			
予算現額	983	1,083	2,098
決算額（支出済額）	975	1,081	2,097

繰越額	-	-	-
不用額	8	2	1

#### 増減の理由

令和3年度において、委託から補助事業に変更し、事業内容も新型コロナウイルス感染症を踏まえ、チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育に加え、実地やWEBによるチェーンソーなどの特殊な機械の使用方法の講習など、講習内容を充実させ、運営等に必要な経費を拡充したことに伴い、補助金の上限額を見直したため、歳出金額が増加した。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
02 地方譲与税 04 森林環境譲与税	897	
22 市債 01 市債	1,200	林業振興整備事業債
合計	2,097	

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	2,097	補助金
合計	2,097	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### (2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	(一社)ふくい自伐型林業協会 代表理事 松平 成史	令和3年度福井市自伐林家育成研修事業補助金((一社)ふくい自伐型林業協会)(森林環境譲税と関連事業)	800

2022/3/15	負担金、補助及び交付金 その他補助金	木ごころ山の市場運営協議委員会 会長 渡辺 一夫	令和3年度 福井市自伐林家搬出促進事業補助金（木ごころ山の市場運営協議委員会）	1,271
-----------	-----------------------	-----------------------------	---	-------

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 事業効果を測定する指標について

上記2. 事業目的の達成状況の、目的の達成状況に記載の通り、福井市は当事業の効果を測定する指標として、森林組合の新規就業者数を掲げている。

【意見】	目標値の見直しについて
<p>当事業は、自伐林家が山の市場に間伐材を搬出する経費に対し支援することや、自伐林家の技術向上を図るため、研修運営等に必要な経費を支援することを事業内容とし、自伐林家が経営意欲を喚起し、健全な森林づくりに貢献することを事業の目的としている。福井市においては現状、当事業の効果を測定する指標として、森林組合の新規就業者数を掲げており、既存の自伐林家の育成に焦点を置いた目標とはなっていない。また、予算を要求する際の説明資料である予算要求概要書には事業効果として、自伐林家に対する講習回数を定めており、統一した指標を定めることが必要である。</p> <p>当事業の自伐林家の育成という目的に鑑みると、後者の自伐林家に対する講習回数、加えて参加者数を、事業効果を測定する指標として掲げるべきであり、森林組合の新規就業者数は林業水産業U・Iターン促進事業にて測るべきである。</p>	

### (2) 自伐林家数の把握について

福井市においては、自伐林家数を山の市場（林地残材を収集し、薪や竹などを販売する場所）へ搬出する者を対象として集計しており、自伐林家であるにもかかわらず、山の市場へ搬出していない者については、集計ができていない。

【意見】	自伐林家数の把握について
<p>福井市においては、自伐林家数を山の市場へ搬出する者を対象として集計しており、全ての自伐林家数を集計できていない。当事業の目的としては、自伐林家の育成であり、山の市場へ搬出していない者も含め、自伐林家全体を事業の対象としなければならない。自伐林家を把握する中で、経費補助の対象となる自伐林家の割合や、講習会に参加している自伐林家の割合を算出したうえで、事業の恩恵を受けていない自伐林家に対して積極的に働きかけることが自伐林家の育成、資材の有効活用に繋がると認められる。また、現状把握できている自伐林家は高齢化が進んでおり、年齢層を把握することで高齢化対策にいち早く取り組むことができることも挙げられる。</p> <p>潜在的な自伐林家の把握は難しい課題であるかもしれないが、森林組合による把握、講習会への参加者への聞き取り、森林経営管理事業における意向調査にてあわせて確認</p>	

する方法などが考えられる。

### 3 - 5 . 林業経営体ステップアップ事業

#### 1 . 事業の概況

<p>事業名 (歳出予算款項目)</p>	<p>大事業：人材確保・育成総合対策事業、中事業：林業経営体ステップアップ事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)</p>
<p>事業目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業従事者の就労環境を安全で衛生的なものに改善を図り、安全意識の向上及び林業労働災害を抑制する。</li> <li>・ 林業に必要な安全教育や技能講習、県外での高度な専門的知識の習得を促進する。</li> <li>・ 高性能林業機械等の導入を促進させるとともに、林業事業体等の搬出技術の育成につなげる。</li> <li>・ 自然条件を踏まえ壊れにくく繰り返し使用できる作業道を整備することにより、林業経営者が持続的に木材生産等を行えるようにする。</li> <li>・ 地域住民が集落にある林道において、共同で側溝の土砂上げ、草刈り等の維持管理に取り組むことにより、車や通行人の交通安全の確保及び林道災害の未然防止に努める。</li> </ul>
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働安全に資する装備及び機械及び器具の整備に対し助成</li> <li>・ 造林から伐採までの高度な技術を修得するにあたり、必要な資格を取得する費用に対し助成</li> <li>・ 意欲と能力のある林業経営体が民間のレンタル会社から高性能林業機械を借り受ける経費に対し助成</li> <li>・ 林業経営者が持続的に木材生産を行っていくため、壊れにくく繰り返し使用できる作業道に対し助成</li> <li>・ 地域住民が共同で側溝の土砂上げ、草刈り等の維持管理及び路面の保持に取り組む活動に対し助成</li> </ul>
<p>根拠法令等</p>	<p>森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律施行規則、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律要綱、地方自治法施行令の一部改正、地方財政施行令の一部改正、災害対策基本法施行令の一部改正、総務省組織令の一部改正、福井市森林環境譲与税基金条例</p>

実施要綱等	経営管理権集積計画作成に係る意向調査全体計画、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針、福井市森林環境譲与税活用ガイドライン 福井市労働安全衛生推進事業補助金交付要綱 福井市林業研修資格取得事業補助金交付要綱 福井市高性能林業機械レンタル等事業補助金交付要綱 福井市ふくい型作業道整備事業補助金交付要綱 福井市林道維持地域活動支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策： （基本方針１）森林の多面的機能の強化 （基本方針２）担い手の確保・育成
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度（予定）	令和６年度

## ２．事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
森林組合の新規就業者数（人）	2	2	2

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
森林組合の新規就業者数（人）	5	3	3

### 目的の達成状況

各年度において目標値を達成している。林業水産業U・Iターン促進事業（林業）の実績値と異なる理由は、当事業の実績値は福井市内においての新規就業者も含まれており、林業水産業U・Iターン促進事業（林業）においては、福井市外からの新規就業者である点、実績値が異なっているものである。なお、福井市は当事業の目標値を森林組
---

合の新規就業者数として定めており、当事業の効果を直接測定できるような指標を定めることが必要である。(下記7. 監査の結果と意見(1) 事業効果を測定する指標について参照。)

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	22,605	20,000
決算額(収入済額)	-	9,520	15,035
差額	-	13,085	4,965
<歳出>			
予算現額	8,450	22,605	20,000
決算額(支出済額)	3,529	9,520	15,035
繰越額	-	-	-
不用額	4,921	13,085	4,965

#### 増減の理由

当事業内のメニューである林道維持地域活動支援に関し、側溝の土砂上げの単価、上限事業費を見直し、林業技術者支援の内容を拡充したため、歳出金額が増加している。しかし、林道維持地域活動支援につき、福井市のホームページや森林組合発行の広報誌、林道がある自治会長への事業周知等を行ったが、想定を下回る申請であったため不用額が多額に発生している。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
02 地方譲与税	15,035	
04 森林環境譲与税		
合計	15,035	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	15,035	補助金
合計	15,035	

### 6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	一般社団法人 ふくい美山き ときとき隊 代表理事 宮 田 香司	令和3年度福井市ふくい型 作業道整備事業補助金(開 設)(一社)ふくい美山 きときとき隊)(森林環境 譲与税関連事業)	929
2022/4/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	株式会社 口 ガーズ 代表 取締役 山本 真吾	令和3年度福井市高性能林 業機械レンタル等事業補助 金(株口ガーズ)(森林環 境譲与税関連)	1,365

7. 監査の結果と意見

(1) 事業効果を測定する指標について

上記2. 事業目的の達成状況の、目的の達成状況に記載の通り、福井市は当事業の効果を測定する指標として、森林組合の新規就業者数を掲げている。

【意見】	目標値の見直しについて
	自伐林家育成事業と同様、当事業においても現状、事業の効果を測定する指標として、森林組合の新規就業者数を掲げており、事業の目的に直接結びつくような目標となっていない。福井市としては、新規就業者の育成の事業であるため、新規就業者数を目標とした旨の説明を受けているが、新規就業者数とその後の育成とでは事業の効果を測る指標として異なるのではないかと考えられる。当事業の内容から、経費補助に関しては活動件数や補助申請数、資格取得支援に関しては資格取得者数など、新規就業数ではなく、その後の活動に対する指標を定め、事業の効果を測定すべきである。

(2) 事業の周知について

上記3. 歳入、歳出の推移の、増減の理由に記載の通り、当事業内のメニューである林道維持地域活動支援(持続的な森林経営を実現するため、地域住民が集落にある林道において、共同で側溝の土砂上げ、草刈り等の維持管理に取り組むことにより、車や通行人の交通安全の確保及び林道災害の未然防止に努めることを目的とする事業)につき、上限事業費を見直し、支援の内容を拡充し、周知を図ったが実際の申請は想定以上に少なく、令和元年度においては4,921千円、令和2年度においては13,085千円、令和3年度においては4,965千円の不用額が発生している。

<b>【意見】</b>	<b>事業周知の徹底、自治会活動への促進について</b>
<p>福井市においては、当事業内のメニューである林道維持地域活動支援をホームページや森林組合発行の広報誌、林道がある自治会長への事業周知等を行ったが、実際の申請は想定以上に少ない結果となった。現在においては、実施箇所の事例も示しながら、更なる事業周知に努めているとのことである。令和3年度において助成の対象として想定した福井市内の自治会数は43集落であるが、実際に申請、支出を行った自治会数は26集落であった。申請していない自治会は、現に補助対象となる活動を実施していなかったことが挙げられる。</p> <p>今後においては、特に未申請である自治会に対して事業の内容、補助対象となる活動を示して、各自治会に積極的に取り組むよう働きかけていくことが必要である。</p>	

### 3 - 6 . 農林水産業緊急雇用支援事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：人材確保・育成総合対策事業、中事業：農林水産業緊急雇用支援事業</p> <p>(款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)</p>
事業目的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により離職等を余儀なくされた者を新たに雇用した農林水産業の事業主に対し、賃金を支援することで雇用機会を創出し、農林水産業における人材不足の解消を図る。</p>
事業内容	雇用機会を失った方を雇用した経営体に対する賃金の補助
根拠法令等	
実施要綱等	福井市農林水産業緊急雇用支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：稼げる林業と水産業を推進する</p>
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2)担い手の確保・育成
事業開始年度	令和2年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

#### 2 . 事業目的の達成状況



#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
雇用者数(人)		5	2

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
雇用者数(人)		0	0

#### 目的の達成状況

事業主側が新型コロナウイルス感染症を理由とした離職の証明書を発行しなかったため、事業の要綱上の定義の「離職」の要件を満たさなかったため、該当者が現れず目標未達成となった。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	13,121	2,118
決算額(収入済額)	-	1,604	-
差額	-	11,517	2,118
<歳出>			
予算現額	-	13,121	2,118
決算額(支出済額)	-	1,604	-
繰越額	-	-	-
不用額	-	11,517	2,118

#### 増減の理由

上記、目標の達成状況に記載の理由により、令和3年度の事業を実施しなかったため歳出額が減少した。なお、令和2年度には中小機構と連携した相談会や、雇用事業の相談会等を実施したことにより歳出が発生した。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交	-	補助金

付金		
合計	-	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 補助対象となる離職者の要件について

当事業の目的は、新型コロナウイルス感染症の影響により離職等を余儀なくされた者を新たに雇用した農林水産業の事業主に対し、賃金を支援することで雇用機会を創出し、農林水産業における人材不足の解消を図ることである。しかし、事業主側が新型コロナウイルス感染症を理由とした離職の証明書を発行しなかったため、当事業の要綱に記載する「離職」の要件を満たさなかったため、該当者が現れず当事業の実績は0人であった。

【意見】	要綱上の定義に対しての実態的な判断について
	<p>当事業に関連する福井市農林水産業緊急雇用支援事業補助金交付要綱の第3条第2項には「離職」の定義が以下の通り記載されている。</p> <p>(定義)</p> <p>第3条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>(2) 離職とは、次のいずれかに該当することをいう。</p> <p>(ア) 事業主に直接雇用される労働者が、事業主の都合により解雇(解雇とみなされる雇止めを含む。)されること。</p> <p>(イ) 事業主に直接雇用される労働者が、期間の定めのある労働契約の中途解除(解雇とみなされる雇止めを含む。)により離職をさせられること。</p> <p>(ウ) 新規学校卒業者が採用の内定を取消しされること。</p> <p>(エ) 労働者派遣契約により、派遣先事業主に役務の提供を行っている労働者が、当該事業主の都合による労働者派遣契約の中途解除により離職をさせられること。</p> <p>(オ) フリーランス(特定の組織に属さず、事業者本人が技術や技能を提供することで成り立つ事業を営んでいる者)が当該事業主の都合により契約を途中解除させられること。</p> <p>また、同要綱の第9条第2項には「受給資格認定の申請書類」として以下の書類を必</p>

要としている。

( 受給資格認定の申請 )

第 9 条 補助金の受給資格認定を受けようとする者は、雇用日から 2 カ月以内に、福井市農林水産業緊急雇用支援事業補助金認定申請書 ( 様式第 1 号。「資格認定申請書」という。 ) を市長に申請しなければならない。

2 資格認定申請書には、次に掲げる書類を添付するものとする。

( 1 ) 対象事業主の登記事項証明書 ( 現在事項全部証明書 )

( 2 ) 対象事業主の市税の納税証明書

( 3 ) 対象労働者の労働条件通知書又は雇用契約書の写し

( 4 ) 対象労働者の雇用保険被保険者資格取得等確認通知書 ( 本人通知用 ) の写し

( 5 ) 対象労働者の住民票の写し

( 6 ) 内定を取り消されたことが分かる資料 ( 内定取消通知書等 ) 又は対象労働者の解雇等が確認できる書類 ( 雇用保険被保険者資格喪失確認通知書、雇用保険被保険者離職票、雇用保険被保険者離職証明書、廃業届出済み証明書等 ) の写し

( 7 ) その他市長が必要と認める書類

この定義には、新型コロナウイルス感染症を理由として「事業主の都合による」離職のケースが記載されているが、実際には新型コロナウイルス感染症を理由とした解雇であっても、事業主が解雇による離職票を発行することが現実的には難しいため、事業主都合ではなく、自己都合による退職として扱われる場合が多いことが推測される。その場合には、この要綱上の定義を充足することができず、当事業を適用することはできない。また、申請に必要な書類の中に「内定を取り消されたことが分かる資料 ( 内定取消通知書等 ) 又は対象労働者の解雇等が確認できる書類 ( 雇用保険被保険者資格喪失確認通知書、雇用保険被保険者離職票、雇用保険被保険者離職証明書、廃業届出済み証明書等 ) 」とあり、こちらも現実的に入手することは難しいと考えられる。結果として、令和 2 年度に各種相談会を実施したにもかかわらず、事業実績は 0 人となっている。

林業以外においても同様の事業があり、要件を統一することで異なる部署間においての差が生じないようにする運用ではあったが、実態では新型コロナウイルス感染症を理由とした解雇者がいたかもしれず、要綱上の形式的な判断ではなく、実態的な判断によって判定すべきであったと考えられる。また、異なる部署間においても同様の事実を把握していたのであれば、お互いが情報の共有を行い、要綱の定義をあわせて緩和して適用するなど、柔軟な対応が必要であったと認められる。

今後、同様の趣旨に基づく補助制度等の運用を実施する場合には、形式的な要件だけでなく、趣旨に照らした柔軟な判断ができるような枠組みの構築もご検討いただきたいと考える。

( 2 ) 補助対象経費の範囲について

当事業の補助対象となる経費は、離職者に対する人件費であり、福井市農林水産業緊急雇用支援事業補助金交付要綱においてもその旨が記載されている。しかし、福井市の予算要求の資料をみると、補助対象とはならない賞与についても算定基礎に含まれ、予算を設定していた。

<b>【意見】</b>	<b>要綱と予算要求の整合性について</b>
<p>当事業に関連する福井市農林水産業緊急雇用支援事業補助金交付要綱の第 8 条には「補助金の額」として以下の通り記載されている。</p> <p>(補助金の額)</p> <p>第 8 条 補助金の額は、予算の範囲内において対象となる月毎に算出することとし、その額は、対象労働者 1 人につき、交付対象期間に支払った賃金の月額額の 3 分の 2 に相当する額(この額に 1,000 円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。ただし、その額は、176,440 円を超えないものとする。</p> <p>第 8 条には、補助金の額は対象となる月毎に算出することとし、支払った賃金の月額額の 3 分の 2 に相当する額として規定している。すなわち毎月の支給には該当しない臨時的な支給である賞与は補助の対象とはなり得ない。</p> <p>しかし、福井市の予算要求の資料では、賞与の支給も想定した予算の設定がなされており、当該補助要綱との整合性が担保されていない状況であった。</p> <p>令和 3 年度においては( 1 )に記載した通り、実績は 0 であり、当問題は直接的な影響を及ぼさなかったが、今後においては補助要綱に沿った予算の設定、若しくは補助要綱の記載の適切性を検討し運用する必要がある。</p>	

### 3 - 7 . 林道補修事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：林道維持整備事業(単独)、中事業：林道補修事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	林道施設を補修し、森林施業及び林道利用者の安全を確保する。
事業内容	林道施設の修繕及び工事
根拠法令等	福井市林道管理規則
実施要綱等	緊急自然災害防止対策事業計画
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プ	基本施策：(基本方針 1) 森林の多面的機能の強化

ランにおける位置づけ	
事業開始年度	平成元年度
事業終了年度（予定）	（半永久的に続く事業である。）

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林道の事故件数 （件）	0	0	0

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林道の事故件数 （件）	0	0	2

### 目的の達成状況

一部整備が出来ない箇所があり、令和3年度には福井市浄教寺町で発生した林道の破損による自動車損傷事故、及び福井市皿谷町で発生した林道での落石による自動車損傷事故の2件が発生した。
--

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	4,260	5,026	4,202
決算額（収入済額）	4,432	4,945	4,106
差額	-172	81	96
< 歳出 >			
予算現額	6,600	6,900	5,300
決算額（支出済額）	6,581	6,848	5,203
繰越額	-	-	-
不用額	19	52	97

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 01 分担金	106	林道維持管理費地元分担金
22 市債 01 市債	4,000	林道整備事業債
合計	4,106	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	438	修繕料
14 工事請負費	4,765	
合計	5,203	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
白浜町自治会 会長 中野 健治	白浜線市単林道補修工事 地元分担金	106

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/8/16	工事請負費 維持補修工事	(株)小澤工務店 代 表取締役 小澤 雅志	羽坂～東平線市単 林道補修工事	1,100

7. 監査の結果と意見

(1) 目標となる事故件数の発生について

当事業の目標は、林道の事故件数を掲げているが、令和3年度においては2件の事故が発生した。福井市においては毎年度、職員による林道の見回りにて補修すべき箇所を発見したり、地元民からの連絡によって予算を立てているため、全体的な補修計画等は存在しない。よって、事故を防ぐ補修箇所の特定は職員による見回り、及び地元民からの連絡にて把握している。

【意見】	効果的、効率的な巡回、及び巡回計画について
<p>当事業の目標である林道の事故件数を0とするため、林道の補修すべき箇所を特定しなければならないが、その特定方法は職員による見回り、及び地元民からの連絡にて把握している。しかし、職員による見回りにて全ての林道の状況を把握することは非常に難しく、福井市としても優先度を決めて巡回することや、災害が発生した際も被災の状</p>	

況に応じて見回りのルートを決めているとのことである。令和 2 年度までは事故件数は 0 であったが、令和 3 年度においては 2 件の事故が発生した。全体的な林道補修計画等は存在せず、全ての事故を予測し、林道を補修することは現実的に難しいと考えるが、実際に起きた事故の重大さを認識し、引続き事故発生の可能性の高い林道、利用者が多い林道を優先的に巡回し、一定の周期で一巡できるよう計画立てて、事故件数 0 となるよう取り組むことを期待したい。少なくとも林道を一巡する計画は作成することが必要と考える。

### 3 - 8 . 林道維持管理諸経費

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：林道維持整備事業(単独)、中事業：林道維持管理諸経費 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	市が管理する林道の維持管理を行うことで、林道利用者の安全を確保するとともに森林整備・保全の適切な実施や林業生産性の向上を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の利用が多い幹線林道の維持管理に必要な会計年度任用職員の報酬</li> <li>・林道の除草、法面崩壊土砂撤去の重機借上げ</li> <li>・職員の刈払機作業従事者安全衛生講習及び橋梁メンテナンス研修の受講費</li> <li>・会計年度任用職員が使用するチェーンソー、刈払い機の購入費</li> </ul>
根拠法令等	福井市林道管理規則
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針 1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	平成元年度
事業終了年度(予定)	(半永久的に続く事業である。)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林道の事故件数 (件)	0	0	0

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林道の事故件数 (件)	0	0	2

### 目的の達成状況

一部整備が出来ない箇所があり、令和3年度には福井市浄教寺町で発生した林道の破損による自動車損傷事故、及び福井市皿谷町で発生した林道での落石による自動車損傷事故の2件が発生した。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	921	976	1,285
決算額(収入済額)	1,191	1,059	780
差額	-270	-83	505
<歳出>			
予算現額	14,287	14,670	15,273
決算額(支出済額)	13,750	12,921	14,934
繰越額	-	-	-
不用額	537	1,749	339

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 01 分担金	780	林道維持管理費地元分担金
合計	780	



5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
01 報酬	3,335	会計年度任用職員報酬
03 職員手当等	173	会計年度任用職員手当
08 旅費	322	会計年度任用職員通勤手当
10 需用費	323	消耗品費、電気料
11 役務費	628	一般電話料、専用回線料
12 委託料	2,381	
13 使用料及び賃借料	7,613	
17 備品購入費	134	
18 負担金、補助及び交付金	25	講習会参加負担金
合計	14,934	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	委託料 その他 の委託料	福井森林組合 代 表理事組合長 吉 田 正継	林道除草業務委託 料（福井地区）	1,994
2022/1/17	使用料及び賃借料 重機械借料	（株）角組 代表 取締役 土角 清 仁	重機械借上料 林 道越前西部四号線 （国山町）	1,301

7. 監査の結果と意見

（1）目標となる事故件数の発生について

林道補修事業における監査の結果と意見（1）と同様である。

【意見】	効果的、効率的な巡回、及び巡回計画について
林道補修事業における監査の結果と意見（1）と同様である。	

（2）事業効果を測定する指標について

福井市は当事業の効果を測定する指標として、林道の事故件数を掲げているが、予算を要求する際の資料である予算要求概要書においては、事業の効果として事業費の総額が記

載されている。

<b>【意見】</b>	<b>目標の統一化について</b>
<p>当事業は、福井市が管理する林道の維持管理を行うことで、林道利用者の安全を確保するとともに森林整備・保全の適切な実施や林業生産性の向上を図ることを事業の目的としており、結果的には林道利用者が事故に巻き込まれないようにすることが目標である。福井市においては、当事業の効果を測定する指標として、林道の事故件数を掲げており、事業の目的に沿った目標となっているが、予算要求概要書においては事業費の総額が事業の効果として記載されている。事後的な事業効果の測定を行うに際しても、統一した指標を定めて行うことは有用であり、資料間の整合性を図るためにも、事業の目標や効果は統一化すべきである。</p>	

### 3 - 9 . 林道橋梁点検診断事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：林道維持整備事業(単独)、中事業：林道橋梁点検診断事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)</p>
事業目的	<p>老朽化等により機能が低下した林道橋梁の点検診断・補修等を計画的に実施することで、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図る。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林道橋梁点検診断に基づく補修工事</li> <li>・ 個別施設計画に基づく、長期的な維持管理をするために必要な定期点検</li> </ul>
根拠法令等	<p>福井市林道管理規則</p>
実施要綱等	<p>農山漁村地域整備交付要綱、農山漁村地域交付金実施要綱、農山漁村地域整備交付金実施要領、県単林道事業実施要領、福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱、福井市林道施設長寿命化計画(個別施設計画 林道橋梁、トンネル)、越前地域森林計画、福井市森林整備計画、福井市国土強靱化地域計画、福井県農山漁村地域整備計画(ふくい森づくり整備計画)</p>
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する</p>
福井市森林整備・林業成長産業化推進ブ	<p>基本施策：(基本方針1)森林の多面的機能の強化</p>

ランにおける位置づけ	
事業開始年度	平成 29 年度
事業終了年度（予定）	令和 5 年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
橋梁・トンネルの長寿命化対策済施設数（累計）	3	3	5

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
橋梁・トンネルの長寿命化対策済施設数（累計）	1	3	5

### 目的の達成状況

令和元年度において、国の予算がつかず計画より下回った。累計の実績では令和 3 年度において達成している。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	21,672	14,900	13,650
決算額（収入済額）	7,050	14,400	12,350
差額	14,622	500	1,300
< 歳出 >			
予算現額	22,420	15,800	14,500
決算額（支出済額）	9,188	15,465	14,195
繰越額	-	-	-
不用額	13,232	335	305

### 増減の理由

令和 2 年度に実施した二枚田幹線林道橋梁補修工事（二枚田幹 1 号橋）において、旧塗膜における有害物質の含有量試験を行ったところ、鉛が検出されたため、鉛中毒予防規則等に基づき工法及び安全設備について増工したため、令和 2 年度の歳出決算額が増加している。

4．歳入の内訳（令和 3 年度）（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	6,250	農山漁村地域整備交付金事業補助金
22 市債 01 市債	6,100	林道整備事業債
合計	12,350	

5．歳出の内訳（令和 3 年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	4,895	
14 工事請負費	9,300	
合計	14,195	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/25	工事請負費 維持補修工事	高崎建設（株）代 表取締役 高崎 俊 二	林道梅ヶ岩線橋梁 補修工事	2,877
2022/4/26	委託料 保 守点検委託料	（株）サンケン試錐 コンサルタント 代 表取締役 建石 裕 嗣	林道橋梁点検診断 業務委託 小事業 科目更正	3,256

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 3 - 10 . 林道開設事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：林道維持整備事業（補助）、中事業：林道開設事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	林道路網を整備することにより、効果的な林業経営の展開や健全な森林機能の保全を図る。
事業内容	・越前西部四号線、安居1号線の林道開設
根拠法令等	
実施要綱等	森林環境保全整備事業実施要綱、森林環境保全整備事業実施要領、県単林道事業実施要領、福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱、越前地域森林計画、福井市森林整備計画、福井市国土強靱化地域計画、福井県農山漁村地域整備計画（ふくい森づくり整備計画）
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策： (基本方針1) 森林の多面的機能の強化 (基本方針3) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	昭和60年度
事業終了年度(予定)	令和5年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林内の路網整備延長 (m)	65,889	67,980	70,000

##### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林内の路網整備延長 (m)	65,291	68,657	52,848

### 目的の達成状況

令和 3 年度においては、大幅に目標未達成となっている。林道及び作業道が対象であり、整備延長に対して地権者からの同意が遅れたこと、及び降雪の影響により作業が進まなかったことが要因である。作業の遅れが生じた路線に関しては、令和 4 年度に全て完了する見込みとなっている。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	145,432	117,793	104,938
決算額 (収入済額)	49,562	94,519	45,383
差額	95,870	23,274	59,555
< 歳出 >			
予算現額	147,340	118,619	107,216
決算額 (支出済額)	51,699	95,263	46,346
繰越額	95,512	23,107	60,870
不用額	129	249	0

### 増減の理由

工事内容により、歳出決算額は増減する。令和 2 年度においては、鷗谷線の開設工事のため歳出決算額が増加している。令和 3 年度においては、安居 1 号線の開設工事に際し、当初想定していなかった岩が掘削面に出現し、その掘削経費が当初より増加したことから施工延長を減らしたため、歳出決算額が減少している。

### 4. 歳入の内訳 (令和 3 年度)

(単位：千円)

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	29,683	団体営林道事業 (森林環境保全整備事業) 補助金
22 市債 01 市債	15,700	林道整備事業債
合計	45,383	

### 5. 歳出の内訳 (令和 3 年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	560	消耗品費、燃料費、修繕料
13 使用料及び賃借料	119	

14 工事請負費	45,240	
21 補償、補填及び賠償金	427	立木補償費
合計	46,346	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	工事請負費 資産 取得のための工事 (インフラ資産)	(有)三大 代 表取締役 三好 杏奈	令和2年度補正 安居1号線林道開 設工事	22,667
2022/1/17	工事請負費 資産 取得のための工事 (インフラ資産)	(株)角組 代 表取締役 土角 清仁	林道越前西部四号 線開設工事	15,072

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 3-11. 県単林道事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：県単林道整備事業、中事業：県単林道事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	林道施設の機能維持を図るため、施設改良を行い、森林施業者及び林道利用者の安全を確保する。
事業内容	・林道施設の被災を未然に防ぐための改良工事
根拠法令等	福井市林道管理規則
実施要綱等	県単林道事業実施要領、福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化

ランにおける位置づけ	
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度（予定）	（半永久的に続く事業である。）

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設の長寿命化	1	1	1

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設の長寿命化	1	1	1

### 目的の達成状況

計画目標を達成した。
------------

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	2,125	2,225	2,235
決算額（収入済額）	2,125	2,225	2,235
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	2,250	2,250	2,270
決算額（支出済額）	2,250	2,250	2,270
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金	1,135	県単林道事業補助金



02 県補助金		
22 市債 01 市債	1,100	林道整備事業債
合計	2,235	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
14 工事請負費	2,270	
合計	2,270	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/15	工事請負費 資産 取得のための工事 (インフラ資産)	(株)岩佐土建 代表取締役 岩 佐 晴雄	県単林道篠尾線改 良工事	2,270

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 1 2 . 間伐材資源有効利用促進事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：森林整備総合対策事業、中事業：間伐材資源有効利用促進事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	・間伐材搬出経費を支援することで、健全な山林の造成を図るとともに、資源の有効利用の拡大を図る。 ・間伐材の有効利用と付加価値の高い製品供給体制整備の促進を図る。
事業内容	・間伐材を集積・積込する場所から集成材工場及び合板工場並びに加工場等に搬出経費に支援、1 m <sup>3</sup> 当り 960 円を限度 ・林業機械の購入及び林業施設整備に要する経費の3分の1以内
根拠法令等	

実施要綱等	福井市間伐促進強化対策事業補助金交付要綱 福井市間伐材等安定供給促進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策： (基本方針1) 森林の多面的機能の強化 (基本方針3) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成3年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
間伐材搬出量(㎥)	30,000	30,000	30,000

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
間伐材搬出量(㎥)	40,198	43,077	48,707

### 目的の達成状況

ウッドショックの影響で外材の輸入が滞ったことにより、国産材の需要が高まった結果、目標を上回った。
--

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	3,700	6,400
決算額(収入済額)	-	3,700	3,400
差額	-	-	3,000
<歳出>			
予算現額	7,200	7,200	6,900
決算額(支出済額)	7,200	6,606	6,900
繰越額	-	-	-

不用額	-	594	-
-----	---	-----	---

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
22 市債 01 市債	3,400	林業振興整備事業債
合計	3,400	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	6,900	補助金
合計	6,900	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	美山町森林組合 代表理事 組合長 渡辺 一夫	令和3年度 福井市間伐促進強化対策事業補助金（美山町森林組合）	3,453

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 13 . 県単作業道等機能強化整備事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：森林整備総合対策事業、中事業：県単作業道等機能強化整備事業 （款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費）
------------------	---

事業目的	作業道等の適正な維持管理を行うことで、間伐や保育などの森林整備を促進する。
事業内容	・作業道等の改良及び災害復旧に要する経費の100分の66以内
根拠法令等	
実施要綱等	県単林道事業実施要領、福井市作業道等機能強化整備事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成17年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林内の路網整備延長 (m)	65,889	67,980	70,000

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林内の路網整備延長 (m)	65,291	68,657	52,848

### 目的の達成状況

令和3年度においては、大幅に目標未達成となっている。林道及び作業道が対象であり、整備延長に対して地権者からの同意が遅れたこと、及び降雪の影響により作業が進まなかったことが要因である。作業の遅れが生じた路線に関しては、令和4年度に全て完了する見込みとなっている。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	465	180	1,404
決算額(収入済額)	372	180	1,404
差額	93	-	-
<歳出>			
予算現額	819	396	3,090
決算額(支出済額)	818	396	3,089
繰越額	-	-	-
不用額	1	-	1

#### 増減の理由

令和3年度においては、被災復旧作業道工事が増加したため歳出決算額が増加している。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	1,404	県単作業道等機能強化整備事業補助金
合計	1,404	

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	3,089	補助金
合計	3,089	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/1/17	負担金、補助及び交付	越前福井森林組合 代表理事組合長 関 孝治	令和3年度 県単作業道等機能強化整備事業補助金(越前福井森林組合)	2,310

	金 建設 事業補助金			
--	---------------	--	--	--

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 1 4 . 森林総合整備事業

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：森林整備総合対策事業、中事業：森林総合整備事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	・森林の持つ公益的機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資する。 ・適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図る。
事業内容	・植栽、雪起し、下刈、除伐、間伐、枝打ち等の施業や森林作業道等の整備の100の10以内 ・1ha 当り 46,000 円を限度
根拠法令等	
実施要綱等	福井県民有林森林整備補助金交付要綱 福井市流域森林総合整備事業補助金交付要綱 福井市森林整備地域活動支援交付金事業補助金交付要綱 福井県森林整備地域活動支援交付金等事務取扱要領 福井市国土強靱化地域計画
第七次福井市総合計画における位置づけ	当事業は、第七次福井市総合計画において代表的な事業として取り上げていなかった。
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	昭和46年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
間伐面積 (ha)	400	400	400

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
間伐面積 (ha)	419.80	395.85	421.86

### 目的の達成状況

目標は概ね達成している。ウッドショックの影響で外材の輸入が滞ったことにより、国産材の需要が高まった結果、目標を上回った。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	18,836	13,847	19,032
決算額 (収入済額)	13,653	11,593	11,133
差額	5,183	2,254	7,899
< 歳出 >			
予算現額	21,600	21,500	19,300
決算額 (支出済額)	21,250	18,928	19,300
繰越額	-	-	-
不用額	350	2,572	-

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳 (令和3年度)

(単位：千円)

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	5,333	森林整備地域活動支援交付金事業補助金
22 市債 01 市債	5,800	林業振興整備事業債
合計	11,133	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	19,300	補助金
合計	19,300	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	福井森林組合 代表理事組合長 吉田 正継	令和3年度 流域森林 総合整備事業補助金 (福井森林組合)	6,090

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 15 . 森林経営管理事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：森林整備総合対策事業、中事業：森林経営管理事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	林業経営者が間伐等の森林整備を実施することにより、健全で活力ある優良な森林を造成するとともに持続的な森林経営を実現する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林所有者への経営管理意向調査に係る経費</li> <li>・ 意向調査から森林整備に必要な登記などの森林情報の収集、森林調査、境界の明確化の委託</li> <li>・ 5 ha 以下の森林経営計画を策定できない森林整備に対し助成</li> <li>・ 自然災害により荒廃した森林整備に対し助成</li> <li>・ 里山林や住民に身近な樹木の維持管理に対し助成</li> </ul>
根拠法令等	森林経営管理法、森林経営管理法施行規則、森林経営管理法施行令、 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律施行規則、森林環境税及



	び森林環境譲与税に関する法律に関する法律要綱、地方自治法施行令の一部改正、地方財政施行令の一部改正、災害対策基本法施行令の一部改正、総務省組織令の一部改正、福井市森林環境譲与税基金条例
実施要綱等	経営管理権集積計画作成に係る意向調査全体計画、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針、福井市森林環境譲与税活用ガイドライン 福井市ふくいの森林整備事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	当事業は、森林経営管理法等の施行を機に令和元年度より開始した事業であるため、第八次総合計画から新たに加わったものである。
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
意向調査実施箇所数	4	4	8

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
意向調査実施箇所数	4	4	8

### 目的の達成状況

本事業の目的は森林所有者に森林経営の意向を確認し、森林整備につなげることであるため、意向調査を行った地区数を目標として設定している。計画目標を達成した。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度

<歳入>			
予算現額	-	45,495	55,830
決算額（収入済額）	-	15,025	23,769
差額	-	30,470	32,061
<歳出>			
予算現額	23,310	36,043	55,830
決算額（支出済額）	4,132	15,025	23,769
繰越額	-	5,319	15,000
不用額	19,178	15,699	17,061

年度途中で歳出予算の一部を木質バイオマスエネルギー事業へ流用したため、歳入予算が歳出予算を上回っている。

#### 増減の理由

令和元年度に作成した意向調査全体計画に基づき事業量を増加したため、歳出決算額が増加傾向にある。具体的には、意向調査及び境界確認・画定事業の委託を開始したためである。
--

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
02 地方譲与税	23,769	
04 森林環境譲与税		
合計	23,769	

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
01 報酬	3,533	会計年度任用職員報酬
03 職員手当等	721	会計年度任用職員手当
08 旅費	152	会計年度任用職員通勤手当
10 需用費	73	消耗品費、燃料費
11 役務費	97	郵便料
12 委託料	10,539	
17 備品購入費	108	
18 負担金、補助及び交付金	8,546	補助金
合計	23,769	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/15	委託料 その他 の他の委託料	(株)アスワ測量設計 代表取締役 留木 大輔	令和2年度経営管理権集積計画測量業務委託料(森林環境譲与税関連事業)	5,318
2022/2/25	負担金、補助 及び交付金 その他の補助 金	福井森林組合 代表理事組合長 吉田 正継	令和3年度ふくい の森林整備事業補助金(城戸ノ内・安波賀町) (森林環境譲与税関連事業)	1,043

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 意向調査の重要性について

森林経営管理制度は、手入れの行き届いていない森林について、市町村が森林所有者から経営管理の委託(経営管理権の設定)を受け、林業経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託するとともに、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理(市町村森林経営管理事業)をする制度である。当事業は、森林経営管理制度に基づき、森林所有者への経営管理意向調査、意向調査から森林整備に必要な登記などの森林情報の収集、森林調査、境界の明確化により、まずは森林所有者の特定、及び森林所有者の森林に対する意向の明確化を第一の目的として実施されている。森林所有者の特定、及び森林所有者への意向確認は、森林経営管理制度に基づき、経営管理が行われていない森林について、福井市が仲介役となり森林所有者と担い手を繋ぐ仕組みを構築する上で非常に重要であり、同制度の適用においてスタートの位置づけとなる。福井市における意向調査は、現在、事業目的の達成状況に記載の通り16林班が完了している状況であるが、対象地区は全672林班であり、令和20年度までに一巡して意向調査を行う予定である。

<b>【意見】</b>	優先度に基づいた計画的な意向調査の実施について
森林経営者への意向調査は、森林経営管理制度の土台となる非常に重要な作業である。福井市においては、令和20年度までに一巡して全672林班の意向を確認する方針であり、その道のりは長い。森林所有者への意向を確認する前には、当然であるが森林	

所有者の特定が必須であり、中には相続に伴う所有権の移転登記がなされていないことなどにより、森林所有者の一部が不明な森林（共有者不明森林）または森林所有者の全部が不明な森林（所有者不明森林）が生じている場合もある。森林経営管理制度には、そのような共有者不明森林、所有者不明森林に対して特例措置（ ）が設けられており、所定の手続きを踏めば、一定期間経過後には福井市が定める経営管理権集積計画（市町村が経営管理を行うべきと判断した森林を取りまとめる際に作成される計画）に同意したものとみなされ、事業を遂行することができる。このようにまずは、森林所有者の特定が非常に重要であり、効果的、効率的に森林所有者の特定及び意向調査を行うためには、各林班に対し優先順位を決めることが大切である。この優先順位には、森林の経営管理の状況や、森林所有者の数など地域の実情に影響されるが、林野庁が定める「森林経営管理制度に係る事務の手引」には、意向調査が優先される例として、

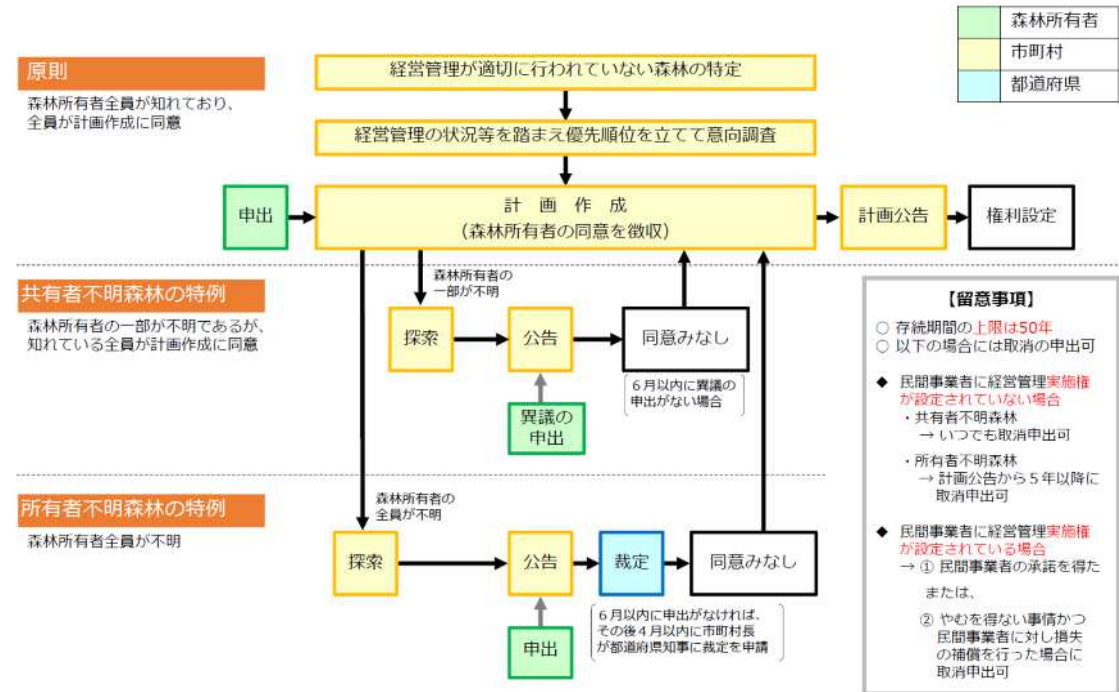
- ア．「間伐が遅れている」等経営管理が行われていない森林
- イ．人工林資源の多い林班（林班内の人工林率が50%以上等）や林道の近接地等、効果的かつ安定的に経営管理が行うことができるまとまりのある森林（森林経営計画が策定されていない等、経営管理が行われていることを現時点で確認できていない場合）
- ウ．森林経営計画対象森林に介在又は隣接する森林
- エ．森林所有者から市町村に経営管理権の設定の申出のあった森林の周辺森林（林班単位又は当該林班を含めた複数林班単位）

の4点を挙げており、さらには公益性の観点から森林整備の優先度が高いと判断される森林を優先する、地域の林業事業者や地元自治会から森林整備の意向がある森林や経営管理が行いやすい森林を優先する、所有者不明森林の解消や発生防止の観点から住民の高齢化率の高い地域から優先するといった優先順位の決定方法も記載されている。このような考え方を参考にして、長年において行われる意向調査につき、優先順位を決定し、効果的、効率的に行われることを期待したい。

また、森林所有者の特定や境界の明確化の作業は、自伐林家育成事業の監査意見として記載した自伐林家の把握や、境界不明瞭に伴う違法伐採の問題にも関連することとなるので、その点をあわせて確認し対応することが望まれる。

：経営管理権集積計画の作成に係る特例措置の概要（林野庁HPより抜粋）

## 経営管理権集積計画の作成に係る特例措置の概要（手続の流れ）



### （2）事業の周知について

当事業には意向調査の他、ふくいの森林整備事業として森林所有者や意欲と能力のある林業経営体に対し、5ha以下の森林経営計画を策定できない森林、自然災害により荒廃した森林、里山林や住民に身近な樹木について、林業経営者が間伐等の森林整備を実施することに対して助成を行っている。福井市のホームページや森林組合発行の広報誌、地区の自治会長の会合へ出席し事業周知を図ったが実際の申請は想定以上に少なく、合計額で令和元年度においては19,178千円、令和2年度においては15,699千円、令和3年度においては17,061千円の不用額が発生している。

【意見】	事業周知の徹底、自治会活動への促進について
<p>福井市においては、当事業内のメニューであるふくいの森林整備事業をホームページや森林組合発行の広報誌、地区の自治会長の会合へ出席し事業周知等を行ったが、実際の申請は想定以上に少ない結果となった。現在においても同様の方法にて、更なる事業周知に努めているとのことである。申請実績が少なかった理由は、各自治会から補助単価が見合っていないことや、福井市の周知不足として認識されている。</p> <p>今後においては、メニュー内での補助単価の見直しや、未申請である自治会に対して事業の内容、補助対象となる活動を示して、各自治会に積極的に取り組むよう働きかけることが必要である。</p>	

### 3 - 16 . 地域森林環境整備事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：森林整備総合対策事業、中事業：地域森林環境整備事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	原木生産を伴わない森林整備を行う林業経営体に対し支援することにより、雇用の場を創出する。
事業内容	国庫補助の対象とならない区域における小規模な枝打ちの森林整備を助成する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市地域森林環境整備事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	令和2年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
枝打ち面積(ha)		8.41	9.74

##### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
枝打ち面積(ha)		8.41	9.74

##### 目的の達成状況

必要な整備量を実施できている。なお、目標値に向けて枝打ちを実施しており、目標値を超えることは行っていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	5,000	6,120
決算額(収入済額)	-	5,000	6,120
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	-	5,000	6,120
決算額(支出済額)	-	5,000	6,120
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
15 国庫支出金 02 国庫補助金	6,120	地方創生臨時交付金
合計	6,120	

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	6,120	補助金
合計	6,120	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	美山町森林組合 代表理事 組合長 渡辺 一夫	令和3年度福井市 地域森林環境整備 事業補助金(美山 町森林組合)	4,080

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 3 - 17 . 松くい虫被害対策事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：病害虫対策事業、中事業：松くい虫被害対策事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	松くい虫による森林被害の予防及び駆除を行う。
事業内容	ヘリコプターによる薬剤散布、地上からの大型動力噴霧器による薬剤散布、松の健全木の幹への薬剤注入、枯損木処理及び植栽
根拠法令等	森林病害虫等防除法
実施要綱等	福井県松くい虫被害総合対策事業実施要領、福井県松くい虫被害特別対策事業実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	昭和55年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被害面積(ha)	4.1	4.1	4.1

##### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被害面積(ha)	4.6	4.4	4.4

##### 目的の達成状況

被害対策として防除事業を実施したが被害面積を抑えることができなかった。なお、被



害面積の目標値は福井市内全域の保全すべき松林の1%未満として設定している。この1%は国の設定方針であり、過去から同様の目標水準として定めている。また、福井市内において防除事業を実施しているのは、福井市内でも越前海岸国立公園エリアなどに限定していることから、その他の地域では被害は減っていないことが原因である。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	16,740	18,210	18,237
決算額 (収入済額)	16,209	17,945	17,947
差額	531	265	290
< 歳出 >			
予算現額	23,000	25,000	25,000
決算額 (支出済額)	22,229	24,939	24,963
繰越額	-	-	-
不用額	771	61	37

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

### 4. 歳入の内訳 (令和3年度)

(単位：千円)

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	17,947	松くい虫被害対策事業補助金
合計	17,947	

### 5. 歳出の内訳 (令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
12 委託料	24,963	
合計	24,963	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
福井県 福井農林総合事務所	(春期) 松くい虫被害総合対策事業補助金 (特別防除事業)	9,653

## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/5	委託料 その他の委託料	福井森林組合 代表理事組合長 吉田 正継	令和3年度(春期)松くい虫被害総合対策事業委託料(特別防除)	12,870

## 7. 監査の結果と意見

## (1) 事業効果を測定する指標、及び実績値の把握について

上記2. 事業目的の達成状況の、目的の達成状況に記載の通り、福井市は当事業の効果を測定する指標として、松くい虫の被害面積を掲げており、この指標は国の方針である保全すべき松林の1%を参考に設定している。また、当防除事業の実施エリアは福井市内の中でも越前海岸国定公園エリアなどに限定しており、実績値は防除事業のエリア対象外の地域の被害面積も含まれている。

【意見】	福井市独自の目標値の設定について
<p>当事業の効果を測定する指標として、国の設定方針となる保全すべき松林の1%の被害面積を掲げており、被害面積の実績値をみると過去3ヵ年において目標未達成と見受けられる。この理由は、福井市内において特に防除が必要と認められるエリアとして、越前海岸国定公園などに限定していることから、その他の地域では被害は減っていないことが要因として挙げられる。平成に入ってから、国の方針として選択と集中により、防除すべきエリアを限定して効率よく防除事業を実施する考え方が導入されたことに伴い、福井市においても越前海岸国定公園エリアに力を入れて防除事業を実施した。しかし、事業の効果を測定する実績としては全エリアの被害面積を集計していることから、必然的に目標未達成に見える結果となる。これでは、事業を実施したとしても事後的に検証すると、毎年度事業の効果は発揮されなかったように見受けられる。</p> <p>そのため、国の設定方針は参考にしつつも、福井市独自の目標値を設定した方が、後の事業効果の測定にあたり、事業の効果を発揮できたのか否かを的確に検証することができる。例えば、福井市が防除すべきエリアとして越前海岸国定公園の地域を定めたのであれば、当エリアの何割において被害面積を抑えられたとの測定が必要であろう。そのエリアに対する実績値の把握も含めて今一度、独自の目標値の検討が必要と考える。</p>	

## 3-18. 森林組合強化育成貸付金

## 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：林業金融対策事業、中事業：森林組合強化育成貸付金 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	森林組合に対して行う融資することで、森林施業の合理化と森林生産力の増大及び経済状態を改善し、社会的地位を高める。

事業内容	森林組合の経営を安定されるために必要な強化育成資金の貸付 福井森林組合：150,000 千円、美山町森林組合：70,000 千円
根拠法令等	
実施要綱等	森林組合振興事業資金融資要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2) 担い手の確保・育成
事業開始年度	昭和 44 年度
事業終了年度（予定）	（半永久的に続く事業である。）

## 2．事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
間伐面積（ha）	400	400	400

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
間伐面積（ha）	419.80	395.85	421.86

### 目的の達成状況

森林組合の経営において、国の造林補助が収入の大きなウエイトを占めており、造林補助の大部分が間伐作業であるため、間伐面積と森林組合の経営がある程度連動していることが想定できることから、福井市として当事業の目標を間伐面積としている。目標は概ね達成している。
--

## 3．歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	220,000	220,000	220,000
決算額（収入済額）	220,000	220,000	220,000

差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	220,000	220,000	220,000
決算額（支出済額）	220,000	220,000	220,000
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
21 諸収入 03 貸付金元利収入	220,000	森林組合貸付金元利収入
合計	220,000	

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
20 貸付金	220,000	
合計	220,000	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### （2）歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/30	貸付金 森 林組合強化育 成貸付金	福井県農業協同組合 代表理事組合長 富 田 勇一	福井森林組合強化育 成貸付金	150,000

#### 7．監査の結果と意見

##### （1）森林組合への融資制度について

当事業は、福井市が特定金融機関である福井県農業協同組合に一定の融資資金を預託し、預託を受けた福井県農業協同組合は、福井市長が融資の決定をした場合において、森林組合に対して融資を行うものである。福井市の森林組合振興事業資金融資要綱によると、融

資の条件は以下の通りである。

融資金額	融資金額は、予算に定める範囲内とする。
融資期間	融資を行った日から当該年度の末日までとする。
償還期限	償還期限は、当該年度の末日とする。 ただし、繰り上げ償還することができる。
利息	無利子とする。
担保	原則として無担保扱いとする。

【指摘】	森林組合への融資制度の見直しについて
<p>当事業により、福井市は福井県農業協同組合に対して融資資金を預託しており、福井県農業協同組合は各森林組合に対して融資を行っている。毎年度、福井森林組合に対し150,000千円、美山町森林組合に対し70,000千円に相当する預託金を福井県農業協同組合に出しており、各森林組合は福井県農業協同組合から同額の融資を受けている。</p> <p>過去より同額の資金の預託を行っており、福井市としても毎年度回収はできているが、上記の融資の条件に記載の通り、各森林組合への融資は無利子であり、原則無担保の扱いとなっている。森林組合の代表理事組合長と筆頭理事の連帯保証を証明する書類があり個人保証を受けてはいるが、融資金額が多額であるため、万が一、貸付金を回収できないリスクを考えると、制度そのものとして最低限は融資の見返りである利子を徴求すべきではないかと考えられる。なお、福井市と福井県農業協同組合との預託契約書においては、森林組合が預託貸付金を福井県農業協同組合に弁済できない場合等には、福井市と福井県農業協同組合が協議のうえ解決にあたりとされており、福井市にも貸付金が回収できない場合に損失を負担するリスクがあると判断される。</p> <p>また、各森林組合の総会資料を入手し、貸借対照表にて財政状態を確認したところ、純資産額は十分に厚く、過去より同額で行われている融資についても全額実施する必要はないのではないかと見受けられ、毎年度、同額の資金を預託するのではなく、財政状態に応じた融資金額の見直しをも行うべきとも考えられる。</p> <p>福井市にとっても多額の資金が一年間預託され、その間は資金が凍結されることに鑑みると、上述した融資制度そもそもの在り方を検討し直すことが必要である。</p>	

### 3 - 19 . 森林・山村多面的機能発揮対策事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市民参加型森林整備普及啓発事業、中事業：森林・山村多面的機能発揮対策事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	森林の多面的機能を発揮させる。
事業内容	市民主体の里山林整備に対し支援、及び研修会を行う。

根拠法令等	
実施要綱等	(国)森林・山村多面的機能発揮対策交付金交付等要綱、森林・山村多面的機能発揮対策実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)森林の多面的機能の強化
事業開始年度	平成25年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動団体数(団体)	28	24	24

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動団体数(団体)	24	25	25

### 目的の達成状況

令和2年度以降は必要な活動団体数を維持できた。令和元年度においては、対象事業や内容等の改正(教育・研修活動タイプの廃止、原則として4年目以降の同じ場所で同じ内容の活動は認められないこと)が行われ、「教育・研修活動タイプ」を主に活動メニューとしていた団体が令和元年度の申請を取りやめたため、目標値を下回っている。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	204	200	160
決算額(収入済額)	195	180	158
差額	9	20	2

<歳出>			
予算現額	2,503	2,480	2,232
決算額(支出済額)	2,448	2,320	2,191
繰越額	-	-	-
不用額	55	160	41

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度) (単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	158	豊かな森林・山村づくり推進事業補助金
合計	158	

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度) (単位:千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	50	消耗品費
12 委託料	108	
18 負担金、補助及び交付金	2,033	協議会負担金
合計	2,191	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/1/5	負担金、補助及び交付金 法令外負担金	福井県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会 会長 松倉 治和	令和3年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業負担金(法令外負担金)	2,052

#### 7. 監査の結果と意見

##### (1) 地域協議会の収支決算書について

当事業の内容は、福井県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会（以下、「地域協議会」という。）を通して、活動する団体へ負担を行うことを主としている。福井市においては、負担先の地域協議会から収支決算書を毎年度入手しており、収支内容及び資金使途の確認を行っている。令和 3 年度の収支決算書を確認した所、国や県、市町村からの負担金収入と、各活動団体への交付金支出との額が異なっていた。

<b>【意見】</b>	<b>収支決算書における会計方針の統一について</b>
<p>地域協議会を通して各活動団体へ負担金を交付するという事は、地域協議会の収支決算書では少なくとも国や県、市町村からの負担金収入と各活動団体への交付金支出の金額は一致するものと考えられる。令和 3 年度の収支決算書を確認すると、収入の部における対策交付金（活動組織向け）と、支出の部における対策交付金（活動組織向け）とが 2,198,525 円異なり、支出の部の金額が多かった。この点、地域協議会に確認した所、会計事務の煩雑さを防ぐため、収入の部においては国や県、市町村への請求額を基にした発生主義により、支出の部においては実行ベースの現金主義により作成されているとのことであった。収入の部、及び支出の部の会計方針が異なると、地域協議会において与えられた負担金を超えての支出が行われているように見受けられることや、その反対に各活動団体へ全ての交付金支出がなされていないなどの誤解を与える可能性が生ずる。収支決算書であることから収入の部、及び支出の部いずれにおいても現金主義で決算書は作成されるべきであり、国や県、市町村からの負担金収入と、各活動団体への交付金支出の対応関係は明確にしなければならない。</p> <p>福井市においては、収支決算書を確認する際に地域協議会へ会計方針の統一について指導を行うとともに、それが可能でなければ少なくとも収入と支出の対応関係については明確に把握すべきであると考えます。</p>	

### 3 - 20 . 林業団体活動支援事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市民参加型森林整備普及啓発事業、中事業：林業団体活動支援事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	地域・団体ごとに森林の機能や林業活動への再認識の機運を高める。
事業内容	森林の保全・育成に取り組む各種団体への活動支援、150,000 円上限
根拠法令等	
実施要綱等	福井市林業団体活動支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する



第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	平成元年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

林業団体の活動を支援するものであるから、経常経費としており、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	489	489	489
決算額(支出済額)	489	489	444
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	45

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交	444	

付金		
合計	444	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	(一社)福井県猟友会高志支部 支部長 齊藤 藤伸	令和3年度林業団体活動支援事業(福井県猟友会高志支部)	108

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 各林業団体に対する補助額について

当事業の内容は、森林の保全・育成に取り組む各種団体への活動支援として、150,000円を限度に補助を行っている。令和3年度においては予算要求の段階において6団体に対して補助金の額を見積もっているが、各団体への補助額が団体ごとに異なっており、担当課へその理由をヒアリングしたところ、過去より踏襲し同額の補助を行っているとのことであり、補助額の根拠が得られなかった。

<b>【指摘】</b>	各団体に対する補助額の見直しについて
<p>当事業においては、森林の保全・育成に取り組む各種団体への活動支援として、150,000円を限度として補助を行っているが、歳出の内容を確認すると、120,000円の補助を受けている団体、108,000円の補助を受けている団体、60,000円の補助を受けている団体、45,000円の補助を受けている団体と、団体により異なる補助額となっていた。</p> <p>この点、福井市の担当課に理由を確認しても、過去より踏襲し同額の補助を行っているとの回答のみであり、補助額の根拠が得られなかった。</p> <p>少なくとも活動内容や実績に応じた補助額の水準は統一すべきであり、それが難しい場合には補助額を一律にするなどの別途の対応が必要と認められる。もっとも、他の同様の事業においても補助の制度は存在しているので、当該事業とまとめて補助水準を見直すことも考えられる。</p> <p>いずれにしても、金額の見直しは必要であり、活動内容や実績に応じた、もしくは各団体一律の補助など、統一的な水準により、今一度各団体に対する補助額を再考すべきである。</p>	

### 3 - 2 1 . ふくいの森林の魅力発信事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市民参加型森林整備普及啓発事業、中事業：ふくいの森林の魅力発信事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	地域資源(森林空間)を魅力ある観光コンテンツとして発掘・磨き上げるとともに地域の活性化を促進する。
事業内容	新型コロナウイルス感染症の流行収束後における観光需要回復期を見据え、地域資源を生かした着地型観光を推進するため、「人」と「森林空間」を活用し、発信力のある方(微住提唱者)と連携したトライアルツアーを開催する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市ふくいの森林の魅力発信事業補助金交付要綱、北陸新幹線福井開業アクションプラン
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)林業の成長産業化の推進
事業開始年度	令和2年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

事業立ち上げの当初は、トライアルツアーの参加人数を目標値として設定していたが、新型コロナウイルス感染症を理由に、ツアーの開始前に中止を判断し、目標値の設定は行わなかったものである。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	1,500

決算額（収入済額）	-	-	1,500
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	-	1,100	2,000
決算額（支出済額）	-	999	2,000
繰越額	-	-	-
不用額	-	101	-

#### 増減の理由

トライアルツアーは中止となったが、アフターコロナを踏まえ、在宅で就業や移住先を検討している方々に対し発信できるよう、著名芸能人を起用し、福井市の林業の魅力や山村生活の疑似体験を織り交ぜた動画撮影を実施し、公開準備を行ったため歳出決算額が増加している。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
15 国庫支出金 02 国庫補助金	500	地方創生臨時交付金
22 市債 01 市債	1,000	林業振興整備事業債
合計	1500	

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	2,000	
合計	2,000	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/31	委託料 その他の委託料	(株)LDH J APAN 代表取 締役 森 雅貴	福井市森林の魅力コン テンツ広域発信業務委 託料	1,999

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 著名芸能人を起用した動画コンテンツ

当事業は、新型コロナウイルス感染症の流行収束後における観光需要回復期を見据え、地域資源を生かした着地型観光を推進するため、「人」と「森林空間」を活用し、発信力のある方（微住提唱者）と連携したトライアルツアーを開催することが主要な内容であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当該ツアーを断念せざるを得なかった。その代替りとして、令和3年度においては、アフターコロナを踏まえ、在宅で就業や移住先を検討している方々に対し発信できるよう、著名芸能人を起用し、福井市の林業の魅力や山村生活の疑似体験を織り交ぜた動画撮影を実施し、動画コンテンツを公開している。

【意見】	動画コンテンツの周知について
<p>上記の通り、令和3年度においては、当事業の主要のトライアルツアーは新型コロナウイルス感染症の拡大を理由に中止となり、その代替りとして著名芸能人を起用した福井市の林業等の魅力や山村生活の疑似体験を織り交ぜた動画の撮影、及び動画コンテンツの公開を行っている。著名芸能人を起用することで、福井市における林業の魅力などの宣伝効果は大きいと考えられる。実際に動画を見て、就職希望やトライアルツアーが再開された場合の問い合わせが届いたとのことであるが、包括外部監査の現時点においては、動画の配信時期に比べ、再生回数が少ない状況となっている。福井市においてもホームページなどで動画公開の情報は配信しているが、著名芸能人を起用したメリットを十分に活かせることができるよう、ホームページに留まらず各所で周知をさらに行っていくことが望ましい。</p>	

## 3-22. 木材産業競争力強化対策事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：木材産業競争力強化対策事業、中事業：木材産業競争力強化対策事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	地域の木を使うことが森林整備に繋がることへの理解を深めるとともに、木の香る暮らしの豊かさを認識することで、将来における県産材利用の意識の醸成と地産地消による森林資源の循環利用を図る。
事業内容	県産材を利活用し、モデル性が高く波及効果が期待できる施設の整備、補助率：(木造・木質化) 1/2 以内、(木の調度品・おもちゃの設置) 3/4 以内
根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律施行規則、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に関する法律要綱、地方自治法施

	行令の一部改正、地方財政施行令の一部改正、災害対策基本法施行令の一部改正、総務省組織令の一部改正、福井市森林環境譲与税基金条例
実施要綱等	経営管理権集積計画作成に係る意向調査全体計画、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針、福井市森林環境譲与税活用ガイドライン 福井市子供の居場所木質空間整備事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策： （基本方針1）森林の多面的機能の強化 （基本方針3）林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成31年度
事業終了年度（予定）	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公共工事における木材利用量（ $m^3$ ）	350	350	350

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公共工事における木材利用量（ $m^3$ ）	182	203	134

### 目的の達成状況

公共施設の新築工事や改築工事等の計画や設計段階で、木材利用促進を行い、木材使用量の確保を図りたかったが、木材利用を図る大規模工事がなかったことに加え、木材と他資材との経済比較において、採用されなかったことにより、目標が達成できなかった。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	5,598	9,312
決算額(収入済額)	-	5,137	6,253
差額	-	461	3,059
<歳出>			
予算現額	4,861	5,598	9,312
決算額(支出済額)	454	5,137	6,253
繰越額	-	-	-
不用額	4,407	461	3,059

#### 増減の理由

当事業は、県産木材を利活用し、モデル性が高く波及効果が期待できる施設の整備に対して補助を実施しているものであり、事業者に対して広報などに努めたが、木造・木質化に対する申請が少なかったことにより、不用額が多く発生している。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
02 地方譲与税	6,253	
04 森林環境譲与税		
合計	6,253	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
07 報償費	172	
10 需用費	129	消耗品費
17 備品購入費	2,486	
18 負担金、補助及び交付金	3,466	補助金
合計	6,253	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/15	備品購入費 一般備品 (固定資産 以外)	福井市家具建 具協同組合 理事長 山本 英樹	飛沫感染防止用木製仕切り 板(アクリル板タイプ) (新型コロナウイルス関 係)	2,486

## 7. 監査の結果と意見

## (1) 予算メニューの偏向について

当事業の主要なメニューである「子供の居場所木質空間整備」に関しては、子供の居場所を所有または運営する者に対して、施設の木造または木質化を行う経費、木の調度品やおもちゃを設置する経費、子供を対象としたイベントの参加及び開催経費に対して補助を行っている。この内、 に対しては申請数が予算に到達したが、 に対しては申請数が少なく、結果として不用額が多く発生した。

【意見】	予算の割当について
	<p>当事業の補助事業メニューの内、木の調度品やおもちゃを設置する経費に対しては申請数が多く予算に到達したが、施設の木造または木質化を行う経費、及び子供を対象としたイベントの参加及び開催経費に対しては申請数が1件しかなく、予算未到達の結果となった。申請する事業者によっては、木造または木質化に対して県産材が利用し難い、そもそも申請自体の適用が難しいなどの声もあり、申請数が少ない結果となってしまったが、同じ補助メニューである木の調度品やおもちゃに対する経費補助に関しては、予算の上限に到達しており、補助メニュー内でも偏向があることが確認できた。</p> <p>このような結果から、次期の予算を設定する際には、同事業内の補助メニューの内容及び補助の実績などから、申請数が多く見込まれる補助メニューには多く予算を割くなどの対応を行い、効率的な予算の運用を行うことが望ましい。</p>

## 3-23. 農山漁村再生可能エネルギー推進事業

## 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農山漁村再生可能エネルギー推進事業、中事業：農山漁村再生可能エネルギー推進事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	福井市西部地区を中心に風力発電事業が計画されていることから、農林地の利用調整を適切に行うとともに、地域主導による計画的な再生可能エネルギー発電設備の整備を推進する。
事業内容	市、地域住民、農林漁業者・団体、学識経験者、設備整備者から構成される協議会により基本計画を策定する。



根拠法令等	農山漁村再生可能エネルギー法
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)林業の成長産業化の推進
事業開始年度	令和2年度
事業終了年度(予定)	(この事業は、農山漁村再生可能エネルギー法に基づく協議会が内容を協議し、福井市が策定した基本計画により、民間事業者が整備する発電設備の売電益等を活用し、地域の農林漁業の健全な発展に資する取組の進捗状況を把握する事業であるが、事業終了年度は、民間事業者の発電事業が終了となるまでのため、現段階では、終了年度が見通せないことによる。)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
協議会の開催(回)		6	6

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
協議会の開催(回)		3	3

### 目的の達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったことによる。
----------------------------------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-

<歳出>			
予算現額	-	317	303
決算額(支出済額)	-	132	107
繰越額	-	-	-
不用額	-	185	196

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
07 報償費	107	
合計	107	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	報 償 費 その他の報 償費	個人のため省 略	第4回福井市再生可能エネ ルギー-農山漁村活性化協議 会 委員報償費	10

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3-24. 木質バイオマスエネルギー事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業:農山漁村再生可能エネルギー推進事業、中事業:木質バ イオマスエネルギー事業 (款:農林水産業費、項:林業費、目:林業振興費)
事業目的	木質バイオマスエネルギー導入の可能性を調査する。

事業内容	市内の民間施設等に木質バイオマス熱利用を進めていくための方向性を取りまとめる。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	令和2年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、福井市内の民間施設等に木質バイオマス熱利用を進めていくため、木質バイオマスエネルギー導入の可能性がある事業者を調査することを目的としていたが、対象となる事業者が現れなかったため令和3年度の事業を見送ったものであり、当初より目標値を設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	9,986
決算額(収入済額)	-	8,294	-
差額	-	8,294	9,986
<歳出>			
予算現額	-	9,438	9,986
決算額(支出済額)	-	8,294	-
繰越額	-	-	-
不用額	-	1,144	9,986

：年度途中で歳出予算を森林経営管理事業から流用し事業を実施したため、歳入予算は0となっている。

#### 増減の理由

対象となる事業を行う事業者が現れず、また国の補助率減により補助対象事業を実施しなかったため、歳出決算額が減少している。令和2年度では、「福井市木質バイオマスエネルギー導入可能性調査業務」としてコンサルティング会社に業務委託しており、その費用が 8,294 千円であり、導入可能な福井市内の適用対象事業者を調査したものである。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	-	
合計	-	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

#### 7．監査の結果と意見

##### （1）事業の継続可能性について

当事業は、福井市内の民間施設等に木質バイオマス熱利用を進めていくため、木質バイオマスエネルギー導入の可能性がある事業者を調査することを目的とし、令和2年度においては「福井市木質バイオマスエネルギー導入可能性調査業務」としてコンサルティング会社に業務委託しており、導入可能な福井市内の適用対象事業者を調査した。しかし、適用対象となり得る潜在的な事業者は存在したが、実際に木質バイオマスエネルギー導入を検討する事業者は現れず、結果として令和3年度の事業実施を見送っている。

##### 【意見】

##### 潜在的な事業者に対する継続的な働きかけについて

令和2年度において、木質バイオマスエネルギーの導入を可能とする事業者の調査として、外部のコンサルティング会社に調査業務を委託し、適用対象となり得る潜在的な事業者を把握したものの、実際に木質バイオマスエネルギー導入を検討する事業者は現れず、令和3年度の事業の実施を見送る結果となった。

福井市としては、該当する事業者に対し積極的に木質バイオマスエネルギーに関する設備導入につきアプローチを行ったが、事業者側の意見として、投資回収に長期間を要することや、新型コロナウイルス感染症による業況不透明を理由に新規事業への介入を考えていない、などの否定的な意見により木質バイオマスエネルギー導入に踏み切る事業者は現れなかったとのことである。

このように導入を検討しない理由として、一過性と認められる新型コロナウイルス感染症を挙げ、業況の見通しが立ち、設備投資への不安が払拭されることがあれば、再度検討する事業者が現れる可能性も考えられる。

令和 2 年度に多額の支出を伴う導入調査を行い、調査結果を入手したことに鑑みると、令和 3 年度においては事業を見送ったとしても、その調査結果を活かして今後木質バイオマスエネルギー導入を検討する事業者が現れる可能性があることも踏まえ、当該事業者に対しては継続的なヒアリングや状況把握などの働きかけを行うことが必要である。

### 3 - 2 5 . 国見岳森林公園維持管理事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：国見岳森林公園維持管理事業、中事業：国見岳森林公園維持管理事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：森林公園施設対策費)
事業目的	施設マネジメントアクションプランに基づき施設を廃止する。
事業内容	土地賃貸借、施設解体工事設計業務、アスベスト調査。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市施設マネジメントアクションプラン
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：自然とふれあえる環境の提供
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：総合計画を推進するために 施策：SDGs をふまえた健全で持続可能な行財政運営
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	昭和 56 年度
事業終了年度(予定)	令和 5 年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	100		

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)			

：平成30年度から宿泊を廃止し、バーベキューのみの運営となり、全体の利用者数は把握していない。令和元年度のバーベキュー利用実績は5件である。

#### 目的の達成状況

福井市が策定した施設マネジメントアクションプランに基づき、国見岳森林公園は施設廃止の方針として決定されている。そのため令和2年度以降の目標値はなく、実績を測定する必要性も認められない。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	73	19	1,910
決算額(収入済額)	25	19	12
差額	48	-	1,898
<歳出>			
予算現額	3,934	2,954	5,794
決算額(支出済額)	3,720	2,916	5,291
繰越額	-	-	499
不用額	214	38	4

#### 増減の理由

令和3年度においては、施設廃止に向けての調査業務を実施したため、歳出決算額が増加している。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
14 使用料及び手数料 01 使用料	1	国見岳森林公園目的外使用料
17 財産収入	11	土地貸付収入

01 財産運用収入		
合計	12	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	2,640	跡地設計業務委託
13 使用料及び賃借料	1,837	
14 工事請負費	814	遊具移設工事
合計	5,291	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/5	委託料設計，測量，管理委託料	(株)緑建設 計代表取締役 山口 勝弘	国見岳森林公園跡地整備設計業務委託料	1,540

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 26 . 榎山公園維持管理事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大 事 業：榎山公園維持管理事業、中事業：榎山公園維持管理事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：森林公園施設対策費)
事業目的	榎山公園利用者の安全確保及び景観を守り、利用者に憩いの場を提供する。
事業内容	公園の維持管理を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)林業の成長産業化の推進
事業開始年度	昭和58年度
事業終了年度(予定)	(半永久的に続く事業である。)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、榎山公園利用者の安全確保及び景観を守り、利用者に憩いの場を提供することを目的とし、榎山公園の維持管理を行うことを事業の内容としている。管理者等を置き、利用者数を把握することはなく、目標となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	1
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	1
<歳出>			
予算現額	749	780	1,367
決算額(支出済額)	737	760	1,362
繰越額	-	-	-
不用額	12	20	5

### 増減の理由

令和3年度においては、老朽化した公園施設の整備を実施したため、歳出決算額が増加している。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
---	-----	------



10 需用費	579	電気料、水道料、修繕料
11 役務費	36	手数料
12 委託料	747	
合計	1,362	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	委託料 別の委託料	谷崎工業(株) 代表取締役 谷崎 清明	槇山公園木製遊具撤去処分業務委託料	341

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 事業効果を測定する指標について

福井市は当事業の効果を測定する指標については定めていない。あくまで公園の維持管理を行う事業内容であり、管理者等を置き、利用者数を把握することも行っていない理由によるものである。

<b>【意見】</b>	事業効果を測定する指標の設定について
<p>当事業は、公園の維持管理を行う事業内容であるが、事業の目的は槇山公園利用者の安全確保及び景観を守り、利用者に憩いの場を提供することであり、少なくとも利用者の安全の確保が求められる。公園の管理者等を置くこともなく、利用者数の把握を行っていないとのことであるが、当事業の効果を測定する指標の例としては、公園内の事故件数や怪我の報告件数を挙げ、利用者の安全確保に努めるよう事業を実施し、効果を測定することが望ましい。</p>	

### (2) 槇山公園入り口のゲートについて

槇山公園の入り口には、鳥獣害被害防止、野生獣対策のために以下のゲートが設置されている。槇山公園に入るにはゲートを開け、通った後はゲートを閉める作業が必要となる。

<公園入口のゲート>



【意見】	公園入り口の案内板の見直しについて
<p>上記の写真のように、槇山公園においては鳥獣害被害防止、野生獣対策のため入り口にゲートが設置されており、確かに「ご自由にお通りください」との記載があり、ゲートの開閉を行えば誰でも利用できることとなっている。</p> <p>しかし、この事情を知っている利用者からすれば問題はないが、事情を知らない初めての利用者がこのゲートを見ると、「利用禁止」に捉えられる可能性がある。また、写真の右下には「これより自転車の乗入は止めてください」と自転車の入場を禁止しており、確かに自転車が通ると危険な面もあるが、ご自由にお通りくださいの文言と矛盾している点も存在する。</p> <p>主にイノシシ対策として当初からゲートが設置されているとのことであるが、初めての利用者がこのゲートを見て「利用禁止」と捉えず、気軽に利用できるよう、わかりやすい案内板の記載内容を見直すことが必要と認められる。</p>	

### (3) 使用されていない遊具について

また、槇山公園内には周りに草が生えているような使用されていないと見受けられる遊具が存在した。手入れもされていない様子はなく、利用した場合に危害が及ぶことも考えられる。

<使用されていないと見受けられる遊具>



【意見】	使用されていない遊具への対応について
<p>上記の写真のように使用されていないと見受けられ、利用した場合に危害が及ぶ可能性のある遊具については、利用に際して怪我をするなどの問題が生ずる前に、福井市にて対応が必要であると認められる。例えば、周りに柵を張り「使用禁止」の札を掲げることや、利用者が限りなく0に近いのであれば撤去することも考えられる。</p>	

### 3 - 27 . リズムの森維持管理事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：リズムの森維持管理事業、中事業：リズムの森維持管理事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：森林公園施設対策費)
事業目的	施設の適正な維持管理及び施設マネジメントアクションプランに基づき施設を廃止する。
事業内容	施設の指定管理委託、土地賃貸借、施設廃止に向けての用地測量・アスベスト調査。
根拠法令等	福井市リズムの森の設置及び管理に関する条例
実施要綱等	福井市施設マネジメントアクションプラン
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：自然とふれあえる環境の提供
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：総合計画を推進するために 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営

福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成元年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	4,000	4,000	4,000

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	4,069	1,290	1,072

### 目的の達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により著しく落ち込んだ。なお、福井市が策定した施設マネジメントアクションプランに基づき、リズムの森は施設廃止の方針として決定されている。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	3	569	660
決算額(収入済額)	3	569	660
差額	0	0	0
<歳出>			
予算現額	4,483	5,016	15,720
決算額(支出済額)	4,482	4,812	15,536
繰越額	-	-	-
不用額	1	204	184

### 増減の理由

令和3年度においては、施設廃止に向けての調査業務を実施したため、歳出決算額が増

加している。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
15 国庫支出金 02 国庫補助金	657	地方創生臨時交付金
14 使用料及び手数料 01 使用料	3	リズムの森目的外使用料
合計	660	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	955	修繕料
12 委託料	11,770	指定管理委託料、用地測量業務委託
13 使用料及び賃借料	1,887	
14 工事請負費	267	
18 負担金、補助及び交付金	657	休業等協力支援金
合計	15,536	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

令和元年度の包括外部監査のテーマである「指定管理者による公の施設の管理運営に関する財務事務の執行について」にて検討しているため、歳出に関するサンプルテストの実施は省略する。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

なお、指定管理者制度については令和元年度の包括外部監査のテーマである「指定管理者による公の施設の管理運営に関する財務事務の執行について」にて検討しているため、指定管理者に対する検討は、ここでは省略する。施設マネジメントアクションプランにおいて、施設廃止の方針を掲げているため、措置内容に対する検討についても省略する。

### 3 - 28 . S S Tらんど維持管理事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：S S Tらんど維持管理事業、中事業：S S Tらんど維持管理事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：森林公園施設対策費)
事業目的	施設の適正な維持管理及び施設マネジメントアクションプランに基づき施設を民間譲渡する。
事業内容	施設の指定管理委託、土地賃貸借、及び民間譲渡に向けての用地測量・アスベスト調査。
根拠法令等	福井市 S S T らんどの設置及び管理に関する条例
実施要綱等	福井市施設マネジメントアクションプラン
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：自然とふれあえる環境の提供
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：総合計画を推進するために 施策：S D G s をふまえた健全で持続可能な行財政運営
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成5年度
事業終了年度 (予定)	令和4年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	21,000	21,000	21,000

##### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(人)	21,154	10,420	7,575

##### 目的の達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により著しく落ち込んだ。なお、福井市が策定した施設マネジメントアクションプランに基づき、SST らんどは施設廃止（民間譲渡）の方針として決定されている。

### 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	4,066	3,091
決算額（収入済額）	-	4,066	3,091
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	8,780	13,057	41,353
決算額（支出済額）	8,699	13,054	11,903
繰越額	-	-	23,529
不用額	81	3	5,921

#### 増減の理由

令和2年度以降においては、民間譲渡に向けての調査業務を実施したため、歳出決算額が増加している。

### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
15 国庫支出金 02 国庫補助金	3,091	地方創生臨時交付金
合計	3,091	

### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	6,219	指定管理委託料
13 使用料及び賃借料	2,593	
18 負担金、補助及び交付金	3,091	休業等協力支援金
合計	11,903	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

令和元年度の包括外部監査のテーマである「指定管理者による公の施設の管理運営に関する財務事務の執行について」にて検討しているため、歳出に関するサンプルテストの実施は省略する。

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

なお、指定管理者制度については令和元年度の包括外部監査のテーマである「指定管理者による公の施設の管理運営に関する財務事務の執行について」にて検討しているため、指定管理者に対する検討は、ここでは省略する。施設マネジメントアクションプランにおいて、施設廃止（民間譲渡）の方針を掲げているため、措置内容に対する検討についても省略する。

### 3 - 29 . 木ごころの森維持管理事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：木ごころの森維持管理事業、中事業：木ごころの森維持管理事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：森林公園施設対策費)
事業目的	市民参加による林業活動の体験の場、森林や自然、林業について学習できる市民交流の場を提供する。
事業内容	施設の維持管理を行う。
根拠法令等	福井市木ごころの森の設置及び管理に関する条例
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成26年度
事業終了年度(予定)	(半永久的に続く事業である。)



## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、市民参加による林業活動の体験の場、森林や自然、林業について学習できる市民交流の場を提供することを目的とし、木ごころの森の維持管理を行うことを事業の内容としている。管理者等を置き、利用者数を把握することはなく、目標となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	1
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	1
<歳出>			
予算現額	682	758	678
決算額(支出済額)	671	752	673
繰越額	-	-	-
不用額	11	6	5

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	35	消耗品費、電気料、水道料
12 委託料	638	
合計	673	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	委託料  その他の委託料	北陸緑化(株) 代表取締役 山崎 康生	福井市木ごろの森 芝生管理業務委託料	294

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 木ごろの森の利用状況について

当施設は管理者等を置いて、利用者数を把握することは実施していない。イベント等で使当施設を利用する場合には事前に福井市への申請が必要であり、一定の利用状況は把握できるが、令和3年度においては定期的に使用する団体の申請があったのみであり、利用者数は年間約150人である。主にグランドゴルフの利用として使用されている。

<木ごろの森(未利用時)>



<木ごろの森(利用時)>



【意見】	木ごろの森の有効的な活用方法について
	<p>当施設は芝生が広く、トイレの施設も清潔に管理されており、また駐車場も25台であるが設置されている。全体的にきれいに整備されており、イベント会場として利用するには適した施設であると考えられる。</p> <p>しかし、当施設においては、ある一定層の利用団体が限られた目的のために使用している場合が多く、年間の利用者数が約150人と施設が有効的に活用されていない現状となっている。駐車場が25台のみであり、大規模なイベントには適していないかもしれないが、小中規模なイベントにより利用者の拡大及び集客効果として図ることができれば、再度利用することや、定期的なイベントの開催など利用者数の増大に伴い、施設の有効利用が可能と考えられる。</p> <p>福井市としては、ある一定層の限られた利用に留まることなく、積極的な活用方法を見出し、有効活用すべき施設となるよう努めるべきである。</p>

## 3-30. 清水きららの森維持管理事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：清水きららの森維持管理事業、中事業：清水きららの森維持管理事業
------------------	-------------------------------------

	( 款：農林水産業費、項：林業費、目：森林公園施設対策費 )
事業目的	小羽山及び周辺地域の特色を活かした、自然と歴史に触れ合える公園として、森林や自然に対する理解を深め、利用者の健康増進を図る。
事業内容	施設の維持管理を行う。
根拠法令等	福井市清水きららの森の設置及び管理に関する条例
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：( 基本方針 3 ) 林業の成長産業化の推進
事業開始年度	平成 30 年度
事業終了年度（予定）	( 半永久的に続く事業である。 )

## 2．事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、小羽山及び周辺地域の特色を活かした、自然と歴史に触れ合える公園として、森林や自然に対する理解を深め、利用者の健康増進を図ることを目的とし、清水きららの森の維持管理を行うことを事業の内容としている。管理者等を置き、利用者数を把握することはなく、目標となる指標は定めていない。なお、当施設は令和 3 年 7 月に発生した豪雨により施設の一部が崩壊したため立入禁止となっており、現在においては当事業とは別の事業において復旧作業が行われている。

## 3．歳入、歳出の推移

( 単位：千円 )

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	329	401	398
決算額 ( 収入済額 )	310	396	364
差額	19	5	34
< 歳出 >			
予算現額	329	401	398

決算額（支出済額）	310	396	364
繰越額	-	-	-
不用額	19	5	34

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4．歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
19 繰入金		
01 基金繰入金	364	小羽山整備基金繰入金
合計	364	

5．歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	88	消耗品費、電気料、水道料
12 委託料	276	
合計	364	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	委託料 その他の委託料	ナガイ造園（有） 代表取締役 永井 利昌	福井市清水きららの森 植栽管理業務委託料	242

7．監査の結果と意見

（1）事業効果を測定する指標について

福井市は当事業の効果を測定する指標については定めていない。あくまで施設の維持管理を行う事業内容であり、管理者等を置き、利用者数を把握することも行っていない理由によるものである。

【意見】	事業効果を測定する指標の設定について
当事業は、清水きららの森の維持管理を行う事業内容であるが、事業の目的は小羽山	

及び周辺地域の特色を活かした、自然と歴史に触れ合える公園として、森林や自然に対する理解を深め、利用者の健康増進を図ることとして、複合遊具やターザンロープなどが設置されている。現在は豪雨被害の復旧作業により利用できない状況ではあるが、再開時には維持管理に留まらず、遊具がある以上は利用者の安全対策にも留意しなければならない。

今後においても施設の管理者等を置くこともなく、利用者数の把握を行う予定もないとのことであるが、当事業の効果を測定する指標の例としては、施設内の事故件数や怪我の報告件数を挙げ、施設の再開時には利用者の安全確保に努めるよう事業を実施し、効果を測定することが望ましい。

### 3 - 3 1 . 市行造林事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：造林地保育管理費、中事業：市行造林事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：造林費)
事業目的	市が所有または管理する市行造林地、分収造林地の維持管理を行い、適切な森林整備を進める。
事業内容	市行造林地及び分収契約地における森林整備(除伐、間伐、測量、作業道開設等)を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)森林の多面的機能の強化
事業開始年度	事業開始年度が不明であり、福井市が市有林を有する限り、また分収造林契約は契約期間が長期にわたり、事業は継続しているので、事業期間を設定していないものである。
事業終了年度(予定)	同上

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
整備面積 (ha)	11.37	1.20	20.14

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
整備面積 (ha)	9.63	0.64	14.31

#### 目的の達成状況

目標値に対する実績値は未達成であるが、各年度、事業費の枠内において必要となる面積の整備は実施できている。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	10,918	5,958	25,006
決算額(収入済額)	10,593	5,376	17,585
差額	325	582	7,421
<歳出>			
予算現額	10,918	7,000	26,000
決算額(支出済額)	10,593	5,932	18,320
繰越額	-	-	264
不用額	325	1,068	7,416

#### 増減の理由

必要な整備面積に応じて増減する。令和2年度は、整備対象の造林地が小面積であり、事業費も少額であったが、令和3年度は、分収造林契約地の整備予定が多く、事業費も大きくなったため、歳出決算額が増加している。なお、予算要求時は、概算金額で歳入、歳出金額を決めているが、実際の事業実施時は、事前の現地調査や測量を行い、その結果に基づき、作業路の延長や間伐面積を決定するので、令和3年度においては、予算要求時より作業路の延長の減少や間伐面積の減少により事業費が縮小したため、不用額が多く発生している。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
17 財産収入 02 財産売払収入	198	造林木販売代金分収金

21 諸収入 05 団体交付金	17,387	森林整備センター交付金
合計	17,585	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	200	消耗品費
12 委託料	18,120	
合計	18,320	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 福井水源林整備事務所 所長 那須 久司	分収造林費用（二ツ屋2号 保育間伐、作業道新設）	7,593
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 近畿北陸整備局 局長 佐々木 誠	造林木販売代金分収金（物件番号2021福0624）	153

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/15	委託料 その他の委託料	福井森林組合 代表理事組合 長 吉田 正 継	令和3年度分収造林地保育管理業務委託料（国山造林地間伐作業道開設）	6,618

7. 監査の結果と意見

(1) 市行造林地の管理について

福井市において、市町村合併前における旧清水町地区、及び旧越廼村地区の市行造林地につき、地番を把握しているが場所が不明である等、管理できていない地域が存在した。

【意見】	市行造林地の把握について
当事業は、福井市が所有または管理する市行造林地、分収造林地の維持管理を行い、	

適切な森林整備を進めることを目的とし、市行造林地及び分収契約地における森林整備（除伐、間伐、測量、作業道開設等）を行うことを事業の内容としている。担当所管課にヒアリングを行ったところ、福井市が所有する一部の市行造林地につき、場所を把握できていない事実を検出した。

今後、市行造林地につき、適切な範囲の整備を行うためにも、可能な限りは、市行造林地の対象を地番による管理表の作成や、それに基づく場所の特定を行い地図に表すなど、一覧として管理することが必要と認められる。

### 3 - 3 2 . 小規模荒廃地治山事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：治山対策事業、中事業：小規模荒廃地治山事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：治山対策費)
事業目的	地域住民が安全で安心できる暮らしを実現するため、小規模な荒廃地崩壊を復旧し、山地や人家・公共施設を保全する。
事業内容	山地に起因する自然災害の災害復旧工事
根拠法令等	県単治山事業実施要領
実施要綱等	福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱、緊急自然災害防止対策事業計画
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	事業開始年度が不明であり、毎年度、大雨、台風、大雪などの災害により被災した箇所地元からの要望等に基づき、事業を実施するため、事業期間を設定していないものである。
事業終了年度(予定)	同上

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
山地災害復旧箇所	3	4	3



目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
山地災害復旧箇所	3	4	1

目的の達成状況

令和3年度においては、福井県西部の大雨被害により復旧業者が多忙であったため、入札結果が芳しくなく、工事を繰り越すこととなり目標未達成となった。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	14,576	5,203	5,596
決算額(収入済額)	12,866	5,880	4,035
差額	1,710	677	1,561
<歳出>			
予算現額	15,601	6,115	5,732
決算額(支出済額)	12,891	6,115	4,216
繰越額	2,710	0	1,514
不用額	0	0	2

増減の理由

復旧業者の多忙により、入札結果が芳しくなく、工事を繰り越すこととなったため、歳出決算額が減少している。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 01 分担金	843	小規模荒廃地治山対策費地元分担金
6 県支出金 02 県補助金	1,992	小規模荒廃地治山事業補助金
22 市債 01 市債	1,200	治山対策事業債
合計	4,035	

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
---	-----	------

14 工事請負費	4,216	
合計	4,216	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/15	工事請負費 資産取得のための工事（インフラ資産）	(株)小澤工務店 代表取締役 小澤雅志	羽坂町県単災害復旧治山工事	2,524

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 3 - 3 3 . 漁業団体等活動支援事業

### 監査調書（調査票）2：事業概況等

#### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁業団体等運営費補助金、中事業：漁業団体等活動支援事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業総務費)
事業目的	水産資源を確保するとともに、漁業協同組合の組織強化を図る。
事業内容	稚鮎等の放流事業を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市淡水魚増殖事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	平成10年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は経常経費のため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	585	585	585
決算額(支出済額)	585	585	585
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	585	補助金
合計	585	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
-----	----	-----	----	-------

2021/9/6	負担金、補助及び交付金 市単独事業補助金	足羽川漁業協同組合 代表理事組合長 高松 武法	令和3年度 淡水魚増殖事業補助金 (足羽川漁協)	360
----------	-------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 3-34. 漁場保全支援事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁業団体等活動費補助金、中事業：漁場保全支援事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業総務費)
事業目的	漁場環境を保全するため、海岸・河川の清掃活動を支援する。
事業内容	清掃活動団体の活動費を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市漁場環境保全推進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	平成10年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

### 2. 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
清掃参加者数	3,500人	3,000人	3,000人

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
清掃参加者数	2,639人	1,886人	2,360人

#### 目的の達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が減少したため、目標未達成となった。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	386	386	386
決算額(収入済額)	313	293	263
差額	73	93	123
<歳出>			
予算現額	851	851	851
決算額(支出済額)	758	758	715
繰越額	-	-	-
不用額	93	93	136

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	263	沿岸漁場環境改善事業補助金
合計	263	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	715	補助金
合計	715	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

#### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
-----	----	-----	----	-------

2021/6/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	福井の海を守る会 会長 村嶋 哲郎	令和3年度 漁場環境保全推進事業補助金 (福井の海を守る会)	465
-----------	------------------------	----------------------	-----------------------------------	-----

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 35 . こしの魚まつり支援事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁業団体等活動費補助金、中事業：こしの魚まつり支援事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業総務費)
事業目的	「こしのさかなまつり」を支援し、越廼地区の水産業振興を図る。
事業内容	「こしのさかなまつり」に要する費用の一部を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市こしの魚まつり支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3) 地魚と漁村の魅力発信
事業開始年度	平成18年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

2. 事業目的の達成状況

目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来場者数	2,500人	2,500人	2,500人

目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来場者数	2,500人	0人	0人

## 目的の達成状況

令和2年度及び令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したため、目標未達成となった。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	500	500	500
決算額(収入済額)	500	-	-
差額	-	500	500
<歳出>			
予算現額	585	-	468
決算額(支出済額)	585	-	-
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	468

### 増減の理由

令和2年度及び令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したため、歳出決算額が発生していない。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

該当なし。

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

#### (2) 歳出のサンプルテスト

該当なし。

### 7. 監査の結果と意見

#### (1) こしのさかなまつりに関する福井市のホームページについて

当事業は、越廼地区で開催される「こしのさかなまつり」に要する費用を一部負担する

ことを事業の内容としている。令和 2 年度、及び令和 3 年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、当まつりを中止せざるを得なかったが、越廼漁業協同組合や観光情報が載っているホームページには当該情報が公表されている。一方、福井市のホームページにおいては、平成 29 年度に実施した「こしのさかなまつり」を最後に、ホームページの更新が行われていなかった。

【意見】	福井市ホームページにおける公表について
<p>当事業は、「こしのさかなまつり」に要する費用を一部負担することにより、越廼地区の水産業振興を図ることを事業の目的としている。他の団体により、当まつりの情報が公開されているが、福井市のホームページでは平成 29 年度の情報を最後に、ホームページの更新が行われていなかった。当まつりの参加者は、他のページにより情報を入手することは可能であるが、福井市としても支援を行っているからには、福井市のホームページにて情報公開及び更新を行うことが望ましい。</p>	

### 3 - 3 6 . 栽培漁業推進支援事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：沿岸漁業振興対策事業、中事業：栽培漁業推進支援事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	「つくり育てる」安定した漁業を推進するため、中間育成放流事業を支援する。
事業内容	ヒラメやアワビの中間育成放流を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市栽培漁業推進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針 1) 水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	昭和 47 年度
事業終了年度(予定)	令和 6 年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
--	-------	---------	---------



放流数（尾）	ヒラメ	46,000	46,000	36,000
	アワビ	27,000	22,800	17,500

目標値に対する実績値の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
放流数（尾）	ヒラメ	46,000	46,000	36,000
	アワビ	27,000	22,800	17,500

目的の達成状況

目標計画値を達成することができている。

3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	300	300	300
決算額（支出済額）	300	300	300
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	300	補助金
合計	300	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/26	負担金、補助及び交付金 その他の負担金	嶺北地域栽培漁業推進協議会 会長 川端 元昭	令和3年度 嶺北地域栽培漁業推進協議会負担金	300

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 37 . 沿岸漁業生産拡大推進事業

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：沿岸漁業振興対策事業、中事業：沿岸漁業生産拡大推進事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	「つくり育てる」安定した漁業を推進するため、直接放流事業および養殖事業を支援する。
事業内容	マダイ等の直接放流、サクラマス等の養殖を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市稚魚放流事業補助金交付要綱 福井市養殖推進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	昭和47年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

2 . 事業目的の達成状況

目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
養殖魚種数( )	2種	1種	3種

: 令和3年度より、福井市水産業振興プランにおける養殖魚種数を目標値として掲げているが、令和2年度までは前プランにおける目標放流数を満たす有用魚種累計10種を設定していた。対象期間(平成28年度～令和2年度)となる累計目標は達成できている。

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
養殖魚種数	2種	1種	3種

#### 目的の達成状況

目標計画値を達成できている。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	1,300	1,200
決算額(収入済額)	-	1,100	1,200
差額	-	200	-
<歳出>			
予算現額	2,715	2,245	2,387
決算額(支出済額)	2,683	1,874	2,343
繰越額	-	-	-
不用額	32	371	44

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
22 市債 01 市債	1,200	漁業振興改善事業債
合計	1,200	

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
12 委託料	304	
18 負担金、補助及び交付金	2,039	補助金
合計	2,343	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/15	負担金、補助及び交付金 市単独事業補助金	福井市漁業協同組合 代表理事組合長 平野 仁彦	令和3年度 稚魚放流事業補助金 (福井市漁協)	360
2022/4/25	負担金、補助及び交付金 市単独事業補助金	福井市漁業協同組合 代表理事組合長 阪下 賢二	令和3年度 栽培漁業推進事業補助金 (福井市漁協)	450

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 事業効果を測定する指標について

福井市は当事業の効果を測定する指標として、福井市水産業振興プランにおける養殖魚種数を目標値として掲げているが、予算を要求する際の資料である予算要求概要書においては、各魚種の放流数についても目標として記載されている。

【意見】	目標値の追加設定について
	<p>現在、当事業の目標値は、養殖魚種数を掲げている。このことについて担当所管課にヒアリングを行ったところ、当事業は大きく分類すると、放流事業と養殖事業の2本柱で構成されており、これまで予算要求概要書では、放流事業に係る目標値及び放流効果を記載していたが、近年、養殖事業への支援を強化していることから、現在では福井市水産業振興プランの目標値に設定した養殖魚種数を目標値として設定している、とのことであった。</p> <p>養殖事業への支援を強化しており、養殖魚種数を目標値として掲げることに問題はないが、放流事業も支援対象としているのであれば、従前どおり放流数についても目標値を掲げ、実績と比較し、支援事業の効果として測定することが望ましい。</p>

### (2) 漁協組合への補助負担割合について

当事業においては、福井市漁業協同組合と越廼漁業協同組合に対し、ヒラメ稚魚及びアワビ稚貝を中間育成し放流することを支援するため、福井市から栽培漁業推進事業補助金として支出が発生している。予算要求の資料をみると、福井市漁業協同組合に対しては福井市の負担率 50%となっているが、越廼漁業協同組合の一部の事業に対しては負担率が 100%と全額負担となっていた。

<b>【意見】</b>	<b>負担割合の公平性について</b>
<p>当事業の予算要求の資料をみると、栽培漁業推進事業補助金につき、福井市漁業協同組合に対しヒラメ及びアワビの中間育成に関し 50%の補助、越廼漁業協同組合に対しヒラメ及びアワビの中間育成に関し 50%の補助、その他追加として越廼漁業協同組合に対しアワビ中間育成に関し 100%の補助を内訳としていた。追加分の福井市が 100%負担する補助については、過去の経緯はともあれ、福井市漁業協同組合に対する補助との公平性を欠き、扱いに差が生じることとなっている。</p> <p>補助金は公平かつ透明でなければならず、上記のように各漁業協同組合によって扱いに差が生じることなく支出されなければならない。各漁業協同組合に対し協議のうえ、補助の負担割合を公平に一律にしていくことが必要である。</p>	

### 3 - 3 8 . 漁業共済支援事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大 事業：水産振興対策費補助金、中 事業：漁業共済支援事業 ( 款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	不漁や災害時に補償が受けられる「漁業共済」の加入を促進し、漁業者の経営安定を図る。
事業内容	漁業者が加入する「漁業共済」の掛金の一部を補助する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市漁業共済支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針 1) 水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	平成 18 年度
事業終了年度(予定)	令和 6 年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁業共済加入件数	11件	11件	13件

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁業共済加入件数	11件	11件	11件

### 目的の達成状況

令和3年度においては、目標計画未達成の結果となった。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	585	585	585
決算額(支出済額)	585	585	585
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	585	補助金
合計	585	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	負担金、補助及び交付金 市単独事業補助金	越 迺 漁 業 ( 協 同 ) 代表理事組合長 川 端 元昭	令和3年度 漁業 共済支援事業補助 金 ( 越迺漁協 )	478

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 3 - 3 9 . 定置漁業振興支援事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：水産振興対策費補助金、中事業：定置漁業振興支援事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	本市の主要漁業である定置網漁業の振興を図る。
事業内容	定置網の更新に要する費用の一部を支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	定置漁業振興対策事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	令和元年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

### 2. 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁船機器等の更新件	1件		1件

数			
---	--	--	--

目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁船機器等の更新件数	1件		1件

目的の達成状況

令和元年度においては、定置網エンジン増速機導入 1 件により、令和 3 年度においては、定置網登り運動場更新 1 件により目標計画値を達成した。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,200	-	4,266
決算額(収入済額)	1,200	-	4,266
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	1,600	-	4,940
決算額(支出済額)	1,600	-	4,936
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	4

増減の理由

令和2年度においては該当する事業を実施しなかったため、0となっている。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	2,166	定置漁業・底曳網漁業振興対策事業補助金
22 市債 01 市債	2,100	漁業振興改善事業債
合計	4,266	

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交	4,936	補助金



付金		
合計	4,936	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/15	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	一般社団法人 福井県漁船リース事業協会 代表理事 会長 平野 仁彦	令和3年度 定置漁業振興対策事業補助金	4,332

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 収支計画書について

当事業の補助金を受けるために、関連する組合、委員会は「地域水産業成長産業化計画書」を福井市に提出することとなっている。令和3年度においては、福井市越廼地区地域委員会による同計画書が福井市に提出され、定置網登り運動場更新に対し補助を行った。同計画書内の収支計画書を確認すると、その他の支出の内、その他の金額が偏っており、その内容が不明瞭であった。

【意見】	事業計画書における数値の妥当性の検証について
	<p>当事業の補助を受けるための計画書の内、収支計画書を確認すると、全体の漁労支出の内、その他の支出が占める割合が約30%であった。収支計画書は経常利益を見込む前提で作成されているが、その他の支出の内容が不明瞭であると、計画書の信憑性が得られず、主要な支出については、別掲すべきであると考えられる。収支計画書のコメントには、その他の支出の内訳は魚箱代、修繕費、運搬費等と注意書きの記載があるが、せめてその内訳に係る支出については、別掲して収支計画書を作成すべきである。特に、今回の計画では、修繕費が抑えることとなっているものの、毎年、その他の支出総額は増加しており、事業計画における費用の削減が図られることが確認できない。さらに、人件費の抑制も考慮している事業計画であるものの、雇用労賃については、収入に対して比率で算出しており、数値計画と事業計画との関連性における仮定の適切性にも疑義がある。</p> <p>この点、福井市としても今後の実績報告の際には、雇用労賃の削減状況の確認を行うとともに、その他の支出の内容の詳細な把握を行い、数値の根拠についても具体的な説</p>

明を受け、次年度以降の計画作成の際には上記の点に留意し、指導を行いながら事業計画書の内容確認、数値の妥当性の検証を行うべきである。

また、今後、補助の支出先の団体より事業計画書の提出を受ける場合には、当該計画書の内容が、事業計画に基づいて、数値計画が計算されているかどうかも含め、その内容の妥当性を確認するべきである。

### 3 - 40 . 漁業協同組合強化育成貸付金

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：水産業金融対策事業、中事業：漁業協同組合強化育成貸付金 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	漁業協同組合の経営安定および組織力強化を図る。
事業内容	福井市漁協および越廼漁協に無利子の貸付を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	漁業協同組合振興事業資金融資要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2) 担い手の確保と受入体制の整備
事業開始年度	平成元年度
事業終了年度(予定)	(半永久的に続く事業である。)

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当事業においては、目標となる指標は定めていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	100,000	100,000	100,000
決算額(収入済額)	100,000	100,000	100,000
差額	-	-	-

<歳出>			
予算現額	100,000	100,000	100,000
決算額(支出済額)	100,000	100,000	100,000
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
21 諸収入 03 貸付金元利収入	100,000	漁業協同組合貸付金元利収入
合計	100,000	

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
20 貸付金	100,000	
合計	100,000	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/4/1	貸付金 漁業協同組合強化育成貸付金	東日本信用漁業協同組合連合会 福井支店 常務理事 吉田 正樹	令和3年度 福井市漁業協同組合強化育成貸付金	50,000

7. 監査の結果と意見

(1) 事業効果を測定する指標について

福井市は当事業の効果を測定する指標については定めていない。林業において同様の制度の事業(森林組合強化育成貸付金)が行われており、同事業においては森林組合の業務の大きな割合を占める間伐作業が、森林組合の財政状態とある程度連動することから、間伐面積を同事業の効果を測定する指標として設定している。

<b>【意見】</b>	<b>事業効果を測定する指標の設定について</b>
<p>当事業においては、事業の効果を測定する指標は定めておらず、融資金額の預託を毎年度同額行っているのみである。この点、林業において同様の制度の事業が森林組合に対しても行われており、その事業においては森林組合の主要な業務である間伐作業に基づき、間伐面積を事業の効果を測定する指標として定めている。</p> <p>同様の制度の事業であることから、事業間において事業効果を測定する指標に差を設けることはなく、当事業においても漁業協同組合の主要な業務である生産量や放流数などの指標を設けることが望ましい。</p>	

(2) 漁業協同組合への融資制度について

当事業は、福井市が特定金融機関である東日本信用漁業協同組合連合会に一定の融資資金を預託し、預託を受けた東日本信用漁業協同組合連合会は、福井市長が融資の決定をした場合において、漁業協同組合に対して融資を行うものである。福井市の漁業協同組合振興事業資金融資要綱によると、融資の条件は以下の通りである。

融資金額	融資金額は、予算に定める範囲内とする。
融資期間	融資を行った日から当該年度の末日までとする。
償還期限	償還期限は、当該年度の末日とする。 ただし、繰り上げ償還することができる。
利息	無利子とする。
担保	原則として無担保扱いとする。

<b>【指摘】</b>	<b>漁業協同組合への融資制度の見直し</b>
<p>当事業により、福井市は東日本信用漁業協同組合連合会に対して融資資金を預託しており、東日本信用漁業協同組合連合会は各漁業協同組合に対して融資を行っている。毎年度、福井市漁業協同組合に対し 50,000 千円、越廼漁業協同組合に対し 50,000 千円に相当する預託金を東日本信用漁業協同組合連合会に出しており、各漁業協同組合は東日本信用漁業協同組合連合会から同額の融資を受けている。</p> <p>過去より同額の資金の預託を行っており、福井市としても毎年度回収はできているが、上記の融資の条件に記載の通り、各漁業協同組合への融資は無利子であり、原則無担保の扱いとなっている。漁業協同組合の代表理事組合長と筆頭理事の連帯保証を証明する書類があり個人保証を受けてはいるが、融資金額が多額であるため、万が一、貸付金を回収できないリスクを考えると、制度そのものとして最低限は融資の見返りである利子を徴求すべきではないかと考えられる。なお、福井市と東日本信用漁業協同組合連合会との預託契約書においては、漁業協同組合が預託貸付金を東日本信用漁業協同組合連合会に弁済できない場合等には、福井市と東日本信用漁業協同組合連合会が協議のうえ解決にあたりとされており、福井市にも貸付金が回収できない場合に損失を負担する</p>	

リスクがあると判断される。

また、各漁業協同組合の総会資料を入手し、貸借対照表にて財政状態を確認したところ、純資産額は十分ではないものの、他の事業による補助や助成を通して財政状態の改善向上に努め、毎年度、同額の資金を預託するのではなく、財政状態に応じた融資金額の見直しをも行うべきとも考えられる。

福井市にとっても多額の資金が一年間預託され、その間は資金が凍結されることに鑑みると、上述した融資制度そもそもの在り方を検討し直すことが必要である。

### 3 - 4 1 . 水産業緊急資金利子補給金

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：水産業金融対策事業、中事業：水産業緊急資金利子補給金 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	台風により被災した漁業経営体の負担軽減を図る。
事業内容	定置網修繕のため金融機関から融資を受けた金利の一部を利子補給する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市水産業緊急資金利子補給等に関する要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	平成30年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当事業は、平成29年10月の台風被害に伴う定置網修繕について、緊急的に金融機関から借り入れた資金に対する利子補給であるため、特に目標値は設定していない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度

<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	27	20	13
決算額（支出済額）	22	16	9
繰越額	-	-	-
不用額	5	4	4

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	9	
合計	9	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 3 - 4 2．ふれあいパークなぎさ公園維持管理事業

#### 1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：ふれあいパークなぎさ公園維持管理事業、中事業：ふれあいパークなぎさ公園維持管理事業
------------------	---

	( 款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費 )
事業目的	越廼地区にある「ふれあいパークさぎさ」を安全かつ快適に利用してもらうため清掃等を適切に行う。
事業内容	公園内の清掃やトイレの管理等を適切に行う。
根拠法令等	遊具の安全に関する基準
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：( 基本方針 3 ) 地魚と漁村の魅力発信
事業開始年度	平成 18 年度
事業終了年度 ( 予定 )	( 半永久的に続く事業である。 )

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、越廼地区にある「ふれあいパークさぎさ」を安全かつ快適に利用してもらうため清掃等を適切に行うことを目的とし、ふれあいパークなぎさ公園の維持管理を行うことを事業の内容としている。管理者等を置き、利用者数を把握することはなく、目標となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

( 単位：千円 )

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額 ( 収入済額 )	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	229	211	207
決算額 ( 支出済額 )	192	184	192
繰越額	-	-	-
不用額	37	27	15

増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	72	消耗品費、電気料、水道料
12 委託料	120	
合計	192	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/5	委託料 施設管理委託料	公益社団法人 福井市シルバー人材センター 理事長 吉田 修二	令和3年度ふれあいパークなぎさ公園維持管理業務委託料 7～9月分	36

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

なお、当公園の施設運営、管理に関する意見は、後述する「ふれあいパークなぎさ公園機能保全事業」にて記載する。

3 - 4 3 . 水産物販売促進事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：水産物ブランド化推進事業、中事業：水産物販売促進事業 （款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費）
事業目的	地元水産物の販売力を強化する。
事業内容	コロナの影響により流通が停滞した水産物の消費を拡大するため、学校給食用の食材を提供する。



根拠法令等	
実施要綱等	福井市水産物販売促進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)地魚と漁村の魅力発信
事業開始年度	平成29年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により流通が停滞した水産物の消費を拡大するため、学校給食用の食材を提供することを事業内容とする単年度の補正予算事業であるため、目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	9,900
決算額(収入済額)	-	-	9,900
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	-	-	10,108
決算額(支出済額)	-	-	10,108
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

### 増減の理由

令和3年度においては、地方創生臨時交付金が交付されたため、新型コロナウイルス感染症対策支援の取組を当事業にて実施したため歳出決算額が増加している。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款 / 項	決算額	主な内容
15 国庫支出金 02 国庫補助金	9,900	地方創生臨時交付金
合計	9,900	

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	9,900	
18 負担金、補助及び交付金	208	補助金
合計	10,108	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/31	委託料 各種業務委託料	福井県漁業協同組合 連合会 代表理事会 長 平野 仁彦	令和3年度地魚消費 応援事業学校給食地 魚納入業務委託料	9,900

#### 7. 監査の結果と意見

##### （1）当事業の継続性について

当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により流通が停滞した水産物の消費を拡大するため、学校給食用の食材を提供することを事業内容としており、令和3年度において地方創生臨時交付金が交付されたため、補正予算対応として実施した事業である。単年度の事業ではあるが、給食として提供した学校からは当事業につき一定の評価を得たとのことである。福井市としては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に流通が停滞した水産物の消費を拡大することを目的に、地方創生臨時交付金を活用し行ったものであり、このような特別な事情がある場合を除き、継続事業とすることは考えていないとのことである。

【意見】	事業の継続性の検討について
	当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による地方創生臨時交付金を活用した単年度の事業であり、福井市としてはこのような特別な事業のない限り、事業を継続して行うことは考えていない。

しかし、当事業によって学校給食に地元の水産物が提供され、学校からは一定の評価を得たことから、単年度の事業として終了することは、今後において学校関係者ひいては地元住民の水産物に対する評価を得られる機会が失われてしまうことと考えられる。学校に地元の水産物を提供することは、食育として水産物を知るいい機会であると考えられ、宣伝効果を通して今後の消費拡大に繋がる可能性もある。

事業の実施後、一定の評価を得たのであれば、単年度事業として終了するのではなく、継続的に事業を実施できるかどうか検討していくことも必要と考える。

### 3 - 4 4 . 水産物ブランド化推進事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：水産物ブランド化推進事業、中事業：水産物ブランド化推進事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	地元水産物のブランド化を推進する。
事業内容	ミズダコの特産化を進めるとともに、新たなブランド化戦略の検討会を開催する。
根拠法令等	
実施要綱等	水産物ブランド化推進事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)地魚と漁村の魅力発信
事業開始年度	平成29年度
事業終了年度(予定)	令和5年度

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当事業は、地元水産物のブランド化を推進することを目的とし、ミズダコの特産化を進めるとともに、新たなブランド化戦略の検討会を開催することを事業内容としている。当事業のブランド化にはミズダコ他、越前がにも対象としており、福井市として、対象種によって事業内容が異なり、包含した目標値を設定しにくいと、目標となる指標等を定めていないとのことである。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	1,040	550	690
決算額(支出済額)	945	482	238
繰越額	-	-	-
不用額	95	68	452

増減の理由

令和元年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大前にミズダコのブランド化として、ミズダコ漁船機器補助や料理教室を行ったことにより歳出金額が増加している。その後は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できない事業があったため、減少している。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
07 報償費	25	
10 需用費	71	印刷製本費
12 委託料	142	
合計	238	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
-----	----	-----	----	-------

2022/4/15	委託料 各種業務 委託料	福井県漁業協同組合 連合会 代表理事会 長 平野 仁彦	福井市産越前がにを食べて福いいネ！キャンペーン贈呈品選定・発送業務委託料	141
-----------	--------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	-----

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 事業の効果を測定する指標について

当事業は、ミズダコや越前がにのブランド化を目指して、パンフレットやロゴシールの作成、商品パッケージの補助、料亭や学校給食への提供、SNSを用いたキャンペーン企画などを実施しているが、福井市として、対象種によって事業内容が異なり、包含した目標値を設定しにくいいため、目標となる指標等を定めていないとのことであった。

【意見】	個別具体的な目標値の設定について
<p>上記のように、対象種によって実施する事業内容が異なることから、包含的な目標値の設定を行うことが難しいとして、福井市は目標値を定めていないが、目標となる指標が無ければ、事業を実施した後にその効果はどうであったか、事業の継続性は必要かなどの検討を行うことができず、単に与えられた予算に基づき事業を実施した事実で終わることになってしまう。そもそもの当事業の目的としては、ミズダコや越前がにのブランド化を目指し、消費量を向上させることが目的であることから、最終的な目標はミズダコや越前がにの生産量及び消費量であると考えられる。</p> <p>事業の包含した目標値でなくとも、ミズダコ、越前がにそれぞれのブランド化に対して個別具体的な目標値を定めることは可能である。各年度の事業の内容にもよるが、その事業内容に沿った個別具体的な目標を設定し、事業を実施した後は、当該目標値を達成できたかどうか効果を測定することが重要である。最終的には、ミズダコ及び越前がにの生産量、消費量に結びつくように段階的に目標値の設定を検討されたい。</p>	

### (2) SNSを用いたキャンペーンについて

令和3年度の事業として、「福井市産越前がにを食べて福いいネ！」キャンペーンを実施した。当該キャンペーンの内容は、福井市産の越前がに業者が福井市産であることを証明する「福いいネ！」タグを取り付け、市場や料亭で出回ったタグ付きの越前がにの写真を撮り、SNS（インスタグラム）に指定のハッシュタグとともに投稿した者の中から、抽選で55名に地元水産物詰め合わせセットが当たるというものである。しかし、実際にはインスタグラムに投稿した者は14名であり、周知キャンペーンとしての効果は薄い結果となった。

【意見】	SNSを用いた周知方法の拡大について
<p>当キャンペーンを実施するにあたり、福井市は越前がにを取り扱う福井市内の卸業者や旅館など、33店舗にチラシを設置し、また、福井市外の13店舗にも協力を依頼し、</p>	

チラシを設置した。その他、福井市ホームページやインスタグラムへの掲載、QRコード（本市ホームページにリンク）付きのタグの作成、福井市のECサイト「ふくいさん」における広告バナーの作成、月刊誌へのチラシ折り込み、ラジオ出演によるキャンペーンPRなど、積極的に周知を行ったとのことである。

しかし、キャンペーンの結果としては芳しくなく、福井市としては、福井市産のタグが付いた越前がにが、どの市場や料亭に卸されているか不明である、料亭では卸されているものの、利用者が富裕層や年配者であるため、SNSを実施していないなどの理由であろうと分析している。この結果を受け、福井は同様のキャンペーンは継続して実施することは考えていない。

監査人の意見として、ブランド化のキャンペーンを実施するかしないかに関わらず、SNSは費用もそれほど発生しない時代に合った有用な情報発信ツールであると考え、全ての人々が利用していることではないが、一つの手段としてSNSを用いた継続的な情報発信を行うことも重要であると考え。周知活動において、福井市ホームページや広告チラシの活用も重要ではあるが、それほど費用が発生しないSNSも一つの手段として継続的に情報発信することで、ブランド化に向けて大きな役割を果たすと考えられる。キャンペーンは今後実施せずとも、このような多種のツールを用いての周知活動は継続的に取り組むべきである。

### （３）ECサイト「ふくいさん」の利用について

当事業はミズダコや越前がにのブランド化を目指しており、上記（１）の意見においても記載した通り、最終的な目標は特産物の生産量、消費量の拡大であると考えられる。この点、福井市は新たな販売チャネルとして令和３年９月にECサイト「ふくいさん」を立ち上げ、福井市産の特産物について、インターネットを通して販売する方針も採用した。当ECサイトを閲覧したところ、水産物は越前がにをはじめとして、ふくいサーモン、ふくい甘えびなどが販売されていたが、商品が限定的であった。

【意見】	ECサイト「ふくいさん」の有効活用について
<p>全国に向けた新たな販売チャネルとしてECサイトを利用することは、全国の利用者に福井市産の特産物を認知してもらう非常に有用な手段であると認められる。越前がにをはじめ、福井市産の水産物も販売されていたが、商品が限定的であった。当事業においてはミズダコもブランド化を目指しており、ミズダコもECサイトにて取り扱うことが可能であれば、全国における認知度向上に近づくことが考えられる。ミズダコは現状、生産量のほとんどが決まった得意先に卸されており、市場に出回っていないため希少価値が高いと言われているが、これでは消費に結びつくブランド化の意味が薄れてしまう。そのため、生産量の少しでもこのようなECサイトで取り扱うことができれば、消費者の拡大、及び認知度の向上に繋がるのではないかと考えられる。</p> <p>令和３年度において開設された福井市産の特産物ECサイト「ふくいさん」を可能な限り活用すべきということが監査人の意見である。</p>	

### 3 - 4 5 . 蒲生海岸維持管理事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：蒲生海岸維持管理事業、中事業：蒲生海岸維持管理事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	蒲生海岸を適切に維持管理する。
事業内容	蒲生海岸の清掃・芝刈り等を適切に行う。
根拠法令等	
実施要綱等	(福井県との「蒲生海岸管理委託契約書」に基づき実施している。)
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)地魚と漁村の魅力発信
事業開始年度	平成25年度
事業終了年度(予定)	(福井県との「蒲生海岸管理委託契約書」を解消した段階で事業を終了し、現在においては半永久的に続く事業である。)

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当事業は、福井県管理の漁港海岸施設の管理を「蒲生海岸管理委託契約書」に基づき受託するものであるため、目標値となる指標は定めていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	300	312	312
決算額(支出済額)	300	310	308
繰越額	-	-	-
不用額	-	2	4

増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
11 手数料	9	
12 委託料	299	
合計	308	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/5	委託料 施設管理委託料	公益社団法人 福井市シルバ ー人材センタ ー 理事長 吉田 修二	令和3年度海岸環 境清掃等管理業務 委託料 7～9月 分	143

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 4 6 . 漁港海岸漂着物対策事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：漁港海岸漂着物対策事業、中事業：漁港海岸漂着物対策事業 （款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費）
事業目的	漁港海岸の漂着物を適切に処分することで漁場環境の保全を図る。
事業内容	自治会やボランティア団体等が集積した漂着ごみを処分する。
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律



実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針3)地魚と漁村の魅力発信
事業開始年度	平成26年度
事業終了年度(予定)	(半永久的に続く事業である。)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、漁港海岸の漂着物を適切に処分することで漁場環境の保全を図ることを目的とし、自治会やボランティア団体等が集積した漂着ごみを処分することを支援する内容とした事業であり、福井市としての指標として、漂着物回収回数と処分量を把握しているが、漂着物は自然と漂着するものであり目標値として適切ではないと考え、目標となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,100	1,100	1,460
決算額(収入済額)	767	721	877
差額	333	379	583
<歳出>			
予算現額	1,500	2,215	2,000
決算額(支出済額)	1,001	2,012	1,255
繰越額	-	-	-
不用額	499	203	745

### 増減の理由

漂着物の多寡により、事業量が年によって変動するため、歳出決算額が増減している。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	877	海岸漂着物地域対策推進事業補助金
合計	877	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	1,255	海岸漂着物地域対策推進事業補助金
合計	1,255	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/25	委託料 その他の委託料	福井環境事業 (株) 代表取締役社長 二木 和則	海岸漂着物処理業務委託料(福井市管理漁港海岸)	423

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 47. 林業水産業U・Iターン促進事業（漁業）

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁業労働力安定確保対策事業、中事業：林業水産業U・Iターン促進事業（漁業） (款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費)
事業目的	水産業の担い手の確保・育成を図る。
事業内容	就業希望者への見学補助、新規就業者への奨励金給付、水産カレッジ研修費の負担等を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市農林水産業U・Iターン促進事業（U・Iターン見学補助金（林業・漁業））交付要綱、福井市農林水産業U・Iターン促進事業（U・Iターン者就業奨励金（林業・漁業））交付要綱

第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2)担い手の確保と受入体制の整備
事業開始年度	平成28年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規就業者数(累計)	1人	2人	3人

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規就業者数(累計)	2人	3人	5人

### 目的の達成状況

目標計画値を達成できた。
--------------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	37	900	700
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	37	900	700
<歳出>			
予算現額	1,275	1,686	2,078
決算額(支出済額)	900	1,561	1,691
繰越額	-	-	-
不用額	375	125	387

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	6	
18 負担金、補助及び交付金	1,685	補助金
合計	1,691	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	個人のため省略	U・Iターン就業奨励金（漁業）1～3月分	75

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 48 . ふれあいパークなぎさ公園機能保全事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：ふれあいパークなぎさ公園機能保全事業、中事業：ふれあいパークなぎさ公園機能保全事業 （款：農林水産業費、項：水産業費、目：水産業振興費）
事業目的	ふれあいパークなぎさを安全かつ快適に利用してもらうため遊具等を適切に管理する。
事業内容	公園内の遊具の点検・補修を適切に行う。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2)担い手の確保と受入体制の整備
事業開始年度	平成30年度
事業終了年度(予定)	(半永久的に続く事業である。)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公園内事故件数	0件	0件	0件

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公園内事故件数	0件	0件	0件

### 目的の達成状況

目標計画値を達成した。
-------------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	5,500
決算額(収入済額)	-	-	5,400
差額	-	-	100
<歳出>			
予算現額	380	100	5,706
決算額(支出済額)	106	99	5,691
繰越額	-	-	-
不用額	274	1	15

### 増減の理由

令和3年度においては、園路舗装工事を実施したため、歳出決算額が増加している。
--

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
22 市債 01 市債	5,400	海岸環境整備事業債
合計	5,400	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	99	修繕料
12 委託料	92	
14 工事請負費	5,500	
合計	5,691	

## 6. サンプルテスト

## (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/14	工事請負費 資産取得のための工事（インフラ資産）	株式会社 K . c o m p a n y 代表取締役 角谷 喜三郎	ふれあいパークなぎさ園路舗装工事前払金	1,900
2021/12/6	工事請負費 資産取得のための工事（インフラ資産）	株式会社 K . c o m p a n y 代表取締役 角谷 喜三郎	ふれあいパークなぎさ園路舗装工事	3,600

## 7. 監査の結果と意見

## (1) 公園の立地に関する情報について

ふれあいパークなぎさ公園は越前海岸沿いに立地しているが、当公園の目の前には介護老人福祉施設が存在しており、公園に向かう国道からは介護老人福祉施設に隠れ、見えない場所に立地している。現場付近には公園を示す看板などはなく、また、福井市ホームページにおいても場所の詳細は公表されていない。

<介護老人福祉施設の奥に公園が存在している>



【意見】	案内板の設置もしくはホームページによる公表について
<p>上記の写真のように、ふれあいパークなぎさ公園は介護老人福祉施設の奥に存在し、手前の国道からは公園が見えない立地となっている。現場付近には公園の存在を示す看板や案内板などはなく、これでは現地に向かった利用者が公園を見つけることができな いおそれがある。また、福井市においてもホームページなどで場所の詳細は公表していない。</p> <p>ふれあいパークなぎさ公園はイベント等でも使用されている公園であるので、利用者にわかりやすいよう現地付近に公園を示す看板や案内板の設置、若しくは福井市においてもホームページなどで場所の詳細を公表するべきである。</p>	

(2) 公園の私物管理について

監査人がふれあいパークなぎさ公園に実際に赴いたところ、公園内には野球の道具やゲートボールの道具が放置されていた。

<放置されている野球の道具>



<放置されているゲートボールの道具>



【意見】	公園内の私物管理対策について
<p>上記の写真のように、公園内には私物とみられる道具が散見された。公園は一般の不特定多数の者が利用する施設であるので、快く利用できるよう、このような私物に関しては所有者に対し持ち帰るよう注意喚起を行う、その旨の注意書きを設置するなどの対応が必要である。</p>	

(3) 危害が及ぶ可能性のある設備について

また、公園内には錆が生えて角が剥き出しになっている箇所が存在した。

<錆により角が剥き出しとなっている箇所>



【意見】	危害が及ぶ可能性のある箇所への対応について
<p>上記の写真のように錆により角が剥き出しとなっており、利用者に危害が及ぶ可能性のある箇所については、利用に際して怪我をしたなどの問題が生ずる前に、すぐにも福井市にて修繕の対応が必要であると考えます。</p>	

### 3 - 4 9 . 市単漁港整備事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁港整備事業、中事業：市単漁港整備事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：漁港建設費)
事業目的	漁港施設および海岸保全施設の整備・補修を行う。
事業内容	漁港施設および海岸保全施設の小規模補修等を行う。
根拠法令等	漁港漁場整備法
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プ	基本施策：(基本方針2) 担い手の確保と受入体制の整備



ランにおける位置づけ	
事業開始年度	昭和 47 年度
事業終了年度（予定）	（半永久的に続く事業である。）

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、漁港施設および海岸保全施設の整備、補修を行うことを目的とし、漁港施設および海岸保全施設の小規模補修等を行うことを事業内容としている。整備や補修の箇所  
の把握は、毎年度、職員のパトロールで発見したものや地元からの要望に基づき行われて  
おり、予算化しているため、目標となる指標は定めていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	100	890	645
決算額（収入済額）	81	1,002	722
差額	19	112	77
< 歳出 >			
予算現額	1,800	6,093	2,840
決算額（支出済額）	1,787	5,872	2,703
繰越額	-	-	-
不用額	13	221	137

### 増減の理由

令和 2 年度においては、大規模な災害復旧工事を行ったため、歳出決算額が増加している。

## 4. 歳入の内訳（令和 3 年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 02 負担金	222	漁港整備費地元負担金
22 市債 01 市債	500	漁港建設事業債
合計	722	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	226	消耗品費（看板）
14 工事請負費	2,477	
合計	2,703	

## 6. サンプルテスト

## (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	工事請負費 維持補修工事	(株)松田(幸)組 代表取締役 岡本 徹	居倉漁港船揚場補 修工事	440

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 3-50. 漁港施設機能保全復旧事業

## 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁港整備事業、中事業：漁港施設機能保全復旧事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：漁港建設費)
事業目的	保全計画に基づき漁港施設の補修等を行う。
事業内容	保全計画に基づき、物揚場や船揚場、護岸等の補修を行う。
根拠法令等	漁港漁場整備法
実施要綱等	
第七次福井市総合計 画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計 画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プ ランにおける位置づ け	基本施策：(基本方針2)担い手の確保と受入体制の整備
事業開始年度	平成26年度
事業終了年度(予 定)	(半永久的に続く事業である。)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁港施設の改修箇所数（累計）	1箇所	2箇所	3箇所

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁港施設の改修箇所数（累計）	1箇所	2箇所	5箇所

### 目的の達成状況

目標計画値を達成できた。
--------------

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	14,900	22,150	20,502
決算額（収入済額）	5,150	17,000	20,322
差額	9,750	5,150	180
<歳出>			
予算現額	15,300	33,069	21,630
決算額（支出済額）	5,570	18,037	21,500
繰越額	9,700	15,000	-
不用額	30	32	130

### 増減の理由

令和元年度においては、南防波堤の補修工事を実施し、令和2年度においては、沖防波堤詳細設計及び補修工事を同年度で実施している。また、令和3年度においては、鮎川漁港沖防波堤補修工事に加え、大丹生漁港補修工事の実施もあり、歳出決算額が増加している。
---

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 02 負担金	172	漁港整備費地元負担金

16 県支出金 02 県補助金	10,750	水産物供給基盤機能保全事業補助金
22 市債 01 市債	9,400	漁港建設事業債
合計	20,322	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
14 工事請負費	21,500	
合計	21,500	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	工事請負費 資産 取得のための工事 (インフラ資産)	(株) 松田 (幸)組 代表 取締役 岡本 徹	令和2年度 鮎川漁 港沖防波堤機能保全 工事	15,000

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 5 1 . 藻場造成事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：水産環境整備事業、中事業：藻場造成事業 (款：農林水産業費、項：水産業費、目：漁港建設費)
事業目的	海底耕耘等を支援することにより水産環境を保全する。
事業内容	魚介類の生息環境を改善するための海底耕うんを支援する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市沿岸漁業振興対策事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計 画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する
第八次福井市総合計	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1)水産資源の維持と漁業所得の向上
事業開始年度	平成28年度
事業終了年度(予定)	令和6年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁業生産額( )		300百万円	300百万円

：令和2年度以降は、第8次福井市総合計画において設定している漁業生産額に関する目標値を記載している。令和元年度においては、漁業生産額から定置網業生産額、及び底引き網業生産額を差し引いた小規模漁船漁業生産額を目標値としており、令和元年度における目標値は122百万円であった。

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
漁業生産額		300百万円	352百万円

### 目的の達成状況

目標計画値を達成できた。
--------------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	3,555	1,114	1,032
決算額(収入済額)	4,247	802	756
差額	692	312	276
<歳出>			
予算現額	6,616	3,100	2,900
決算額(支出済額)	6,331	2,673	2,618
繰越額	-	-	-
不用額	285	427	282

増減の理由

令和元年度までは、福井県が事業主体となる予算規模の大きな「藻場造成事業」があり、福井市は事業費に応じた負担金を福井県に支払っていたため、歳出金額が膨れ上がっていた。

4．歳入の内訳（令和3年度） （単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	756	沿岸漁場環境改善事業補助金
合計	756	

5．歳出の内訳（令和3年度） （単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	2,618	
合計	2,618	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/5	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	福井市漁業協同組合 代表理事組合 長 平野 仁彦	令和3年度沿岸漁業振興対策事業補助金（福井市漁協）	2,150

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 5 2．林道施設災害復旧事業

1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：林業施設災害復旧事業、中事業：林道施設災害復旧事業 （款：災害復旧費、項：農林水産施設災害復旧費、目：林業施設災害復旧費）
------------------	--

事業目的	災害による被災した林道施設を復旧し、森林施業者及び林道利用者の安全を確保する。
事業内容	林道施設の災害復旧工事
根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律施行令、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律施行規則、福井市林道管理規則
実施要綱等	県単林道事業実施要領、福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱、緊急自然災害防止対策事業計画
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針1) 森林の多面的機能の強化
事業開始年度	事業開始年度が不明であり、毎年度、大雨、台風、大雪などの災害により被災した箇所地元からの要望等に基づき、事業を実施するため、事業期間を設定していないものである。
事業終了年度(予定)	同上

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、災害による被災した林道施設を復旧し、森林施業者及び林道利用者の安全を確保することを目的とし、林道施設の災害復旧工事を行うことを事業内容としている。大雨、台風、大雪などの災害により被災した箇所を復旧する事業であり、被災箇所を想定することができないため、目標となる指標は定めていない。復旧することが目標の達成となるため、事業効果としては予算要求概要書に書かれている補修箇所数の実績を記載している。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	28,348	32,922	165,012

決算額（収入済額）	24,550	31,429	61,012
差額	3,798	1,493	104,000
<歳出>			
予算現額	34,687	51,550	192,099
決算額（支出済額）	31,623	47,649	81,033
繰越額	0	3,132	63,213
不用額	3,064	769	47,853

#### 増減の理由

令和3年度においては、大雨により被災し、復旧工事を行ったため歳出金額が増加している。なお、令和3年度において不用額が多く発生しているのは、補正予算時に要求した箇所について、予算成立後から国の災害査定までの期間において、予算時想定していた工法より安価な工法で復旧することができることが判明したためである。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 01 分担金	5,372	林業施設災害復旧費地元分担金
16 県支出金 02 県補助金	16,540	林業施設災害復旧費補助金
22 市債 01 市債	39,100	林業施設災害復旧事業債
合計	61,012	

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	250	消耗品費、燃料費
12 委託料	22,511	
13 使用料及び賃借料	31,188	
14 工事請負費	27,084	
合計	81,033	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト

（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
----	----	------



川尻町自治会 会長 荒谷清方	重機借上料 林道ヒジカケ線（川尻町）地元分担金	483
----------------	-------------------------	-----

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/5	工事請負費 災害復旧工事	(有)山本土木 代表取締役 山本 光広	県単林道西炭線施設災 害復旧工事	3,947
2022/2/7	委託料 その他の委託料	美山町森林組合 代表理事組合長 渡辺 一夫	県単林道計石牛ヶ原線 倒木処理業務委託料	1,261

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 5 3 . 山地災害復旧事業

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：山地災害復旧事業、中事業：山地災害復旧事業 (款：災害復旧費、項：農林水産施設災害復旧費、目：林業施設 災害復旧費)
事業目的	地域住民が安全で安心できる暮らしを実現するため、小規模な荒 廃地崩壊を復旧し、山地や人家・公共施設を保全する。
事業内容	山地に起因する自然災害の災害復旧工事
根拠法令等	県単治山事業実施要領
実施要綱等	福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要 綱、緊急自然災害防止対策事業計画
第七次福井市総合計 画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計 画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市森林整備・林 業成長産業化推進プ ランにおける位置づ け	基本施策：(基本方針1)森林の多面的機能の強化
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度(予)	(半永久的に続く事業である。)

定)	
----	--

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被災した山地の測量箇所			13

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被災した山地の測量箇所			13

### 目的の達成状況

目標計画値を達成できた。
--------------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	1,900
決算額(収入済額)	-	-	2,900
差額	-	-	1,000
<歳出>			
予算現額	-	-	4,543
決算額(支出済額)	-	-	4,510
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	33

### 増減の理由

令和3年度に開始した事業であるためである。
-----------------------

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
22 市債	2,900	林業施設災害復旧事業債
01 市債		
合計	2,900	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	4,510	
合計	4,510	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/2/7	委託料 設計，測量，管理委託料	(株)第一コンサル 代表取締役 吉田 直人	小規模荒廃地治山災害測量業務委託料	4,510

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

3 - 5 4 . 漁港施設災害復旧事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：漁港施設災害復旧事業、中事業：漁港施設災害復旧事業 (款：災害復旧費、項：農林水産施設災害復旧費、目：漁港施設災害復旧費)
事業目的	冬季波浪により被災した漁港施設を復旧する。
事業内容	被災した長橋菅生漁港防波堤の復旧工事を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：稼げる林業と水産業を推進する
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：(基本方針2)担い手の確保と受入体制の整備
事業開始年度	令和3年度

事業終了年度（予定）	令和3年度
------------	-------

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、冬季波浪により被災した漁港施設を復旧することを目的とし、被災した長橋菅生漁港防波堤の復旧工事を行うことを事業内容としている。災害により突発的に実施した事業であるので、目標となる指標は定めていない。なお、令和3年度において災害復旧工事は完了している。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	5,000
決算額（収入済額）	-	-	4,343
差額	-	-	657
<歳出>			
予算現額	-	-	5,000
決算額（支出済額）	-	-	4,428
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	572

### 増減の理由

令和3年度に事業を開始し、災害復旧工事を行ったためである。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金		
01 分担金	443	水産施設災害復旧費分担金
22 市債		
01 市債	3,900	漁港災害復旧事業債
合計	4,343	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
14 工事請負費	4,428	

合計	4,428	
----	-------	--

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/25	工事請負費 災害復旧工事	(株)建昇 代表取 締役 岩上 博二	長橋菅生漁港沖防 波堤災害復旧工事	4,026

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

#### 4. 有害鳥獣対策室（林業水産課）

##### 4 - 1 . 有害獣被害防止対策事業

###### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業生産総合対策事業、中事業：有害獣被害防止対策事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	有害鳥獣による農作物や生活環境への被害が増大しているため、電気柵などによる防除対策を行う。
事業内容	・侵入防止柵の設置及び更新にかかる経費の一部を支援する。 ・クマの誘引樹木を伐採する経費の一部を支援する。
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
実施要綱等	福井市鳥獣被害防止計画、鳥獣被害防止総合対策交付金交付等要綱(国)、クマの誘引樹木伐採補助金交付事務マニュアル(県)、福井市ツキノワグマ誘引樹木伐採補助金交付要綱、鳥獣害のない里づくり推進事業実施要領(電気柵・ネット柵・捕獲檻)(県)、福井市有害獣被害防止対策事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農林漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	(政策) 未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる (施策) 農地・農村の環境を守り活性化を図る
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：鳥獣被害防止対策
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：森林の保全
事業開始年度	平成11年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

###### 2 . 事業目的の達成状況

###### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度

有害鳥獣による農作物の被害（千円）	12,200	11,300	10,500
-------------------	--------	--------	--------

目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有害鳥獣による農作物の被害（千円）	19,749	10,979	11,068

目的の達成状況

R3年度は、シカの被害額が大幅に増加したため、目標値を達成できなかった。  
シカによる被害額は、R元年度：1,166千円、R2年度：598千円、R3年度：3,190千円となっており、R3年度は対前期比5倍超のシカ被害が発生している。

3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	4,800	5,583	3,607
決算額（収入済額）	2,771	5,015	3,245
差額	2,029	568	362
<歳出>			
予算現額	8,800	8,448	6,483
決算額（支出済額）	5,367	8,360	5,613
繰越額	-	-	-
不用額	3,433	88	870

増減の理由

毎年、山際地域の全農家組合に対して要望を聞き、その要望に応じて補助金を支出している。要望量は、その年の状況に応じて増減するため、毎年一定ではなく、R3年度は、電気柵の要望量が減少したため歳出が減少している。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	3,245	鳥獣害のない里づくり推進事業補助金（電気柵）、クマの誘引樹木伐採事業補助金
合計	3,245	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	5,613	補助金
合計	5,613	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	負担金、補助及び交付金	福井市鳥獣害対策協議会	令和3年度有害獣被害防止対策事業（新規電気柵）補助金	5,613

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

4 - 2 . 有害獣捕獲推進事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：農業生産総合対策事業、中事業：有害獣捕獲推進事業 （款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費）
事業目的	有害獣の生息域拡大と個体数の増加により、有害獣による農作物や生活環境への被害が増加傾向にあるため、当該被害の防止・軽減を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害獣による被害の防止・軽減を図るため、わなの設置や大型獣出没時の緊急出動等を委託する。</li> <li>・有害獣を捕獲するための囲いわなの維持管理業務を委託する。</li> <li>・サル生息状況調査に対し調査費の一部を負担する。</li> <li>・農業被害を軽減するため、農家組合等集落団体を対象に、イノシシ用捕獲檻購入費用の一部を支援する。</li> </ul>
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
実施要綱等	福井市鳥獣被害防止計画、鳥獣被害防止総合対策交付金交付等要綱（国）、福井市有害獣捕獲推進事業（野生鳥獣生息状況調査）



	補助金交付要綱、福井市有害獣捕獲推進事業（檻購入）補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農林漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	（政策）未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる （施策）農地・農村の環境を守り活性化を図る
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：鳥獣被害防止対策
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：森林の保全
事業開始年度	平成13年度
事業終了年度（予定）	令和4年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有害鳥獣による農作物の被害（千円）	12,200	11,300	10,500

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有害鳥獣による農作物の被害（千円）	19,749	10,979	11,068

### 目的の達成状況

令和3年度は、シカの被害額が大幅に増加したため、目標値を達成できなかった。  
なお、シカによる被害額は、令和元年度 1,166 千円、令和2年度 598 千円、令和3年度 3,190 千円となっている。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-

決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	7,116	9,271	7,483
決算額（支出済額）	6,866	9,270	7,113
繰越額	-	-	-
不用額	250	1	370

増減の理由

重要な増減は認められない。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	6,420	有害獣捕獲推進事業他
17 備品購入費	100	
18 負担金、補助及び交付金	593	補助金
合計	7,113	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/04/25	委託料	（一社）福井県猟友会高志支部	令和3年度有害獣捕獲推進事業（わな設置委託事業）委託料【第2回目】	2,265

7．監査の結果と意見

（1）囲いわな設置の有効性

福井市は、令和3年度囲いわな維持管理業務について、福井県猟友会に732千円で委託している。囲いわなとは、囲い状のわなの中に複数の野生動物を閉じ込めて一度に捕獲する大型のわなのことである。設置場所は、清水畑町、蒲生町、中手町（美山）の3カ所で、業務内容としては、囲いわなの見回り・餌の補給を、週に2回程度、1年で309回実施している。1回の出勤経費は餌代を含めて2,371円となっている。

囲いわなの実績報告書を確認したところ、令和3年度の捕獲頭数は年間を通じてシカ1頭のみであった。ちなみに令和元年度は、シカ2頭とイノシシ14頭、令和2年度は、イノシシ7頭である。

また、清水畑町、中手町の設置わなを実際に見学したところ、清水畑町のわなは何も捕獲されていないにも関わらず、わなの入口が閉まっており(小動物がわなに入ると入口が閉まることのあるとのこと)、中手町のわなは餌が長期間食べられている様子はなかった。

【意見】	囲いわな設置の有効性について
<p>囲いわな維持管理業務について、年間の出勤回数309回に対して、捕獲頭数がシカ1頭と費用対効果が十分とは言い難い。年によってばらつきがあるものの、3台もの檻を設置していることを鑑みると、捕獲実績に物足りなさを感じる。</p> <p>捕獲実績が少ないならば、出勤回数を減少させることも有効であると考えられるが、餌の補給や有害獣がわなにかかっている可能性があることから、見回り回数を削減することは難しいとのことであった。</p> <p>囲いわなは、複数の動物を一度に捕獲するための大型わなであるにもかかわらず、現状の運用では、その特性が活かされて見受けられないように見受けられる。そのため、引き続き囲いわなの管理に費用を支出するのであれば、わなが設置されている場所や用いる餌の種類を検討するなど、福井県猟友会と十分に協議のうえ、よりわなの有効性を上げるための対策を講じていくべきである。</p>	

#### 4 - 3 . 捕獲有害獣処理対策事業

##### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業生産総合対策事業、中事業：捕獲有害獣処理対策事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	有害獣の生息数増加に伴い、農作物や生活環境への被害が深刻化・広域化しており、被害の防止・軽減を図るため、有害獣の捕獲と処理を行う。
事業内容	捕獲した有害獣の処理を行う。また、農家組合等が行う埋設処分等に対して支援を行う。
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

実施要綱等	福井市鳥獣被害防止計画、鳥獣被害防止総合対策交付金交付等要綱（国）、福井県鳥獣害のない里づくり推進事業（有害獣捕獲）実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	（政策）未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる （施策）農地・農村の環境を守り活性化を図る
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：鳥獣被害防止対策
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：森林の保全
事業開始年度	平成16年度
事業終了年度（予定）	令和4年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
シカ・イノシシ捕獲数（頭）	1,800	2,000	1,700

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
シカ・イノシシ捕獲数（頭）	2,068	1,633	1,173

### 目的の達成状況

イノシシの捕獲頭数が豚熱や大雪の影響で大きく減少したため、令和3年度は達成できなかった。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			

予算現額	10,440	22,705	18,905
決算額（収入済額）	21,807	19,456	14,551
差額	11,367	3,249	4,354
<歳出>			
予算現額	32,560	33,700	29,800
決算額（支出済額）	32,560	30,179	21,888
繰越額	-	-	-
不用額	0	3,521	7,912

#### 増減の理由

イノシシの捕獲頭数が大幅に減少したため。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
16 県支出金 02 県補助金	14,551	鳥獣害のない里づくり推進事業補助金（有害獣捕獲）
合計	14,551	

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	563	
12 委託料	21,325	福井県猟友会に対する捕獲有害獣処理対策事業委託料
合計	21,888	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	委託料	（一社）福井県猟友会高志支部	令和3年度捕獲有害獣処理対策事業委託料	21,325

#### 7．監査の結果と意見

(1) 記録報告書の確認について

当事業では、捕獲した有害獣の殺処分や埋設処分等の業務を福井県猟友会に委託している。委託料は、処理頭数に処理経費単価を乗じた金額となっており、処理経費単価は、動物の種類によって異なる。

福井市は、処理頭数の正確な把握のため、受託者に対して、記録報告書と捕獲した有害獣の尾(シカ・イノシシのみ)を提出することとしている。記録報告書には、殺処分の状況の分かる写真及び処理の状況の分かる写真の添付が必要である。また、写真の重複使用による請求委託料の水増しを防ぐため、添付写真の撮影方法については契約書にて細かく定めている(市職員が現地確認できる場合を除く)。

撮影方法の要件としては、捕獲隊員、捕獲個体全体並びに捕獲年月日、捕獲場所及び獣種等を記した看板並びにシカにあたっては胴長が分かるように並べたメジャーと撮影すること、捕獲個体は、頭を右、足を手前にして横たえて撮影すること、捕獲個体に、着色等(シカ・イノシシの成獣、クマにあたっては、胴体の右側面に許可番号及び従事者番号を記載、シカ・イノシシ以外は、尾に着色)したうえで撮影することが挙げられる。

しかしながら、令和3年度10月、11月分の記録報告書を確認したところ、殺処分の添付写真について、頭を右、足を手前にして横たえて撮影されていないものや捕獲個体に胴体記載されている許可番号等が識別困難であるもの、処理の状況の分かる写真が添付されていないものが検出された。そして、そのような報告書に対しても委託料が支払われていた。

【意見】	記録報告書の確認について
	<p>基本的に、有害獣処分時に市職員は立ち会っておらず(クマ以外)、処分頭数は提出された記録報告書により把握されている。記録報告書は自己申告制であるため、不正請求が生じやすい環境にあると考えられる。想定されるのは、同じ処分個体を使いまわし、委託料を水増しすることであり、それを防止するうえで、記録報告書に添付されている写真や提出された尾の確認は必要不可欠となっている。また、添付写真については、細かい要件が委託契約書にて定められている。しかし、実際には、その写真に不備がある記録報告書に対しても、委託料の支払が行われていた。</p> <p>福井市としては、明らかに同じ個体を使っていると判断した記録報告書については、差し戻しているが、それ以外の軽度な不備については、差し戻しまでの対応は取っていないとのことであった。ただし、どこまでが軽度で、どこからが重度かという明確な基準は存在しないとのことであった。</p> <p>軽度と重度の不備の線引きが曖昧な中では、担当者によって対応に差が出るのが想定される。そのため、軽度の不備がある記録報告書でも放置せず、受託者に対して指導していくとともに、適正な根拠に基づく委託料の支出を徹底していくことが必要である。</p>

#### 4 - 4 . ジビエ普及推進事業

##### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業生産総合対策事業、中事業：ジビエ普及推進事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	捕獲後埋設処分されている有害獣について、ジビエ普及事業を行うことで消費需要の拡大に繋げ、捕獲後の個体の有効活用を図る。
事業内容	ジビエの消費需要拡大のため、試食会の開催や学校給食への提供を行う。
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
実施要綱等	福井市鳥獣被害防止計画、鳥獣被害防止総合対策交付金交付等要綱(国)、福井県鳥獣害のない里づくり推進事業(獣肉の利活用促進)実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	(政策) 未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる (施策) 農地・農村の環境を守り活性化を図る
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：鳥獣被害防止対策
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：森林の保全
事業開始年度	平成26年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

##### 2 . 事業目的の達成状況

###### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ジビエ普及イベント開催数(回)	4	4	4

###### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ジビエ普及イベント 開催数(回)	4	2	2

#### 目的の達成状況

新型コロナウイルスの影響により、目標とするイベント開催数を満たせなかった。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	125	142	151
決算額(収入済額)	122	22	-
差額	3	120	151
<歳出>			
予算現額	250	67	303
決算額(支出済額)	245	67	-
繰越額	-	-	-
不用額	5	0	303

#### 増減の理由

予算は、全て小中学校給食へのジビエ提供に関する費用である。令和3年度は、一部保護者の反対により、小中学校へのジビエ提供ができなかったため歳出が減少している。なお、試食会の費用は、福井市鳥獣害対策協議会の予算にて計上されているため、福井市の予算としては、計上されていない。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	-	消耗品費(食材)
11 役務費	-	手数料
合計	-	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト



該当なし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

歳出額がないため省略。

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 学校給食でのジビエ提供について

当事業は、ジビエ普及事業を行うことで消費需要の拡大に繋げ、捕獲後の個体の有効活用を図るために実施されている。その手段として、小中学校へのジビエ提供を選択している。

もともと、給食所管の部署からは、保護者の反対等が想定され、規模が大きい学校等での実施は困難との話があり、小規模な山際の学校で順次実施していた。これまでは、それらの小規模な山際の学校で一部保護者から否定的な声があっても、学校側が実施を了承していたことにより、実現することができていたが、今回、「事前の意向調査でひとつでも否定的な声があったら実施できない」との学校側の意向があり、保護者アンケートを行った結果、実施できないこととなった。

【意見】	事業達成のための手段選択について
	<p>当事業はジビエ普及のため実施されているが、その手段に学校給食を選択したことによって、事業の効果が十分に得られなかった。保護者の反対があることが明白であったならば、事業開始前に、その反対意見についての対応を真摯に検討することが必要であった。</p> <p>ジビエという素材の性質上、全員が食さなければならない学校給食では、反対の声が上がるのも致し方なく、それを強行することに支出の意義は感じられない。従って、もともと、ジビエに興味を持っている者を対象とした希望性のイベントを計画した方が、事業目的を効果的かつ効率的に達成できたのではないかと考えられ、ジビエ普及に向け、引き続き課題と対策を講じていくことが必要と考える。</p> <p>なお、令和4年度からは、学校給食ではなく、希望制の親子教室にてジビエを提供しているとのことである。</p>

## 4 - 5 . 鳥獣害対策連携事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業生産総合対策事業、中事業：鳥獣害対策連携事業 (款：農林水産業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	鳥獣害対策の情報共有、他市町の取り組みや先進事例を学び、有効な鳥獣害対策について調査研究を行う。
事業内容	嶺北 11 市町と共同で市民向け獣害対策研修会、及び情報交換会

	を開催する。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策： 施策：
第八次福井市総合計画における位置づけ	
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：
事業開始年度	
事業終了年度（予定）	令和4年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
嶺北11市町と共同で市民向け獣害対策研修会、及び情報交換会の開催(回)	1	1	1

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
嶺北11市町と共同で市民向け獣害対策研修会、及び情報交換会の開催(回)	2	1	2

### 目的の達成状況

獣害対策研修会、及び情報交換会は目標通り実施できた。
----------------------------

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			

予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	30	-	100
決算額（支出済額）	-	-	52
繰越額	-	-	-
不用額	30	-	48

#### 増減の理由

嶺北 11 市町と共同開催したため、予算額より決算額が減少した。

#### 4．歳入の内訳（令和 3 年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和 3 年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	20	
13 使用料及び賃借料	32	
合計	52	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 4 - 6．有害鳥獣駆除対策事業

#### 1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大 事業：有害鳥獣駆除対策事業、中 事業：有害鳥獣駆除対策事業 （款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費）
事業目的	カラスを捕獲檻により駆除することで、カラスによる農作物被害

	や生活環境被害を軽減することができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラス檻を設置し、捕獲することによって生息数を減らし、被害軽減を図る。</li> <li>・初夏の育雛期のカラス被害対策として、カラスの巣を撤去し、被害を防ぐ。</li> <li>・カラスの研修者からカラス被害対策のコンサルティングを受け、学術的見地に基づき、市街地におけるカラスによる生活環境被害の軽減策を実施する。</li> <li>・市街地に野生鳥獣が出没した際に、職員が現地で捕獲する事案があるため、安全に捕獲できる器具を備え、公務災害を防ぐ。また、公用車の経費を計上する。</li> </ul>
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
実施要綱等	福井市鳥獣被害防止計画、福井県有害鳥獣捕獲実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：農林漁村の生活環境を守る</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	<p>(政策) 未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる</p> <p>(施策) 農地・農村の環境を守り活性化を図る</p>
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：鳥獣被害防止対策
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：森林の保全
事業開始年度	昭和46年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ねぐらとなっているカラスの追払い数	1,000羽以上	1,000羽以上	1,000羽以上

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ねぐらとなっている カラスの追払い数	-	-	-

#### 目的の達成状況

カラスの追払い数を現実的に把握することは困難であるため、実績値は不明。  
まだカラスに対する苦情が多少来るため、達成できなかったと判断している。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	13	3
決算額(収入済額)	-	3	-
差額	-	10	3
<歳出>			
予算現額	6,789	6,779	7,552
決算額(支出済額)	6,590	6,441	7,316
繰越額	0	0	0
不用額	199	338	236

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	613	消耗品費、燃料費、修繕料
11 役務費	49	狩猟免許取得手数料、自動車保険料
12 委託料	5,699	福井県猟友会への八幡山カラス捕獲檻維持 管理業務委託料他
13 使用料及び賃借料	770	
17 備品購入費	115	
18 負担金、補助及び交付金	36	講習会参加負担金

26 公課費	34	自動車重量税
合計	7,316	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	委託料	(一社)福井県猟友会高志支部	令和3年度八幡山カラス捕獲檻維持管理業務委託料(10~3月分)	1,840

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 目標値の設定について

当事業の目標としては、「ねぐらとなっているカラスの追払い数」1,000羽以上を掲げているが、現実的に「ねぐらとなっているカラスの追払い数」をカウントすることができず、実績値を把握することができない。

【意見】	有効な目標値の設定について
	<p>当事業の事業目的は、カラスを捕獲檻により駆除することで、カラスによる農作物被害や生活環境被害を軽減することである。その目標値として、「ねぐらとなっているカラスの追払い数」を掲げているが、カラスの個体を見分けることは現実的に難しく、一体何羽のカラスを追払ったのかカウントすることができない。目的の達成状況では、カラスの苦情が多少来るため、達成できずとの回答を得たが、結果の測定にカラスの追払い数が直接関連していないような印象を受ける。</p> <p>目標が、実績値を把握できないような曖昧なものであると、事業の効果が適切に測定できないため、実績値を把握できるものを目標として設定すべきである。目標値の例としては、カラス捕獲檻による捕獲数や苦情件数等が考えられる。</p>

## 4-7. みんなで取り組む鳥獣に負けない集落づくり事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：有害鳥獣駆除対策事業、中事業：みんなで行く鳥獣に負けない集落づくり事業 (款：農林水産業費、項：林業費、目：林業振興費)
事業目的	集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組み、鳥獣に負けない集落をつくる

	ることで鳥獣被害の防止・軽減を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落鳥獣害対策協議会員が取得・更新する狩猟免許にかかる経費を負担する。</li> <li>・集落鳥獣害対策協議会員や市民を対象に、鳥獣害対策に関する研修会を開催する。</li> </ul>
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
実施要綱等	福井市鳥獣被害防止計画、福井市狩猟免許取得補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：農林漁村の生活環境を守る</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	<p>(政策) 未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる</p> <p>(施策) 農地・農村の環境を守り活性化を図る</p>
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：鳥獣被害防止対策
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	基本施策：森林の保全
事業開始年度	平成25年度
事業終了年度(予定)	令和4年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
狩猟免許取得・更新数(人)	12	12	12

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
狩猟免許取得・更新数(人)	14	9	9

### 目的の達成状況

毎年夏(7月~8月)に取得試験及び更新講習が行われ、取得試験は冬(翌2月~3月)
--

にも行われる。コロナ禍にて、令和 2 年度においては夏の取得試験が行われず、冬のみに行われた。獵期が過ぎている点や受験者の人数制限もあり、取得申請者が減少し、目的を達成することはできなかった。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額 ( 収入済額 )	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	57	57	57
決算額 ( 支出済額 )	52	28	51
繰越額	-	-	-
不用額	5	29	6

#### 増減の理由

コロナの影響により 2 年度は試験回数が半減したため、歳出が減少している。

### 4. 歳入の内訳 ( 令和 3 年度 )

該当なし。

### 5. 歳出の内訳 ( 令和 3 年度 )

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	51	
合計	51	

### 6. サンプルテスト

#### ( 1 ) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

#### ( 2 ) 歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

### 7. 監査の結果と意見



特記すべき事項はない。

## 5. 農村整備課（一般会計）

### 5 - 1 . 法令外負担金

#### 1 . 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：各種協議会等負担金、中事業：法令外負担金 （款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費）
事業目的	各種土地改良事業を推進する。
事業内容	各種土地改良事業の推進にかかる法令外負担金を支出する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井農業農村整備事業促進協議会会則 福井県土地改良事業団体連合会定款 九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会規約 日野川水資源保全・活用連絡協議会規約 福井農業農村整備事業促進協議会規約
第七次福井市総合計 画における位置づけ	-
第八次福井市総合計 画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活 性化プランにおける 位置づけ	-
事業開始年度	昭和 33 年度
事業終了年度（予 定）	-

#### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	2	-	-
差額	2	-	-
< 歳出 >			
予算現額	1,173	1,657	2,115

決算額（支出済額）	1,172	1,526	1,730
繰越額	-	-	-
不用額	-	130	384

増減の理由

歳出の増加は、負担金の算定の基礎となる土地改良事業費の増加による。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	1,730	法令外負担金
合計	1,730	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/26	負担金、補助及び交付金	福井県農村整備事業推進協議会	福井県農村整備事業推進協議会 令和3年度会費	135
2021/9/6	負担金、補助及び交付金	九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会	九頭竜川下流域水資源利活用推進協議会負担金	202
2021/10/25	負担金、補助及び交付金	福井農業農村整備事業促進協議会	福井農業農村整備事業促進協議会会費	235
2022/3/31	負担金、補助及び交付金	福井県土地改良事業団体連合会	福井県土地改良事業団体連合会負担金	1,097

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 2 . 関連団体負担金

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：各種協議会等負担金、中事業：関連団体負担金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費)
事業目的	各種団体の事業の円滑化と組織強化を図る。
事業内容	関連団体への負担金を支出する。
根拠法令等	-
実施要綱等	公益社団法人 全国国土調査協会定款 福井県国土調査推進協議会規約
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成12年度
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	162	232	204
決算額(支出済額)	155	212	194
繰越額	-	-	-
不用額	6	19	9

増減の理由

歳出の増減は、負担金の算定の基礎となる地籍調査事業費の増減による。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	194	システム利用負担金
合計	194	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/8/25	負担金、 補助及び 交付金	福井県国土調査 推進協議会	令和3年度 福井県国土 調査推進協議会会費	86
2022/4/15	負担金、 補助及び 交付金	福井県土地改良 事業団体連合会	令和3年度 補助版標準 積算システム（RIESA）の 利用負担金	108

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 3 . 土地改良区育成支援事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：各種協議会等補助金、中事業：土地改良区育成支援事業 （款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費）
事業目的	土地改良事業への理解が深まり、各土地改良区の資質の向上や連携が図られ、円滑な事業実施に繋がる。
事業内容	市内各土地改良区が加入する福井市土地改良協会に補助を行

	い、土地改良区の育成、適切な事業運営を図る。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市土地改良区育成事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	昭和48年度
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	64	64	64
決算額(支出済額)	64	56	64
繰越額	-	-	-
不用額	-	8	-

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	64	福井市土地改良区育成事業補助金
合計	64	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/5	負担金、補助及び交付金	福井市土地改良協会	令和3年度 福井市土地改良区育成事業補助金	64

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 4 . 地籍調査事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地利用調整推進事業、中事業：地籍調査事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費)
事業目的	土地における地籍の明確化を目的とする。土地に関するあらゆる施策の基礎資料として利用され、公共事業の円滑化、境界紛糾の予防、公平な課税賦課、災害時の迅速な復旧、行政財産の適正な管理が可能となる。
事業内容	国土調査法に基づき、土地の基本単位となる一筆一筆の土地について所有者・地番・地目を調査する。また、土地の境界と面積(地積)を測量し、その成果として地籍図と地籍簿を作成する。
根拠法令等	国土調査法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	-

第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成 21 年度
事業終了年度（予定）	-

## 2．事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
地籍調査事業の進捗率	22.7%	22.7%	22.7%

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
地籍調査事業の進捗率	23.1%	23.3%	23.3%

### 目的の達成状況

目標は達成している。
------------

## 3．歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	4,950	5,550	5,625
決算額（収入済額）	4,080	5,550	5,085
差額	-870	-	-540
< 歳出 >			
予算現額	6,600	7,400	7,500
決算額（支出済額）	5,489	7,400	6,782
繰越額	-	-	-
不用額	1,111	-	718

### 増減の理由

蔵作町における地籍調査の事業費の増減による。
------------------------



4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 1 県負担金	5,085	地籍調査事業補助金
合計	5,085	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
7 報償費	146	地籍調査推進委員会報償費
10 需用費	38	消耗品
12 委託料	6,578	地籍調査業務委託料
17 備品購入費	20	備品購入
合計	6,782	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	令和3年度地籍調査事業補助金	5,085

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

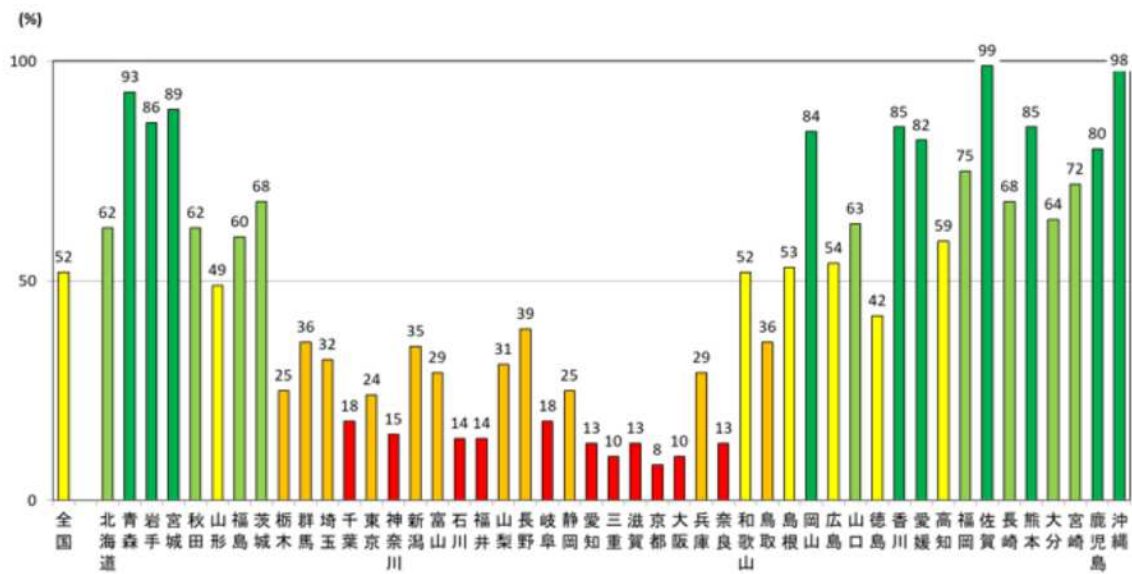
支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/5	委託料	(株)エヌ・エム調査設計	地籍調査業務委託料 (蔵作町山林1)	6,578

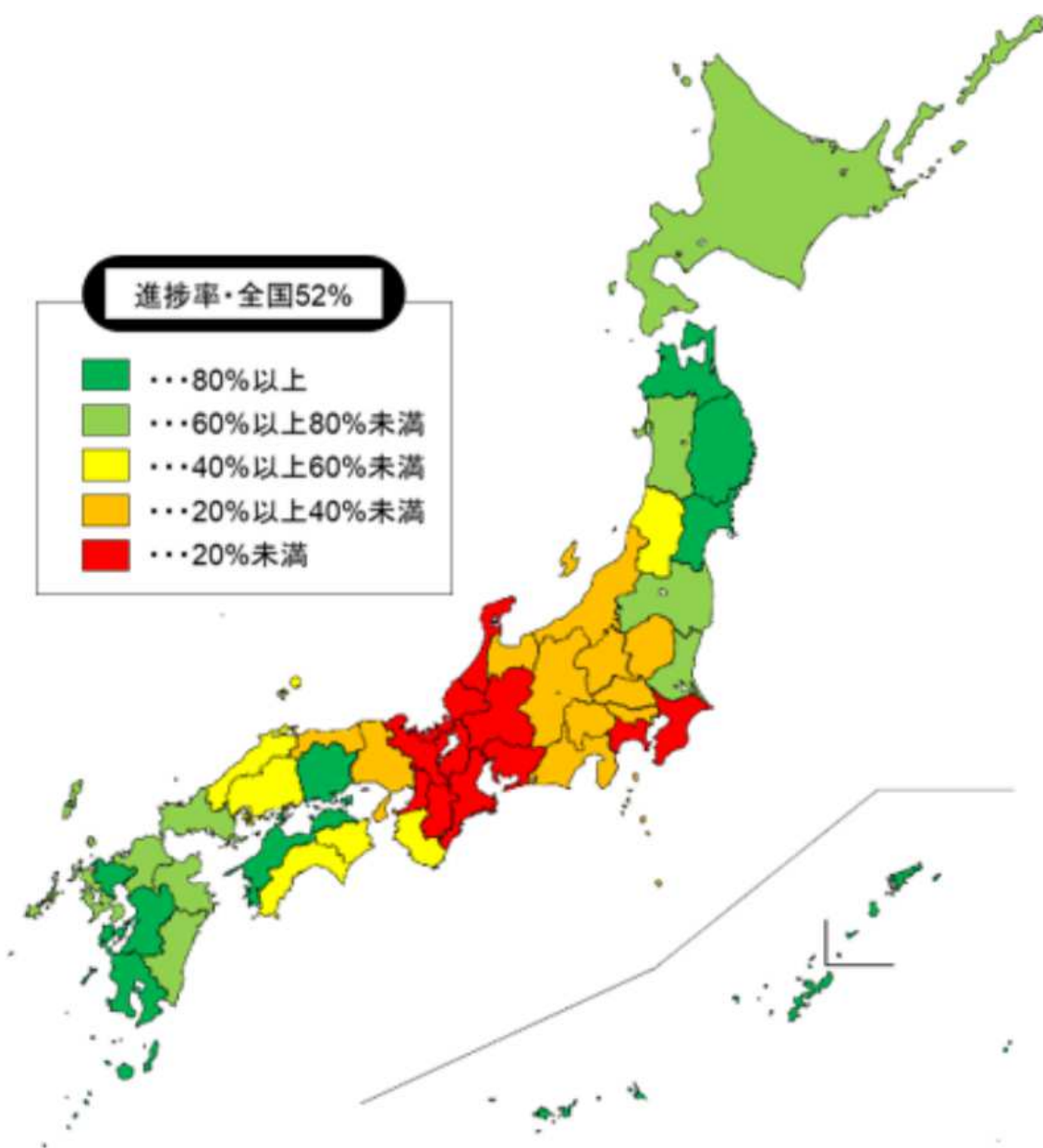
7. 監査の結果と意見

(1) 地籍調査の推進について

地籍調査は、国土調査法に基づき、昭和26年から開始された国の事業である。令和3年度末における全国の進捗率は52%であり、各都道府県の進捗状況は下表のとおりとなっている。

地籍調査進捗率(令和3年度末時点、令和4年6月調べ)





(国土交通省地籍調査WEBサイトより転載)

都道府県ごとに進捗率は大きくことなり、北陸地方から近畿圏にかけて進捗率が低い傾向にあり、福井県は7番目に低い進捗率となっている。

現在、福井市としては積極的に調査を進めることはしておらず、地域住民から要望があった場合に調査を行っている。なお、市が地籍調査を実施する以外に、公共事業や民間開発等で行われる測量や調査であっても、地籍調査と同等以上の精度で行われる場合には、これを地籍調査の成果と同様に扱うことができる制度もある(国土調査法第19条第5項指定)。

<b>【意見】</b>	<b>地籍調査の積極的な推進の検討</b>
<p>現状では、市の地籍調査の進捗状況は全国平均を大きく下回っており、市としては積極的に事業を進めるスタンスはとっていない。しかし、国は、地籍調査の円滑化・迅速化を見込んだ事業量の設定や、優先度の高い地域から地籍調査を実施するとともに、当該進捗を国民に分かりやすく説明する観点から優先実施地域での進捗率も目標として設定するなど、十箇年計画を掲げ事業の推進を呼びかけており、県と協議、協力し、積極的かつ計画的に調査を進めていくことが望ましいと考える。</p> <p>また、公共事業や民間事業における19条5項指定制度の活用をより積極的に呼びかけることも有効と考える。</p>	

## 5 - 5 . ふるさと水と土保全対策事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：ふるさと水と土保全対策事業、中事業：ふるさと水と土保全対策事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費)
事業目的	地域住民が共同して行う土地改良施設の多様な機能の維持及び強化に係る活動等を推進し、地域の活性化を図るための集落共同活動の強化に対する支援事業を行う。
事業内容	ふるさと水と土保全対策事業補助金
根拠法令等	福井市中山間ふるさと水と土保全対策基金条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成5年度
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1	1	1
決算額（収入済額）	1	1	1
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	1	1	1
決算額（支出済額）	1	1	1
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
17 財産収入 1 財産運用収入	1	基金利子
合計	1	

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
24 積立金	1	中山間ふるさと・水と土保全対策基金利子積立金
合計	1	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

歳入総額が少額のため省略。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 6 . 多面的機能支払交付金

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：多面的機能支払交付金、中事業：多面的機能支払交付金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費)
事業目的	農業集落の高齢化が進み、農地・農業用水等の資源を良好な状態で維持することが難しくなっているため支援を行う。
事業内容	農地の取組面積に応じた活動資金を、国が 1/2、県と市が 1/4 ずつを負担し、地域で構成する各活動組織に市から交付する。
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
実施要綱等	多面的機能支払交付金実施要項・要領、福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる。 施策：農地・農村の環境を守り活性化を図る。
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本施策：農地の保全、農業用施設の長寿命化
事業開始年度	平成 19 年度（農地・水保全管理支払交付金） 平成 26 年度（多面的機能支払交付金）
事業終了年度（予定）	-

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数 (農家組合数)(累計)	280 集落	290 集落	300 集落
多面的機能支払交付金事業における広域活動組織設立数	-	3 団体	0 団体

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数	280 集落	290 集落	300 集落

(農家組合数)(累計)			
多面的機能支払交付金事業における広域活動組織設立数	1 団体	3 団体	0 団体

目的の達成状況

目標数を達成し、施策の遂行に一定の効果があった。
--------------------------

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	351,275	366,925	369,321
決算額(収入済額)	350,666	332,923	335,385
差額	-609	-34,002	-33,936
<歳出>			
予算現額	466,300	483,102	487,809
決算額(支出済額)	463,550	443,130	445,051
繰越額	-	-	-
不用額	2,749	39,971	42,757

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助金	332,299	多面的機能支払交付金事業補助金
21 諸収入 7 雑入	3,086	多面的機能支払交付金返還金
合計	335,385	

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	244	消耗品費・燃料費
11 役務費	139	郵便料
13 使用料及び賃借料	604	システム使用料
18 負担金、補助及び交付金	441,750	多面的機能支払交付金
22 償還金、利子及び割引料	2,314	多面的機能支払交付金返還

合計	445,051	
----	---------	--

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
福井県	多面的機能支払交付金事業補助金	331,312
東今泉資源保全活動組織	多面的機能支払交付金返還金	9
清水山下区地域活動会	多面的機能支払交付金返還金	1,636
両橋屋町集落資源保全会	多面的機能支払交付金返還金	6
林藤島町集落資源保全隊	多面的機能支払交付金返還金	2
清水山上環境保全隊	多面的機能支払交付金返還金	1,430
福井県	多面的機能支払交付金事業補助金	987

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/5	負担金、補助及び交付金	振込管理(前金払・概算払)	多面的機能支払交付金 農地維持支払及び資源向上支払(施設の長寿命化のための活動を除く)補助金	239,560
2021/7/5	負担金、補助及び交付金	振込管理(前金払・概算払)	多面的機能支払交付金 資源向上支払(施設の長寿命化のための活動)補助金	105,094
2021/12/15	負担金、補助及び交付金	振込管理(前金払・概算払)	多面的機能支払交付金 農地維持支払及び資源向上支払(施設の長寿命化のための活動を除く)補助金	59,900
2021/12/15	負担金、補助及び交付金	振込管理(前金払・概算払)	多面的機能支払交付金 資源向上支払(施設の長寿命化のための活動)補助金	37,194
2022/4/11	償還金、利子及び割引料	福井県福井農林総合事務所	多面的機能支払交付金返還金	2,314



2022/4/15	使用料及び賃借料	福井県土地改良事業団体連合会	令和3年度 多面的支払交付金推進事業管理システム利用料	151
-----------	----------	----------------	-----------------------------	-----

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 交付金の持越しについて

多面的機能支払交付金は、対象地域における農用地面積や活動内容に応じて額が決定され交付される。交付金を当該年度の活動に使用し、年度末に残額が生じた場合、翌年度以降に具体的な使用予定がある場合には、それに必要な額を持越しことができるとされており、それ以外の残額を市に返還することとなる。

また、持越金の合計額が、当該年度の交付金の額の3割を超え、かつ、100万円以上となる場合（交付金の分類別に判定）には、持越金の使用予定表を市に提出することとされている。

R3年度の交付金に係る実施状況報告書及び持越金の使用予定表を通査したところ、次のものが検出された。

#### ・持越金の用途が未決定であるもの

活動組織	交付金の分類（ ）	交付金（千円）	次年度への持越金（千円）
団体 A	資源向上（長寿命化）	1,077	2,735

#### ・要件に該当するにもかかわらず持越金の使用予定表の添付がないもの

活動組織	交付金の分類（ ）	交付金（千円）	次年度への持越金（千円）
団体 A	資源向上（長寿命化）	1,077	2,735
団体 B	農地維持・資源向上（共同）	10,408	3,413
団体 C	資源向上（長寿命化）	1,239	1,537
団体 D	資源向上（長寿命化）	1,603	1,625
団体 E	農地維持・資源向上（共同）	2,175	1,591
	資源向上（長寿命化）	1,580	4,831
団体 F	農地維持・資源向上（共同）	1,971	1,059
団体 G	資源向上（長寿命化）	1,276	2,032

多面的機能支払交付金には次の分類があり、下表の「農地維持」と「資源向上（共同）」の合計、及び、「資源向上（長寿命化）」のそれぞれで持越金の使用予定表の提出要否を検討する必要がある。

分類	交付金の構成区分		活動の例
農地維持	農地維持支払 交付金	地域資源の基礎的な保 全活動	水路の泥上げ、農道の路 面維持
資源向上 (共同)	資源向上支払 交付金	地域資源の質的向上を 図る共同活動	水路・農道の補修
資源向上 (長寿命 化)		施設の長寿命化のため の活動	水路の補強、農道の舗装

【指摘】	持越金の妥当性の確認
<p>多面的機能支払交付金を翌年度に持越し可能であるのは、具体的な使用予定に基づく必要額のみとされている。用途未決定の状態で行っている組織があったが、適切ではなかったものとする。市は、具体的な用途に基づかないもの、又は、金額の根拠が適切ではないものは持越せないことを、各組織に周知し、また、不必要に持越されるものがないか、適切に確認すべきである。</p> <p>多額の持越しが予定されている場合には、市はより慎重にその妥当性を確認する必要がある。持越金の使用予定表はその妥当性を確認するために必要となる資料である。当該資料の提出が確認できなかったものについては、妥当性の確認が十分にできていないものとする。今後、持越金の使用予定表の提出を徹底し、必要に応じてその根拠を確認し、持越金の妥当性を十分に確認することが適当である。</p>	

## (2) 活動実施状況等の確認について

多面的機能支払交付金の対象となる活動等の実施状況については、市が実施状況報告書等の書類確認を行うこと、及び現地確認を行うことにより、その適否が確認される。

市が実施した確認作業の結果を記録する実施状況確認チェックシート(R3年度分)を調査したところ、次のものが検出された。

検出事項	件数
チェックシートがファイリングされていない	1件

チェックシートがない理由を市担当者に確認したところ、当該活動組織は、坂井市とまたがって活動を行っていたため、福井市側では確認作業を省略していたとのことであった。しかし、坂井市に確認作業を依頼することや、確認結果の共有を受けることもなかったとのことである。

【意見】	活動実施状況等の網羅的な確認
多面的機能支払交付金の対象となっているすべての活動組織について、市がその活動	

実施状況等を確認することが求められている。現状で確認作業を省略している活動組織についても、確認の対象とすることが適当である。

(3) 実施状況報告書による実施状況の報告について

多面的機能支払交付金の交付対象である活動組織は、毎年度、事業計画に定められている事項の実施状況を、実施状況報告書として市に提出することとされている。

R3年度の実施状況報告書より、サンプルで14件を抽出し内容を確認したところ、次のものが検出された。

検出事項	件数
計画された活動が未実施であるが、その理由の記載がなく、未実施の妥当性が確認できない	7件
各活動項目の実施の有無の記載が、市が現地確認を行った結果の記録である実施状況確認チェックシートと不整合である	8件

【指摘】	実施状況報告書による実施状況の適切な報告
	多面的機能支払交付金に係る実施報告書は、交付金が各地域での活動に適切に使用されていることを示すものとして重要である。合理的な理由なく計画された活動が実施されていない場合には、交付金の返還となる場合もあるため、実施状況及び未実施の理由等が適切に記載されるよう、市は指導すべきである。また、市が確認作業を行う際に使用する実施状況確認チェックシートにおいても、未実施理由の妥当性を確認することや、市が行った現地調査結果との整合性を確認することが確認項目とされている。市の確認作業においても、実施報告書の内容を適切に確認することが必要である。

5 - 7 . 事務諸経費

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大 事業：事務諸経費、中 事業：事務諸経費 (款：農林水産業費、項：農地費、目：農地総務費)
事業目的	農業農村事務を円滑に進める。
事業内容	農業農村事務を円滑に進める。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活	-

性化プランにおける位置づけ	
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	36	2,540	50
決算額（収入済額）	66	2,248	36
差額	30	-292	-14
< 歳出 >			
予算現額	632	3,370	540
決算額（支出済額）	578	2,976	485
繰越額	-	-	-
不用額	53	393	54

### 増減の理由

令和2年度の歳入及び歳出の増加は、共用車の購入があったことによる。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
14 使用料及び手数料 2 手数料	36	土地境界同意書交付手数料
合計	36	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
11 需用費	358	消耗品費・燃料費・修繕料
12 委託料	41	時間外空調業務委託料
13 使用料及び賃借料	86	公用自動車リース料
合計	485	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
土地家屋調査士	土地境界同意書交付手数料(下河北町)	2

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	需用費	(株)オフィスサポートB P	3月分コピー料	53

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 8 . 県有土地改良施設管理事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良施設管理事業、中事業：県有土地改良施設管理事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	施設を適正かつ安全に管理することにより、市民の快適な生活の実現に寄与する。
事業内容	県から管理委託を受けた土地改良施設の維持管理を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：持続可能で強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる 施策：強靱な社会基盤を構築する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,595	5,782	1,575
決算額(収入済額)	1,567	5,562	1,679
差額	-28	-220	104
<歳出>			
予算現額	8,356	12,459	8,593
決算額(支出済額)	7,562	11,781	8,525
繰越額	-	-	-
不用額	793	677	67

#### 増減の理由

令和2年度の歳入及び歳出の増加は、県有財産の保守工事を行ったことによる。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
21 諸収入 7 雑入	1,679	消雪施設維持管理費負担金
合計	1,679	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	4,652	電気料・水道料・修繕料
11 役務費	11	手数料
12 委託料	3,598	県有施設管理委託料
13 使用料及び賃借料	264	滝波ダム専用線利用料
合計	8,525	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
西日本電信電話株式会社	県有土地改良財産受託管理施設使用料	1,077
北陸電力送配電株式会社	県有土地改良財産受託管理施設使用料	383

## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	委託料	(株)北陸環境科学研究所	滝波ダム水質及び底質検査費	490
2022/4/25	委託料	富士通ネットワークソリューションズ(株)	滝波ダム テレメーター放流警報設備保守点検業務委託料	957

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 9 . 農道補修事業

## 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良施設管理事業、中事業：農道補修事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	通行の安全性を提供し、市民の快適な生活の実現に寄与する。
事業内容	福井市が管理する広域農道、農免農道の維持管理や地元が管理する農道の補修を行う。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	福井県土地改良財産の管理および処分に関する事務取扱要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	7,941	7,643	7,748
決算額（支出済額）	7,883	7,520	7,678
繰越額	-	-	-
不用額	57	122	69

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	2,031	消耗品費・燃料費・修繕料
11 役務費	16	道路賠償責任保険料
12 委託料	2,093	消雪装置等保守委託
14 工事請負費	1,928	広域農道舗装補修工事
15 原材料費	1,610	農道補修用砕石
合計	7,678	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/5	工事請負費	（有）丸吉電機	電気絶縁不良改修工事 （上中地下道）	1,094

#### 7．監査の結果と意見



特記すべき事項はない。

## 5 - 10 . 農道台帳整備事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良施設管理事業、中事業：農道台帳整備事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	農道整備事業の振興に寄与し、農業の生産性の向上、農産物の流通の合理化、農村環境の保全に繋がる。
事業内容	農業の現況を的確に把握し、適正な管理及び改良に質するため、市道認定による削除等台帳の作成を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成5年度以前
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	120	120	120
決算額(支出済額)	119	117	117
繰越額	-	-	-

不用額	-	2	2
-----	---	---	---

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	117	福井市農道台帳作成業務委託費
合計	117	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/5	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	令和3年度 福井市農道台帳作成業務委託費	117

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 1 1 . 市有土地改良施設管理事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：土地改良施設管理事業、中事業：市有土地改良施設管理事業 （款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費）
事業目的	施設を適正かつ安全に管理することにより、市民の快適な生活の実現に寄与する。
事業内容	市が保有する土地改良施設の維持管理を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計	政策：総合計画を推進するために

画における位置づけ	施策：効率的で持続可能な行財政運営を行う
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	41	-	-
決算額（収入済額）	33	3,447	4,793
差額	-8	3,447	4,793
< 歳出 >			
予算現額	2,860	-	662
決算額（支出済額）	2,548	-	661
繰越額	-	-	-
不用額	311	-	0

### 増減の理由

令和元年度の歳出は、農村活性化施設一乗ふるさと交流館の廃止に関するものである。  
令和2年度、令和3年度の歳入及び歳出は、損害賠償金の一部回収によるものである。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
21 諸収入 7 雑入	4,793	平成25年（ワ）第246号損害賠償金
合計	4,793	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	661	不動産強制競売申立事件手続委託料
合計	661	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
個人	平成 25 年(ワ)第 246 号損害賠償金	4,292

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/3	委託料	北川法律事務所	不動産強制競売申立事件(下市ため池埋立事案)手続委託料	325

## 7. 監査の結果と意見

### (1) ため池の管理体制について

平成 17 年頃から数年間、市所有のため池に、事業者が許可なく土砂及び産業廃棄物を投棄し、ため池の一部が埋め立てられた事案が発生した。市は平成 21 年に住民からの情報提供を基に状況を把握し、その後、埋立物の調査等を実施したところ、その量は 3,200 m<sup>3</sup>と推定され、さらに、土壤環境基準を上回る汚染が含まれていることも確認された。市は、平成 25 年に、埋立てを行った事業者及び当該事業者の代表等に対し損害賠償請求訴訟を提起し、また、同年より埋立物撤去工事を実施した。平成 28 年に訴訟は終了し、埋立てを行った事業者等に約 2 億 2000 万円の支払いを命ずる判決が確定した。

訴訟において、市側は撤去費用などの約 2 億 8900 万円を損害賠償請求したが、判決による賠償額は、それより減額される結果となった。これは、市側にも過失があるとされたためであり、損害金額の 20%が減額されている。判決では、市は長年にわたり自治会等の地元住民に管理を委ね、「本件ため池の所有者として自ら管理を行うことも、自治会等に対して管理状況の報告を求めるなどして、本件ため池の現況を把握することもしていなかった」等、市側の管理体制が不十分であったことにより、状況の把握、対策が遅れ、長期間の埋立ての継続を許し、損害を拡大させた、とされている。

なお、埋立てを行った事業者は平成 25 年に既に解散しており、元代表である個人が賠償金の債務者となっている。確定した損害賠償金約 2 億 2000 万円に対して、これまでの債権回収額は約 860 万円と 4%程度のみとなっている。すでに個人の不動産等の処分は終えており、今後は給与差押えによる回収のみが見込まれる。結果的に、当該事案による損害の大部分を市が負担するという結果になる可能性が高い。

市は、当該事案を踏まえ、市が所有するため池の管理体制について、次のような見直しを行った。

- ・管理者が曖昧であったため池について、管理者を明確に定めた。
- ・管理者と協定書を交わしていなかった場合には、協定書を交わすこととした。

市所有のため池は4か所あり、それらに関する協定書の内容は次の通りとなっている。

ため池	協定締結時期	管理者	管理内容	市への報告
A	昭和 52 年	地元自治会	伐木、除草の他、災害、老朽化を未然に防ぐ処置等	記載なし
B	平成 26 年	地元自治会	点検、除草などの通常の維持管理	記載なし
C	平成 29 年	地元自治会	操作規則に定める排水ゲートの管理（点検、草刈等の維持管理、洪水警戒体制等）	ため池の形状の変化及び不法行為を発見した場合は市に報告。洪水警戒体制時の連絡等。
D				

ため池 C と D は、同一の協定書で同一の自治会に管理を委ねている。

また、市職員が定期的にパトロールを行うようなルールは定めていないが、年に1回程度は何らかの業務で当該地域を訪れるため、その際に地元自治会との直接のコミュニケーションを行っているとのことである。

市所有分を含む農業用ため池全般の管理に関しては、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が令和元年7月に施行されており、これに基づく管理を行うこととされている。当該法律では、全ての農業用ため池の届出義務、所有者及び管理者による適正管理の努力義務などが設けられた他、ため池の適正な管理及び保全のために、市町村はため池の管理状況を把握し、県と連携することが役割として想定されている（「農業用ため池の管理及び保全に関するガイドライン（農林水産省農村振興局）」）。

市内には、129か所の農業用ため池があり、その内の44か所が特定農業用ため池（決壊などにより周辺に被害を及ぼすおそれがあるため池。防災重点農業用ため池のうち、国又は自治体所有以外のもの）に指定されている。これらの管理体制は次のとおりである。

- ・福井県が策定した「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づき、防災重点ため池について5年に1回の定期点検を行い、劣化状況等の把握を行っている。
- ・防災重点農業用ため池に関して、市職員は年に1回程度、何らかの業務で当該地域を訪れるため、その際に地元自治会とのコミュニケーションを行い、状況把握を行っている。

- ・福井県は、福井県土地改良事業団体連合会に福井県ため池サポートセンターを設置している。すべての農業用ため池を対象に、連合会と市職員による定期点検（5年に1回）を行っている。また、サポートセンターには相談窓口が設けられており、ため池管理者からの点検・管理方法等の相談を受けている。
- ・市は、すべての農業用ため池の管理者に「ため池管理マニュアル（農林水産省農村振興局）」を提供し、適正な管理を依頼している。市もサポートを行う旨を伝え、何かあった場合の連絡を口頭で依頼している。

【指摘】	市所有のため池に関する管理体制の再確認
<p>市所有のため池について、市には所有者としての適正管理の義務がある。過去の事案における市の管理体制が不備であるとの指摘も踏まえ、現状の体制が十分であるか、再確認が必要である。管理者に任せきりでは不十分であり、積極的に管理状況を把握し、また、市自らが定期的に現況を把握する体制とすべきであると考え。現状では、管理者からの報告や市職員の現場確認のルールが明確となっていないため、管理者からの報告及び市職員の現地確認の頻度やタイミング等を明確に定めること、それらの結果を記録すること、などを検討すべきである。</p> <p>また、市所有ため池の管理に関する協定書の内容についても検討が必要と考える。管理者から市への報告に関する取り決めを定めていないため池があるため、明記することが適当である。異常発見時や緊急時等の報告・連絡・相談に加えて、定期的な管理状況の報告を求めることも必要と考える。管理者に依頼する管理の内容については、ため池ごとに設備や環境が異なるため、同一のものとならないと思われるが、「ため池管理マニュアル（農林水産省農村振興局）」等に照らして必要な管理内容に漏れがないか、確認することが適当である。</p>	

【指摘】	すべての農業用ため池に関する管理体制の明確化
<p>市所有以外の農業用ため池について、市には、各ため池の管理の状況を把握し、適正な管理及び保全がなされるよう施策を講じる責任がある。現状では、5年に1回の点検以外の管理方法が明確ではないため、防災重点農業用ため池、それ以外の農業用ため池のそれぞれについて、市としての管理体制を定めておくことが必要と考える。例えば、次のような体制が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての農業用ため池について、定期的に管理状況の報告を受けること。また、福井県土地改良事業団体連合会の相談窓口を含めた情報共有体制を確認し、市の情報把握が遅れないようにすること。</li> <li>・防災重点農業用ため池については、市職員による現地確認の運用が曖昧であるため、頻度やタイミング等を明確にすること。</li> <li>・報告や情報把握の状況、現地確認の結果等を記録すること。</li> </ul>	

## 5 - 1 2 . 農地海岸保全事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良施設管理事業、中事業：農地海岸保全事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	漂着した海洋ゴミを継続的に撤去することで、農地海岸の環境及び景観を保全し、農地の機能を維持できる。
事業内容	農地海岸に漂着した海洋ゴミの一般廃棄物の処理などを行い、農地海岸の環境及び農地の景観を保全する。また、農道の機能維持を図る。
根拠法令等	海岸法、海岸漂着物処理推進法
実施要綱等	循環社会推進課所管補助金等交付要綱・補助金実施要領 地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物地域対策推進事業)交付要綱 海岸漂着物等地域対策推進事業実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	3,350	3,350	3,350
決算額(収入済額)	1,143	1,571	2,054
差額	-2,207	-1,779	-1,296
<歳出>			
予算現額	3,500	3,500	3,500

決算額（支出済額）	1,375	1,834	2,342
繰越額	-	-	-
不用額	2,124	3,130	1,157

増減の理由

歳入及び歳出の増減は、気象等により、各年の海岸漂着物の量が変動することによる。

4．歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助金	2,054	海岸漂着物地域対策推進事業交付金
合計	2,054	

5．歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	2,342	海岸漂着物処理業務委託料
合計	2,342	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	海岸漂着物地域対策推進事業交付金 （小丹生海岸漂着物処理業務分）	321
福井県	海岸漂着物地域対策推進事業交付金 （長橋糸崎海岸業務分）	347
福井県	海岸漂着物地域対策推進事業交付金	1,386

（2）歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/5/17	委託料	福井環境事業（株）	農地海岸（小丹生海岸）漂着物処理業務委託料	459
2021/6/15	委託料	福井環境事業（株）	農地海岸（糸崎・長橋海岸）漂着物処理業務委託料	496
2021/9/15	委託料	福井環境事業（株）	蒲生第一海岸漂着物処理業務委託料	1,036



2022/3/7	委託料	福井環境事業（株）	蒲生第三海岸漂着物処理業務委託料	350
----------	-----	-----------	------------------	-----

## 7. 監査の結果と意見

市の海岸は、「加越沿岸海岸保全基本計画（平成14年6月福井県）」に基づき、次のような体制で管理が行われている。

海岸の種類	内容	管理者
一般公共海岸その他	下記以外の海岸	県
港湾海岸	港湾区域に係る海岸保全区域	県
漁港海岸	漁港区域に係る海岸保全区域	県又は市（農林水産部林業水産課）
農地海岸	土地改良事業として又は農地保全のために管理する海岸施設のある地域に係る海岸保全区域	市（農林水産部農村整備課）

海岸の保全により恩恵を受ける地域が主に農地である場合には、農地海岸として指定され、市の管理とされている。

<b>【意見】</b>	農地海岸における管理者の見直し
<p>市が管理する農地海岸の指定は、平成14年の状況に基づくものである。その後、耕作放棄地の増加や農地転用が進み、海岸の背後地の状況が大きく変化した地域もある。そもそも、日頃の農業行政を通じて地域の状況を把握していること、地域住民との円滑な連携が容易であること等を踏まえ、市農林水産部が農地海岸の管理者となっているものとする。したがって、海岸の背後地が農地ではなくなってしまう場合には、市農林水産部がそれを管理することは業務分担として適切ではなく、地域の現況を踏まえたより適切な管理者を設定すべきである。県の基本計画においても、「整備の進捗や防護技術の変化、住民ニーズの変化等の、社会情勢変化に的確に対応するために、必要に応じて、計画を柔軟に見直していくものとする。」とされており、現況を踏まえた農地海岸の範囲の見直しを県と協議することが適当である。</p>	

## 5 - 13 . 各種調査設計事業

### 1 . 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：市単独土地改良事業、中事業：各種調査設計事業 （款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費）
事業目的	農業農村整備事業を実施するにあたり、各種事業の計画的かつ効率的な実施を図るため、土地改良事業予定地域において、調

	査・測量・設計等を実施し、各種事業の目的にあった基本的要件の調査解明及び土地改良法に基づく土地改良事業計画の作成をする。
事業内容	土地改良事業が行われる予定地域について調査、測量及び試験を行い、詳細事業費の算定、工法検討、事業計画書作成、効果算定資料作成、詳細平面図作成等を行う。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	900	1,870	1,551
決算額（支出済額）	899	1,870	1,551
繰越額	-	-	-
不用額	0	-	-

### 増減の理由

調査設計の実施状況により歳出は増減する。令和元年度及び令和2年度は川西地区を対

象に、令和3年度は東部地区（東部広域農道）を対象に計画調査を実施している。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	1,551	農地整備事業（通作条件整備）路面性状調査業務
合計	1,551	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/1/5	委託料	アジア航測（株）福井営業所	農地整備事業（通作条件整備）路面性状調査業務（東部広域農道）	1,056
2022/4/5	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	農地整備事業（通作条件整備）福井東部地区調査業務	495

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 14．基幹農業用排水路維持管理事業

1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：市単独土地改良事業、中事業：基幹農業用排水路維持管理事業 （款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費）
事業目的	都市排水を有する基幹農業用排水路の浚渫及び補修を行うことにより、治水機能や地域の環境保全が図られる。
事業内容	地域の基幹となる農業用排水路や、都市排水が排出される農業用排水路の浚渫・清掃及び補修、浸水対策を行う。
根拠法令等	-

実施要綱等	県単小規模土地改良事業実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	3,750	3,750	9,475
決算額（収入済額）	3,750	3,750	9,224
差額	-	-	-251
< 歳出 >			
予算現額	7,960	9,032	15,122
決算額（支出済額）	7,741	8,523	12,330
繰越額	-	-	-
不用額	218	508	2,791

### 増減の理由

令和3年度の歳入及び歳出の増加は、木田用水路及び三ヶ用水路において浸水対策のための施設整備を行ったこと等による。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助金	4,724	農業基盤整備促進事業（農業競争力基盤整備事業）補助金
22 市債 1 市債	4,500	基幹農業用排水路維持管理事業債

合計	9,224	
----	-------	--

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	495	用水路余水吐改修設計等業務委託
14 工事請負費	11,688	用水路改修工事
18 負担金、補助及び交付金	147	農業用水路排水機能維持管理事業負担金
合計	12,330	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	令和3年度 県単小規模土地改良事業補助金 (下馬地区)	1,369
福井県	令和3年度農業基盤整備促進事業 (農業競争力基盤整備事業)補助金	2,750
(株)福井銀行福井市役所支店	基幹農業用排水路維持管理事業債 (令和3年度現年分)	2,000
地方公共団体金融機構	基幹農業用排水路維持管理事業債 (令和3年度現年分)	2,500
福井県	令和3年度県単小規模土地改良事業補助金	605

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/5/25	工事請負費	(有)カタオカ 開発興業	三ヶ用水路浚渫工事	671
2021/6/7	工事請負費	(有)村上宗組	木田用水路余水吐改修 に伴う試掘工事	154
2021/6/25	委託料	福井県土地改良 事業団体連合会	木田用水路余水吐改修 設計等業務委託	495
2021/6/30	工事請負費	(有)村上宗組	木田用水路余水吐改修 工事 前払金	1,000
2021/9/28	工事請負費	(有)日新テク ノス	三ヶ用水路改修工事 前払金	1,700

2021/11/5	工事請負費	(有)村上宗組	木田用水路余水吐改修工事	1,739
2022/1/5	工事請負費	(有)日新テクノス	三ヶ用水路改修工事	3,300
2022/1/5	工事請負費	(株)諏訪組	太田江排水路護岸改修工事	1,210
2022/4/25	工事請負費	(有)山一建設	太田江排水路浚渫工事	605
2022/5/6	負担金、補助及び交付金	河合春近土地改良区	令和3年度 農業用水路排水機能維持管理事業負担金(河合春近土地改良区)	147

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 農業用施設の維持管理について

市が管理する用排水路及び農道について、市職員は週1回程度のパトロールを実施し、その状況を把握している。また、地域住民から施設に関する要望等が寄せられることもある。それらを基に、状況の緊急度や重要度を評価し、補修等の対応を行っている。

しかし、パトロールの結果などは特段の記録をしていないとのことであり、また、住民からの要望等についても特段の記録は残していないとのことであった。

【意見】	農業用施設のパトロール、住民からの要望等の記録
<p>農業用施設に関するパトロールの結果や住民からの要望又はコミュニケーション等の状況は、維持管理の経緯を示すものであり、記録を残すことが適切と考える。また、施設の状況を課内で共有するために記録は重要であり、別の担当者がパトロールや住民とのコミュニケーションを行う際に、また、職員の異動に伴う引継ぎを行う場合等においても有意義なものとする。</p>	

## 5 - 15 . 広域・農免農道等補修事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：市単独土地改良事業、中事業：広域・農免農道等補修事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)</p>
事業目的	<p>広域農免農道の安全性を第一に考え、破損箇所等や路面排水を最適にすることで、事故を未然に防止できる。</p>
事業内容	<p>県から管理移管された広域・農免農道等の生活交通利用に伴う交通量の増加により、路面の破損及び安定性・排水性が悪化し</p>

	ているため、舗装・補修など再整備を行う。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	福井県土地改良財産の管理および処分に関する事務取扱要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	3,600	1,900	2,649
決算額（収入済額）	3,400	1,700	1,205
差額	-200	-200	-1,444
< 歳出 >			
予算現額	6,750	9,854	6,602
決算額（支出済額）	6,730	9,838	6,598
繰越額	-	-	-
不用額	19	16	3

### 増減の理由

令和2年度の歳出増加は、消雪施設の不具合が頻発したため、その補修を行ったこと等による。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助	605	県単小規模土地改良事業補助金

金		
22 市債 1 市債	600	広域・農免農道等補修事業債
合計	1,205	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
14 工事請負費	6,598	広域農道舗装打換工事
合計	6,598	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	令和3年度県単小規模土地改良事業補助金	605
(株)北國銀行	広域・農免農道等補修事業債（令和3年度現年分）	600

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/5/25	工事請負費	(株)岩佐土建	東部広域農道舗装打換工事（下毘沙門町）	1,188
2022/1/5	工事請負費	日光産業(株)	県単小規模農道整備工事（丹南広域農道）	1,210

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 16 . 県営土地改良事業補助金

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良事業補助金、中事業：県営土地改良事業補助金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	県が事業を行うことにより、受益者が整備された農地及び農業用施設を利用することができ、農業生産性の向上及び農村環境の改善につながる。
事業内容	過年度において県が実施した各種土地改良事業に対し、その事業費の一部負担を後年度の債務負担とし、補助金として各土地



	改良区に分割交付する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	昭和37年度
事業終了年度(予定)	令和15年度

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	92,390	89,402	85,275
決算額(支出済額)	92,389	89,401	85,274
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	85,274	県営土地改良事業補助金（債務負担行為分）
合計	85,274	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/1/5	負担金、補助及び交付金	足羽川堰堤土地改良区連合	令和3年度 県営土地改良事業補助金（債務負担行為分）	60,464
2022/1/17	負担金、補助及び交付金	清水土地改良区	令和3年度 県営土地改良事業補助金（債務負担行為分）	24,810

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 17 . 団体営土地改良事業補助金

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良事業補助金、中事業：団体営土地改良事業補助金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	農業の生産性の向上や農業構造の改善を目的とし、県営事業の要件に合わない受益地 5 ヘクタール以上の農用地、農業用水路、農道などの農業生産基盤の整備を行う。
事業内容	土地改良区が事業主体となつて行う国庫補助事業に対して、国、県、市がそれぞれの割合に応じて補助金を交付する。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-

第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成11年度以前
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	6,700	21,000	-
決算額(収入済額)	6,700	21,000	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	14,926	32,908	4,719
決算額(支出済額)	14,925	32,907	4,643
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	75

### 増減の理由

団体営土地改良事業の事業量により歳入及び歳出は増減する。令和2年度は、安保地区における事業量が多かったことにより、歳入及び歳出が大きく増加している。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	4,643	団体営土地改良事業補助金(債務負担行為分)
合計	4,643	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/1/17	負担金、補助及び交付金	足羽川堰堤土地改良区連合	令和3年度 団体営土地改良事業補助金(債務負担行為分)	3,686
2022/2/15	負担金、補助及び交付金	岡保土地改良区	令和3年度 農地等高度利用促進事業補助金(岡保地区)	600
2022/4/25	負担金、補助及び交付金	河合春近土地改良区	令和3年度 農地等高度利用促進事業補助金(高屋地区)	350

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 18 . 小規模県単事業補助金

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良事業補助金、中事業：小規模県単事業補助金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	国の補助基準に満たない小規模な整備を行う団体に対して、その事業費の一部を補助し、営農の合理化を図る。
事業内容	土地改良区等が管理している農業用施設は多数あるが、土地改良を行ってから年数がたち老朽化してきており、整備を行う必要がある。その中で、国の補助基準に満たない小規模な整備を行う団体に対して、その事業費の一部を補助する。
根拠法令等	-
実施要綱等	県単小規模土地改良事業実施要領 福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-

第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	1,400	3,200
差額	-	1,400	3,200
< 歳出 >			
予算現額	3,127	3,433	4,389
決算額（支出済額）	3,111	3,183	4,239
繰越額	-	-	-
不用額	16	250	150

### 増減の理由

土地改良区からの補助の要望量により歳入及び歳出は増減する。令和3年度は、土地改良区からの要望が多くあったことによる。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
22 市債 1 市債	3,200	小規模県単事業補助金債
合計	3,200	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	4,239	県単小規模土地改良事業補助金
合計	4,239	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
地方公共団体金融機構	小規模県単事業補助金債（令和3年度現年分）	3,200

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/15	負担金、補助及び交付金	清水土地改良区	令和3年度県単小規模土地改良事業補助金（竹生地区）	560
2022/4/15	負担金、補助及び交付金	福井足羽土地改良区	令和3年度県単小規模土地改良事業補助金（下六条地区）	500
2022/4/15	負担金、補助及び交付金	福井足羽土地改良区	令和3年度県単小規模土地改良事業補助金（上筋生田地区）	500
2022/4/15	負担金、補助及び交付金	九頭竜川左岸用水土地改良区	令和3年度県単小規模土地改良事業（片川地区）	1,146

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 19 . 市単独土地改良事業補助金

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良事業補助金、中事業：市単独土地改良事業補助金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	現状は、老朽化した農業用施設が多数あり、就農者の意欲、生産力の低下を招いている。そこで地元土地改良区、農家組合及び自治会に対し、国もしくは県の補助制度の対象から外れる小規模な土地改良事業について、補助を実施することで、施設の現状復帰とともに、就農者の意欲、生産力の向上が見込める。
事業内容	地元土地改良区、農家組合及び自治会に対し、国もしくは県の補助制度の対象から外れる小規模な土地改良事業についての整

	備の補助を行い、水田農業の体質強化、転作の円滑な推進を図る。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数（農家組合数）(累計)	280 集落	290 集落	300 集落

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数（農家組合数）(累計)	280 集落	290 集落	300 集落

### 目的の達成状況

目標数を達成し、施策の遂行に一定の効果があった。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-

<歳出>			
予算現額	25,000	25,000	25,000
決算額（支出済額）	24,997	24,994	25,000
繰越額	-	-	-
不用額	3	6	-

増減の理由

重要な増減は認められない。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	25,000	市単独土地改良事業補助金
合計	25,000	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/7	負担金、補 助及び交付 金	芝原用水土 地改良区	市単独土地改良事業補助 金（今泉地区）	900
2021/11/15	負担金、補 助及び交付 金	福井川合鷺 塚土地改良 区	市単独土地改良事業補助 金（川合鷺塚地区）	904
2022/3/7	負担金、補 助及び交付 金	小宇坂島農 家組合	市単独土地改良事業補助 金（小宇坂島地区）	1,584



2022/4/15	負担金、補助及び交付金	芝原用水土地改良区	市単独土地改良事業補助金（菅谷地区）	1,009
2022/4/15	負担金、補助及び交付金	田ノ頭農家組合	市単独土地改良事業補助金（田ノ頭12字地区）	960
2022/4/15	負担金、補助及び交付金	篠尾農家組合	市単独土地改良事業補助金（篠尾地区）	1,176

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 補助金対象事業の業者選定について

当事業は、土地改良区又は農家組合が行う土地改良事業について、その事業費の一部を補助するものである。その補助率は次のようになっている。

事業内容	平坦地	中間・山間地
一般の事業（用排水施設整備事業・農道整備事業）	60%以内	65%以内
その他の事業（暗渠排水事業・客土事業・区画整理事業・農用地開発事業・畑地かんがい事業）	36%以内	40%以内
主要施設の整備事業（水閘門整備事業・ため池整備事業）	72%以内	80%以内
農村の環境整備事業（集落内環境整備事業・生態系保全施設等整備事業）	60%以内	65%以内

「福井市補助金等交付規則」や「福井市土地改良事業補助金交付要綱」では、補助対象事業において工事請負、業務委託等の契約を行う場合の業者選定について、その手続きに特段の要件を設けていない。市の担当者に、補助対象事業における業者選定に関して、どのような運用を行っているか確認したところ、基本的には補助対象組織の運用ルールに委ねているが、金額が高額となる場合には入札等の手続きをお願いする場合もある、との回答を得た。各組織がどのような運用ルールとしているか、個々の事業を実施する際にどのような手続きを行ったかについては、市では確認していないとのことである。

「6. (2) 歳出のサンプルテスト」で抽出した事業における工事請負契約又は業務委託契約は次のとおりである。

補助対象事業者	契約先	契約内容	契約額（千円）
---------	-----	------	---------

芝原用水土地改良区	(株)英組	用水路改修工事	1,500
福井川合鷺塚土地改良区	鷺吉建設(株)	排水路布設替工事	1,507
小宇坂島農家組合	(有)山本土木	取水設備改修工事	1,980
芝原用水土地改良区	(株)創和テック	分水バルブ取替工事	1,683
田ノ頭農家組合	エフケイ機工 (株)	ため池転落防止柵補 修工事	1,200
篠尾農家組合	(株)吉村組	農道擁壁設置工事	1,809

<b>【意見】</b>	<b>補助金対象事業の金額の適正性の確認について</b>
<p>市民の税金等を財源とする補助金の経済性を高めることは重要である。補助対象経費の一定割合を交付する補助金においては、その事業が適正なコストで実施されることが必要であり、市には、それを担保する体制を構築する責務がある。</p> <p>国の補助を受けて土地改良事業を行う場合には、「補助事業を遂行するため、売買、請負その他の契約をする場合は、一般の競争に付さなければならない。ただし、補助事業の運営上、一般の競争に付することが困難又は不適當である場合は、指名競争に付し、又は随意契約によることができる。」(土地改良事業関係補助金交付要綱(農林水産省))とされている。国の補助事業において工事業者又は委託業者等を選定する場合には、入札が原則であり、随意契約による場合も見積合せを実施することが通常である。</p> <p>市が補助を行う場合においても、入札又は見積合せを必要とすることを原則とするなど、業者の選定過程及び選定理由等を明確にすることを検討すべきであり、福井市補助金等交付規則に当該内容の条項を追加するもしくは、各補助金の交付要綱において、そのルールを記載することが適当であると考え。また、市は、業者選定について、ルールに従って適正に手続きが行われていること、また、従うことが困難な場合にはその合理的な理由、などを確認すべきである。なお、当事業に関する補助金だけでなく、他の事業における補助金についても同様の検討が必要と考える。</p>	

## 5 - 20 . 国営及び県営造成施設管理体制整備促進事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良事業補助金、中事業：国営及び県営造成施設管理体制整備促進事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	経済状況が厳しい中、適正かつ効率的な施設管理により土地改良区の負担の軽減が図れる。
事業内容	土地改良区が管理する農業水利施設の多面的機能を地域住民に説明し、施設の維持管理に協力を得、維持管理費の削減につな

	がる活動に対し、施設の維持管理費の 37.5%を上限に補助する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成 12 年度
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	9,310	10,544	10,323
決算額（収入済額）	8,924	10,590	10,085
差額	-386	46	-238
< 歳出 >			
予算現額	16,437	18,000	17,776
決算額（支出済額）	16,429	17,976	17,303
繰越額	-	-	-
不用額	7	23	472

## 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和 3 年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助	10,085	地域水利施設活用事業補助金

金		
合計	10,085	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	17,303	地域水利施設活用事業（県営造成施設）補助金
合計	17,303	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	令和3年度地域水利施設活用事業（県営造成施設）補助金	5,784
福井県	令和3年度国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）補助金	4,301

（2）歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	負担金、 補助及び 交付金	主計土地 改良区	令和3年度 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）補助金	2,460
2022/4/25	負担金、 補助及び 交付金	九頭竜川 左岸用水 土地改良 区	令和3年度 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）補助金	1,497
2022/5/6	負担金、 補助及び 交付金	福井足羽 土地改良 区	令和3年度 地域水利施設活用事業（県営造成施設）補助金	4,824
2022/5/6	負担金、 補助及び 交付金	足羽川堰 堤土地改 良区連合	令和3年度 地域水利施設活用事業（県営造成施設）補助金	2,799
2022/5/6	負担金、 補助及び 交付金	社土地改 良区	令和3年度 地域水利施設活用事業（県営造成施設）補助金	1,979

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 2 1 . 棚田地域保全基金活動支援事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：土地改良事業補助金、中事業：棚田地域保全基金活動支援事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	地理的に不利な条件を有している中山間地の棚田等を保全し、地域の保全活動の育成を目的とする。
事業内容	棚田地域は、国土、環境の保全や水資源の涵養、伝統文化の継承など、多面的な公益機能を有しており、これら地域の施設や農地の保全活動に対する県の基金事業として、一地区 30 万円を限度として補助する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成 12 年度
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	900	900	900
決算額(収入済額)	290	900	990
差額	-610	-	90

<歳出>			
予算現額	900	900	990
決算額（支出済額）	290	900	990
繰越額	-	-	-
不用額	610	-	-

#### 増減の理由

令和元年度は、福井県からの補助が縮小されたことにより、歳入及び歳出が減少している。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
16 県支出金 2 県補助金	990	福井県中山間土地改良施設等保全基金事業費（棚田地域保全基金）補助金
合計	990	

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	990	棚田地域保全基金活動支援事業補助金
合計	990	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	令和3年度福井県土地改良施設等保全基金事業費（棚田地域保全基金）補助金（西荒井町）	300
福井県	令和3年度福井県中山間土地改良施設等保全基金事業費（棚田地域保全基金）補助金（田ノ頭町）	200
福井県	令和3年度福井県中山間土地改良施設等保全基金事業費（棚田地域保全基金）補助金（西別所町）	190
福井県	令和3年度福井県中山間土地改良施設等保全基金事業費（棚田地域保全基金）補助金（南菅生町）	300

##### （2）歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
-----	----	-----	----	-------

2021/12/6	負担金、補助 及び交付金	西荒井集 落協定	棚田地域保全基金活動支援 事業補助金（西荒井町）	300
2022/3/25	負担金、補助 及び交付金	南菅生集 落協定	棚田地域保全基金活動支援 事業補助金（南菅生町）	300
2022/4/15	負担金、補助 及び交付金	田ノ頭集 落協定	棚田地域保全基金活動支援 事業補助金（田ノ頭町）	200
2022/4/15	負担金、補助 及び交付金	西別所集 落協定	棚田地域保全基金活動支援 事業補助金（西別所町）	190

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 2 2 . 県営土地改良事業負担金

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：県営土地改良事業負担金、中事業：県営土地改良事業負担金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	農業生産における基礎的な資源である農地や農業用水等の生産基盤を整備することにより、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択及び農業構造の改善を図る。
事業内容	県が実施する土地改良事業に対し、その事業費の一部を負担する。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	211,600	178,400	195,600
決算額(収入済額)	82,600	55,000	58,900
差額	-129,000	-123,400	-136,700
<歳出>			
予算現額	280,855	229,267	256,732
決算額(支出済額)	113,816	79,438	82,299
繰越額	166,919	147,978	162,196
不用額	119	1,850	12,236

#### 増減の理由

県営土地改良事業の事業量により歳入及び歳出は増減する。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
22 市債 1 市債	58,900	県営土地改良事業負担金債
合計	58,900	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	82,299	県営土地改良事業負担金
合計	82,299	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
(株)福井銀行福井市役所支店	県営土地改良事業負担金債(令和3年度現年分)	55,300
(株)北國銀行	県営土地改良事業負担金債(令和3年度現年分)	3,600



## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/28	負担金、補助 及び交付金	福井県福井農 林総合事務所	県営土地改良事業負担 金（福井地区 令和3 年度分 第1回目）	32,884
2021/12/28	負担金、補助 及び交付金	福井県丹南農 林総合事務所	県営土地改良事業負担 金（丹南地区 令和3 年度分 第1回目）	649
2022/3/31	負担金、補助 及び交付金	福井県福井農 林総合事務所	県営土地改良事業負担 金（福井地区 令和3 年度分 第2回目）	47,343
2022/4/20	負担金、補助 及び交付金	福井県丹南農 林総合事務所	県営土地改良事業負担 金（丹南地区 令和3 年度分 第2回目）	1,422

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 23 . 地域用水機能増進事業

## 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業農村整備事業、中事業：地域用水機能増進事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	地域用水機能（農業用水が有する生活用水機能、防火用水機能、景観保全機能、消流雪用水機能等）の向上を図るため施設の改修整備を行う。
事業内容	国営農業用水再編対策事業における用水路のパイプライン化等に に伴い、農業用水路としての機能を失いつつも、地域用水機能が 残る水路の維持管理費の一部を負担する。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計 画における位置づけ	-
第八次福井市総合計 画における位置づけ	-
第2次福井市農業活 性化プランにおける	-

位置づけ	
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	8,600	7,400	-
決算額（収入済額）	3,600	7,400	-
差額	-5,000	-	-
<歳出>			
予算現額	10,604	17,754	6,080
決算額（支出済額）	8,853	17,714	5,911
繰越額	1,750	-	-
不用額	0	39	168

### 増減の理由

令和元年度及び令和2年度は、国営パイプライン化に伴い発生する上部用水路に係る大規模整備の実施により歳入及び歳出が増加している。令和3年度は同事業に関連して設置されていた生活排水処理施設の廃止工事による歳出が発生している。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	4	電気料
14 工事請負費	5,907	排水管切替工事
合計	5,911	

## 6. サンプルテスト

### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/15	工事請負費	(有)野路工務店	国営かんがい排水事業関連 排水管閉塞工事	4,323

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 24 . 国営土地改良事業負担金

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：国営土地改良事業負担金、中事業：国営土地改良事業負担金 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	基幹的用水路をパイプライン化し、農業経営の安定化を図る。
事業内容	国営土地改良事業に対し、その事業費の一部を負担する。
根拠法令等	土地改良法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成17年度
事業終了年度(予定)	令和17年度

2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度

<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	4,369	4,369	147,954
決算額（支出済額）	4,368	4,368	147,953
繰越額	-	-	-
不用額	0	0	0

#### 増減の理由

国営かんがい排水事業 九頭竜川下流地区（二期）に関する負担金の増加により歳出が増加している。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	147,953	国営土地改良事業九頭竜川下流（二期）地 区負担金
合計	147,953	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/24	負担金、補助 及び交付金	福井県	国営土地改良事業九頭 竜川下流（二期）地区 負担金	147,953

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 25 . 一乗谷あさくら水の駅管理運営事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：一乗谷あさくら水の駅事業、中事業：一乗谷あさくら水の駅管理運営事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	農業体験や生物の観察など、食育や自然環境を学習する機会を提供する。
事業内容	一乗谷あさくら水の駅で農業体験や生物の観察など、食育や自然環境を学習する機会を提供する。
根拠法令等	福井市一乗谷あさくら水の駅の設置及び管理に関する条例 福井市一乗谷あさくら水の駅の設置及び管理に関する条例施行規則
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成22年度。
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	4	4	4
決算額(収入済額)	4	4	4
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	11,042	12,533	12,098
決算額(支出済額)	11,034	12,486	12,067

繰越額	-	-	-
不用額	8	47	31

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
14 使用料及び手数料 1 使用料	4	一乗谷あさくら水の駅行政財産目的外使用料
合計	4	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	33	消耗品費・修繕料
12 委託料	11,862	一乗谷あさくら水の駅指定管理料
13 使用料及び賃借料	42	A E Dリース料
17 備品購入費	74	備品購入（コロナ対応備品）
18 負担金、補助及び 交付金	56	道の駅連絡会年会費
合計	12,067	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入総額が少額のため省略。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/15	委託料	あさくら水の 駅ふれあい協 議会	一乗谷あさくら水の駅 体験農園等管理業務委 託料（令和3年度3回 目）	600
2022/5/16	委託料	（株）コーワ	令和3年度 福井市一乗 谷あさくら水の駅指定 管理料（3回目）	300

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 26 . 一乗谷あさくら水の駅機能強化事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：一乗谷あさくら水の駅事業、中事業：一乗谷あさくら水の駅機能強化事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：土地改良費)
事業目的	一乗谷朝倉氏遺跡観光や東郷地区と連携を図るとともに、一乗谷あさくら水の駅や一乗谷朝倉氏遺跡を訪れる観光客の満足度を高める。
事業内容	一乗谷あさくら水の駅の新たな機能改善を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：総合計画を推進するために 施策：効率的で持続可能な行財政運営を行う
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成27年度
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来場所数	150,000人	( )	130,000人

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、目標値を設定していない。

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来場所数	126,369人	127,382人	147,217人

#### 目的の達成状況

令和元年度は、利用促進策が不足していたため目標値を達成できなかった。令和3年度は、指定管理者が入れ替わって2年目となり、年中無休としたことや、新たな集客イベントを積極的に実施したことにより、年間過去最高の来場者数となり目標を達成した。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	129	187	212
決算額(収入済額)	150	206	177
差額	21	19	-35
<歳出>			
予算現額	594	1,000	15,182
決算額(支出済額)	594	915	15,090
繰越額	-	-	-
不用額	0	85	92

#### 増減の理由

歳入の増減は、EV充電器の使用量増減に対する補填金の増減による。令和2年度の歳出増加は、施設改修工事請負費の増加により、令和3年度の歳出増加は、チャレンジ未来予算で水車改修工事に係る事業費が増加したことによる。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
21 諸収入 7 雑入	177	一乗谷あさくら水の駅EV充電器電気料金補てん金
合計	177	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	1,539	消耗品費・電気料・修繕料
12 委託料	957	水の駅わくわく体験フェスタ委託料
14 工事請負費	12,594	一乗谷あさくら水の駅水車関連施設整備工事
合計	15,090	

### 6. サンプルテスト



( 1 ) 歳入のサンプルテスト

歳入総額が少額のため省略。

( 2 ) 歳出のサンプルテスト

( 単位：千円 )

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/5	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	一乗谷あさくら水の駅水車関連施設整備詳細設計業務委託料	473
2021/8/20	工事請負費	若越緑化(株)	一乗谷あさくら水の駅水車関連施設整備工事前払金	4,084
2022/2/7	工事請負費	若越緑化(株)	一乗谷あさくら水の駅水車関連施設整備工事	6,126
2022/4/26	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	一乗谷あさくら水の駅水車関連施設整備詳細設計業務の契約について	473

7 . 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 27 . 排水機場管理運営費

1 . 事業の概況

事業名 ( 歳出予算款項目 )	大 事業：排水機場管理運営費、中 事業：排水機場管理運営費 ( 款：農林水産業費、項：農地費、目：耕地排水事業費 )
事業目的	湛水防除や農地のかん水防除、農業経営の安定、地域の居住環境の安定を図ることができる。
事業内容	市が管理する耕地排水機場、樋門、水閘の維持管理を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける	-

位置づけ	
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,895	1,875	1,769
決算額（収入済額）	1,687	1,990	2,066
差額	-208	115	297
<歳出>			
予算現額	12,023	11,385	11,584
決算額（支出済額）	10,869	11,278	11,457
繰越額	-	-	-
不用額	1,153	106	126

## 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
13 分担金及び負担金 2 負担金	37	片川排水機場及び八ヶ岳悪水排水機場の管理人・操作人賃金負担金
21 諸収入 4 受託事業 収入	2,029	樋門操作等業務委託料
合計	2,066	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
7 報償費	1,398	排水機場操作人報償費
10 需用費	6,836	消耗品費・電気料・水道料・修繕料
11 役務費	49	行政協力員傷害保険料

12 委託料	3,174	耕地排水機場機能点検等業務委託料
合計	11,457	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
坂井市	片川排水機場及び八ヶ悪水排水機場の管理人・操作人賃金負担金	37
鯖江市	三尾野出作排水機場維持管理費負担金	160
国土交通省 近畿地方整備局	令和3年度片川放水路樋門、八ヶ川樋門、馬渡川排水樋門操作等業務委託料	1,855

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	報償費	個人	耕地排水機場等に係る報償費	121

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 28 . 耕地排水対策支援事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大 事業：耕地排水事業補助金、中 事業：耕地排水対策支援事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：耕地排水事業費)
事業目的	湛水防除や農地のかん水防除、農業経営の安定、地域の居住環境の安定を図ることができる。
事業内容	市が受託した耕地排水機場並びに、地元が管理している土地改良施設の維持管理運営に補助金を交付する。
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市耕地排水対策支援事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける	-

位置づけ	
事業開始年度	平成 20 年度
事業終了年度（予定）	-

## 2．事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3．歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	8,700	8,418	8,161
決算額（支出済額）	7,581	7,484	8,160
繰越額	-	-	-
不用額	1,118	933	0

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	8,160	耕地排水対策支援事業補助金
合計	8,160	

## 6．サンプルテスト

### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

## ( 2 ) 歳出のサンプルテスト

( 単位：千円 )

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/12/15	負担金、補助 及び交付金	社土地改良区	耕地排水対策支援事 業補助金（社北排水 機場管理補助金）	1,000
2022/4/25	負担金、補助 及び交付金	九頭竜川左岸 用水土地改良 区	耕地排水対策支援事 業補助金（片川排水 機場管理補助金）	1,591
2022/4/25	負担金、補助 及び交付金	清水土地改良 区	耕地排水対策支援事 業補助金（十郷排水 機場管理補助金）	1,300
2022/4/25	負担金、補助 及び交付金	福井足羽土地 改良区	耕地排水対策支援事 業補助金（下馬排水 機場管理補助金）	1,131
2022/4/25	負担金、補助 及び交付金	徳光用水土地 改良区	耕地排水対策支援事 業補助金（徳光用水 維持管理補助金）	400
2022/4/25	負担金、補助 及び交付金	足羽川堰堤土 地改良区連合	耕地排水対策支援事 業補助金（足羽川堰 堤維持管理補助金）	240
2022/4/25	負担金、補助 及び交付金	社土地改良区	耕地排水対策支援事 業補助金（社北排水 機場管理補助金）	187

## 7 . 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 2 9 . 維持管理適正化支援事業

## 1 . 事業の概況

事業名 ( 歳出予算款項目 )	大事業：耕地排水事業補助金、中事業：維持管理適正化支援事 業 ( 款：農林水産業費、項：農地費、目：耕地排水事業費 )
事業目的	土地改良施設、農業用施設の機能が回復し地域の防災、農業経 営の安定が図られる。
事業内容	土地改良区等が管理している農業用施設は多数あるが、土地改

	良を行ってから年数がたち老朽化してきており、整備を行う必要がある。そこで、維持管理適正化事業を行う土地改良区に対し、事業費の10%を補助する。
根拠法令等	-
実施要綱等	土地改良施設維持管理適正化事業実施要綱 福井市土地改良事業補助金要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	4,300	2,650	3,700
決算額（支出済額）	4,300	2,650	3,700
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

### 増減の理由

各年の補助対象となる事業が異なり、その事業費に応じて歳出は増減する。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	3,700	維持管理適正化事業補助金
合計	3,700	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/2/15	負担金、補助 及び交付金	主計土地改良 区	令和3年度維持管理 適正化事業補助金 (徳尾地区)	900
2022/4/5	負担金、補助 及び交付金	清水土地改良 区	令和3年度維持管理 適正化事業補助金	650

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

5 - 30 . 市維持管理適正化事業

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市営耕地排水事業、中事業：市維持管理適正化事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：耕地排水事業費)
事業目的	大雨による被害の軽減、農作物被害の未然防止及び住民の安全 確保
事業内容	施設ごとに維持管理適正化事業に加入することにより、60% (国30%・県30%)の補助を受けられることから、土地改良事 業団体連合会に5年間拠出金を積立て、その交付金(事業費の 90%)を受けて老朽化した土地改良施設の整備補修を実施す る。
根拠法令等	-
実施要綱等	土地改良施設維持管理適正化事業実施要綱

第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	4,500	4,950	3,150
決算額（収入済額）	4,500	4,950	3,150
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	6,437	7,249	5,281
決算額（支出済額）	6,436	7,248	5,280
繰越額	-	-	-
不用額	0	0	0

### 増減の理由

各年の整備補修箇所が異なり、その事業費に応じて歳入及び歳出は増減する。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
21 諸収入 7 雑入	3,150	土地改良施設維持管理適正化事業交付金
合計	3,150	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
---	-----	------



14 工事請負費	3,500	維持管理適正化工事
18 負担金、補助及び 交付金	1,780	土地改良施設維持管理適正化事業賦課金
合計	5,280	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
福井県土地改良事業団体 連合会	令和3年度 土地改良施設維持管理適正化 事業交付金（大廻排水機場）	3,150

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/8/16	負担金、補助 及び交付金	福井県土地改 良事業団体連 合会	令和3年度 土地改良 施設維持管理適正化事 業賦課金	1,780
2022/3/7	工事請負費	(株)フジ鉄 工	令和3年度維持管理適 正化工事（大廻排水機 場）	3,500

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 5 - 3 1 . 市単独耕地排水機場整備事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市営耕地排水事業、中事業：市単独耕地排水機場整備 事業 (款：農林水産業費、項：農地費、目：耕地排水事業費)
事業目的	農村整備課が管理している排水機場とそれに付属する管理橋や 樋門等は老朽化が進んでおり、施設の機能が発揮できていない 箇所が多く見られる。緊急性のある施設から予防保全していく ことにより、住民の安全確保及び農作物被害の未然防止を図 る。
事業内容	各排水機場や樋門、水閘門には各種修繕箇所が見受けられ、正 常な施設機能を発揮する上で支障がある。地域農業・地域住民 の生活に多大な影響を与える恐れがあるため、緊急性のある施

	設から予防保全をしていく必要がある。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	3,200	4,400	16,800
決算額（収入済額）	3,400	4,900	10,000
差額	200	500	-6,800
< 歳出 >			
予算現額	6,800	6,800	19,200
決算額（支出済額）	6,793	6,667	18,949
繰越額	-	-	-
不用額	6	132	250

### 増減の理由

令和3年度の歳入及び歳出の増加は、三花排水機場の機器更新を行ったこと等による。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
22 市債 1 市債	10,000	市単独耕地排水機場整備事業債
合計	10,000	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	981	改修設計等業務委託料
14 工事請負費	17,968	耕地排水機場補修工事
合計	18,949	

## 6. サンプルテスト

## (1) 歳入のサンプルテスト

（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
地方公共団体金融機構	市単独耕地排水機場整備事業債（令和3年度現年分）	10,000

## (2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/15	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	三花排水機場2号吐出弁改修設計等業務委託料	495
2021/7/26	工事請負費	吉水建機（株）	三花排水機場2号吐出弁改修工事 前払金	3,100
2021/11/25	工事請負費	（株）ジェスクホリウチ福井支店	社北排水機場高圧気中開閉器等更新工事	1,262
2022/4/5	工事請負費	福井鐵工（株）	落合排水機場吐出水槽ゲート開閉装置補修工事	1,078
2022/4/15	工事請負費	吉水建機（株）	三花排水機場2号吐出弁改修工事	4,710
2022/4/15	委託料	個人	底喰川排水機場管理業務委託料	60
2022/4/25	工事請負費	新富産業（株）	新田排水機場1号真空ポンプ取替工事	1,254
2022/4/25	工事請負費	福井鐵工（株）	底喰川排水機場樋門ゲート補修工事	1,056

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 5 - 3 2 . 北陸新幹線建設整備事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大 事業：北陸新幹線推進事業、中 事業：北陸新幹線建設整備事業 (款：土木費、項：総合交通費、目：都市交通推進費)
事業目的	北陸新幹線沿線集落において、北陸新幹線建設に早期に着工するため、北陸新幹線関連公共施設等を整備する。
事業内容	令和4年度末の北陸新幹線福井開業に向けて以下の事業等を行う。 ・北陸新幹線福井駅(東口)拡張施設整備事業 ・北陸新幹線関連公共施設等整備事業 ・北陸新幹線付替道路等整備事業
根拠法令等	-
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成30年度
事業終了年度(予定)	-

#### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-

差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	10,000	16,000	7,000
決算額（支出済額）	9,405	15,400	6,930
繰越額	-	-	-
不用額	595	600	70

#### 増減の理由

各年の整備箇所が異なり、その事業費に応じて歳出は増減する。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び 交付金	6,930	市単独土地改良事業補助金
合計	6,930	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/6	負担金、補助 及び交付金	下筋生田町農 家組合	市単独土地改良事業 補助金（下筋生田地 区）	6,930
2022/4/26	負担金、補助 及び交付金	下筋生田町農 家組合	市単独土地改良事業 補助金（下筋生田地 区）	6,930

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 5 - 3 3 . 農業施設災害復旧事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業施設災害復旧事業、中事業：農業施設災害復旧事業 (款：災害復旧費、項：農林水産施設災害復旧費、目：農業施設災害復旧費)
事業目的	大雨により被災した農地、施設等を復旧する。
事業内容	大雨により被災した農地、施設等を復旧する。
根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律
実施要綱等	福井市土地改良事業補助金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

#### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	48	10,650	176,995
決算額(収入済額)	29	-	39,900
差額	-19	-10,650	-137,095
<歳出>			
予算現額	4,700	36,341	351,280
決算額(支出済額)	4,676	19,022	139,912
繰越額	-	2,059	199,427
不用額	24	15,259	11,940

増減の理由

災害復旧事業であるため、各年の災害発生状況に応じて事業費が変動する。令和3年度は、令和3年7月豪雨による被災の復旧事業を行ったため、歳入及び歳出が増加している。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
22 市債 1 市債	39,900	農業施設災害復旧事業債
合計	39,900	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費 燃料費	345	消耗品費・燃料費
12 委託料	25,371	令和3年7月29日発生豪雨災害測量設計業務委託
14 工事請負費	61,467	農道緊急対応工事
17 備品購入費	27	備品購入
18 負担金、補助及び交付金	52,702	市単独災害復旧補助金
合計	139,912	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
(株)福井銀行福井市役所支店	農業施設災害復旧事業債(令和3年度現年分)	39,900

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/15	工事請負費	波寄造園土木(株)	農業用施設緊急対応工事(川西農免農道)	1,265
2022/1/17	工事請負費	(株)友和組	農道路肩崩壊去緊急対応工事(笹谷町13字)	1,276
2022/2/15	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	令和3年7月29日発生豪雨災害測量設計業務委託	25,300

2022/3/25	負担金、補助 及び交付金	福井市大年町 農家組合	市単独災害復旧補助金 (大年町1字外地区)	6,268
2022/5/6	負担金、補助 及び交付金	荒谷農家組合	市単独災害復旧補助金 (荒谷地区)	4,215

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。



## 6. 農村整備課（集落排水特別会計）

### 6 - 1 . 事務諸経費

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：事務諸経費、中事業：事務諸経費 (款：農業集落排水事業費、項：農業集落排水管理費、目： 農業集落排水施設管理費)
事業目的	農村集落に快適な生活環境を提供するとともに、周辺地域の 水質保全を図る。
事業内容	農業集落排水処理施設の適切な運営を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化 プランにおける位置 づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

#### 2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	5,193	25,945	23,188
決算額(収入済額)	22,060	22,873	18,900
差額	16,867	-3,072	-4,288
<歳出>			
予算現額	29,447	56,371	46,903
決算額(支出済額)	24,599	39,741	32,562
繰越額	-	-	-
不用額	4,848	16,630	14,341

増減の理由

令和元年度の歳入には、過年度の消費税還付金 14 百万円を計上している。令和 2 年度の歳入に県道整備事業に伴う集落排水施設の移転補償 7 百万円を計上している。令和 2 年度より地方公営企業法適用移行支援業務を実施しており、その事業費及び市債発行により、歳入及び歳出が増加している。

4. 歳入の内訳（令和 3 年度）（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
1 分担金及び負担金 1 分担金	1,200	受益者分担金
3 県支出金 1 県補助金	975	農山漁村地域整備交付金（下味見地区）
6 諸収入 2 雑入	25	行政財産目的外使用料
7 市債 1 市債	16,700	地方公営企業法適用事業債
合計	18,900	

5. 歳出の内訳（令和 3 年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	121	消耗品、燃料費
12 委託料	18,683	地方公営企業法適用移行支援業務
13 使用料及び賃借料	118	自動車リース料
18 負担金、補助及び交付金	9,300	集落排水使用料徴収等事務負担金
22 償還金、利子及び割引料	563	農業集落排水使用料 過年度分還付金
26 公課費	3,777	消費税
合計	32,562	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
個人	集落排水事業 受益者分担金	1,200
福井市企業局	令和 2 年度集落排水使用料徴収等事務負担金 還付分	12
福井県	農業集落排水事業補助金（農山漁村地域整備交付金）（下味見地区）	975
（株）北國銀行 福井支店	地方公営企業法適用事業債（令和 3 年度現年分）	16,700

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/30	償還金、利子 及び割引料	福井市長（公 金振替）	農業集落排水使用料 過 年度還付金 公金振替	323
2022/3/7	負担金、補助 及び交付金	福井市企業局	令和3年度集落排水使用 料徴収等事務負担金	9,154
2022/3/15	委託料	福井県土地改 良事業団体連 合会	下味見地区 農業集落排 水施設機能調査業務	1,507
2022/4/5	委託料	福井県土地改 良事業団体連 合会	下味見地区 農業集落排 水事業計画概要書作成業 務	385
2022/4/25	委託料	オリジナル設 計（株）福井 営業所	福井市集落排水事業 地 方公営企業法適用移行支 援業務（令和3年度）	16,791

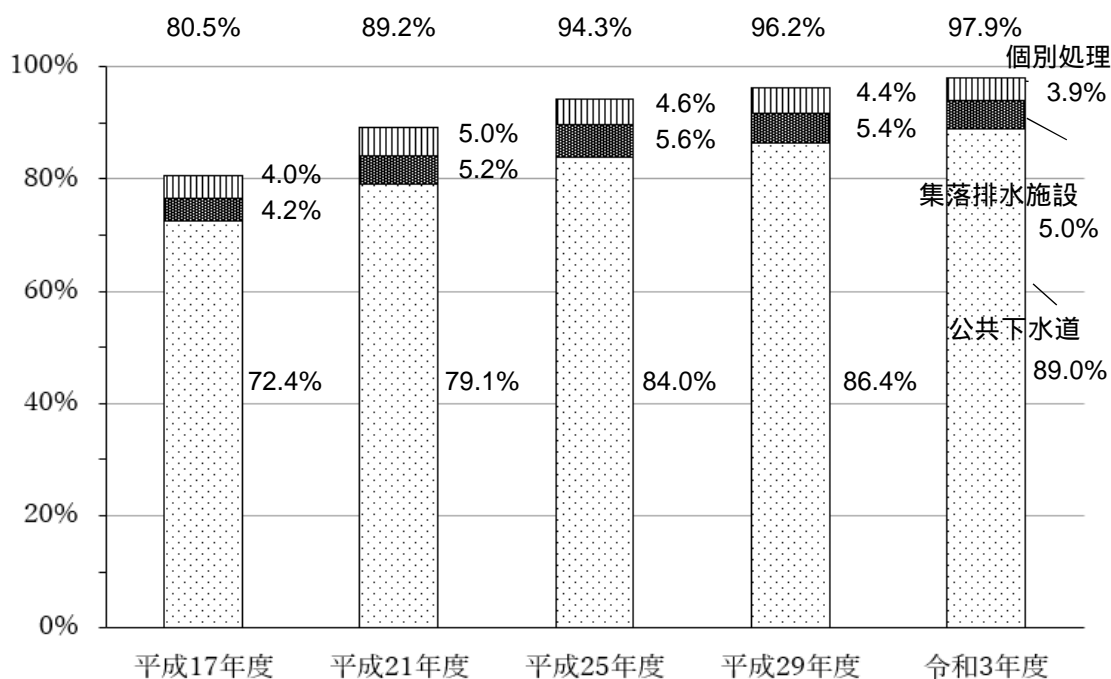
## 7. 監査の結果と意見

### (1) 集落排水事業の財政状態

市における汚水処理は、公共下水道事業、集落排水事業、浄化槽事業の3つの事業より進められている。市の汚水処理施設の整備及び普及拡大は、「福井市下水道整備構想」（平成元年度）、「福井市汚水処理施設整備基本構想」（平成15年度）、「福井市汚水処理基本構想」（平成25年度）等の計画に基づき行われている。これらの計画では、公共下水道、集落排水施設、個別処理（浄化槽）の区域を定め、それぞれの区域内で施設の整備、普及拡大が進められてきた。3つの事業による汚水処理施設を利用可能な人口の割合（汚水処理人口普及率）は97.9%（令和3年度末）となっており、集落排水事業はそのうちの5.0%を担っている。平成29年に策定された「福井市下水道事業経営戦略」では、今後およそ10年で整備完了を目指す、とされている。

集落排水事業は、大規模集合処理施設で集中的に汚水処理を行う公共下水道に対して、集落ごとに小規模処理施設を設置し、分散して汚水処理を行うものである。市の集落排水事業は27地区（令和4年4月1日現在）を対象としており、農業・林業・漁業集落の排水処理を担っている。なお、集落排水施設の計画区域における整備は平成26年度までにすべて終了し、現在では、各施設の維持管理及び当該地域における利用者の拡大を進めている状況にある。

汚水処理人口普及率の推移



集落排水事業の決算状況は次のとおりである。

(単位：千円)

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
収益的収支	収益的収入	359,620	348,140	343,601	327,619
	料金収入	187,812	237,534	216,718	209,051
	他会計繰入金	170,406	92,072	117,131	117,315
	その他	1,402	18,534	9,752	1,253
	収益的支出	359,620	348,140	344,671	327,618
	営業費用	267,928	265,006	270,156	261,725
	支払利息	91,692	83,134	74,515	65,893
	差引	-	-	1,070	1
資本的収支	資本的収入	483,785	437,338	471,334	477,467
	地方債	45,200	33,500	55,200	55,900
	他会計補助金	351,495	351,828	352,169	363,485
	国県補助金	85,590	52,010	63,965	58,082
	その他	1,500	-	-	-
	資本的支出	483,788	437,308	470,347	477,398
	建設改良費	148,848	103,764	133,346	142,522
地方債償還金	334,940	333,544	337,001	334,876	
	差引	3	30	987	69
総差引		3	30	83	70

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
収益的収支比率 ( )	51.8%	51.1%	50.4%	49.5%
経費回収率 ( )	35.8%	40.7%	38.8%	38.5%
接続率 ( )	94.9%	94.8%	94.9%	95.3%
1 か月 20 m <sup>3</sup> 当たり家庭料金	2,138 円	2,618 円 ( )	2,618 円	2,618 円

収益的収支比率 使用料収入や一般会計からの繰入金等の収入で、維持管理費や地方債償還金をどの程度賄えているかを示す。

経費回収率 下水事業においては、汚水処理費を使用料収入で賄うことが基本とされており、どれだけ賄えているかを示す。

接続率 施設利用可能地域において施設を利用している人口の割合を示す。

平成 31 年 1 月に使用料の改定を行っている。平成 30 年度は料金改定前の金額を記載している。

収益的収支比率及び経費回収率は、収入と支出のバランスを示す指標であり、100%以上が健全な状態とされる。しかし、いずれの指標もこれを大幅に下回っており、恒常的に収入不足分を一般会計からの繰入金で補填している状態にある。このような状態が継続している要因としては、次のものが考えられる。

- ・集落排水事業は、処理場が分散して設置されており、それぞれに運転・維持管理のコストが発生する。また、事業対象の集落は、人口非密集地域や中山間部も多く、管路施設の維持管理コストも割高となる。
- ・都市部より人口減少率の高い地域が多く、収入は減少傾向にある。今後、急速に人口減少が進み、一層の財政悪化が見込まれている。
- ・市は、どの汚水処理サービスでも一律の料金体系、を方針としており、集落排水施設の使用料は、公共下水道と同等の水準に設定されている。公共下水道料金は、公共下水道事業の財政健全化を主眼とした水準に設定されており、集落排水事業の財政健全化が達成できる水準には至っていない。

全国的に見ても、集落排水事業における経費回収率の全国平均は 59.6% (令和 2 年度) だが、9 割以上の事業において経費回収率 100% 未満となっており、構造的に健全化が困難な事業であると考えられる。しかしながら、可能な限り財政状態を健全化し、一般会計の負担を削減する努力は必要である。

一方、公共下水道事業における主な経営指標は次の通りとなっている。現状では、概ね

健全な財政状態となっている。しかし、今後、人口減少による利用料収入減少や、設備の改築更新による汚水処理費用の増加により、財政状態の悪化の懸念がある。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
経常収支比率（ ）	107.3%	114.5%	114.9%	114.1%
経費回収率	99.9%	113.6%	113.1%	117.3%

経常収支比率 使用料収入や一般会計からの繰入金等の経常収入で、維持管理費、減価償却費、支払利息等をどの程度賄えているかを示す。

公共下水道事業においては、平成元年度より公営企業会計を適用している。

集落排水事業の財政状態や公共下水道の見通し等を踏まえ、市の汚水処理サービスを継続していくためには、汚水処理事業全体の観点から事業の抜本的な見直しが必要となっている。全国的にも同様の状況であり、国からも、次のような通知、報告等が出され、極めて重要な課題となっている。

- ・「下水道財政のあり方に関する研究会」中間報告書（総務省自治財政局準公営企業室）
- ・持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル（国土交通省、農林水産省、環境省）
- ・汚水処理の事業運営に係る「広域化・共同化計画」の策定について（関係 4 省連名通知）

これらの中では、「広域化・共同化」、「最適化」が重要な方策とされており、自治体間での施設の統廃合、業務の共通化等を検討することとされている。また、各地域について公共下水道、集落排水施設、個別処理等の中から、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備手法を選定することとされており、これに基づき、例えば、公共下水道と集落排水施設を接続することなどの検討が必要となる。

市においては、令和3年度に、1地区（朝谷島・境寺処理区）の集落排水施設について、公共下水道へ接続し、施設を廃止している。設備の更新費用が高額であり、近隣地域に公共下水道が敷設されていることから、公共下水道への接続が有利と判断されたものである。しかし、その他の地区については、現状の施設を維持・更新することが有利か、それを廃止し公共下水道に接続することが有利か、などの本格的な検討はなされていない。

【指摘】	汚水処理事業全体としての最適化の検討
	これまで、公共下水道事業及び浄化槽事業は企業局（令和元年度までは公共下水道事業は下水道部、浄化槽事業は市民生活部から事務委任）、集落排水事業は農林水産部で運営されてきた。基本構想により定められた公共下水道区域、集落排水施設区域等の中で、それぞれ計画を策定し、整備・普及を進めているところである。公共下水道事業は

公営企業会計、集落排水事業は官庁会計で行われていることもあり、財政状態の評価もそれぞれで行われている。

各事業における施設の普及拡大が進み、整備完了が見えてきた現状では、汚水処理事業全体かつ長期的視点での事業の適正化及び財政状態の健全化が重要な課題であると考えられる。市は、広域化等の検討と併せて、長期的には、公共下水道と集落排水施設を接続することが有利な地域はないかなど、事業を横断した再編の検討を本格的に進めていくことが適当である。

また、財政状態についても、それぞれの事業の評価だけではなく、汚水処理事業全体でどのような状態かを評価することも必要と考える。令和5年度より、市は集落排水事業に公営企業法を適用し、公営企業会計を導入する予定となっている。公共下水道事業と集落排水事業がともに公営企業会計により決算書が作成されることとなるが、合算した決算数値や経営指標を作成し公表することが有用と考える。さらに、両会計を統合し1つの会計とすることで、一体的な財政状態の把握が一層容易となる。市民への情報公開として、また、運営の最適化や料金改定の検討に資するものであり、今後の検討課題と考える。

令和5年度以降は、集落排水事業の運営も企業局に移管されることが予定されており、汚水処理事業の運営部局が一本化されることとなる。今後、汚水処理事業全体の観点から、最適な事業構想の検討が進むことを期待したい。

## (2) 消費税申告業務について

消費税法の規定では、国内において資産の譲渡等を行う事業者には消費税の納税義務が生じるとされており、地方自治体であっても課税対象の取引を行う場合には、消費税の納税義務が課される。なお、地方自治体が行う事業は公共性が高く、また、特殊な運営形態であることから、消費税法においていくつかの特例が設けられている。例えば、次のような特例がある。

- ・ 一般会計又は個々の特別会計ごとに消費税法が適用される（納税義務の有無の判定、申告書作成等を会計単位で行う）。
- ・ 仕入税額控除の計算において、補助金、他会計からの繰入金等の対価性のない収入（特定収入）を財源とする課税仕入等に係る税額の調整が必要となる。

集落排水事業では、使用料収入等が課税対象の取引となり、消費税の納税義務が生じる。そのため、市では、毎会計年度終了後に消費税申告書の作成を行っている。申告書は、課の職員が作成、上長の職員が確認し、課内の決裁を経て確定し、提出される。税理士等の専門家がその作成の過程に関与する体制とはなっていない。

令和元年度の人事異動により申告書作成担当の職員が交代となり、新たな担当者が過去

の申告書を確認したところ、過去 4 年分の申告に誤りがあることが発見された。申告誤りの内容は次のとおりである。

- ・一般会計からの繰入金について、特定収入及び特定収入以外の区分誤り
- ・平成 26 年の消費税率改定以前の課税仕入に対応する特定収入の税率適用誤り
- ・特定収入の計上漏れ
- ・一部の取引に関する課税、非課税、不課税の取引区分の誤り

市は下表のとおり修正申告を行い、令和元年度において過年度の還付請求額 14,664 千円を決算に計上している。

対象年度	修正申告額
平成 26 年度	3,473 千円
平成 27 年度	3,337 千円
平成 28 年度	3,921 千円
平成 29 年度	3,933 千円
合計	14,664 千円

<b>【意見】</b>	<b>消費税申告業務への税理士等専門家の関与</b>
<p>消費税の申告書作成は、消費税法や会計業務等の高度な専門的知識が求められる業務であり、市の当該業務を担当する職員及びそれを確認する上長の職員には、その知識が求められる。職員は 3 年程度のサイクルで人事異動となることが通常であり、当該業務の担当も頻繁に交代となる。会計等業務の知識及び経験がある職員が配置されるよう取り計らわれるものと思われるが、消費税法の知識まで有する職員は多くはないものと考え。業務の品質を一定水準以上に保つために、税理士等の専門家に申告書の確認等を依頼することを検討すべきと考える。集落排水事業は、令和 5 年度より地方公営企業法の適用対象とされ、市企業局に移管されることが予定されているが、同局の消費税申告業務においても専門家の関与の要否を検討することが適当である。</p>	

## 6 - 2 . 農業集落排水施設管理事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業集落排水施設管理事業、中事業：農業集落排水施設管理事業 (款：農業集落排水事業費、項：農業集落排水管理費、目：農業集落排水施設管理費)
事業目的	農村集落に快適な生活環境を提供するとともに、周辺地域の水質保全を図る。
事業内容	農業集落排水処理施設の維持管理



根拠法令等	福井市集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例 福井市集落排水事業分担金徴収条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化 プランにおける位置 づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	203,990	192,662	188,113
決算額(収入済額)	218,675	198,704	191,122
差額	14,685	6,042	3,009
< 歳出 >			
予算現額	206,001	208,387	211,377
決算額(支出済額)	203,361	200,944	204,129
繰越額	-	-	-
不用額	2,640	7,443	7,248

### 増減の理由

集落排水使用料による歳入が減少傾向にあるが、重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
2 使用料及び手数料 1 使用料	191,094	農業集落排水使用料
5 繰越金 1 繰越金	1	令和2年度繰越金
6 諸収入 2 雑入	27	土地賃借料

合計	191,122	
----	---------	--

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	49,782	電気料、水道料、修繕費
11 役務費	2,975	電話料、手数料
12 委託料	143,374	汚泥引抜、維持管理
13 使用料及び賃借料	449	土地賃借料
14 工事請負費	7,503	処理場・ポンプ補修工事
15 原材料費	35	道路補修材
18 負担金、補助及び交付金	11	研修会受講料
合計	204,129	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井、美山、越廼地区	農業集落排水使用料 収入未済額（過年度）	1,638
末町地区他 1,038 件	農業集落排水使用料 令和3年度甲1期分	189,455
福井市集落排水特別会計	令和2年度 集落排水特別会計 繰越金	1
J R 西日本不動産開発 (株) 金沢総合事務所	賃貸借契約終了に伴う土地借料の返還分 (朝谷島・境寺地区集落排水処理区)	18

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/26	委託料	福井県環境保全協業組合	集落排水処理施設維持管理業務（4～6月分）	19,909
2021/11/5	委託料	福井環境事業 (株)	汚泥引抜 9月分 岡保、大味、荒木、酒生西部、上文殊南部、上文殊、朝谷島・境寺、下味見、品ヶ瀬、市波、下宇坂地区	4,752

2022/1/25	委託料	福井県環境保全協業組合	集落排水処理施設維持管理業務（農集分）	20,213
2022/4/15	委託料	小松電機産業（株）	集落排水処理施設情報配信サービス業務	1,849

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 分担金の徴収について

集落排水施設に関して、福井市では事業費の一部を受益者から分担金として徴収することができるとする条例を設定している（「福井市集落排水事業分担金徴収条例」）。当該取扱いは、原則として市内のすべての集落排水施設に適用されるが、旧美山町及び旧清水町（ ）により整備された施設については、旧条例に基づく別の取扱いが適用されることとされている。

福井市は、平成 18 年に美山町、清水町及び越廼村と合併している。

地域	分担金の賦課対象	分担金額 ( )
福井市（下 2 地域を除く）	施設を新たに設置等した場合に、当該年度の受益者のみ分担金が課される。その後新たに施設の使用を開始する者に対して分担金は課されない。	
旧美山町	施設により利益を受ける者を受益者として分担金が課される。施設設置年度だけではなく、その後新たに施設の利用を開始する者に対しても分担金が課される。	20 万円
旧清水町	区域内の土地家屋所有者を受益者として分担金が課される。施設設置年度だけではなく、その後新たに施設の利用を開始する者に対しても分担金が課される。	30 万円
（参考） 公共下水道	区域内の土地所有者等を受益者として負担金が課される。施設設置年度だけではなく、その後新たに施設の利用を開始する者に対しても負担金が課される。	土地面積× 負担金単価 (最高 530 円/m <sup>2</sup> )

現在では集落排水施設の新設はないため、既存の施設を新たに使用開始するために排水設備を設置する場合等に課される分担金額を示している。

旧美山町及び旧清水町においては、施設設置時点の受益者だけではなく、その後新たに利用を開始する受益者にも負担を求めることが公平であると考え、そのような取扱いとなっているものと思われる。福井市に合併された後においても、地域内での公平性の観点

から、従前の取扱いを継続しているとのことである。

<b>【指摘】</b>	<b>集落排水施設に関する分担金の見直し</b>
<p>市は、どの汚水処理サービスでも一律の料金体系、を方針としており、公共下水道と集落排水施設を同一料金としている。一方で、分担金については、公共下水道と集落排水施設で異なる体系としており、さらに、集落排水事業内でも、旧美山町、旧清水町、それ以外の地域、の3つの地域で異なる取扱いとしている。</p> <p>一律料金体系の方針は、どの地域、どのサービスでも、市民全員で支えるという考えに基づくものと考えるが、分担金について異なる取り扱いをすることは、一貫性のないものと感じる。また、どの地域でサービスを利用開始するかで、負担額が異なることも市民にとって分かり難い。旧美山町、旧清水町に関しては、使用料については、一律料金の枠組みにより市全体における公平性が重視される一方で、分担金については地域内での公平性を重視していることと思われ、整合性がとれていないものと感じる。一律料金体系の方針を掲げるのであれば、分担金についても公共下水道と集落排水事業を、さらに、地域ごとの取扱いも統一することが検討されるべきと考える。</p>	

### 6 - 3 . 酒生東部地区機能強化事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：酒生東部地区建設事業、中事業：酒生東部地区機能強化事業</p> <p>(款：農業集落排水事業費、項：農業集落排水建設費、目：農業集落排水建設費)</p>
事業目的	処理施設の適正な改築・更新を行い、施設の長寿命化を図る。
事業内容	酒生東部地区の集落排水施設は供用開始後 17 年以上経過し、経年による施設の老朽化により維持管理費が増大し、水質保持に苦慮しているため、機能強化事業により施設及び機器類の更新又は改修を行う。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：農山漁村の生活環境を守る</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置	-

づけ	
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	72,200
決算額(収入済額)	-	-	69,800
差額	-	-	-2,400
<歳出>			
予算現額	-	-	70,211
決算額(支出済額)	-	-	70,181
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	30

### 増減の理由

令和3年度に当該地区の施設及び機器類の更新・改修を実施したため。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
3 県支出金 1 県補助金	41,400	農山漁村地域整備交付金(酒生東部地区)
7 市債 1 市債	28,400	農業集落排水事業債
合計	69,800	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	782	消耗品費、燃料費
12 委託料	4,400	機能強化対策詳細設計業務委託
13 使用料及び賃借料	399	車両リース料
14 工事請負費	64,600	農業集落排水処理施設機能強化工事
合計	70,181	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
福井県	農業集落排水事業補助金(農山漁村地域整備交付金)(酒生東部地区)	41,400
地方公共団体金融機構	農業集落排水事業債 酒生東部地区機能強化事業	28,400

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/10	工事請負費	(株)クオードコーポレーション	酒生東部地区 農業集落排水処理施設機能強化工事 前払金	23,980
2021/12/6	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	酒生東部地区 農業集落排水事業(機能強化対策)詳細設計業務委託	4,400
2022/4/15	工事請負費	(株)クオードコーポレーション	酒生東部地区 農業集落排水処理施設機能強化工事	37,474

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 6 - 4 . 下宇坂地区機能強化事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：下宇坂地区建設事業、中事業：下宇坂地区機能強化事業 (款：農業集落排水事業費、項：農業集落排水建設費、目：農業集落排水建設費)
事業目的	処理施設の適正な改築・更新を行い、施設の長寿命化を図る。
事業内容	下宇坂地区の集落排水施設は供用開始後 11 年以上経過し、経年による施設の老朽化や管渠内で発生する硫化水素により維持管理費が増大し、水質保持に苦慮しているため、機能強化事業により施設及び機器類の更新又は改修を行う。
根拠法令等	-

実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	令和2年度
事業終了年度（予定）	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
集落排水機能強化箇所数（累計）	10箇所	12箇所	14箇所

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
集落排水機能強化箇所数（累計）	9箇所	10箇所	11箇所

### 目的の達成状況

財政状況による事業計画の見直し、施設統廃合の実施等の理由により目標値より遅れが生じている。今後、機能強化年次計画表に沿って毎年1箇所以上を実施していく。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	92,200	19,100
決算額（収入済額）	1,430	92,000	20,300
差額	1,430	-200	1,200
< 歳出 >			
予算現額	-	92,263	21,100
決算額（支出済額）	-	92,039	21,098
繰越額	-	-	-

不用額	-	223	1
-----	---	-----	---

増減の理由

令和2年度及び令和3年度に当該地区の施設及び機器類の更新・改修を実施したため。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
3 県支出金 1 県補助金	12,600	農山漁村地域整備交付金（下宇坂地区）
7 市債 1 市債	7,700	農業集落排水事業債
合計	20,300	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	54	消耗品費
13 使用料及び賃借料	44	自動車リース料
14 工事請負費	21,000	農業集落排水処理施設機能強化工事
合計	21,098	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	農業集落排水事業補助金（農山漁村地域整備交付金）（下宇坂地区）	12,600
地方公共団体金融機構	農業集落排水事業債 下宇坂地区機能強化事業	7,700

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/6	工事請負費	(株)クオードコーポレーション	下宇坂地区 農業集落排水処理施設機能強化工事 前払金	7,260
2022/4/15	工事請負費	(株)クオードコーポレーション	下宇坂地区 農業集落排水処理施設機能強化工事	13,740



## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 6 - 5 . 最適整備事業（補助）

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：最適整備事業、中事業：最適整備事業（補助） (款：農業集落排水事業費、項：農業集落排水建設費、目：農業集落排水建設費)
事業目的	施設の統廃合を行うことにより、維持管理費の軽減と農村環境の水質保全の安定を図る。
事業内容	朝谷島・境寺地区農業集落排水を公共下水道に接続し、不用となる施設を廃止する。集落排水施設の解体・撤去のための設計。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化 プランにおける位置 づけ	-
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	令和4年度

### 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	6,800
決算額（収入済額）	-	-	6,207
差額	-	-	-593
<歳出>			
予算現額	-	-	6,840

決算額（支出済額）	-	-	6,215
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	625

増減の理由

令和3年度に朝谷島・境寺地区の施設の解体・撤去を行ったため。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
3 県支出金 1 県補助金	3,107	社会資本整備総合交付金
7 市債 1 市債	3,100	集落排水処理施設廃止事業債
合計	6,207	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	6,215	農業集落排水施設廃止実施設計業務委託
合計	6,215	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
福井県	農業集落排水事業補助金（社会資本整備総合交付金）（集落排水処理施設廃止事業）	3,107
（株）北國銀行 福井支店	集落排水処理施設廃止事業債（令和3年度現年分）	3,100

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/25	委託料	ジビル調査設計（株）	朝谷島・境寺地区放流渠撤去詳細設計等業務委託	3,520
2022/2/15	委託料	福井県土地改良事業団体連合会	朝谷島・境寺地区農業集落排水施設廃止実施設計業務委託	2,695

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 6 - 6 . 最適整備事業（単独）

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：最適整備事業、中事業：最適整備事業（単独） (款：農業集落排水事業費、項：農業集落排水建設費、目：農業集落排水建設費)
事業目的	施設の統廃合を行うことにより、維持管理費の軽減と農村環境の水質保全の安定を図る。
事業内容	朝谷島・境寺地区農業集落排水を公共下水道に接続し、不用となる施設を廃止する。公共下水道に接続するための業務及び分担金。
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農山漁村の生活環境を守る
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化 プランにおける位置 づけ	-
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	令和3年度

### 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	-	-	12,789

決算額（支出済額）	-	-	12,062
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	727

増減の理由

令和3年度に朝谷島・境寺地区の施設を廃止し、公共下水道への接続を行ったため。
--

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
12 委託料	5,874	管渠内 TV カメラ及び人孔目視調査業務
18 負担金、補助及び交付金	6,188	朝谷島・境寺地区農業集落排水の公共下水道接続に伴う分担金
合計	12,062	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/25	委託料	（株）ニシデ・コンストラクション	朝谷島・境寺地区 管渠内 TV カメラ及び人孔目視調査業務	5,665
2021/11/30	負担金、補助及び交付金	福井市企業局	朝谷島・境寺地区農業集落排水の公共下水道接続に伴う分担金	6,188

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 7．集落排水基金積立金

1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：集落排水基金積立金、中事業：集落排水基金積立金 （款：農業集落排水事業費、項：基金積立金、目：基金積立
------------------	--

	金)
事業目的	農業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	基金利子及び基金積立金
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	35	7	1
決算額(収入済額)	4	1	1
差額	-31	-6	0
< 歳出 >			
予算現額	36	8	1
決算額(支出済額)	4	1	1
繰越額	-	-	-
不用額	31	7	0

増減の理由

増減は運用利率変動による。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
8 財産運用収入 1 財産 運用収入	1	基金利子

合計	1	
----	---	--

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
24 積立金	1	基金積立金
合計	1	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入総額が少額のため省略。

（2）歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 8 . 農業集落排水市債償還元金

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：農業集落排水市債償還元金、中事業：農業集落排水市債償還元金 （款：公債費、項：公債費、目：元 金）
事業目的	農業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	起債償還元金
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	317,075	320,753	320,213
決算額(支出済額)	317,074	320,752	320,212
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	320,212	償還元金
合計	320,212	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/22	償還金、利子及び割引料	地方公共団体 金融機構	公債費 償還元金	79,887

2022/3/25	償還金、利子 及び割引料	財務省理財局	公債費 償還元金	52,505
-----------	-----------------	--------	----------	--------

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 9 . 林業集落排水市債償還元金

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：林業集落排水市債償還元金、中事業：林業集落排水市債償還元金 (款：公債費、項：公債費、目：元 金)
事業目的	林業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	起債償還元金
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
福井市森林整備・林業 成長産業化推進プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	5,347	4,956	3,197



決算額（支出済額）	5,346	4,955	3,196
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

増減の理由

重要な増減は認められない。

4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	3,196	償還元金
合計	3,196	

6．サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

（2）歳出のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 10．漁業集落排水市債償還元金

1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：漁業集落排水市債償還元金、中事業：漁業集落排水市債償還元金 （款：公債費、項：公債費、目：元 金）
事業目的	漁業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	起債償還元金
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画	-

における位置づけ	
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
福井市水産業振興プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	11,123	11,293	11,466
決算額（支出済額）	11,122	11,292	11,465
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	11,465	償還元金
合計	11,465	

## 6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 1 1 . 農業集落排水市債償還利子

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業集落排水市債償還利子、中事業：農業集落排水市債償還利子 (款：公債費、項：公債費、目：利子)
事業目的	農業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	起債償還利子
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

2 . 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-

差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	80,268	72,294	63,351
決算額（支出済額）	79,981	71,599	63,210
繰越額	-	-	-
不用額	287	695	141

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	63,210	償還利子
合計	63,210	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/22	償還金、利子及び割引料	地方公共団体 金融機構	公債費 償還利子	16,279
2022/3/25	償還金、利子及び割引料	財務省理財局	公債費 償還利子	7,469

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 6 - 1 2．林業集落排水市債償還利子

#### 1．事業の概況

事業名	大事業：林業集落排水市債償還利子、中事業：林業集落排水
-----	-----------------------------

(歳出予算款項目)	市債償還利子 (款：公債費、項：公債費、目：利子)
事業目的	林業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	起債償還利子
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
福井市森林整備・林業 成長産業化推進プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	670	603	542
決算額(支出済額)	669	602	541
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	541	償還利子
合計	541	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 1 3 . 漁業集落排水市債償還利子

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：漁業集落排水市債償還利子、中事業：漁業集落排水市債償還利子 （款：公債費、項：公債費、目：利子）
事業目的	漁業集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	起債償還利子
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
福井市水産業振興プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	2,484	2,314	2,142
決算額(支出済額)	2,483	2,313	2,141
繰越額	-	-	-
不用額	1	1	1

増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	2,141	償還利子
合計	2,141	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

6 - 1 4 . 予備費

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：予備費、中事業：予備費 (款：予備費、項：予備費、目：予備費)
事業目的	集落排水処理施設の適切な運営
事業内容	予備費
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プラン における位置づけ	-
福井市水産業振興プラン における位置づけ	-
福井市森林整備・林業 成長産業化推進プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	500	1,000	1,000
決算額(支出済額)	-	-	-
繰越額	-	-	-
不用額	500	1,000	1,000



#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 6 - 15．林業集落排水施設管理事業

#### 1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：林業集落排水施設管理事業、中事業：林業集落排水施設管理事業 （款：林業集落排水事業費、項：林業集落排水管理費、目：林業集落排水施設管理費）
事業目的	農山村集落に快適な生活環境を提供するとともに、周辺地域の水質保全を図る。
事業内容	林業集落排水処理施設の維持管理
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
福井市森林整備・林業 成長産業化推進プラン	-

における位置づけ	
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

2．事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

3．歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	2,244	2,176	2,117
決算額（収入済額）	2,451	2,312	2,161
差額	207	136	44
<歳出>			
予算現額	4,125	4,095	4,112
決算額（支出済額）	3,871	3,727	3,166
繰越額	-	-	-
不用額	254	368	946

増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4．歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
2 使用料及び手数料 1 使用料	2,161	林業集落排水使用料
合計	2,161	

5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	716	電気料、水道料、修繕料
11 役務費	259	電話料、手数料
12 委託料	2,190	汚泥引抜、維持管理
合計	3,166	

6．サンプルテスト

## ( 1 ) 歳入のサンプルテスト

( 単位：千円 )

名称	摘要	収入済額
間戸、天田地区	林業集落排水使用料 収入未済額 ( 前年度分 )	43
間戸地区他 57 件	林業集落排水使用料 令和 3 年度乙 2 期分	2,117

## ( 2 ) 歳出のサンプルテスト

( 単位：千円 )

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/26	委託料	福井県環境保全協業組合	集落排水処理施設維持管理業務 ( 4 ~ 6 月分 )	369
2022/4/15	委託料	福井県環境保全協業組合	集落排水処理施設維持管理業務 ( 林集分 )	369

## 7 . 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 6 - 1 6 . 漁業集落排水施設管理事業

## 1 . 事業の概況

事業名 ( 歳出予算款項目 )	大 事業：漁業集落排水施設管理事業、中 事業：漁業集落排水施設管理事業 ( 款：漁業集落排水事業費、項：漁業集落排水管理費、目：漁業集落排水施設管理費 )
事業目的	漁村集落に快適な生活環境を提供するとともに、周辺地域の水質保全を図る。
事業内容	漁業集落排水処理施設の維持管理
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画 における位置づけ	-
第八次福井市総合計画 における位置づけ	-
福井市水産業振興プラン における位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度 ( 予定 )	-

## 2. 事業目的の達成状況

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	16,385	16,358	15,973
決算額(収入済額)	16,466	15,795	15,795
差額	81	-563	-178
<歳出>			
予算現額	23,140	23,064	23,117
決算額(支出済額)	22,186	22,529	22,186
繰越額	-	-	-
不用額	954	535	931

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
2 使用料及び手数料 1 使用料	15,795	漁業集落排水使用料
合計	15,795	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	3,331	電気料、水道料、修繕料
11 役務費	223	電話料、手数料
12 委託料	17,672	汚泥引抜、維持管理
14 工事請負費	960	ポンプ取替工事
合計	22,186	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
----	----	------

越廼地区	漁業集落排水使用料 収入未済額（過年度分）	119
蒲生・茱崎地区 326 件	漁業集落排水使用料 令和 3 年度甲 1 期分	15,676

（ 2 ）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/5/25	委託料	（有）ニュー クリーン公社	汚泥引抜 4 月分 蒲 生・茱崎地区	910
2021/7/26	委託料	福井県環境保 全協業組合	集落排水処理施設維持 管理業務（4～6 月分）	1,308
2021/10/25	委託料	（有）ニュー クリーン公社	汚泥引抜 9 月分 蒲 生・茱崎地区	1,148
2022/4/15	委託料	福井県環境保 全協業組合	集落排水処理施設維持 管理業務（漁集分）	1,308
2022/4/25	委託料	（有）ニュー クリーン公社	汚泥引抜 3 月分 蒲 生・茱崎地区	1,069

7 . 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 7. 園芸センター

### 7-1. 園芸総合振興事業

#### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業、中事業：園芸総合振興事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	コロナ禍において地方暮らしに関心のある人や地方での就農に興味を示す人が増えている傾向にある。この機を捉え、地方移住による新規就農者の受け皿を作るとともに未来に農業を支える人材を確保・育成する。
事業内容	市特産品の実践的な栽培技術を学ぶトレーニングハウスを整備する等、農業を支える人材を確保・育成し、産地の生産力強化を図る。 ・低コスト耐候性ハウス 4棟 ・農作業機器整備
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	福井市園芸センター新規就農技術支援講座実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度(予定)	令和3年度

#### 2. 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当該事業の支出目的である新規就農技術支援講座が、令和5年開校予定であるため、目標値は設定されていない。

#### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳出>			

予算現額	-	-	14,796
決算額（支出済額）	-	-	13,232
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	1,564

#### 増減の理由

事業開始年度は令和3年度から。

#### 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	58	クワ
14 工事請負費	6,864	新規就農者用トレーニングハウス4棟
15 原材料費	246	防草シート
17 備品購入費	6,064	農業用トラクター、農薬散布機
合計	13,232	

#### 6. サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/7	工事請負費	福井ハウス(株)	園芸センター園芸用ハウス改修工事	6,864
2022/4/5	備品購入費	福井県農業（協同）福井基幹支店	農業用トラクター及び自走式農薬散布機	4,895

#### 7. 監査の結果と意見

##### （1）農作業用備品の購入について

新規に購入した農業用トラクター及び自走式農薬散布機について、購入先選定の入札は実施されているが、購入するかリース契約にするかという経済性比較が実施されていなかった。

<b>【意見】</b>	<b>資産購入かリース契約かの経済性比較の実施について</b>
<p>園芸センターで使用されている既存の農業用トラクターは、自己所有ではなく、リース契約であり、リース料は、園芸センター管理運営諸経費中の使用料及び賃借料として計上されている。新規に購入した農業用トラクターの購入先は、指名競争入札にて選定されているが、そもそも購入するかリース契約にするかの判定が実施されておらず、リース契約にした場合の見積金額も入手していなかった。</p> <p>購入とリース契約のいずれにもメリット、デメリットがあるが、リース契約の主なメリットとしては、初期費用が抑えられる点、リース期間の終了に伴い新しい機種を導入でき設備の陳腐化を防ぐことができる点が挙げられる。</p> <p>そのため、資産を入手するに当たっては、リース契約も検討すべき有効な方法の1つであるといえ、少なくとも、同じ資産をリース契約にて取得した場合の見積金額を把握すべきであったと考えられ、今後物品購入を検討する際には、購入だけでなく、リース契約による見積額及びメリットも踏まえた検討を実施するとともに、当該検討結果を伺い等に記載しておくべきである。</p>	

## 7 - 2 . 未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸・特産物振興対策事業 中事業：未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業振興費)
事業目的	人材育成・確保や大都市圏への出荷に向けた園芸農業の取組を支援することで、産地再生を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子栽培体験教室(将来の担い手確保)</li> <li>・きゃろふく種子コート処理加工(播種作業軽減)</li> <li>・オリーブオイル成分分析(主要な栽培品種の選定)</li> <li>・オリーブ試験栽培(栽培マニュアル作成)</li> <li>・ふくい育ちのオリーブ苗生産(普及促進とブランド化)</li> <li>・スマートアグリ普及(農作業の省力化、栽培技術の継承)</li> </ul>
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓



事業開始年度	令和元年度
事業終了年度（予定）	令和5年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	平成30年度		令和6年度
(第2次福井市農業活性化プラン) 越前海岸地域における果樹栽培面積	11ha		17ha

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(第2次福井市農業活性化プラン) 越前海岸地域における果樹栽培面積	12ha	13.5ha	17.4ha

### 目的の達成状況

有望品種であるオリーブについて、試験栽培による栽培マニュアルを作成し活用することで、着実に植樹本数を増やしている。当該取組を通じて、越前海岸地域における新たな産地化やブランド化、遊休農地の減少を進めている。
---

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳出>			
予算現額	1,867	2,280	1,958
決算額(支出済額)	1,725	1,740	1,703
繰越額	-	-	-
不用額	142	540	255

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
08 旅費	0	コロナ禍で中止
12 委託料	142	きゃろふく種子コート加工
13 使用料及び賃借料	180	スマートアグリ普及用基礎データ使用料
15 原材料費	136	親子栽培体験教室用種子、肥料
17 備品購入費	1,245	スマートアグリ普及用備品、土壌水分計
合計	1,703	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/6	委託料	福井シード㈱	サラダのヒロイン きゃろふく種子コ ート加工業務委託	142

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

7-3. 園芸作業員報酬

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：園芸センター管理運営費、中事業：園芸作業員報酬 （款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費）
事業目的	園芸作業補助員の雇用
事業内容	試験研究の補助及び圃場管理に必要な作業
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	福井市会計年度任用職員に関する取扱要綱
第七次福井市総合計 画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計 画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする

第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、要綱に基づき園芸作業補助員の報酬等を支出することを目的としているため、目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳出 >			
予算現額	16,117	16,778	16,676
決算額（支出済額）	15,512	16,556	16,629
繰越額	-	-	-
不用額	605	222	47

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
01 報酬	13,279	園芸作業補助員 10名
03 職員手当等	2,582	園芸作業補助員 10名 職員手当
08 旅費	715	園芸作業補助員 10名 通勤手当費用弁償
04 共済費	53	令和2年度労災保険追徴金（修正申告）
合計	16,629	

## 6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/03/18	報酬 会計年度任用職員報酬	擬制相手方債主(賃金)	3 月月例報酬・賃金	1,106
2022/03/18	報酬 会計年度任用職員報酬	擬制相手方債主(賃金)	3 月月例報酬・賃金	305

7. 監査の結果と意見

(1) 園芸作業補助員の管理について

園芸作業補助員は、試験栽培の補助や育苗の植え付け及び管理の補助(灌水、間引き、整枝、除草、収穫)を主な業務としている。園芸センターでは、作業補助員10名(野菜担当5名、花卉・果樹担当5名)を雇用しており、勤務時間は1日6時間の1ヶ月19日労働である。

作業補助員は、毎日、園芸センター職員が作成した指示書を元に、各ハウスに分かれて作業している。ただし、指示書は様式に上書き保存してしまっているため、過去の指示記録は保存されていない。作業補助員の勤務時間については、別途出勤簿で管理されているが、平日の作業員の作業内容を記録したものは、指示書のみしか存在していない。

【意見】	園芸作業補助員の作業内容の管理について
	<p>園芸作業補助員はあくまで正規職員が担当する業務の補助が目的であり、個別及び独自に業務を進めることはないことから、個人別の作業日報は存在していないとのことであった。</p> <p>しかしながら、園芸センターの事業は、作業員の補助が必要不可欠であり、作業員の作業量・質に大きく影響を受けている。そのため、各作業員の作業内容や指示内容を適切に記録し、内部管理に活かすべきである。</p> <p>現状では、唯一の作業記録である指示書も上書き保存されているため、誰が過去に何の作業をしていたのかを確認する術がない。長年園芸センターで働いている作業員が多いため、指示がなくてもやるべきことが分かっており、作業を個別に記録する必要性が高くないとのことであるが、その結果、作業員の作業量及び質が適正であるか評価することが困難となっている。少なくとも、誰が、いつ、どの作業に従事し、どれくらいの時間を費やしているのかを把握できる程度の記録は、残しておくべきである。</p> <p>労務管理の主な目的は、人材の生産性の向上である。作業員の労働環境を良好な状態</p>

に維持し、園芸センターの生産性を高めることができるように、適切な管理体制を整備して頂きたい。

## 7 - 4 . 試験研究諸経費

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸センター管理運営費、中事業：試験研究諸経費 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費)
事業目的	園芸振興を図るため、園芸作物(野菜、花卉、果樹)の栽培ならびに試験、研究を行う。 また、園芸農家の安定栽培に寄与する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品種開発、栽培技術の試験及び土壌分析</li> <li>・生産農家が抱える課題解決のための実証試験栽培</li> <li>・生産農家の作業軽減・安定栽培を図るための優良苗生産</li> <li>・花や緑に親しんでもらう花壇向け草花苗の生産</li> </ul>
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	福井市生産農家育苗支援事業実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農業水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸振興により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(農林水産部マネジメント方針) 栽培実証試験数	15 テーマ	15 テーマ以上	15 テーマ以上

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度

栽培実証試験数	15 テーマ	18 テーマ	15 テーマ
---------	--------	--------	--------

目的の達成状況

特産化を進めている品目について、職員一人につき 2 テーマ以上、計 15 テーマを実施し、目標を達成した。生産農家からの聞き取りを基に、各品目について、作型や作業の省力化などの課題、新品種選定のための調査などを研究項目としている。当該試験で得られた知見は、生産農家への栽培指導に活かされている。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	10,500	8,408	8,590
決算額 (収入済額)	7,656	5,918	5,633
差額	2,844	2,490	2,957
< 歳出 >			
予算現額	5,232	3,779	4,579
決算額 (支出済額)	5,232	3,770	4,568
繰越額	0	0	0
不用額	0	9	11

増減の理由

歳入については、コロナ禍による販売中止及び来客数減少により、農産物の売払収入が大幅に落ち込んでいる。歳出については、令和2年度に、費用 1,281 千円を原材料費へ流用しているため、予算現額が減少している。  
(R2 予算額 5,060 千円 - 流用 1,281 千円 = 予算現額 3,779 千円)  
なお、流用額は、金福すいか後継品種の有望系統の均一性実証栽培を生産農家に委託するために使用されている。

4. 歳入の内訳 (令和3年度)

(単位：千円)

款 / 項	決算額	主な内容
17 財産収入		
02 財産売払収入	5,633	園芸センター農産物の売払収入
合計	5,633	

5. 歳出の内訳 (令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
---	-----	------

10 需用費	50	実験室用消耗品、土壌分析試薬
15 原材料費	4,518	肥料、農薬、資材、種子
合計	4,568	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
財産売払収入	園芸センター農産物の売払収入	5,633

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/01/05	原材料費 その他	福井ハウス (株) 代表 取締役 山田 直樹	カーテンサンホッ ト 他	233

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 農作物の売払収入について

園芸センター農作物の売払収入の予算現額は、農作物及び苗代の売上実績の過去5年平均にて、算出されている。その結果、令和元年度から令和3年度の予算現額と決算額に大幅な乖離が生じている。

【意見】	農産物の売払収入予算額の計算方法の見直しについて
	<p>農作物売払収入の予算現額の算出基礎として、売上実績の過去5年平均を採用しているのは、試験項目や気象状況により収穫量に差が生じることを考慮して、各年の売上を平準化するためである。また、5年という期間は、各種計画の期間が5年で設定されていることと整合させているとのことであった。</p> <p>確かに、事業の概況に大幅な変化が認められない場合には、過去5年平均によっても、合理的な予算額が算出できる。しかしながら、令和元年度から令和3年度は、コロナ禍にて、不安定な状況下であり、過去の売上平均を使用すると収入が過大に見積もられてしまうため、適切ではないと考えられる。令和2年度、令和3年度の予算額は、コロナの影響による売上減少を見込んだ数値を予算額とすべきだったと考えられ、今後の予算額の見積もりにあたっては、原則的な取扱いに加え、コロナのような外部環境の発生による例外的な取扱いの運用も定め、柔軟な運用を図るべきである。</p>

## 7-5. 園芸センター管理運営諸経費

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸センター管理運営費 中事業：園芸センター管理運営諸経費 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費)
事業目的	管理運営に関する経費
事業内容	管理運営に関する経費(光熱費、事務経費等)
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、園芸センターの管理運営に関する経費の支払いを目的としているため、目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	45	46	46
決算額(収入済額)	46	46	60
差額	1	0	14
<歳出>			
予算現額	16,745	18,844	15,093
決算額(支出済額)	15,527	18,095	14,515
繰越額	0	0	0
不用額	1,218	749	578

増減の理由



重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
14 使用料及び手数料 01 使用料	3	園芸センター施設使用料（自動販売機）
21 諸収入 07 雑入	57	自動販売機電気料
合計	60	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	7,605	消耗品費、光熱費、修繕費
11 役務費	304	郵便料、電話料、各種手数料
12 委託料	1,482	各種委託料（消防、浄化槽、電気、警備等）
13 使用料及び賃借料	5,117	敷地代、各種機器リース代
26 公課費	7	公用車重量税
合計	14,515	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	使用料及び賃借料	畑一代他	令和3年度 土地賃借料	4,337

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

7-6. 園芸振興推進事業

1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：園芸振興推進事業、中事業：園芸振興推進事業 （款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費）
------------------	--

事業目的	市特産品の品種改良、栽培試験及び技術指導を円滑に進めるため、広く園芸に関する知識、技術を有した人材を雇用
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市特産品の品種改良、栽培試験 (金福すいか後継品種の育種)</li> <li>・果樹栽培の指導や試験に係る技術指導及び補助</li> <li>・市民向け講習会講師</li> </ul>
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市園芸センター会計年度任用職員(園芸試験研究員)設置要綱</li> <li>・福井市園芸センター会計年度任用職員(園芸栽培指導員)設置要綱</li> </ul>
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする</p>
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	<p>基本方針：持続的な農業の発展</p> <p>施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓</p> <p>基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓</p>
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度		令和6年度
(第2次福井市農業活性化プラン、福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略) 金福・銀福すいか県外出荷の割合(%)	20%		30%

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金福・銀福すいか県	22.8	26.4	29.9

外出荷の割合（％）			
-----------	--	--	--

目的の達成状況

巡回指導の強化や生産現場での課題解決に向けた栽培実証試験の実施により、生産者の技術向上が図れ、高品質な農作物の生産体制を確立することができた。これにより、インターネット通信販売会社や首都圏を中心とした百貨店等への出荷個数が拡大した。

3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳出>			
予算現額	1,998	2,133	4,363
決算額（支出済額）	1,997	2,104	4,344
繰越額	-	-	-
不用額	1	29	19

増減の理由

・令和2年度までは、園芸指導員として1名分を計上していた。  
 ・令和3年度からは、令和2年度まで園芸普及拡大事業として計上されていた園芸研究員1名分を、園芸振興事業として計上(研究員を、市特産品全般の振興を進める役割と位置付けたことによる)しているため、増加している。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
-	-	-
合計	-	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
01 報酬	3,668	園芸試験研究員、園芸指導員
03 職員手当等	467	期末手当
08 旅費	209	通勤手当費用弁償
合計	4,344	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/03/18	報酬 計年度任用職 員報酬	擬制相手方債 主(賃金)	3月月例報酬・賃金	305

## 7. 監査の結果と意見

## (1) 人事評価記録書について

福井市会計年度任用職員に関する取扱要綱によると、任用職員の能力の実証は「人事評価記録書(様式第4号)の記録」を用いて行っている。人事評価記録書は、業績評価と能力・意欲評価に分かれており、各評価項目の評価点を合計して、評価が実施されている。

業績評価においては、業務内容に対する目標を設定し、その目標の達成度合を評価することになっているが、その目標が「果樹、盆栽の適切な管理」や「金福すいかの後継品種の系統を絞り込むこと」と具体性が十分とはいえなかった。

【意見】	人事評価記録書の目標設定の具体性について
	任用職員の能力を実証するために、人事評価記録書は作成されている。その記載に当たっての留意事項として、業績評価の目標については、「達成に向けて、「どの水準まで」、「どのように」取り組むかを具体的に記載すること」とある。 しかしながら、実際に記載されている目標には、「どの水準まで」、「どのように」取り組むかという視点が欠けており、達成度合を評価する指標とするには、不十分である。そのため、目標設定の際には、具体的な数値目標を織り込むなど、達成度合について第三者が容易に評価できるような事項を記載すべきである。

## 7-7. 原種系水仙管理諸経費

## 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸振興推進事業、中事業：原種系水仙管理諸経費 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費)
事業目的	原種系水仙の種子保存及び栽培管理
事業内容	・海外から寄贈された貴重な原種系水仙の保存・維持管理 ・原種水仙と越前水仙の展示
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
原種水仙管理	68種	68種	68種

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
原種水仙管理	68種	68種	68種

### 目的の達成状況

1 種類につき3鉢程度として、分球した球根を選別して植替えを行う等、適正な管理を実施し、原種系水仙の種類を維持できている。
---

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳出>			
予算現額	80	80	80
決算額（支出済額）	80	79	79
繰越額	-	-	-
不用額	0	1	1

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
---	-----	------

15 原材料費	79	肥料、用土、農薬
合計	79	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

歳出総額が少額のため省略。

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 7 - 8 . 越前水仙振興事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸振興推進事業、中事業：越前水仙振興事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費)
事業目的	越前水仙産地の維持拡大を図るため、生産圃場管理や獣害対策、球根の増産、機械等の施設整備を支援する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産組織に獣害の駆除や獣害を受けた圃場の復旧作業を支援</li> <li>球根増産に必要な経費を支援</li> <li>品質向上のための試験栽培</li> </ul>
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井市越前水仙産地活性化支援事業(圃場整備支援)補助金</li> <li>福井市越前水仙産地活性化支援事業(栽培拡大支援(露地園芸型))補助金</li> <li>福井市越前水仙産地活性化支援事業(獣害対策支援)補助金</li> <li>福井市越前水仙産地活性化支援事業(栽培拡大支援(越前水仙球根養成型))補助金</li> </ul>
第七次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る</p>
第八次福井市総合計画における位置づけ	<p>政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる</p> <p>施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする</p>
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	<p>基本方針：持続的な農業の発展</p> <p>施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓</p> <p>基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓</p>

事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
-	-	-	-

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
-	-	-	-

### 目的の達成状況

生産者の高齢化や獣害の拡大など出荷量が下がる要因の影響が大きく、産地をこれ以上衰退させないよう現状を維持していくことを最優先課題としているため、規模拡大等の目標値は設定していない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	503	1,334	502
決算額（収入済額）	503	1,137	485
差額	0	197	17
<歳出>			
予算現額	1,003	2,298	1,687
決算額（支出済額）	1,003	2,068	1,644
繰越額	0	0	0
不用額	0	230	43

### 増減の理由

令和2年度に球根掘取機2台、管理機1台の導入支援を行っているため、他の年度よりも歳出額が増加している。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
-------	-----	------

16 県支出金	485	園芸振興対策費補助金
02 県補助金		
合計	485	

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
10 需用費	136	献上水仙、松盆栽、影石、植木鉢
11 役務費	84	献上水仙運搬料、熨斗筆耕代
13 使用料及び賃借料	90	越前水仙栽培施設土地賃借料
15 原材料費	52	越前水仙球根、肥料、農薬
18 負担金、補助及び交付金	1,282	越前水仙産地活性化支援事業補助金
合計	1,644	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/28	負担金、補助及び交付金	清水球根養成組合	令和3年度福井市越前水仙産地活性化支援事業（栽培拡大支援（越前水仙球根養成型））補助金	577
2022/3/25	負担金、補助及び交付金	こしの水仙部会	令和3年度福井市越前水仙産地活性化支援事業（獣害対策支援）補助金	500
2022/3/15	負担金、補助及び交付金	こしの水仙部会	令和3年度福井市越前水仙産地活性化支援事業（圃場整備支援）補助金	225

7. 監査の結果と意見



(1) 目標値の設定

当事業に対する具体的な数値目標は設定されていない。その理由は、産地をこれ以上衰退させないよう現状を維持していくことを最優先課題としており、規模拡大等の目標を設定していないためである。

<b>【意見】</b>	<b>具体的な数値目標の設定について</b>
<p>当該事業の目的が、生産者の高齢化や獣害の拡大等による越前水仙出荷量減少を食い止め、現状維持を目標としているならば、その目標に沿った具体的な数値目標を設定すべきである。現状では、具体的な数値目標が設定されておらず、実績値との比較も実施されていない。そのため、明確な事業効果を把握することができない。</p> <p>出荷数量が減少の一途という反面、単純に越前水仙出荷数量の実績値を見ると、令和元年 18.2 万本、令和 2 年度 21.6 万本、令和 3 年度 24.8 万本と増加しており、比較的安定している。そのため、過去何年かの出荷数量の平均値を目標値として設定することも有効であると考えられる。</p> <p>有効かつ具体的な数値目標を検討し、実績値との比較を実施することで、事業効果を測るべきである。</p>	

7 - 9 . 園芸普及拡大事業

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：園芸振興推進事業、中事業：園芸普及拡大事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費)
事業目的	園芸作物の導入を図り、経営の複合化を推進するため「金・銀福すいか、きゃろふく(ニンジン)」等の普及拡大を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金、銀福すいかの優良苗生産供給</li> <li>・土壌水分計設置による適切な栽培指導の徹底</li> <li>・土壌分析による施肥設計</li> <li>・きゃろふくの優良種子の生産及び新たな播種方法の確立</li> </ul>
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	福井市生産農家育苗支援事業実施要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	-

事業終了年度（予定）	-
------------	---

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	平成 30 年度		令和 6 年度
(第 2 次福井市農業活性化プラン、福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略) 金福・銀福すいか県外出荷の割合 (%)	20%		30%

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
金福・銀福すいか県外出荷の割合 (%)	22.8	26.4	29.9

### 目的の達成状況

巡回指導の強化や生産現場での課題解決に向けた栽培実証試験の実施により、生産者の技術向上が図れ、高品質な農作物の生産体制を確立することができた。これにより、インターネット通信販売会社や首都圏を中心とした百貨店等への出荷個数が拡大した。
--

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	2,001	1,592	1,592
決算額 (収入済額)	1,074,	1,127	1,131
差額	957	465	461
< 歳出 >			
予算現額	6,933	7,829	2,832
決算額 (支出済額)	6,916	7,113	2,615
繰越額	0	0	0
不用額	17	716	217

#### 増減の理由

令和2年度までは、金福すいかの研究員の報償費を計上していた。令和3年度からは、当該支出を、市特産品全般の振興を進めるための支出として園芸振興推進事業へまとめて計上した。そのため、令和3年度には歳出が大幅に減少している。  
(園芸普及拡大事業 園芸推進事業)

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度) (単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
17 財産収入		
02 財産売払収入	1,131	金福・銀福すいか苗代
合計	1,131	

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度) (単位:千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	100	シーダーテープ播種器
12 委託料	13	種子シーダーテープ加工委託
13 使用料及び賃借料	32	インキュベーターリース
15 原材料費	1,293	用土、種子
17 備品購入費	1,177	バイオルーム LED 棚、土壌水分計
合計	2,615	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト (単位:千円)

名称	摘要	収入済額
財産売払収入	園芸センター農産物の売払収入	1,131

##### (2) 歳出のサンプルテスト (単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/07/26	備品購入費 一般備品 (固定資産 以外)	轟産業(株) 代表取締役 酒井 薫	PH・水質分析計 一式	190

#### 7. 監査の結果と意見

##### (1) 金福・銀福すいか苗代販売の収支について

当事業では、福井市の特産品である金福・銀福すいかの一層の普及のために、ウィルス

フリー苗から金福・銀福すいかの優良苗を生産し、生産農家へ供給している。優良苗の供給実績は、令和元年度 7,333 本、令和 2 年度 6,819 本、令和 3 年度は 7,097 本と推移している。

優良苗の販売単価については、福井市生産農家育苗支援事業実施要綱の別表第 1 によって、150 円と定められており、平成 30 年度より変更されていない。

しかしながら、令和 3 年度の金福すいか育苗原価を算出している計算表では、原価が下表のとおり 160 円と算定されており、販売価格が原価を下回っていた。

(単位：円)

規格	育苗価格 (A) + (B)	内訳	
		資材費 (A)	人件費 (B)
金福・銀福すいか苗代単価	160	54	112

<b>【意見】</b>	育苗原価の把握と適切な販売価格の検討について
<p>販売価格が原価を下回っているということは、販売すればするほど、損失が拡大するということである。一般的には、採算が取れるように、販売価格を再検討することが望ましい。ただ、園芸センターでは、生産農家が直面している現実が大変厳しいため、原価割れしているとはいえ、販売価格を上げにくい状況にあるとのことであった。</p> <p>なお、育苗原価を算出したのは、令和 3 年度が初めてであり、それまでは、予算作成の中で、大まかに収支を計算できていたとのことである。しかしながら、物価が急騰しており、将来の見通しが不透明な時代においては、定期的に原価を算出し、販売価格との乖離が拡大していないか確認するとともに、必要に応じて、販売価格の見直しを行っていくことを検討すべきである。</p>	

## 7 - 10 . さんりはまベジフルブラッシュアップ事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：園芸振興推進事業</p> <p>中事業：さんりはまベジフルブラッシュアップ事業</p> <p>(款：農林水産事業費、項：農業費、目：園芸センター費)</p>
事業目的	三里浜砂丘地で栽培する農産物のブランド化を推進
事業内容	三里浜を中心として栽培している野菜や果樹の特産化及びブランド化を進めるため、生産現場の声を反映した研究、育成を強化するとともに、若いフレッシュなアイデアを盛り込んだ商品作りやプロモーションを展開する。
根拠法令等	福井市園芸センター設置条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	基本方針：持続的な農業の発展 施策の方針：園芸の推進、流通販路の開拓 基本施策：園芸技術の向上、園芸産地の再生、大都市圏販路開拓
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	令和3年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	平成30年度	令和6年度
(第2次福井市農業活性化プラン) 越前海岸地域における果樹栽培面積	11ha	17ha

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
越前海岸地域における果樹栽培面積	12ha	13.5ha	17.4ha

### 目的の達成状況

各種試験・研究、調査で得たデータやメニューレシピ、ポスターなどの事業成果を十分に活用し、さんりはまベジフル商品の認知度を高めることができた。今後も引き続き、ブランド化を目指していく。
---

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳出>			
予算現額	-	-	5,000
決算額(支出済額)	-	-	4,729
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	271

### 増減の理由

事業開始は令和3年度から。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
07 報償費	195	トレンドニーズ調査 アドバイザー謝礼
08 旅費	0	コロナ禍で中止
10 需用費	396	メニュー考案材料、ポスター印刷製本費
11 役務費	45	プロモーションチラシ郵送、商標登録
12 委託費	3,573	ディノケールパッケージデザイン、栄養分析
13 使用料及び賃借料	169	学生移動用バス借上げ
15 原材料費	325	肥料、種子、苗木
17 備品購入費	26	酸味分析器
合計	4,729	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

(2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/1/17	委託費	福井エフエム放送（株）	越前ふくいマルシェ 2021 企画運営業務委託料	2,156

7. 監査の結果と意見

(1) SNS プロモーションの成果把握について

さんりはまベジフルブラッシュアップの情報発信として、福井のインスタグラマーに SNS プロモーションを委託しており、委託料は 176 千円であった。業務委託仕様書によると、さんりはまベジフルについて、6 月下旬から翌年の 3 月下旬までの間、10 回Instagram 投稿することになっていた。しかしながら、当該投稿に対するいいねの数、コメントの数等の反響については、福井市に報告される仕様になっていなかった。

【意見】	SNS プロモーションの成果把握について
------	----------------------

SNSプロモーションでは、既存プロモーションよりも迅速かつダイレクトにターゲットからの反響を入手することが可能である。しかし、今回の業務委託仕様書では、インスタグラム投稿への反響等の成果の報告が含まれていなかったため、プロモーション効果を十分に把握できていなかった。

プロモーションを外部に委託する際にも、委託者に対して、何を成果として求めているのか具体的に示し、その成果報告がなされるような仕様にすべきである。成果の把握と分析の実施によって、プロモーションの質が一層向上することを期待したい。

(2) 全日本司厨士協会福井支部加盟店へのサンプルモニター調査について

セールスプロモーションとして、全国司厨士協会福井支部加盟店に対して、サンプルモニター調査を実施している。具体的には、加盟店27件に対して、ディノケール・きゃろふく・オリーブ塩漬けのサンプルを郵送し、アンケートを実施した。アンケート回答を回収できたのは15件、その後、サンプルとした野菜等についての買取希望は5件であった。

【意見】	サンプルモニター調査の費用対効果の改善について
	<p>アンケート送付27件に対して、回答を回収できたのは、15件と回収率が約半分となっている。期日までに回答を得られなかった加盟店については、電話で催促したが、それでも回答がなかったり、つながらない所が数件あったとのことである。</p> <p>サンプルモニター調査のために、直接生じているコストは、80千円と少額であるが、サンプル品を発送したり、アンケートを回収・集計したりするためには手間がかかっており、回収率が半分では、費用対効果が見合っていないと考える。</p> <p>そのため、調査前にサンプルモニター対象者の選別を実施する等、アンケートの回収率を高める工夫を検討するべきである。</p>

## 8 . 中央卸売市場

### 8 - 1 . 施設維持管理事業

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市場管理運営事業、中事業：施設維持管理事業 (款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)
事業目的	円滑な市場機能を維持するため、施設・設備の点検管理、修繕、改修を行い、施設の長寿命化及び有効活用を図る。
事業内容	・施設・設備の点検管理、修繕、改修。
根拠法令等	浄化槽法、水道法、廃棄物処理法、消防法、電気事業法、フロンの合理化及び管理の適正化に関する法律、計量法、建築基準法
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	昭和49年
事業終了年度(予定)	-

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

当事業は、施設の長寿命化及び有効活用を図るものであり、数値として各年度に設定されている目標値はない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)



	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	774,324	741,486	769,074
決算額(収入済額)	753,374	721,952	707,018
差額	20,950	19,534	62,056
<歳出>			
予算現額	196,581	203,515	206,128
決算額(支出済額)	185,734	193,097	206,115
繰越額	-	-	-
不用額	10,847	10,418	13

増減の理由

重要な増減は認められない。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
01 使用料及び手数料 01 使用料	244,072	中央卸売市場使用料
01 使用料及び手数料 02 使用料	4	諸証明手数料
02 繰入金 01 一般会計繰入金	21,200	
03 繰越金 01 繰越金	197	
04 諸収入 02 雑入	110,544	電気料他
04 諸収入 03 貸付金元利収入	300,000	市場振興貸付金元利収入
06 市債 01 市債	31,000	
合計	707,018	

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
10 需用費	116,561	電気料、修繕料
11 役務費	840	手数料

12 委託料	54,110	各種業務委託
13 使用料及び賃借料	1,096	
14 工事請負費	33,449	
15 原材料費	59	
合計	206,115	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
福井中央魚市(株) 他2業者	4月分市場使用料(売上高割)	43,728
福井中央魚市(株) 他95業者	4月分市場施設使用料	196,006
北陸電力送配電(株) 他3社	目的外使用料(電柱及び支線等)	904

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/15	委託料 施設管理委託料	(株) アイワン 代表取締役 桶師 純一	5月分中央卸売市場警備及び管理庁舎清掃業務委託料	2,322
2021/12/27	工事請負費 維持補修工事	(株) 福井建材社 代表取締役 岩崎 新	中央卸売市場消雪設備改修工事	12,068
2021/12/6	工事請負費 維持補修工事	(株) タバタ 代表取締役 畑 賢一	中央卸売市場 A 冷蔵庫棟外壁改修工事	8,980

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 福井市中央卸売市場の長寿命化の適切性の検討について

福井市中央卸売市場は、昭和49年に開設して以来、すでに46年(令和3年4月現在)が経過し、施設の老朽化が著しく進んでいる。その中で、「福井市公共施設等総合管理計画」に基づき、建替周期を50年から70年まで延ばすという施設の長寿命化に取り組んでいる。平成30年度までに場内全ての建物の耐震工事は終了しているものの、築46年を経過しているため、建築物に亀裂や剥離、また市場開設当初より使用している機器の突発的な故障等が懸念される。このような不測の事態が、市場運営に重大な支障をきたす可能性がある

ため、長寿命化のためには、継続的に改修費用が必要となる見込みである。

この点、住民生活に重要なサービスの提供を将来にわたって安定的に継続できるよう、令和2年度までに投資計画及び財政計画を含む経営戦略を策定することとの総務省による要請により策定された「福井市中央卸売市場経営戦略（R3年3月）」における今後の収支計画は以下の通りである。

【歳入】

（単位：百万円）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
使用料	234	232	229	227	224	221	219
市債	165	149	132	123	123	74	59
諸収入	105	105	105	105	105	105	105
一般会計 繰入金	33	52	68	64	71	107	127
預託金元 利収入	300	300	300	300	300	300	300
計	837	838	834	819	823	807	810

【歳出】

（単位：百万円）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
工事・修 繕費	185	171	164	149	143	124	119
管理運営 費等	315	326	325	325	325	325	325
公債費	37	41	45	45	55	58	66
預託金元 本支出	300	300	300	300	300	300	300
計	837	838	834	819	823	807	810

各年度各項目とも予算ベース。百万円未満は四捨五入して算出。

上記表によると、歳入の柱である使用料は毎年緩やかに減少していくのに対して、工事・修繕費については多額の費用がかかっていく見込みである。現段階では、長寿命化という方針のもとで施設を維持管理しており、施設を建替えた場合のコストについては検討されておらず、見積りも実施されていないとのことである。

【意見】	長寿命化と建替の経済的コストの比較の実施について
福井市中央卸売市場は敷地面積が140,198㎡、建物延面積も44,587.45㎡もあるため、	

建築物や設備の改修費用が多額になってしまう。さらに面積が広いというところから、電気料等の需用費や点検業務等の委託料も、より多く発生してしまう。市場の収支においても、現在の施設の維持管理は大きな負担となっており、今後もその負担は継続していく見込みである。

現在のところ、長寿命化の方針のもとに施設の維持管理を実施しており、建替えた場合には、いくらのコストがかかるかは見積もられていないとのことであった。古くて広い施設の維持管理には莫大なコストと労力がかかり、そのうちの多くのコストは、新しい施設に建替えた時点で、無意味なものになってしまう。また、当該長寿命化のための工事・修繕費は市債により現在だけでなく、将来の福井市民の負担として残ることとなる。

そのような中で、老朽化した施設を長寿命化する方が本当に最善の結論であるかを明確にするため、建替えた場合のコストを算出し、長寿命化した場合との経済的比較を実施することが望ましい。特に、現在の施設は、今後人口減少とともに、市場の取扱高の減少が見込まれる中で適正な規模であると言えるのか、リサイジングも含めて検討すべきである。

## (2) 市場使用料の設定について

福井市中央卸売市場の使用料については、福井市中央卸売市場業務条例の別表第4によって、定められている。例えば、卸売業者市場使用料は、卸売金額の1,000分の2.5に相当する額に1.1を乗じて得た額及び卸売場面積1平方メートルにつき月額115円である。

また、仲卸業者市場使用料は、市場の卸売業者以外の者から買い入れた場合におけるその買い入れた物品の販売金額の1,000分の2.5に相当する額に1.1を乗じて得た額及び仲卸売場面積1平方メートルにつき月額819円である。

この市場使用料は、消費税法が改正された際の消費税率の変更を除くと、昭和63年から変更されていない。

【意見】	市場使用料の見直しについて
<p>卸売市場の主要な収入源である市場使用料は、昭和63年から令和3年まで34年間、消費税率の変更以外の変更がなく、長期間見直されていない。見直さずとも、採算が取れていれば問題はないが、実際には、歳出が歳入に見合っておらず、不足分は、一般会計からの繰入金や市債の発行によって補っている。</p>	
<p>バブル経済により好景気だった昭和63年とコロナ禍によって経済が打撃を受けている現在では、全く経済の状況が異なっている。また物価の上昇も考慮すると、市場使用料が長期間変動していないのは、不自然に思える。</p>	
<p>福井中央卸売場は、建設から46年が経過しており施設の老朽化に対応するため、今後は、更なる歳出が見込まれる。このような厳しい現状に対応していくためにも、(1)の建替コストの見積の論点も併せて、現在の市場使用料が利用実態に見合った適切な水準にあるかを改めて検討するべきである。</p>	

## 8 - 2 . 業務指導事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市場管理運営事業、中事業：業務指導事業 (款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)
事業目的	財務検査や専門家による経営セミナーなどを行い、市場関係事業者の財務健全化や経営基盤の強化を図ることにより、福井市場の集荷力・販売力を高める。また、申請・許可・各種統計のシステムを運用することで、事務の大幅な効率化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場関係事業者に対する検査指導。</li> <li>・市場内ネットワークによる各種申請、報告データ等の共有化。 また、市況や市場情報の発信。</li> <li>・生鮮食料品の検査を実施。</li> </ul>
根拠法令等	福井市中央卸売市場業務条例、福井市中央卸売市場業務条例施行規則
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	昭和49年
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

市場の生鮮食料品の取	令和元年度	令和2年度	令和3年度

扱高(七総実施計画)			
目標値	215 億円	215 億円	215 億円

目標値に対する実績値の推移

市場の生鮮食料品の取扱高	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績値	167.9 億円	162.2 億円	158.5 億円

目的の達成状況

人口が減少している中、インターネットを通じた取引や大型商業施設の直接集荷や産地直売等、流通の多様化が進んでいる。このように市場外流通が増加していることにより、卸売市場を経由する取扱高が減少しているため、達成には至らなかった。

3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入> ( )			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	25,335	17,350	17,055
決算額(支出済額)	24,651	16,507	16,806
繰越額	-	-	-
不用額	684	843	249

( ) 歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

増減の理由

令和元年度に情報管理システム機器のリース期間が満了した。令和2年度からも、引き続きシステム機器のリースを行っているが、再リースとなったためリース料が減少したため歳出が減少している。

4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
1 報酬	70	運営協議会委員報酬

7 報償費	37	優良出荷者表彰記念品
8 旅費	0	
10 需用費	173	消耗品費
11 役務費	773	専用回線料、手数料
12 委託料	14,521	管理基幹システム保守点検業務委託、早朝勤務業務委託等
13 使用料及び賃借料	1,232	管理基幹システム機器リース
合計	16,806	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/11/25	委託料 その他の委託料	税理士法人合同経営会計事務所 代表社員 熊木 克英	令和3年度 福井市中央卸売市場財務検査委託料 (マルナカ青果株式会社分)	184
2021/11/15	委託料 その他の委託料	公益社団法人 福井市シルバー人材センター 理事長 吉田 修二	10月分早朝勤務業務委託料	418
2022/1/25	委託料 各種業務委託料	(株)ジー・アイ・システム 福井事務所 事務所長 大久保 圭佑	市場管理基幹システム予備サーバー設定業務委託料	1,623
2022/4/15	委託料 保守点検委託料	(株)ジー・アイ・システム 福井事務所 事務所長 大久保 圭佑	1～3月分市場管理基幹システム保守点検業務委託料	1,296

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 卸・仲卸財務検査事業について

当事業では、市場内の卸売業者・仲卸業者の経営状態の把握及び指導のため、財務検査を実施している。財務検査は毎年実施されており、財務状況や営業実績を考慮したうえで

対象事業者を選択している。対象事業者は、基本的に 3 年ごとに検査を受けている。財務検査は 2 つの会計事務所に委託されており、検査後には財務検査報告書が提出される。

令和 3 年度に実施された財務検査報告書を確認したところ、報告書には、財政状態及び経営成績や各勘定科目についての所見が、項目別に記載されていた。指摘事項の記載がある業者もあり、前回の財務検査時に指摘した事項が改善されていないという記載があるものもあった。

<b>【意見】</b>	<b>卸・仲卸財務検査の実効性担保について</b>
<p>財務検査報告書では、前回からの指摘事項が再度指摘として挙げられているものがあり、各業者の財務検査に対する意識が低くなっている懸念がある。</p> <p>現在の財務検査では、会計事務所が財務検査報告書を提出し、それを受け取った事業者が次の財務検査までに指摘事項を解消し、次の財務検査時に指摘が改善されていることを確認するという、いわば一方通行的な流れになっている。以前は、会計事務所が同席の元、市と業者の間で、指摘事項に対する回答や対応を協議する報告会の場が設けられていたが、現在は、新型コロナウイルスの影響もあり、報告会は開催されていないとのことであった。</p> <p>財務検査の指摘事項については、会計事務所と各業者が双方向のコミュニケーションを図り、改善していくことが望ましい。指摘を受けた事業者が、指摘をどのように改善していくかという姿勢も重要であるため、指摘事項に対する各事業者の改善対応方針を記録として残し、その後フォローできるような仕組みにするべきである。一例としては、報告書の中に指摘事項一覧を作成し、各事業者の対応を記載してもらうという形式が考えられる。</p>	

### 8 - 3 . 市場管理運営諸経費

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市場管理運営事業、中事業：市場管理運営諸経費 (款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)
事業目的	市場業務の適正な運営と合理化の推進。
事業内容	・市場の経常的内部事務
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGs をふまえた健全で持続可能な行財政運営
第 2 次福井市農業活性化プランにおける	該当なし



位置づけ	
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	昭和 49 年
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、市場の経常的内部事務の実施を目的としているため、目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 > ( )			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	14,117	14,180	14,180
決算額（支出済額）	12,619	10,464	13,060
繰越額	-	-	-
不用額	1,498	3,716	1,120

( ) 歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
8 旅費	0	
10 需用費	1,014	消耗品費、印刷製本費
11 役務費	339	火災保険料、一般電話料
13 使用料及び賃借料	3,012	各種リース料
18 負担金補助及び交付金	4	
26 公課費	8,691	消費税
合計	13,060	

## 6. サンプルテスト

## (1) 歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

## (2) 歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/9/30	公課費	福井税務署長	令和2年度消費税及び地方消費税の確定申告	3,164

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 8 - 4 . ガス事業譲渡後残務対応事業

## 1. 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：施設管理運営事業、中事業：ガス事業譲渡後残務対応事業 （款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費）
事業目的	場内事業者がガスを安定して利用できるよう、企業局から移管を受けた簡易ガス管施設の維持管理を行う。
事業内容	・本市ガス事業譲渡に伴い、企業局から移管を受けた簡易ガス施設の維持管理。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	令和3年度
事業終了年度（予定）	令和11年度

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、企業局から移管を受けた簡易ガス管施設の維持管理を行うことを目的としているのみであるため、目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>（ ）			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	-	-	500
決算額（支出済額）	-	-	-
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	500

（ ）歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

### 増減の理由

令和3年度より事業開始。令和3年度には、修繕が発生しなかったため、歳出額が0円となっている。

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

該当なし。

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出額がないため省略。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

8 - 5 . 市場関係団体等負担金

1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市場関係団体等負担金、中事業：市場関係団体等負担金 (款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)
事業目的	市場の健全かつ円滑なる運営と秩序の保持を図り、市場の発展を促進することを目的とするため設置された福井市中央卸売市場協会が実施する事業及び協会の円滑な運営の推進。 全国の中央卸売市場の流通情報の把握及び連携強化。
事業内容	・福井市中央卸売市場協会事業負担金交付要綱に基づき、市場協会が実施する事業の内、対象経費の2分の1以内で負担金を支出する。 ・全国中央卸売市場協会の会費
根拠法令等	
実施要綱等	福井市中央卸売市場協会事業負担金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する

画における位置づけ	施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	福井市中央卸売市場協会 昭和49年度 全国中央卸売市場協会 昭和53年度
事業終了年度（予定）	

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業では、要綱に基づいて、福井市中央卸売市場協会に事業負担金を交付しているのみであるため、目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>（ ）			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	23,634	23,634	23,634
決算額（支出済額）	23,634	23,634	23,634
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

（ ）歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金補助及び交付金	23,634	福井市中央卸売市場協会事業負担金、全国中央卸売市場協会負担金
合計	23,634	

6. サンプルテスト

（1）歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

（2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/15	負担金、補助及び交付金 その他の負担金	一般財団法人 福井市中央卸売市場協会 会長 三木 譲	(一財)福井市中央卸売市場協会事業負担金(1回目)	11,762
2021/11/25	負担金、補助及び交付金 その他の負担金	一般財団法人 福井市中央卸売市場協会 会長 三木 譲	(一財)福井市中央卸売市場協会事業負担金(2回目)	11,762

7. 監査の結果と意見

（1）福井市中央卸売市場協会事業負担金の交付について

当事業では、福井市中央卸売市場協会（以下「協会」という。）が実施する事業及び協会の円滑な運営の推進を目的として、協会に負担金を交付している。協会は、福井市中央卸売市場の健全かつ円滑なる運営と秩序の保持を図り、市場の発展を促進することを目的に設置されている。

福井市中央卸売市場協会事業負担金交付要綱によって、交付される負担金の額は、以下の通り定められている。

負担金の額 （第4条）	通常総会において認証された当該年度事業に要する対象経費から、第3条第2項に該当するものを差し引いた額の2分の1以内で予算の範囲内の額とする。
負担金の対象経費 （第3条第1項）	負担金の交付の対象となる経費は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 管理運営費

	(2) 総務事業費 (3) 衛生事業費 (4) 交通事業費 (5) 厚生防災事業費
対象とならない経費 (第3条第2項)	次に該当するものは、前項各号に掲げる対象経費から全部又は一部を減額するものとする。 (1) 寄付金、その他の収入額又は施設使用料等の免除により対象となる事業及び運営が遂行できると見込まれるもの (2) 市長が負担金の対象経費に含めることが不適当と認めたもの

なお、交付されている事業負担金及び協会の一般正味財産増減額、一般正味財産期末残高の過去5年間の実績の推移は以下の通りである。

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業負担金	23,200	23,524	23,524	23,524	23,524
一般正味財産 増減額	853	9,172	4,158	1,220	873
一般正味財産 期末残高	15,710	24,882	29,041	30,262	31,136

福井市が、協会の対象経費の2分の1を事業負担金として交付している反面、協会では毎年、正味財産が増加している。協会は、公益目的事業として衛生事業、安全確保事業、施設整備事業、災害対策事業を実施しているが、特に安全確保事業からは、下記のように毎年利益が生じている。

安全確保事業の正味財産増減額

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	9,348	9,613	10,340	11,087	11,357
内、事業負担金	4,052	4,052	3,610	3,720	4,399
経常費用	7,177	4,410	4,821	6,982	6,882
一般正味 財産増減額	2,170	5,202	5,518	4,104	4,474

<b>【意見】</b>	<b>事業負担金額の見直しについて</b>
福井市が事業負担金を交付している一方で、協会に正味財産が内部留保されているため、事業負担金額が過大になっているのではないかと考える。	
余剰が生じている原因の一つとして、安全確保事業から経常的に利益が発生している	

点が挙げられる。安全確保事業では、安全施設負担金として場内事業者車両から業務用車、通勤用車協力金を徴収しており、安全施設負担金の収益のみで、経常費用をカバーできているが、安全確保事業に対しても事業負担金を割り当てている。

福井市中央卸売市場協会事業負担金交付要綱では、寄付金、その他の収入額又は施設使用料等の免除により対象となる事業及び運営が遂行できると見込まれるものについては、負担金の交付の対象経費から減額するとしているため、安全確保事業は交付対象とする対象経費から減額することを検討すべきである。

## 8 - 6 . 市場施設整備事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市場施設整備事業、中事業：市場施設整備事業 (款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)
事業目的	市場機能を安定して運用できるよう、施設の長寿命化と有効活用を図るとともに、衛生環境の強化及び環境への負荷軽減や設備の高効率化等を目指した施設整備を行う。
事業内容	・施設の長寿命化、環境への負荷軽減等を目指した整備を行う。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	
事業終了年度(予定)	



## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、施設の長寿命化及び有効活用を図るものであり、数値として各年度に設定されている目標値はない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入> ( )			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	52,137	41,613	59,424
決算額(支出済額)	51,263	40,877	3,597
繰越額	0	0	54,274
不用額	874	736	1,553

( ) 歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

### 増減の理由

計画に基づいて設備更新を行うため、年度ごとに工事費の増減は生じる。令和3年度に多額の繰越額が生じているのは、電子部品の供給不足により冷蔵庫棟冷凍機更新工事の年度内完成が困難となったためである。なお、この工事は令和4年度に完成している。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
14 工事請負費	3,597	卸売棟水産卸売場給水管更新工事
合計	3,597	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

## (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/7/15	工事請負費 資産 取得のための工事 (事業用資産)	(有)新屋設備 代表取締役 東 川 貴洋	中央卸売市場卸売棟 水産卸売場給水管更 新工事(工事前払 金)	1,400
2021/10/15	工事請負費 資産 取得のための工事 (事業用資産)	(有)新屋設備 代表取締役 東 川 貴洋	中央卸売市場卸売棟 水産卸売場給水管更 新工事	2,197

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 8 - 7 . 中央卸売市場活性化事業

## 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市場活性化対策事業、中事業：中央卸売市場活性化事業 (款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)
事業目的	市民に卸売市場の役割や重要性を理解してもらい、市場の活性化を図る。
事業内容	・水揚げから食卓まで体験ツアーの実施 ・「ふくい市場フェスタ」を開催
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：3)地魚と漁村の魅力発信 地魚の消費拡大と付加価値向上 イ)地魚流通の見直し、「近海今朝とれ市」の活用による消費拡大
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし

け	
事業開始年度	・水揚げから食卓まで体験ツアー 平成 30 年度 ・ふくい市場フェスタ 平成 20 年度（市場見学会 平成 19 年度）
事業終了年度（予定）	（未定）

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

市場の生鮮食料品の取扱高	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	215 億円	215 億円	215 億円

### 第七次福井市総合計画実施計画

### 目標値に対する実績値の推移

市場の生鮮食料品の取扱高	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績値	167.9 億円	162.2 億円	158.5 億円

### 目的の達成状況

人口減少をはじめ、インターネットを通じた取引や大型商業施設の直接集荷や産地直売等、流通の多様化が進んでいる。それによって、市場外流通が増加し、卸売市場を経由する取扱高は減少しており、達成には至らなかった。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>（ ）			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	407	355	366
決算額（支出済額）	243	-	-
繰越額	-	-	-
不用額	164	355	366

（ ）歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

#### 増減の理由

令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の目的で、水揚げから食卓まで体験ツアー及びふくい市場フェスタの実施を中止している。そのため、歳出額は0となっている。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

##### （2）歳出のサンプルテスト

歳出額がないため省略。

#### 7．監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

### 8 - 8．ふくい鮮いちば事業

#### 1．事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：市場活性化対策事業、中事業：ふくい鮮いちば事業 （款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費）
事業目的	市場で取り扱われている安全・安心な生鮮食料品を消費者に直面販売することにより、市民の食の満足度を高める。また、観光客を誘致することにより、福井の食の魅力を全国に発信する。
事業内容	・ふくい鮮いちばの更なる充実と活性化を図るため、福井市と出店者団体が連携してイベントや広報活動を行う。 福井市は、広報リーフレットの作成等の広報活動を行う。 出店者団体（ふくい鮮いちば実行委員会）が実施する、イベントの企画・広報に対して補助金を交付する。
根拠法令等	
実施要綱等	福井市中央卸売市場関連商品売場棟一般開放支援補助金交付要綱
第七次福井市総合計	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる

画における位置づけ	施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる 施策：ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	基本施策：3)地魚と漁村の魅力発信 観光との連携による漁村地域の活性化 ア)北陸新幹線福井開業を見据えた誘客
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	平成26年度
事業終了年度(予定)	(未定)

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
イベント時来場者数(人)	-	-	43,000

### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
イベント時来場者数(人)	42,222	17,016	28,072

### 目的の達成状況

新型コロナウイルスの影響によって、イベントの開催回数が減少しているため目的を達成できなかった。イベント開催回数は、令和元年度は9回、令和2年度は1回、令和3年度は7回であった。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>( )			
予算現額	-	-	-

決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	1,540	1,671	1,493
決算額（支出済額）	1,247	611	594
繰越額	-	-	-
不用額	293	1,060	899

（ ）歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

#### 増減の理由

令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の目的で、福井県緊急事態宣言期間中は、ふくい鮮いちばのイベントを中止している。それによって、イベントに対する補助金が減少しているため。

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	594	
合計	594	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/4/25	負担金、補助及び交付金 その他の補助金	ふくい鮮いちば実行委員会 委員長 片岡秀典	令和3年度 福井市中央卸売市場関連商品売場棟一般開放支援補助金	594

#### 7．監査の結果と意見

##### （1）補助金対象事業の委託業者の選定について

当事業では、ふくい鮮いちば実行委員会が集客を目的に行うイベントや広報活動にかかる経費を補助している。なお、補助金の限度額は、予算の範囲内において補助対象経費の2分の1以内の額と規定されている。

令和3年度には、当初計画事業費 1,188 千円のうち、594 千円を補助金として支給していた。補助対象事業のうち駐車場警備や広告宣伝等については、(株)ケイ・マックスに委託しており、計画時点の委託料が 1,000 千円であったが、ふくい鮮いちば実行委員会では、相見積もりを取っていなかった。

<b>【意見】</b>	<b>補助金対象事業の金額の適正性の確認について</b>
<p>業務委託や商品購入時に適正な価格を判断する方法として、相見積もりを取ることは有効である。ふくい鮮いちば実行委員会では、市場補助対象事業の委託業者選定の際に、(株)ケイ・マックス以外の業者からは見積もりを入手していなかった。この点、補助金要綱等において、相見積もりの実施について明記されていないものの、仮に、他の業者が、同じサービスをより安い価格で提供できていた場合、福井市としては支払う必要のない金額を支払ったということになる。</p> <p>委託事業者に支払う金額が適正かどうかを確認するうえで、福井市としては、他の業者の見積もりを入手するよう助言すべきであり、また、相見積もりの入手が困難な場合には、随意契約とすることについての合理的な理由を確認するなど、福井市として追加的に検証を行うことを検討していくべきである。</p> <p>また、補助金を執行するにあたり、補助金の対象経費の金額の根拠だけでなく、その適正性を確認するうえで、福井市補助金等交付規則もしくは各補助金の要綱等において、定量及び定性的な基準に基づいて、相見積もりなどの実施を事業者に求めていくことも検討していく必要があると考える。</p>	

## 8 - 9 . 市場経営体質強化育成貸付金

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：市場金融対策事業、中事業：市場経営体質強化育成貸付金</p> <p>(款：中央卸売市場事業費、項：総務管理費、目：総務管理費)</p>
事業目的	<p>市場取引に係る代金の円滑な決済を図るため、卸売業者及び卸売代金を精算する組合等の代払機関に対し特別資金を融資するとともに、保証料及び利子に対し補助することにより、市場関係事業者の経営の健全化を図り、生鮮食料品等の安定供給を確保し、市場の健全な運営に寄与する。</p>
事業内容	<p>・融資に必要な原資を金融機関に預託して融資を実施し、それに係る保証料または利子の一部を補給する。</p>
根拠法令等	

実施要綱等	福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金要綱 福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金融資事業に係る信用保証料補給金交付要綱 福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金融資事業に係る利子補給金交付要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	昭和61年度
事業終了年度（予定）	

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当事業は、福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金融資事業に係る原資の預託等を実施することを目的とするのみであるため、目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>（ ）			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	305,000	304,917	304,915



決算額（支出済額）	303,750	303,910	303,641
繰越額	-	-	-
不用額	1,250	1,007	1,274

（ ）歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

#### 4．歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

#### 5．歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
18 負担金、補助及び交付金	3,641	利子補給金
20 貸付金	300,000	預託金
合計	303,641	

#### 6．サンプルテスト

##### （1）歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

##### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/4/1	貸付金 中小企業育成資金等預託金	（株）福井銀行 代表執行役 林正博	福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金に係る原資（預託金）	200,000
2021/4/1	貸付金 中小企業育成資金等預託金	福井信用金庫 理事長 岡本 一夫	福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金に係る原資（預託金）	100,000

#### 7．監査の結果と意見

##### （1）預託金の金額について

当事業は、福井市生鮮食料品安定供給対策特別資金融資、融資保証料補給金及び融資利子補給金から成り立っている。目的は、市場取引に係る代金の円滑な決済を図ることにあ

る。そのうちの特別資金融資の概要は以下の通りである。

開始年度	昭和 61 年度
融資方法	融資原資として(株)福井銀行に 200,000 千円、 福井信用金庫に 100,000 千円を預託して融資を実施
融資期間	3 年以内
融資対象者	卸売 3 社、仲卸 18 社、小売団体 3 組合、精算事業者 1 社 計 25 社
融資利率	融資取扱金融機関と協議して決定 平成 31 年 3 月以降の利率 保証協会保証有 1.00%、保証なし 2.00%
融資限度額	融資原資預託分 300,000 千円 + 融資取扱金融機関分(預託金の 1.5 倍) 合計 750,000 千円

本特別資金融資にかかる令和 3 年度の預託金の預託状況と特別資金の融資状況実績は、下記の通りである。

(単位：千円)

	預託金額	融資限度額	融資金額
(株)福井銀行	200,000	500,000	352,500
福井信金	100,000	250,000	50,000

<b>【指摘】</b>	<b>適正な預託金額の設定について</b>
<p>当事業では、福井市中央卸売市場が、金融機関に対し融資原資として総額 300,000 千円を預託している。</p> <p>生鮮食品安定供給対策特別資金融資では、金融機関が独自にリスクを負って行うプロパー融資に比べて融資利率が低く設定されているため、金融機関は預託金を運用し利益を計上することで、減少した利益を補てんでき、低利で融資することが可能となる。すなわち、預託金は、金融機関がプロパー融資で得られたであろう利子を補給するという利子補給を目的としている。また、預託金を前もって供給することで、金融機関が信用力の乏しい中小企業にも積極的に融資することも可能としている。</p> <p>しかしながら、福井信用金庫の実際の融資金額は 50,000 千円と、預託金額が 100,000 千円あるものの半分しか実行されていない。なお、令和元年度の融資金額は 60,000 千円、令和 2 年度は 60,000 千円と大きな増減はない。それに対して、預託金額 100,000 千円という枠は、制度が開始された昭和 61 年以降変更されていないとのことである。</p> <p>預託金は、無利子で金融機関に預託されていることから、適正水準を超えて資金の預託が行われた場合、機会損失が発生することとなる。具体的には、過大に預託した場合に、当該資金を運用していれば得られたであろう運用益（又は、資金調達が必要となり支払不要であったらう利息費用）が、機会損失として生じることとなる。逆に、金融機関においては、追加的な利益を得る機会が生じることとなる。</p>	

資金が運用利益も生まずに金融機関に 1 年間拘束されてしまうため、過大な金額を預託することは望ましくない。そのため、融資計画等や過去の実績値に基づいて、福井信用金庫に対する預託金額を再検討すべきである。

また、現状のゼロ金利政策などに伴う金融市場の情勢下において、本事業に基づく預託制度が、融資対象者にとって、引き続き有利なものとなっているのかどうかについて、検証を行い、制度を維持することの適切性についても検討していくことが必要であるとする。

## 8 - 10 . 市債償還元金

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：市債償還元金、中事業：市債償還元金 (款：公債費、項：公債費、目：元金)
事業目的	起債執行時に決定された償還元金の着実な返還。
事業内容	・起債の償還元金の返還。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	昭和49年
事業終了年度(予定)	

### 2 . 事業目的の達成状況

目標値の推移

当事業は、市債の元金を償還することを目的としているため、目標値は設定されていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入> ( )			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	45,411	26,192	34,870
決算額(支出済額)	45,411	26,192	34,870
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	-

( ) 歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

#### 増減の理由

令和元年度から2年度においては、返還額の大きな元金返済が終了したため、歳出額が減少している。それに対し、令和2年度から3年度においては、元金償還する市債が増えたため、歳出額が増加している。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	34,870	
合計	34,870	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

#### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	償還金、利子及び割引料 公債費（元金）	財務省理財局 歳入徴収官 財務省理財局長	公債費 償還元金	7,236

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 8 - 1 1 . 市債償還利子

### 1 . 事業の概況

事業名 （歳出予算款項目）	大事業：市債償還利子、中事業：市債償還利子 （款：公債費、項：公債費、目：利子）
事業目的	起債執行時に決定された償還利子の着実な返還
事業内容	・起債の償還利子の返還。
根拠法令等	
実施要綱等	
第七次福井市総合計画における位置づけ	政策：若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる 施策：農産物のブランド化と需要を拡大する
第八次福井市総合計画における位置づけ	政策：未来につなげる持続可能な行政を運営する 施策：SDGsをふまえた健全で持続可能な行財政運営
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	該当なし
福井市水産業振興プランにおける位置づけ	該当なし
福井市森林整備・林業成長産業化推進プランにおける位置づけ	該当なし
事業開始年度	昭和49年
事業終了年度（予定）	

### 2 . 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

当該事業は、市債の償還利子を返還することを目的としているため、目標値は設定されていない。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入> ( )			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	5,208	4,711	3,556
決算額(支出済額)	4,729	3,566	3,294
繰越額	-	-	-
不用額	479	1,145	262

( ) 歳入については、施設維持管理事業にまとめて記載しているため、当事業では省略。

### 増減の理由

利率の高い市債償還が終了したため歳出額は減少している。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
22 償還金、利子及び割引料	3,294	
合計	3,294	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

施設維持管理事業にて記載しているため、当事業では省略。

#### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額

2022/3/25	償還金、利子及び割引料 公債費（利子）	財務省理財局 歳入徴収官 財務省理財局長	公債費 償還利子	539
-----------	------------------------	-------------------------	-------------	-----

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 9. 農業委員会事務局

### 9 - 1 . 農業委員報酬

#### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業委員報酬 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費) 中事業：農業委員報酬
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業者の代表、地域農業の世話役として地域農業者と行政とのパイプ役を担う。</li> <li>・ 農地行政の適正な執行により、農用地の保全に努める。</li> <li>・ 農業委員及び農地利用最適化推進委員が連携しながら、遊休農地の発生防止・解消、担い手への農地利用の集積・集約化、新規参入の促進等、農地等の利用の最適化の推進を図る。</li> </ul>
事業内容	農業委員会会長(1名)、会長職務代理者(1名)、農業委員(22名)、農地利用最適化推進委員(23名)へ委員報酬を支払う。
根拠法令等	農業委員会等に関する法律 福井市農業委員会に関する条例 福井市非常勤の特別職職員の報酬等に関する条例
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

#### 2 . 事業目的の達成状況

##### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

#### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度



<歳入>			
予算現額	2,004	2,123	2,304
決算額(収入済額)	1,704	2,124	2,013
差額	300	1	291
<歳出>			
予算現額	17,016	17,136	17,316
決算額(支出済額)	16,766	17,136	17,026
繰越額	-	-	-
不用額	250	-	290

#### 増減の理由

重要な増減は認められない。

#### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

款/項	決算額	主な内容
県支出金/県補助金	2,013	農地利用最適化交付金
合計	2,013	

#### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位:千円)

節	決算額	主な内容
報酬	17,026	農業委員報酬
合計	17,026	

#### 6. サンプルテスト

##### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位:千円)

名称	摘要	収入済額
県支出金/県補助金	農地利用最適化交付金	2,013

##### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位:千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/4/21	報酬	擬制相手方債主(賃金)	4月月例報酬・賃金	1,427
2022/3/18	報酬	擬制相手方債主(賃金)	3月月例報酬・賃金	1,418

#### 7. 監査の結果と意見

( 1 ) 農業委員会のメンバー構成の最適化

第 5 次男女共同参画基本計画（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）において、農業委員に占める女性の割合に関する成果目標（ 農業委員会において女性の委員が登用されていない組織数を令和 7 年度までに 0 にする。 農業委員に占める女性の割合を早期に 20%とし、更に令和 7 年度までに 30%を目指す。）が定められている。

【意見】	農業委員会の女性登用に向けた取り組みについて
<p>福井市農業委員会では、女性委員の登用に向けて努力はされているが、令和 3 年度における実績は、農業委員 24 人中、女性 3 人の構成（12.5%）であり、第 5 次男女共同参画基本計画における成果目標に達していない。</p> <p>そのため、次期（令和 5 年 7 月）に予定されている改選時においては、上記成果目標を満たす女性の登用が可能となるよう、計画的な取り組みを実施していく必要がある。</p>	

9 - 2 . 農業委員会運営事業

1 . 事業の概況

事業名 ( 歳出予算款項目 )	大 事 業 : 農 業 委 員 会 運 営 費      中 事 業 : 農 業 委 員 会 運 営 事 業 ( 款 : 農 林 水 産 事 業 費 、 項 : 農 業 費 、 目 : 農 業 委 員 会 費 )
事業目的	農地法による許可、届出等の事務が適正に行われるとともに、農政全般に対し農業委員会が行うべき業務を効果的に運用する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会、定例会等の開催</li> <li>・ 許可、届出等の業務</li> <li>・ 農業委員会協力員の委嘱</li> <li>・ 農業委員会大会等への参加</li> <li>・ 農地利用最適化の推進</li> <li>・ 委員研修の実施</li> </ul>
根拠法令等	農業委員会等に関する法律 農地法 福井市非常勤の特別職職員の報酬等に関する条例
実施要綱等	福井市農業委員会会則（総会、定例会等の開催） 福井市農業委員会協力員設置規程（農業委員会協力員の委嘱）
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予	-

定)	
----	--

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	2,162	1,436	2,292
決算額(収入済額)	982	21	13
差額	1,180	1,415	2,279
<歳出>			
予算現額	4,245	3,556	3,762
決算額(支出済額)	3,121	1,934	1,970
繰越額	-	-	-
不用額	1,124	1,622	1,792

### 増減の理由

令和2・3年度は、2泊3日の農業委員視察研修が未実施のため。
--------------------------------

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
農林水産費雑入	5	全国農業新聞助成金
県支出金/県補助金	8	機構集積支援事業補助金
合計	13	

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
報償費	213	農業委員会協力員謝礼
旅費	1,062	委員費用弁償(総会、定例会等)
需用費 消耗品費	309	作業服、事務用品、コピーカウント料
役務費 郵便料	100	郵便代
使用料及び賃借料	160	コピー機リース料
備品購入費	100	シュレッダー
負担金、補助及び交付金	26	女性委員の会費、研修参加負担金

合計	1,970	
----	-------	--

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
県支出金 / 県補助金	機構集積支援事業補助金	8

### (2) 歳出のサンプルテスト

(単位：千円)

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/8	旅費 費用弁償	旅行命令用債主 ( 振込管理 )	5月分 運営会議・定例会・総会・協議会	141

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 9 - 3 . 法令外負担金

### 1 . 事業の概況

事業名 ( 歳出予算款項目 )	大 事業：各種負担金 中 事業：法令外負担金 ( 款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費 )
事業目的	農業委員会の組織強化を図る。
事業内容	【法令外負担金の内容】 ・福井県農業会議 ( 農地法等の法令に基づく行政行為を補完する組織 ) の拠出金 ・福井地区農業委員会協議会 ( 福井市の他全 6 市町の農業委員会組織間の調整活動・情報交換活動を行う組織 ) の負担金
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-

事業終了年度（予定）	-
------------	---

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	2,969	2,969	2,969
決算額（支出済額）	2,969	2,969	2,848
繰越額	-	-	-
不用額	0	0	121

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
負担金、補助及び交付金	2,848	福井県農業会議拠出金
合計	2,848	

## 6. サンプルテスト

### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/6/10	負担金、補助 及び交付金	(一社)福井 県農業会議 会長 石山 志保	令和3年度福井県農業会 議拠出金(第1期分)	1,423
2021/10/12	負担金、補助 及び交付金	(一社)福井 県農業会議 会長 石山 志保	令和3年度福井県農業会 議拠出金	1,423

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 9 - 4 . 農用地流動化奨励事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農用地流動化奨励事業 中事業：農用地流動化奨励事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)
事業目的	利用権設定による認定農業者への集積・集約を促進することで、担い手の経営規模の拡大、営農コストの削減による安定した農業区域の確立を実現し、農用地の効果的利用を図るとともに、認定農業者の育成を行う。
事業内容	農用地の利用権設定を促進し、農用地の流動化を図るため、農業振興地域内の農用地について貸借期間が6年以上の利用権の設定を受けた認定農業者に対し、10アール当たり8,000円(認定農業者が法人の場合4,000円)の奨励金を交付する。
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法
実施要綱等	福井市認定農業者農用地流動化促進奨励金交付事業要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-

事業終了年度（予定）	-
------------	---

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	800	600	400
決算額（支出済額）	800	600	400
繰越額	-	-	-
不用額	0	0	0

### 増減の理由

--

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
負担金、補助及び交付金	400	個人11件、法人3件
合計	400	

## 6. サンプルテスト

### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

### （2）歳出のサンプルテスト

（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2022/3/25	負担金、補助 及び交付金 その他の補助 金	擬制相手方債 主（振込管 理）	令和3年度福井市 認定農業者農用地 流動化促進奨励金	399

## 7. 監査の結果と意見

農地を集積する事業としては、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定事業（農地利用集積計画）に加え、農地中間管理事業が制度設計されている。利用権設定事業を促進する本事業は、対象者などの要件において、農地中間管理事業と異なる点はあるが、農地集積の趣旨としては同一の内容となっている。

【意見】	農用地流動化奨励事業の見直しについて
<p>農用地流動化奨励事業の根拠法である農業経営基盤強化促進法は、現在、見直しが実施されており、将来的に、農地利用集積計画は廃止され、農地中間管理事業に集約されていくこととなっている。</p> <p>また、市の予算が厳しいという理由もあるが、利用実績についても、上記歳入、歳出に記載の通り、令和元年度より減少傾向となっている通り、大部分は農地中間管理事業により農地集積事業の推進が図られている状況である。</p> <p>そのような中、農用地流動化奨励事業について、市として独自の財源により積極的に事業展開を実施していくことの必要性は薄れつつあると考えられる。そのため、本事業について、奨励金の交付を通じて、どれだけの農地を担い手農業者に、今後集積し、経営規模の拡大を推進していくことができるのかについて検討の上、奨励金の交付の要否の検討や、奨励金単価の見直しなどを検討していくことが必要と考える。</p>	

## 9 - 5 . 農地保有合理化事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農地保有合理化事業 中事業：農地保有合理化事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)
事業目的	経営規模拡大を試行する担い手農家に農地を集積する。
事業内容	農地中間管理機構である(社)ふくい農林水産支援センターが、規模縮小する農家から土地を買い入れ、それを担い手に売り渡すことで、農業経営の規模拡大を促進する。
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計	-



画における位置づけ	
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度（予定）	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	25	25	26
決算額（収入済額）	-	-	26
差額	25	25	-
< 歳出 >			
予算現額	25	25	26
決算額（支出済額）	-	-	26
繰越額	-	-	-
不用額	25	25	-

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款／項	決算額	主な内容
諸収入／受託事業収入	26	農地保有合理化促進業務受託事業収入
合計	26	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
---	-----	------

需用費 消耗品費	26	コピー代
合計	26	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 9 - 6 . 市民菜園運営事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：農業発展及び農業者の地位向上推進事業</p> <p>中事業：市民菜園運営事業</p> <p>(款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)</p>
事業目的	<p>農作物の栽培を希望する市民に農地を貸し出し、農業に親しむ機会を提供する。</p>
事業内容	<p>貸借権等の権利の設定は行わず、営利目的以外の農作業に供される「農園利用方式」と呼ばれる菜園である。農業委員会は農園利用契約の仲介や事務手続きを行うが、支払は当事者間で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置箇所数 5箇所(淵、江守中、八ツ島、灯明寺、四十谷)</li> <li>・設置区画数 194区画</li> </ul>
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-

事業終了年度（予定）	-
------------	---

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	-	-	-
決算額（収入済額）	-	-	-
差額	-	-	-
< 歳出 >			
予算現額	67	60	45
決算額（支出済額）	51	54	39
繰越額	-	-	-
不用額	16	6	6

### 増減の理由

重要な増減は認められない。
---------------

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

該当なし。

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
需用費 消耗品費	10	プラ杭等
役務費 郵便料	29	市民菜園更新手続通知書送付料
合計	39	

## 6. サンプルテスト

### （1）歳入のサンプルテスト

該当なし。

### （2）歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

## 7. 監査の結果と意見

### (1) 貸農園の市民への情報提供

農政企画課事業 2-32. 農園施設「マイファーム清水」管理運営事業を参照されたい。

<b>【意見】</b>	HP上の市民菜園及びマイファーム清水の情報提供について
<p>市民菜園と農園施設マイファーム清水は、管理棟や水道などの設備、規模・利用料等に違いはあるものの、どちらも同様に、市民が手作り野菜を栽培することができる農園であることには変わりない。</p> <p>HP上の掲載方法について、それぞれのページに情報を記載する、相互にリンクを貼る等、農作物の栽培を希望する市民にとって分かりやすい情報提供の仕方が必要と考える。</p>	

## 9 - 7. 広報紙発行事業

### 1. 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	<p>大事業：農業発展及び農業者の地位向上推進事業</p> <p>中事業：広報紙発行事業</p> <p>(款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)</p>
事業目的	農家が農業委員会の活動や取り組みの状況を知り、農地法等の専門知識に対する理解を深める。
事業内容	<p>農業者等への情報提供を目的とし、次のとおり機関紙を発行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙名 福井市農業委員会だより</li> <li>・ 発行回数 年2回(7月、1月)</li> <li>・ 発行部数 13,500部/1回</li> <li>・ 配布先 農家、関係機関</li> </ul>
根拠法令等	-
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-

事業終了年度（予定）	-
------------	---

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
< 歳入 >			
予算現額	88	88	88
決算額（収入済額）	88	33	55
差額	-	55	33
< 歳出 >			
予算現額	315	161	208
決算額（支出済額）	315	161	187
繰越額	-	-	-
不用額	-	-	21

### 増減の理由

令和2年度に広報紙のページ数を減らしたため。
------------------------

## 4. 歳入の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

款 / 項	決算額	主な内容
農林水産業費雑入	55	農業委員会だより広告料
合計	55	

## 5. 歳出の内訳（令和3年度）

（単位：千円）

節	決算額	主な内容
需用費 印刷製本費	187	農業委員会だより印刷費
合計	187	

## 6. サンプルテスト

### （1）歳入のサンプルテスト

歳入に関するサンプルテストの実施はなし。

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

9 - 8 . 農業者年金受託事業

1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農業者年金受託事業      中事業：農業者年金受託事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)
事業目的	農業者年金制度の周知、普及を図り、農業者の老後の生活安定を目指すとともに、認定農業者等への保険料の助成により農業の担い手を確保する。
事業内容	独立行政法人農業者年金基金から委託された次の業務を行う。 ・被保険者となることができる者に対する制度の周知に関する業務 ・被保険者及び受給権者が提出した諸届等の受付、点検及び農業者年金基金への送付並びにその管理に関する業務 令和3年3月末現在 ・被保険者数(加入者)数 ... 23人 ・受給権者数(受給者+待機者) ... 317人 待機者とは、積立期間の終了する60歳から、受給が開始される65歳までの人
根拠法令等	独立行政法人農業者年金基金法
実施要綱等	-
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	-
事業終了年度(予定)	-

## 2. 事業目的の達成状況

### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

## 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	-	-	-
決算額(収入済額)	-	-	-
差額	-	-	-
<歳出>			
予算現額	26	16	9
決算額(支出済額)	11	1	8
繰越額	-	-	-
不用額	15	15	1

### 増減の理由

重要な増減は認められない。

## 4. 歳入の内訳(令和3年度)

該当なし。

## 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
需用費 消耗品費	8	ファイル
合計	8	

## 6. サンプルテスト

### (1) 歳入のサンプルテスト

該当なし。

### (2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 9 - 9 . 農地台帳整備事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：農地台帳整備事業 中事業：農地台帳整備事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)
事業目的	農地に関する問い合わせや証明書の交付依頼などへの迅速な対応が可能となり、窓口サービスが向上する。
事業内容	農地台帳に関する新規及び過去の未入力データを整備するとともに、台帳データを使用し農家への通知等を行う。
根拠法令等	農地法第 52 条の 2
実施要綱等	農地台帳等の管理及び閲覧等に関する要綱
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第 2 次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	- 農地台帳システム改修事業については令和 3 年度のみ
事業終了年度 (予定)	- 農地台帳システム改修事業については令和 3 年度のみ

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

目標値は設定されていない。

### 3 . 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
< 歳入 >			
予算現額	4	4	1,044
決算額 (収入済額)	4	5	1,041
差額	0	1	3
< 歳出 >			
予算現額	130	130	2,050
決算額 (支出済額)	124	130	1,903
繰越額	-	-	-



不用額	6	0	147
-----	---	---	-----

増減の理由

令和3年度については、福井市農業委員会で独自に管理していた農地台帳システムから、全国共通のシステムである農地情報公開システムに移行するためのデータ更新やシステム改修が必要だったため、歳出増となっている。

4. 歳入の内訳（令和3年度）（単位：千円）

款/項	決算額	主な内容
農林水産業費雑入	2	農地台帳コピー代
県支出金/県補助金	1,039	機構集積支援事業費補助金
合計	1,041	

5. 歳出の内訳（令和3年度）（単位：千円）

節	決算額	主な内容
需用費 印刷製本費	28	農用地利用集積計画書の様式印刷
役務費 郵便料	10	農用地利用集積計画書の送付代
委託料	1,865	農地台帳データのアップロード、e-Nais システムの改修
合計	1,903	

6. サンプルテスト

(1) 歳入のサンプルテスト（単位：千円）

名称	摘要	収入済額
県支出金/県補助金	機構集積支援事業費補助金	1,039

(2) 歳出のサンプルテスト（単位：千円）

支払日	名称	受取人	摘要	支払命令額
2021/10/4	委託料 各種業務委託料	(株)パスコ 福井支店 支店長 難波 泰治	農地情報公開システム移行用データ作成業務委託契約料	825
2022/2/9	委託料 各種業務委託料	西日本電信電話(株)福井支店 支店長 高畠 勝之	農地情報公開システム突合用レイアウトデータ出力対応業務委託契約料	1,039

## 7. 監査の結果と意見

特記すべき事項はない。

## 9 - 10 . 農地利用状況調査事業

### 1 . 事業の概況

事業名 (歳出予算款項目)	大事業：機構集積支援事業 中事業：農地利用状況調査事業 (款：農林水産事業費、項：農業費、目：農業委員会費)
事業目的	農地の利用状況を調査することにより、遊休農地の実態把握と発生防止・解消につなげるほか、遊休化を把握した農地については、所有者等に対し指導等を行うなど、農地の継続的な利用増進を図る。
事業内容	農地法の規定に基づき、毎年1回、管内の全農地の利用状況について調査を実施する。
根拠法令等	農地法
実施要綱等	農地・非農地判断実施要領
第七次福井市総合計画における位置づけ	-
第八次福井市総合計画における位置づけ	-
第2次福井市農業活性化プランにおける位置づけ	-
事業開始年度	平成22年度
事業終了年度(予定)	-

### 2 . 事業目的の達成状況

#### 目標値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
遊休農地の解消目標 (遊休農地面積)	26ha	23ha	21ha

#### 目標値に対する実績値の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
遊休農地の解消目標 (遊休農地面積)	26.3ha	23.1ha	21.9ha

## 目的の達成状況

「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の最終目標である令和5年度末の20haへ向け、進捗状況は良好である。

### 3. 歳入、歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<歳入>			
予算現額	1,679	2,128	1,934
決算額(収入済額)	1,144	1,645	1,529
差額	535	483	405
<歳出>			
予算現額	1,679	2,154	1,991
決算額(支出済額)	1,181	1,687	1,661
繰越額	-	-	
不用額	498	467	330

### 増減の理由

重要な増減はなし。

### 4. 歳入の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

款/項	決算額	主な内容
県支出金/県補助金	1,529	機構集積支援事業費補助金
合計	1,529	

### 5. 歳出の内訳(令和3年度)

(単位：千円)

節	決算額	主な内容
報酬	1,101	会計年度任用職員報酬
職員手当等	146	会計年度任用職員期末手当
需用費 消耗品費	358	利用状況調査資料等コピー代
役務費 郵便料	56	遊休農地関係通知郵便代
合計	1,661	

### 6. サンプルテスト

#### (1) 歳入のサンプルテスト

(単位：千円)

名称	摘要	収入済額
県支出金/県補助金	機構集積支援事業費補助金	1,529

(2) 歳出のサンプルテスト

歳出に関するサンプルテストの実施はなし。

7. 監査の結果と意見

(1) 違法転用地の固定資産課税

固定資産税は賦課方式による課税であり、市が対象資産を特定し、現況を把握し、それに基づき評価を行い税額の算定を行うこととなっている。

農業委員会で把握している違法転用地4件について、固定資産の課税状況を確認したところ、そのうち以下の3件が「田」「畑」で課税されていた。

土地の所在 ・地番	違反転用 の内容	農地区分	面積 (㎡)	土地 所有者	違反 転用者	課税区分
中ノ郷町	資材置場	農用地区域内	191	個人	法人	田
坪谷町	資材置場	農用地区域内	1,134	個人	法人	田
中野町	資材置場	農用地区域内	1,605	個人	法人	畑

【指摘】	違法転用地の固定資産課税について
	<p>農業委員会で把握している違法転用地について、毎年1月1日現在の土地の利用状況によって地目を認定し、課税されるところ、上記の通り、現況に基づいた課税になっておらず、適正な課税状況となっていない。</p> <p>農業委員会事務局で認識した違反転用地に関しては、適切な時期に資産税課へ報告を行うなど、資産税課が現況に基づいた正しい賦課を行うことができるように連携を強化することが必要である。</p>

以上